

up to date information

Architecture
Product
System

MEN'S ONIYO2

CHIHIRO GOTOH

GOTOCHIHI



最新更 新情報



最新更新情報はこちら

[MEN'S ONLY03](#)

おすすめコンテンツ

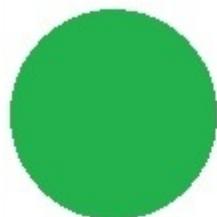
[批評 太宰をどう評価するべきか？](#)

[随筆 科学考証は工廠？ 鋳床？ こうしよう！](#)

テレビからマンガへ？

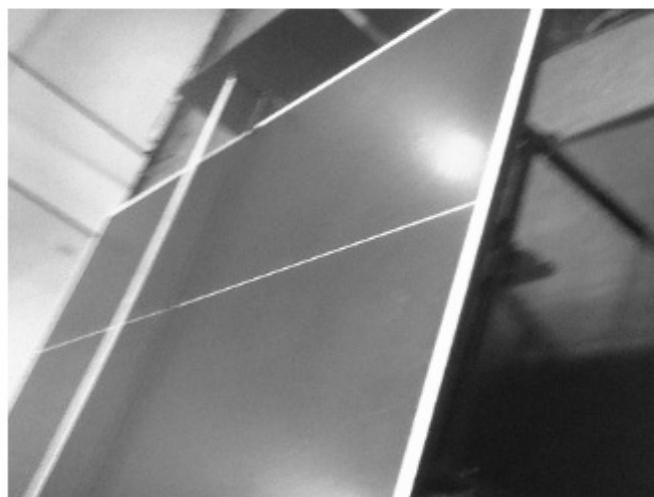
それは「マンガに鉄の味がしない」つまり「マンガに血が通っていない」ことにならないか。それが読者に訴求するわけが無い。

マンガレビュー ガンバレ！ピンポンフォロワー



税抜30円

ブグログのpapier
amazonでも配信有り？



[ガンバレ！ピンポンフォロワー](#)

2016年7月3日の更新情報

うっかりどこかで「1to7」と書いて、「1to6」の半年間の更新情報をするはずが、七ヶ月に伸びてしまった。

今日は横本とまだ未公開の「MEN'S ONLY03」の準備、Wizの裸忍者の四コママンガぐらいしか、追加していない。

といっても、すっかり「過疎っている」から更新情報の開示は必要ないみたい。

ハプニングを楽しむみたいになっているようだが、そんなことはない。

今月の「セヴンスリーワン」は、6頁だけだけど、桁に何故か草冠が載っている謎の字とか、フキダシ内のセリフが丸々ひとつを消えているとか、修正する頁が複数あるから、毎月の仕事量とほぼ変わらず、これで文読が完成するのか、心配だ。



同一人物



甚句の姉ちゃん
容量やスケジュールに余裕(カネ)があればね

2016年6月28日 『あり思』第二巻の更新

「セヴンスリーワン」が、つつがなく更新されているといいな。

先月分の3ページぐらいが、アップされていて今月分の8ページがアップされている。一頁でも、絵をほとんど書かず、手が抜けると、こんなに作業が早く終わるのかと、驚いている。

サイバーコネクトツーツ様だね。

そろそろ「予防戦争の論理だから、攻める！」を追加・修正する頃だと思う。予防戦争って、どうも20年周期であるようだ。国民兵談のネタだ。現在、影響が無いように思えるが、20年周期で医療制度が改定して、お年寄りに苦しめているかもしれない。

前回の更新情報では「今月分も危うい」と書いてしまったけど、63ページ目までアップしたかった。ちゃんと三角形を作図したら、10.8センチだけど、電卓上の計算だと10.9センチ（無比数）だ。

これを役にしようか。

皆わかっているはずだけど、私が気づいたんだから、誰でも気付く。サイバーコネクトツーツに入社できなかった人間だから、能力は無い。内閣府も気付いているだろう。

そうでなければ、相当な食わせ物が官僚となっている。憲法で許された国民の罷免権（リコール）の発動だ。LGBTがお嫌いな三宅先生が生きておられたら「ポン介」だと言われていたと思う。

「販促！文章読本」も更新されて…いないかもしれない。

フライングで「ジローの横本」が公開されていたら、それは何かの間違いだろう。

28日の今日、公開されたのである。

「GRC」のVol.1が28日に無料配信した。「ろうやのかぎ」で気付いた人もいるかもしれないが、他言無用なことを願う。そろそろ「GRC」のVol.2をやっつけたいが、まず文章読本を片付けなければいけない。

2016年6月20日の更新情報

「セヴンスリーワン」が修正され、ラフ画がカラーになった部分があると思う。

今月分も危うい。

もう少ししたら、「ジローの横本」が出ると思う。「Puboo×Paboo2016」という、更新情報誌じゃない、ただのフライヤーを作る予定でもある。

来月には、「MEN'S ONLY03」がアップできて、この二つの用意で少し、修正や追加が不足していると思うが、

「それはまあ、いいじゃないですか」

『トキワ荘の時代』の書評は、書評と批評に分割して、それで小さくまとめて、後で寺田ヒロオさんのことを書こうかなと、思う。

実際に取材して書きたいけど、今は出版社にお金が無いから、ノンフィクションが書けない。取材費用がでないから、ノンフィクション作家の持ち出しになる。取材費用が出なくて、関係者先に回れないと、絶対不本意なものが出るのがわかっているこちらとしては、テラさんの本でそんなもの作っちゃいけないと思っている。

「メガネの話題をするのも、最後になるかもしれない」

「えっ？ どうして？」

「実は・・・TBSラジオはポッドキャストの配信を5000万ダウンロードがあっても続けられない。世知辛いね。」

2016年6月7日は自己憐憫

「あんまり大きな声では言えないけど、コンビニ711のワイファイに接続してから、ラジコのアプリを起動して関西地方のラジオ関西に合わせれば、『おぎやはぎのメガネびいき』が聞ける。これで6月16日の衆院選と参院選に並ぶ日本三大総選挙の一つが聞ける」

これも閲覧数が少ないから、書けることだね。閲覧数が多かったら、書けなかつたろう。後で読んだ人は、もう接続しても聞けなくなっているとか、そういう環境変化が起きているだろうから、コンビニに迷惑がかかる心配がいらぬ。（暗に「コンビニに迷惑がかかることはするなよ」と含ませているが、コンビニによっては関西だったり中国地方だったりでまちまち）

橋本聖子ちゃん・・・オボちゃんを立候補させると、「メンドくさくなる」から出来ない。メンド臭い人だから。

「MEN'S ONLY03」は少し閲覧数を上げるために、太宰治のことを書こうとっていて、ノートにメモを書いたり、ちょっと『ピカレスク』の表紙を眺めるだけでページを開かなかつたりしている。太宰は日本がこれから世界覇権に向かっていくときに、ドロップアウトしたから、それは自己憐憫に陥る。

この間の太田光のタカハシイシンに・・・やめよう。

更新情報は、おざなりでいいのでは？

「販促！文章読本」は少し写真を追加した。

「ジローの横本」は画像や書籍情報のデータを入力したが、まだ公開していない。他の横本もいくつか修正した。

ラフが四枚、「セヴンスリーワン」に掲載され、これで先月の分が終わり、今月の八ページが月末に追加できる。ページが月末に追加できる。

2016年5月27日 「セヴンスリーワン」更新したよ

ラフ原稿が四ページ、載っていると思う。

これが今月分だ。

「セヴンスリーワン」の。

読者の中には、

「またフキダシとかナレーション枠の中にセリフを入れてみて、具合を調べるゴミみたいなラフが掲載されている」

と、穿った見方ではなく、それは正解なんだけど、

「それはまあ、いいじゃないか」

前々からしたかった番コラ（番組ラテ欄のコラージュ）を作っていたのが、如実に執筆時間を圧迫したのも、否めない。一昨日今月分のネームが完成した。

主力兵器の「阿部サダヲ」、「ベッキー」と「清原」は便利だった。梶添都知事は「つるピカ 梶添クン」というくらい、けちんぼというか守銭奴というか、そにしけんじ…のむらしんぼがマンガで描いたかのような、学校の水道水を水筒に入れて家で飲んで「つるセコ」みたいなことを、都知事は都庁の水道水をポリタンクに入れて公用車で自宅まで運びフコを沸かすみたいな「つるセコ」をしていただろう。

『栗田のトラクター』なら、「これはやめられねーズラよ」みたいなことを何度も言っていたのだろう。その前にヅラを被れ。

「号泣議員とやってること同じじゃねえか！ 違法だったらどれほどバッシングされると思ってんだ」

まだ刑法に触れていないが、いずれ歴史となった時には、忸怩たる評価を受けねばならない。梶添プロだから、巧妙に詐欺を避けているようである。プロの公費使用目的正当行為、プロの仕業だ。

プロ経営者が高コスト体質の企業にメスを入れて業績回復だったらよかったかもしれないけど、都政でコストを削る方向じゃなくて都のお金でいろいろ私腹を肥やす「つるセコ」じゃ、ダメだ。（岡田斗司夫も同じタイプだからな）

横本を更新しただろう。

「MEN'S ONLY01」も直したか、どうか。

毎週、毎週、何かしら更新があったから、いいじゃないか。

2016年5月20日頃更新したんじゃないか？

「校正は人海戦術に限る」のまくらと同じことが起きて、日記の「大藤さんの千代紙 3.1」を修

正した。日記だから正確な没年でなくても、誰からも怒られず、「ほっ」と胸をなでおろした。犬のジョンが死んだときみたいにほっとした。

「販促！文読」を修正。「真・超人大全」第三勢力、相撲教会を修正。宗教団体を隠れ蓑にしているいろいろな誤解を与えかねない表現、つ・ま・り、大相撲をここまで馬鹿にしていいのだろうか？

「MEN'S ONLY01」の記事のてにをはの部分にあたるものも、少し直した。

後は、「セヴンスリーワン」のネームをまだ今月分できていない。

先月分も、急いで10ページを描いたため、いろいろ書き忘れたところがある。十年くらい前の奴だから、忘れちゃうんだよ。

なんで「ゼロで割れない」をわざわざ教えているのかは、レギュレーションをきつくしているようで実は複雑にならないように配慮されたモノだけではなく、上級者向けに駆け引きで「ゼロで割る」ということをするのをすっかり忘れていた。

数学資料なんてBOOK OFFで立ち読みだから、記憶に定着が無い。

731の入門者や下部の常用者向けの話が、「ルールラーニングストーリー」だったから、今「セヴンスリーワン」で描いているのは上級者向けで、これが731の本来の姿だ。

2016年5月13日 白鵬 > 太田光

「テレビという“板の上”に載せられない芸なら、載せられるように仕上げるのが芸人だ。それを怠れば墮落を招く。私が好きになった今の白鵬みたいに」

今日、この日は更新情報が少なく、横本鯨の方を更新した。

あまり見られたくない四コママンガを更新した。表紙を少し変えた。

そろそろ映画を観たネタが溜まってきているから、いろいろ書き足したいと思う。『百日紅』とか、描きたいんだけど。

他は更新していないことになっている。「ガンバレ！ピンポンフォロワー」のデータは更新して校正をしているけど、それはいちいちアナウンスしなくてもいい。

後出しジャンケンだけど、あのマンガの第一話を見て「いきなり記憶失っているけど、これしか生き残れないんじゃないか？」とっていたけど、『ピンポン』の影響一番後発のサンデーのマンガが、この間見たら終わっていた。それは編集側に戦略、というより戦型が無かったということだ。

それから、私が推すといしかわじゅん先生やブルボン小林さんが、マンガ評で取り上げなかったりするから、気を使ってあまりプッシュをしないようにしている。

あとは「図に乗るサービス」の回を聞いてほしい。

誤字はちゃんと指摘してほしい。

校正をお金をもらわないでやる、労働だと思って諦めてほしい。

「今の白鵬は好きなんだよ。朝青龍と比べられていた時代は優等生で疎んじていた。最近ダメを押すためにドロップキックする（注・そんなことしてない）とか、星が買えなくて幕内連勝が途切れるとか、ネタになるようになったから好きなんだ。もう我々日本人と同じ」

「スー先生のこと、"駄菓子を買占めにやって来た進駐軍"と近所の駄菓子屋に言われる。そんな英語教師がまだかつていたろうか」

「メガネね。メガネ。そちらの、スー先生の更新は、まだ無い。というか、まだ表紙を描き終わっていない」



やなせたかしさんが
亡くなられたから
マンガに出てこない

嫌いなもの 甲子園

2016年5月6日 アンジャッシュの渡部さん見てますか？

「高校球児たちが学生時代に野球部監督から受けた激しい虐待の復讐をする映画があったら、監督役は渡部さんがいいんじゃないか？」

球児の太ももにめんたいマヨネーズを塗ってなめる暴挙に観客がどよめく。

児島さんが監督の居所をリークする、リーク児島役で友情出演でギャラ無し。

監督は井筒監督で『ヒーローショー』そのまま。そういえば『僕のヒーローアカデミア』は『ヒーローショー』と同じ暴力の連鎖が描かれる内容と思ったら、ぜんぜん違った。

横本鯨が更新されているはず。

「販促！文章読本」も更新されているはず。

「ルールラーニングストーリー」の26と28にあたるページのラフ画がちゃんとカラーに差し替えられている。

他は、特に無い。

演技指導は「役作りしなくていいですから」「地を出して下さい」「そこで野球ロリコンを見せて！」と、バットで高校球児を殴る非道の演技をカメラに収める。

マルキ・ド・佐渡高校。

最終的に「飯食う奴か、甲子園見てる奴か」と、アンジャッシュに児島さんの成分が無くなっちゃう。（芸人さんって、こういう風に素人さんにかからまれちゃうから、ヤクザ組織と懇意で無いといけないんだよね）

2016年5月1日 実はアンジャッシュの渡部さんを尊敬してはいません

『ありえない未来の思い出たち』第二巻、先月分の「セヴンスリーワン」が載っているかもしれない。月の初日とはいえ翌月に持ち越しになってしまったが、

「これを載せるために全てを犠牲にしてきました」

ということである。

先月は12枚載せるつもりが、10枚しか載せられていないと思うけど、いいよね。もしかしたら、10枚もアップしておらず、いつも通り8枚しか載せていないかもしれない。

でも、大丈夫。

過疎っているから。

第二巻は閲覧数が少なくて、どうも『ありえない未来の思い出たち』は役に立つものではないと、浸透してきたみたいだ。それは結構なことだ。

元々、ゲーム作りの才能が無い人間の作っているものだから、「アンジャッシュの渡部さんを尊敬している」というのを嘘だと皆わかっているように、『あり思』はゲーム作りに役に立たない。役立つならゲーム会社に入社できている。

つまりあの程度のことは、誰でもできるレベルですらないと、考えている。ハードルとして楽チンなものを描いているし、絵のレベルでわかるだろう。

こんな私が、サボって劇場版『響け！ユーフォニアム』を観てきたと書いたら、皆怒るだろう。

「これを観るために全てを犠牲にしてきました」

久美子ちゃんを中心として、「ライディーン」の曲がテレビ版より長く尺（本当は口に尺の字）を取って、いきなり先生が「サファイア」と読み上げるからビックリして、とてもよかった。

2016年4月20日の更新情報

明日の「おぎやばぎのメガネびいき」は、ともかく聴いてほしい。

「ガンバレ！ピンポンフォロワー」は公開はしていないが、校正用にダウンロードデータを作り、何時かは公開できると思う。だから、本書のメモの方ではもう、更新はないんじゃないか？

「真・超人大全」は新たに相撲教会という第三勢力を足した。

「販促！文章読本」では、久々に「堀井のブンブン調査」更新されたが、日記は止まってしまうている。「テープに吹き込めば誰だって名文家」の途中原稿が、あるかもしれない。ないかもしれない。制作日記が止まっていると思われる、何もしていないと、誤解を生み出しているかもしれないが、この更新があれば、何かやっていると誤読してもらえる。

桃田選手がスナックのママとキスしているの、うらやましいなあ。（こういう記述を書かないと、バンナムのプロデューサーと同じでロリータコンプレックスだと思われる）

「MEN'S ONLY01」の方も更新した。

横本も更新した。

「セヴンスリーワン」もラフがカラーになっていたりする。これで今月は更新しなくても、誰からも叱られない。

時間が無いので、この程度にするが、よかったらアマゾンで電子書籍を購入して欲しい。

これだけ更新すれば、読者も今月は満足で『ありえない未来の思い出たち』の追加が無くても、きっとやっていける。

暗号文 メガネ 復号 更新した

明日の「おぎやばぎのメガネびいき」は、ともかく聴いてほしい。

予定では、今月の21日から25日までamazonのキンドルストアの方で「charity magazine」を無料配信。それとKDPの影響でこちらの方の「charity magazine」は7月20日まで、アップ中断になった。

これは熊本地震の被災者向けだから、被災者じゃない人はダウンロードしちゃいけない。ダウンロードしちゃいけない。

2016年4月15日 ビカール・サンー—毒蛇と呼ばれる男がそこに立っていた

毎週毎週、先月分の原稿がアップされているのは、週刊連載みたいで、とってもいいのかな？

「セヴンスリーワン」はラフ原稿がカラーになったり、いろいろ修正されているはず。

横本も、けっこう追加・修正していて「ルナイズマインのテキトーなこと」が足されていたりする。デビルフィッシュこと烏賊の方である。谷口ジローのパロディ画を表紙にした「ジローの横本」も現在用意している。『バクマン。』のシリアスな笑って、谷口ジローのマンガのことを言うのではないのか？ と、最近思うようになり、『神々の山嶺』の「毒蛇と呼ばれた男」を描こうと思っている。

本人たちは真面目にやっているけど、「ブワハハハッ」と笑ってしま…谷口ジローさんが見ていたら、気分を悪くすると思うので、笑ってはいない。

後は、「メガネ…」の追加修正は、ちょっと手違いでポットキャストを聴けていない時期があり、更新が遅れていたが、そろそろ。

閲覧数は少なくなっている。

正確には閲覧者数を絞っている。

これだけ絞れば、真似されることも無いだろう。

過疎ってしまったけど、これでいい。

バンナムとか、スクエニに真似されるとか嫌だしね。

これからは、そういうことが無いと思うので、まずは一安心だ。

2016年4月7日 今月はムリをしよう

「ラカン派はどうしてポトラッチが好きなのだろう？」

答えはメキシコ的だからだけど、そんな仏系哲学に興味がある知的クレイジーは世の中にいないので、話は更新情報誌らしく、更新情報となる。

「MEN'S ONLY01」が追加・修正されているはず。

パロディでやってる「社長が訊く」の四コママンガは八本のつもりが、十本になってしまい、後半五本が4コママンガの後半じゃなくて、「MEN'S ONLY03」の四コマのコーナーに収録になってしまった。

任天堂をディスリスペクトした、悪口しか書かれていないので、「あの話、どうなったんだ？ 責任者が社長になったから、もみ消すの？」ということである。

「セヴンスリーワン」も24ページにあたる原稿がカラーに、25ページにあたるラフ画にセリフが。こんな更新があっとうれしいな。

「販促」の方も、ちょっと修正した。

「ギャング☆」は「ぎゃんぐすた」と読むけど、ムリをしないと『あり思』の今月の更新分が間に合わない。その内容も『遊びと人間』を読めばいい話で、カイヨワのフランス中心主義が無

い方だから、思想的にもそんなに悪影響がない。

そういえば、「フランス中心主義の敗仏」を直し忘れていた。

「大きな声では言えないけど、ぱふぱふは四月から『青』と『赤』、『金』と『銀』のポケットモンスターみたいになるため、一時公開せず、再度の公開時にリニューアルになる」

「アメリカスラングのポケットモンスターということ？」

「正解！ お金を払わないと『本当の卒業式』読めなくなったね」

3月の更新情報

2016年3月30日 「これって、こうじゃない？」

下書きだけかもしれない。

『ありえない未来の思い出たち』第二巻、「ルールラーニングストーリー」の今月の追加・修正は、下書きだけかもしれない。

いいじゃないか。

『ハンターかけるハンター』の連載のように、下書きでもいい。

掲載されているのだから。

レベルの低いゲームクリエーションのことが描かれている、たいしたことがないマンガだし、「よくわかる『遊びと人間』 パイディアとルドウス」を2ページから4ページに拡大する、急な構成変更がわかりやすい遅れの原因となった。後半の2ページが次回に持ち越しになってしまった。

遊戯（パイディア）と闘技（ルドウス）は、実は微分積分で曲線の部分を拡大していくと、同じ曲線部になると…これは無限小の説明か。「社長が訊く」のパロディの方でも語る予定で、そこが追加されて無いとなると…まあいいや。

微分積分の話題を出したのは…たとえこういうことを知っていても、ゲーム開発の現場では役に立たない。サイバーコネクトツーが証明している。「泣くまで叩くのをやめない」とか、そういうこと。

こちらは、ディオの側でいいわけだ。

ゲーム会社に入社できなかった人間の描く事だから、たいしたことは無い。

それはサイバーコネクトツーが裏付けしてくれたから、そんな人間の描くマンガが遅れても、誰も困らない。

「よかったね」

でも、社長が出たがりで悪目立ちしていると、部下が苦労する。あんな奴社長にすえて、部下が有能でないはずが無い。どこかの社長はヤクザに借金返すために内臓売って、短命だったりするから、大変である。（「悪い噂」を流してないか？）

2016年3月21日の更新情報

「何にもねえよ」

と、更新するのが、遅れているのを読者にやつあたりするのは、良くないだろう。

販促で画像が足されているかもしれない。

ドラクエテキストを書く人の労働力の評価って非正規の社員契約だとスクウェア・エニックスは、評価を出している。

食えていけなくなるわけだ。

パッケージソフトでこれから働こうとする人は、かなりしんどいだろうね。

たとえ、スマートフォン向けのアプリゲームでも、ものすごい一極集中だから、その一極集中のソフトでない場合、ず〜と非正規社員として暮らしていかないといけない。

つまり、「堀井のブンブン調査」で画像を付け足した程度しか、更新情報が無い。

皆さんに悲しいお知らせは、島本慶さんのテキストを押さえることができず、代わりに春日太一さんの『あかんやつら』から、仕方なくプロデューサーが好きな『ゴッドファーザー』の生首シーンのところを引用することにした。

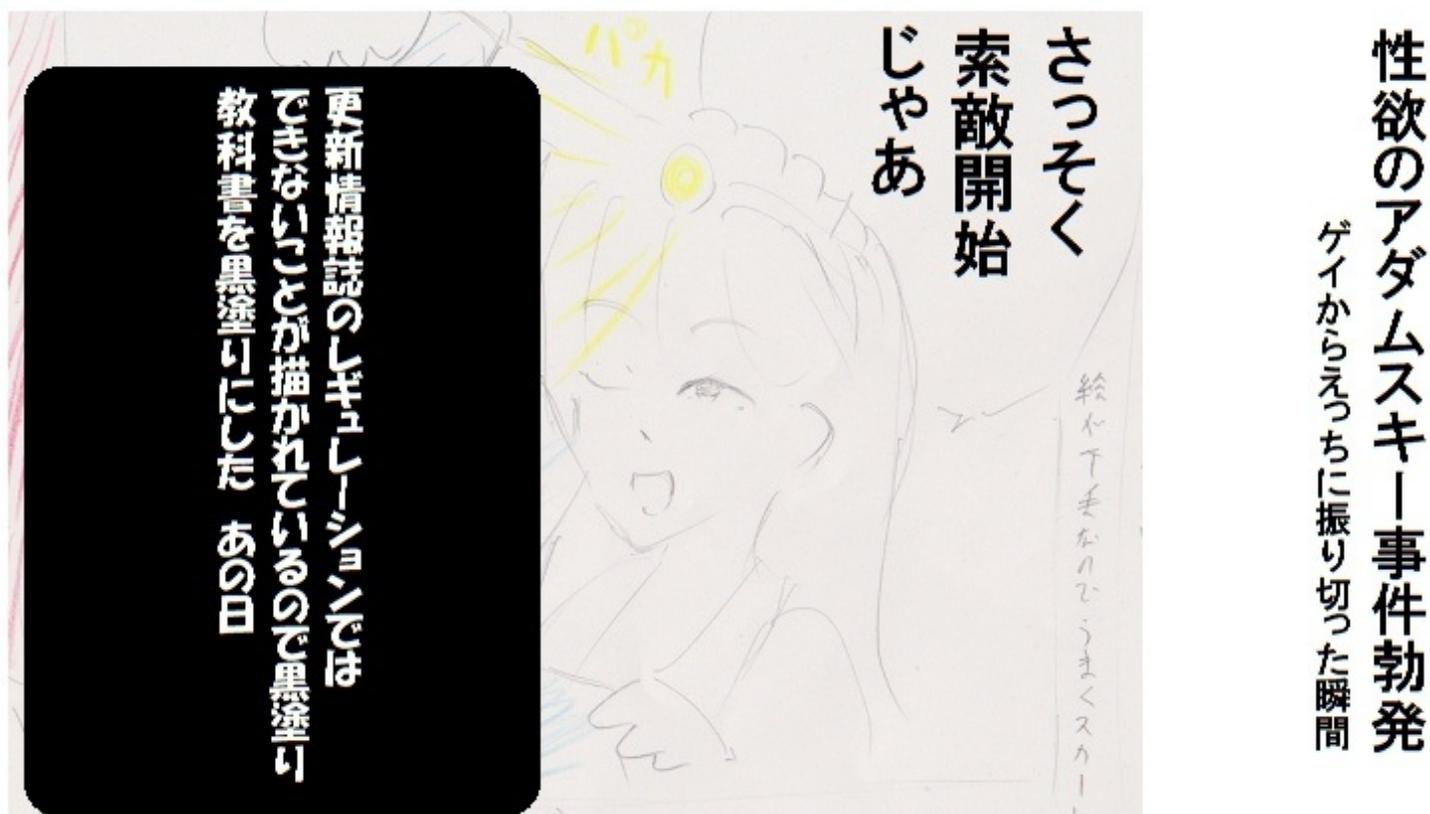
こんなことでいいのだろうか。

2016年3月14日 「唯ちゃんに浮気してゴメンね」

「セヴンスリーワン」で先月、忙しくて、けっこうギリギリだったので、修正箇所がいくつか見付き、修正をした。

豪華にも、「販促！文章読本」は、「製作途中の記事掲載」で二本立てである。

「真・超人対戦」の「付録 ポケモン図鑑」が追加・修正された。ポケモン青をプレイしたのでこれを経費に計上するために、いやいや記事を書いた。



最近、浮気とか不倫に厳しい。

私も「小倉唯に浮気」をしていた。夢の中で火傷した指に軟膏を塗った。

これでは夢金じゃなくてやおきんである。

気になってしまい、いろいろ噂を聞くと彼女が成人女性であることを知って、ほっと胸をなでおろした。あれだけ「ロリコン！」「ロリコン野郎」「お前海外だったら確実に捕まるぞ」「フ

ンボルトはオレのだっ」と、偉いプロデューサーを罵っていたのに、自分が成人に達していない女性（未成年）に、何かするのは夢でももう条例が許さない。未成年者略取という言葉もある。

（…あの話題をしたら、雑誌「アーススター」の連載が急に止まった）

東方プロジェクトをちょっと著作権を考えないで作っていた人たちは『艦隊これくしょん』が出てきたら裏切って、その裏切りに怒った東方ファンが東方警察化したみたい（わざわざ説明して東方警察の4コママンガが面白いことを啓蒙）に、私も「俺嫁警察」みたいなものに、何かされるのだろうか？

連載では、有野課長と同じ日の誕生日を皆に祝ってもらっているから、「塩パンを食べてみる」とか言って、塩パンを送りつけたりしない。冷蔵庫に入りきらない迷惑である。

大丈夫。

そもそも別に婚姻関係を結んでいるわけじゃないから。唯ちゃんに浮気しても、陣内くんが親族会議にはかられて、反省して結婚を継続する方向だったのに、また浮気して家庭を壊した北新地の悪夢みたいなことはない。

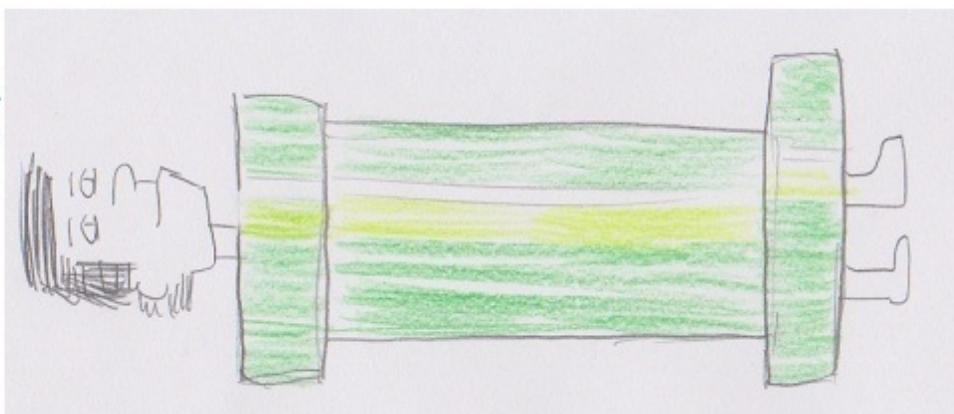
それでCMで金髪になっているのを見かける度に笑う。あるテレビアニメでフェイト君となのは君が遊んでいる「恋愛サーキュレーション」（なんであの状態でしゃべれる？）の元ネタの曲が流れる度に笑う。

「ルールラーニングストーリー」は、サマルトリアの王子の真似をして、じらしているのではなく、東方警察っぽいことになったと思ってくれればいいのでは？ 唯ちゃんに浮気するような、コウガミ君みたいな奴なんだよ。途上国で政府転覆のゲリラを組織化するような、手におえない狂犬になりたい。

pickUP Podcast update

土管の人

宮永一朗リスペクト



卓球マンガは

萩村伊智朗リスペクト

2016年3月8日 横本を少し修正・追加したよ！

「横本」のデビルフィッシュとオルカが更新されている。

横本の更新情報は、たいして書いていないように、たいして更新がないときに「更新したよ」と書かれる。

「ルールラーニングストーリー」は、サマルトリアの王子の真似をして、じらしているのではなく、宮崎駿流のことは「生産力が無い」ので、まだ下書きにペン入れをしていない。

本当にしていない。

「信じて下さい。クリエイターとして苦悩しているんです！」

「Shaon」を作るのが面倒だ。

なにが面倒って、前書きあたりでも書いているけど、読者の美術の知識がどこまであるかわからないし、論文を読み返すほど手間をかけたくないし、面倒だ。

随筆ですぐ終わらせるばすの「プラトニズムの美しい擬態」も、少し本を読むと、「えっ？ そうだったの！」ということがわかってしまい、筆が鈍る。美学って美術的な哲学ということで、認識違いじゃないかとか、「また修正かよ」という日々を送っている。

そもそも随筆と批評の中間で、やることが多い。

まあ、完成しなくてもたいしたことは無いが、『世界樹の迷宮』のゲームレビューのように永遠に完成しなくても、まったくもって、影響は無い。ここでアトラスを甘やかしたら、アトラスがだめになる。「セガ以外のスポンサーを今から探しておけ」とか、余計なことは言わないけど、本音を言うとダメになっても、それはしょうがない。

『世界樹の迷宮』のタイトルブランドが無くなったら、それはそれで。

「日本の新しいウィズの夜明けぜよ」（グリムガルのゲーム化とかね）

アトラスを甘やかしちゃ、ダメ！

2月の更新情報

うるう年2月うるう日 褒めて足元をすくおうとしている

間に合ったか？

うるう日があるおかげで、『ありえない思い出たち』第二巻の「ルーラーニングストーリー」の更新はできたか？ 「セヴンスリーワン」は大丈夫か？

ダメだったか？

とりあえず、ペン入れせずに鉛筆のままのものが多かったと思う。

アップルIIを描くところを忘れていると思う。

それは見てのお楽しみということで、今年うるう年で本当によかった。

更新情報誌を読み返してもらおうとわかるが、二月は毎年毎年、日二チが足りないと書いていたはず。

「販促！文章読本」が更新されている。

「MEN'S ONLY01」も修正されている。

なんとかがんばって、この程度である。

それにしても、今月の「ゲームラボ」の多根清史の記事は珍しくよかったなあ。自分にはアニメ音響の知識で、ところどころ抜けていたところがあったから、なるほどと思う事が多々あった。

たまにはいい記事を書くんだなあ。

『響け！ユーフォニアム』と同じことを『坂道のアポロン』ではやっていたのか、知らなかった。

もう、褒めるところしかないよ。（後日になって追記するが、キース・エマーソンのことはデス記事になってしまったが、そこは褒められない）

「ポケモンをプレイして、『これは青や赤、金や銀を作らないといけない』と思った」

「緑は？ パールは？ パールは真珠だけど、それはいいの？ それからアマゾンで『GAME REVIEW COMPLEX Vol.1』が無料配信になっているって、知ってるか？」

2016年2月16日の更新情報

ばたばたして、前回の更新がうまくいっていなかった。2月12日の日に更新したのに、13日になっていた。

まったく、うっかりしていた。

今月はそういえば、2月で28日しかない。これでは『ありえない未来の思い出たち』はムリだ。・・・ちょっとカレンダーを見たら、うるう年だから今月は29日ある。今月が38日だったら、よかったのに。「ルーラーニングストーリー」にペン入れもできたろうに。

「ということで、横本 (sidebook) ぐらいしか、更新していません」

話に出ている戦術コーディネーターやジュピターサイクル日光に乗る女の子の正式名称を決めておらず、とりあえず戦争屋アリスや通称日光ちゃん (もう略してニコちゃん→徳井青空→紅白欠場) などのふざけた呼び名で呼んでいる。

これで、いいのだろうか？

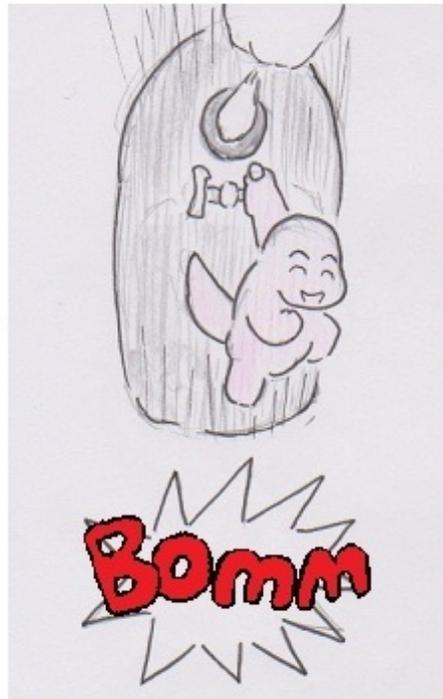
別に正式にテレビ放映されて玩具が出て、子供たちの口にニセの宇宙食としてやおきんが出しているお菓子によく似たうまい棒が入るわけじゃないから、大丈夫だろう。

初めから『クロスアンジュ』と勝負にならないじゃないか。海洋堂に近づくのは、グッドスマイルカンパニーとの二股外交にならないのか、心配される向きもあるが、女性キャラクターとロボットは別々に原形を作ると思うから、二股にならない。

二股になったのは、…別になんでもない。

code megane

水平線代わり



うまい
棒

2016年2月12日 みんな仲良くやろうね

それにしても、更新情報が少ない。

「販促！」の「日記的に制作進行を」を書き忘れてたり、

「セヴンスリーワン」のページで気に食わないところは修正した。「ルールラーニングストーリー」は修正してない。アニメ制作時のクレーン撮影の仕組みも、描けていない。そもそも、「ルールラーニングストーリー」の最後らへんをまだ描けていない。

そういえば、「販促」の方は「日記的に制作進行を」で足したと思う。もうすぐ、あとすこしで、なんとか、やっと「PickUP!文読」が出来そう。と、コピー&ペーストしてしまったが、忘れていた画像が付け足されているはず。

意外にも、一コマと一段落は一致していたため、パターンで説明するのにわざわざ作図した。三島と堤さんなんだけど、あんまりやりすぎると、著作権的に問題があると思うので、ああした

絵になった。

横本は「烏賊」と「鯨」、どちらも少し追加や修正した。

烏賊効果かぁ。昔はアニメや特撮の中にCGが出てくるのが、異化効果だったのに、今はリメイクの『サンダーバード』でたまにミニチュア撮影のカットが出てくると、「あれっ？」と思うようになってしまった。コンピュータ映像に馴らされている。

それから横本とはサイドブックのことである。

やっぱりサンダーバードはプロペラ機の六号だよね。レーダーに映らないから、S号と同じ機能を有している優れもの。なんだっけ？ 北朝鮮の航空部隊も、同じ兵器を備えているらしい。プロペラ機が原発を狙ってくる。

2016年2月4日 更新したけど、何もない。何も無いよー。

何も更新していない時は、横本の「イカ」と「シャチ」を更新している。

他はとくに。

そういえば、「販促」の方は「日記的に制作進行を」で足したと思う。もうすぐ、あとすこしで、なんとか、やっと「PickUP!文読」が出来そう。無料品と商品の間、無料と有料の皮膜、アイスの…今週の「アサヒ芸能」を隅から隅まで読んだら、日本の一人あたりの工業生産力は中国の四倍以上らしい。

日記 → 「側溝にはまっているのは、『未来ちゃん』以来だ」

清原の薬物問題については、実は擁護派だった。

現役時代に出来た傷が元で痛みがあり、痛み止めを飲んでいるのを、皆がそちらの薬物使用と勘違いしていたと、思いたかった。面白おかしく書き立てているだけと思いたかった。桑田と同じ気持ち。「桑田の気持ちはオレが一番わかってる」と、テラさんの気持ちを自分がわかっているという錯覚のようなことを言い出す。

これが薬に手を出すと、幻覚。

2016年1月28日 キミは「まんがぱれっと」を読んできたか？

そんな読んでない奴なんて、ダメだ。

ダメだ、ダメだ、ダメだ。

「内村プロデュース」なら「そんなお前らをプロデュースッ」となるが、更新情報である。

『ありえない未来の思い出たち』第二巻の「セヴンスリーワン」の章にマンガの続きがアップされているはず。「ルールラーニングストーリー」の更新は無い。

そこはウニャムニャにしてほしい。

後は横本の「イカ」と「シャチ」がわずかに更新されているはずだ。

わざわざ、苺を買ってきて、ソーダ水につけて撮影した、はず。

これだけの手間は、他ではかけられない。はず。

はず、はずと、ばかり書いているが、キミはちゃんと更新情報に書いてあるとおりに、電子書籍を見ているか？ 閲覧数があまり少ないので、誰も見ていない可能性がある。（やっぱり女の子を締め出したのがよくなかったかな？）

これは、アマゾンの方を本格的にしないといけませんなあ。

「リベルティーナたちの命懸けの飛翔」は書き上げるのが、長くなるんじゃないかなあと、漠然と思っていたら、本当に長くなってしまった。懸念していたとおりになってしまった。

よくない。

アニメレビューの電子書籍として独立させようかとは思うけど、女の人にとっては、サービスが悪いものだから。（赤髪ちゃんみたいなキャリア女性がプリンセスになっても、幸せになれるのはおとぎ話の中だけって、みんな知っているのをわざわざ突きつけたくない）

サービスをついでにすると、『あり思 未完全版』の第一巻が1月30日に無料配信されるはず。容量が多いので海外では3ドルぐらいで売られるらしいので、国内もそれに合わせて、本体価格300円ぐらいで売ることになってしまった。だから今までの無料配信とは消費者として意味が違うと思う。

まんがぱれっとの発売日 「皆、買わなくていいからまず読んでみてください」

ざっと、今日更新したのは、次の通りである。

「マンガレビュー 男が男に惚れる 『ゴーマニズム宣言・大東亜論 巨傑誕生編』小林よしのり」を修正して、まだ完成していない。

『Shaon』の「design is dead」に四コマを足した。テキストもそれらしく、まだなっていない。

「MEN'S ONLY01」の日記は修正した。

「販促！文章読本」をいろいろ、いろいろありすぎて、何をしたか忘れた。

横本も「お直しです」と落語「お直し」のように直しておいたが、別にいい。

おぎやはぎさんがバナナマンと仲良くなると、プロデューサーたちに褒めてくれるから、バナナマンと仲良くなった方がいいと同じで、私と仲良くなった方がいいよ。

こんなボクだから
吉浦主導で互助会を作ればいい
のに 互助会運営「ストも手間ヒマも
全て吉浦持ち 一番出世しているから



当日だったので、画像を用意す
るのに
時間がかかり 遅れてしまって
申し訳ありません



バナナマンに嫌われると悪口を
言われるように投稿欄に採用さ
れないことで同人小説が止まっ
たり(嘘 嘘)

「自分からこういうこと、言わないじゃない？ つまり冗談だということ」

このセリフを書いておかないと、真に受ける人(馬鹿)がいるから、書いておかないと。

「ユーカリ・オセアニクスさんは、ゆかり先生ということなの？ メガネをかけていて、じゃあ親戚にぼたんちゃんがいるの？」

「しっ！ 勝手に裏設定作っているって、バレちゃうだろう」

2016年1月8日 更新してないよ

少し「MEN'S ONLY01」を少し修正した。

横本の「シャチ」の方、春日太一さんの新著の広告画像を置いた。

そろそろ、「GRC」のボリューム2辺りを少しやりたい。

何もしていないわけではない。

同じ内容のメモを何度も書いたり、調べ物をしたけれど取材に行くとご本人に迷惑になるだろ
うから控えようと決めたり、「遊戯理科学・幽環派」はペインティングしたいなと思ったり、別
にゲームとかしない人にはどうでもいい、話である。

たとえば、1992年あたりの公園法改正で、新しい住宅区画をした所には機能性の無い狭小公園
を作ってしまった。80年代から仙田先生などが提唱したこどもの遊び場としての公園敷地面積の
海外との格差を埋めるために公園を増やすはずの法律だったのに、うまいぐあいにオチがついた
。(大店舗法でモール小説が生まれゾンビものが再燃したようなもの)

お役所は実質や現場より、数字上の帳尻さえあえば、いいのだろう。

あとは『ガンパレードマーチ』の話をするから占守島防衛の資料をおさえれば、だいたいOK

。(つまり下調べがまだすんでない)

今年は谷崎の文読が著作権失効で、それは「販促」の日記にも書いてあるけど、まだ更新していないけど、今年中になんとか出さないと。

これ、皆、ゴーストライティングさせるわけだよ。

年度末に、売り上げ調整とかしないといけないから、原稿を落とすといろいろ影響が及ぶから、幽霊作家を使って本をデッチ上げるわけだ。

それで「宇治十帖は違う奴書いてんじゃねえか」とか、ウォルシンガムが部下にあることをさせているとか、いろいろ幽霊作家論をやらないと引用文問題はけっこう苦しいことになった。

このテーマが無いと、今回やらなかったけど。

1月2日の更新情報にあった、クメダルマ親方はナメダルマ親方を間違えたものです。訂正します。関係者各位にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫びいたします。

2016年1月2日 皆、発売日は一月二十九日だからね

今年も、福袋は無し。

普段有料配信の電書を、無料配布することも無し。

試してみても、あまり意味が無いようである。

そういう残念なことを正月から書くのは気が引けるが、事実はどうしょうもない。

ということで「メンズオンリー01」が更新されているはず。

「Puboo×Paboo2015」も「今までの事実誤認修正」に画像が足されているはず。

「サイドブック オルカ」という本がアップしたが、大丈夫。

それほど、宣伝活動はしていないから。

うん。(ついでに「烏賊」の方も少し変えた)

別に文読の発売日を表すわけじゃないけど、「販促！文章読本」の日記あたりが更新され、クメダルマ親方の文章を控え忘れていたことが発覚した。

それにしても、たとえ電子書籍でも真面目に書いたら、一年かかる。でもゴーストライティングさせていない、証拠になっている。この日記自体が。

その結果はよかったのではないかな？

「ゆかり先生、うまい棒食ってる。違うものを食べていたと思った」

「みんな、騙すことをできるよね？ モザイクと黒塗りすれば」

「騙しつつで、女の子は「女の子向けパブパブ」と「ぼふぼふ」「ぼふぼふ2」しか読まないわけじゃない？ 新一くんと舞子さんが何者か知らないんだよ。知らないまままでいるんだ。情報分けすることによって読者を騙しているだろうか」

「そんなことよりメガネの話題だろう。藍」

今までの更新情報はこちら

[MEN'S ONLY01](#)

2015年7月～12月までの更新情報を収録

[書評 四方田いしかわ関谷](#)

[随筆 楽しい幻想小説](#)

[批評 リベルティーナたちの命懸けの飛翔](#)

[日記 さよなら、岩田社長](#)

[日記 ネコの写真を撮ったよ](#)

[日記 角度の話](#)

FREE GRC vol.1

収録記事

- ・大足派の避難場所
- ・鬼切り鶴子の因縁語り
- ・テレビジョンの仮想敵
- ・映「割」のラマヌジャン

GAME REVIEW COMPLEX

amazonKindle版には ^{vol.1}
・トマス・デイとその仲間たち
・任天堂自社株買い問題
も収録されている

GAME REVIEW COMPLEX

[ブクログのページ](#)

[アマゾン キンドルストア](#)

[ワンダフルデイズ 上](#)

[ワンダフルデイズ 下](#)

[Cherry etc. 上](#)

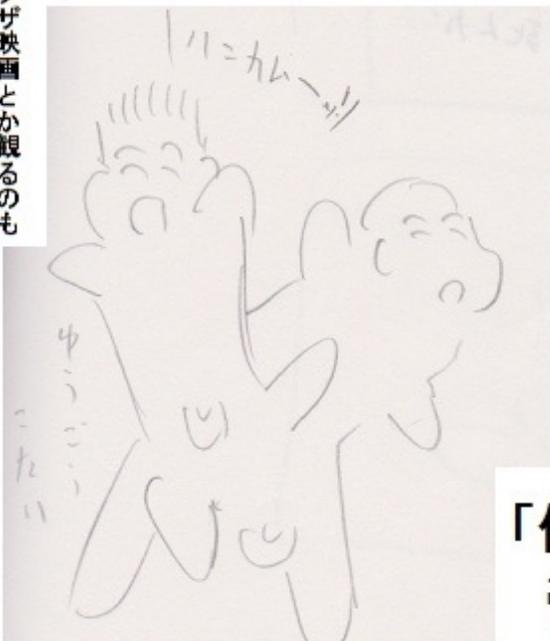
[Cherry etc. 下](#)

こんな見た目の春日太一さんは
今年(2016)「オレたちのB」論」
をサンキョータツオさんとの
共著で発売します

「カードキョウターセウ」が
好きな春日太一さんのため「買いなさい」

勝手に広告 のコーナー

「僕たちも応援してます
帯に出してよ☆」



ヤクザ映画とか観るのも
ヤクザにリクルートされそうに
なったことがあったからでは……

日記

月刊MVP受賞

一月 ベッキー

二月 清原

三月 高木と乙武と安村

(内、乙武と安村はゲリピーオブザマンディも同時受賞)

広告欄

少年漫画家よ 若葉の下にて
永遠に眠れ

アマゾン パーパーにて配信

マンガレビュースペシャル
兄になりたかった人
持論の寺田ヒロオ評



もうちょっと、真面目に製作的なことを話すべきだと思う。

今まではグチグチグチグチ言ってばかりいたと思う。

それは控えよう。

まだ「ルールラーニングストーリー」のページがラフだったり、セリフがなかったりしているかもしれない。

「それは、まあ、いいじゃないですか」

人生、そんなにうまくいかないし（以後二万字、グチグチグチ愚痴が続く）東方警察に捕まっていたということで、もうこの話はオワリ。

『あり思』は自己啓発本ではない。読み終わったらアップーな気分になるものじゃないから始めたら、ダウンナーな入り口にしている。少年漫画の読者を相手にしているわけじゃない。

少年マンガを否定したところに、立っているのだから。

サイバーコネクトツターの松山洋が「最近クソゲーってないよね」とイベント（岸辺露判のカッコしていたとき）で発言し、ジョジョの新作格闘ゲームを出したら、その酷い内容にアマゾンのカスタマレビューで無限コンボで叩かれ、ピョコタンに糾弾される。年末に出た次作も前作の初週の10分の一しか売れていない。こういう人間はだいたい部下の責任にしがち。「社長のオメエが悪いんだ」と誰かに言われても、目が覚めないかもしれない。ゲームマスコミが自分を支持してくれるとか、そういうものはアテにならない。松山洋の伏線回収。

佐野研二郎君の臭いがする。スピードワゴンよろしく「こいつはくせえ。佐野研二郎以上の臭いがするぜ」と、机の上の変なポージングした人のフィギュアを蹴る。

前振り通りの話をすると、自分は『おおきく振りかぶって』の呂佳さんと同じなんじゃないかと、思ってしまう。「夏の大会編」の放送中に『あり思』の第一巻を描き始めたと思うけど、「オレは呂佳さんだ」と思うほどシンパシーを感じた。

これは冗談が過ぎるかもしれないけど、結果的にそうになったら…別に責任はとらないけど、仕方ない。勝ち残っていくためには、他者を蹴落として勝ち登っていくのが最優先されるなら、対戦相手を怪我させて勝つというのも、当然すべきことだと、実は部活動で教えている。それで何が起きているか、バカでなければわかる。マスメディアではスポーツ善導主義的なフィクションを流通させてきた。それはいいのか？

話を戻す。『風雲児たち 幕末編』でも、カニ文字を読めない人たちが蘭学に脱落していくシーンが描かれるじゃない？ あの脱落していく人たちが私であって、けして村田蔵六や高野長英や前野良沢じゃない。だから遊郭で遊ぶことを、勝鱗太郎は許してしまう。

お金が回らないと、成りあがれはしない。

お父さんが好きな実話系雑誌みたいなことを書くと更科さんの言うとおりに、業界にヤクザマネーが流入している内は、その業界が活況を呈して、ある程度の実力があればそれなりに出てこれたと思う。

『インベスターZ』では語られず、『ギャングース』では語られるのが、ヤクザマネーの話だ。

NHKの特集番組「ヤクザマネー」でもあったように、IT関係にも資金を流していたらしい

。それはITバブルがあったのではなく、「IT関係は今、買いだ」と暴力団組織が資金を出したのが実態なのでは？ ITバブルと叫ばれる頃には、資金を回収しはじめていたのではないのか？ IT会社への貸し剥がしである。金融業界のことを知っていれば銀行法が変わって自己資本比率などを問題視され、不良化しそうな債権をノンバンク、たぶん表向きノンバンクの看板を掲げた企業舎弟に買い取らせた。そのノンバンクが貸し剥がしを起こして、社会問題化したのである。

これを考えるに、堤さんがセゾン・グループのために自己資産100億をあてたというのは、エラかった。弟の方がもっと払わなくちゃならないことになったのは、まるで盛者必衰の理のようだ。それで堤家の影響からセゾン・グループが離れるのは、結果的にいいのではないかと思う。

ちょっと脱線した。こんな制作日誌を書いているより、ペン入れした方がいいよね。

つまり、ライブドア事件の裏側には、消えた資金があるらしく、それがあから野口氏に自死を促す、サッカーシャツに包まれた得物を渡した誰かがいたという（飛行機に乗っているから刃物は所持できず沖縄で店に寄った形跡が無い以上誰かに渡された）、多少陰謀論も混じっているかもしれないが、この件のライブドアの資金の流れを追ってドキュメントを作ると、ヤクザマネーに突き当たったと。

良識派はちゃんと批判するべき。

暴力団の資金源になるものを子供たちに買わせていいのか？

それを発言すると、デジキューブに銃弾が撃ちこまれるみたいに、暴力団対策法に抵触する活動をされる。だから、揶揄に止めていたとしたら、そんな腰抜けがビデオゲームを批判するな。

昔から高橋健二の『スーパーファミコン 任天堂の陰謀』にて「おたくが作ったソフトを、ヤクザが売る」としているし、鈴木みそ先生の『おとなのしくみ』でも、一コマ人相の悪い人が出てきて、ほのめかしはあった。

ヤクザのしのぎになっているっていうのは、子供の頃からなんとなく知っていた。今はその仕組みもだいたいわかっている。

私は悪魔に魂を売ってでも才能が欲しいという人間だから、ヤクザマネーでソフトを作れと言われたら作る。そうした有象無象の一人にすぎない。『ロードス島戦記』でカーラのサークレットを被ってしまうウッドチャックと同じで、「オレには何もないんだ」と、言う側に立つ人間だからだ。

残念だけど、出された資金は回収できない。コンシューマ市場ではそうなったと百万人がわかっている。

だから、ヤクザマネーでソフト開発するというのは、無くなった。

多くの一般の会社を装った企業舎弟（これもNHKスペシャルで広まった言葉）が、ソフト開発・流通をしていて、小売店にソフトを押し売りさせていた時代があったらう。逆に全国チェーンを持っている側だと人気ソフトを押し買いしていたかもしれない。

それでPS時代に追い出されて、デジキューブに銃弾を撃ちこんで、威力業務妨害をして最終的に終わった…と思う。思えば、この辺りでゲーム業界に資金を引き上げる逆回転が起きた。

のかは、まだわかっていない。

そこで市場から資金を調達するために考え出した案が、ほぼ個人輸入に留まっていたマジコンを本格的に輸入して、市場破壊を試みたのでは？　ともかく、上納金を出すのが苦しいから、自滅的なレミングの大打進みたいになっていたのかを、調べるのはゲームマスコミの仕事だ。

金をもらっていないのに、ただでそんな情報は手に入らない。だから、この情報に信憑性は無い。

それにしても、ラインは韓国資本で、開発したのは、絶対に忘れちゃいけない。ダーティマネーで開発運転資金をまかなわなくて、よかった。（排外主義ナショナリストにとっては十分ダーティマネーだけだね）

いろいろ事情があると思うが、パチンコに近いのでは？　これは韓国側にちゃんと感謝しないとイケない。ところが宗主国人意識があるとそれが出来ない。ネタつぶしになるとイケないから、名指ししないけど、ある投資マンガで日本ではスター投資家はいないとかいっていたが、ラインの件だけで日本にスター投資家はおらず、韓国にいる。『テルマエ・ロマエ』に描かれているように、変な宗主国人意識があるとかえって停滞する。だから亜細亜主義を支持する。

『ありえない未来の思い出たち』の第二巻のメイキングのような話をしよう。

答えが書いてある。

解像度×色数の…この場合ビット数（穿孔数）かな、絵の具の数通称パレットで、マンガでは一応色数にしたけど、これは「シェイクスピアロマン」のステータスの答えになっている。それであのデベロッパーだと。どうしてあーゆーゲームシステムでn値があるか、まあゲームシャーロックアンだからわかる。「ゲーム夜話」みたいな番組があったら、一コーナーで「xとyの解像度の升目の中、そこに色ブロックをはめる」と語るだろう。

そうでなかったら、「イムズとアリスの夢冒険」を書いたりしない。

「ファイアーエムブレム if の宝石と食材で気づいたんですよ」

ただ、こうしたゲーム研究は、現場では役に立たない。ゲーム会社に、サイバーコネクトツーに入社できなかったから、わかりやすい尺度が出来ただろう。

この話も四巻で保留して七巻で回収するのを書き忘れるかもしれない。その前にだいたいバレてしまう。

五社はイヤだ。

五社だけはイヤだ。

とくに松山（呼び捨て）はイヤだ。松山の伏線回収。

『バーチャレーシング』の話題が出たから、レーザークレーの話をする、もしかしたらテスト版のF1シミュレーターと同じで、クレー射撃の選手が褒める再現性だと、初心者がダメでは？

初見殺しだったのか、それは調べられなかった。

恨み節を繰り返すけど、卒業研究で当時任天堂レジャーシステムに出向していた上村雅之さんに話を聞く準備をすすめていた。ちょうどタイミング的にも同志社の教授を退職して取材にあげられる時間が出来たはずだと思うけど。

それはダメにされた。

上村さんにはまったく責任が無い。

こちら側の責任だ。

はっきり書けば、担当教諭が小保方晴子みたいな奴だった。それがゲーム史・ゲーム研究に悪影響を及ぼしてしまうかはわからない。「わからない」という表現に止めておく。(すでに悪影響なんて、出ている)

女子禁制にしたのも、「お前、気持ち悪いから読むな」とずっとメッセージを送っていた。

この部分は、カットしていた。

これを入れると、女子禁制にしておく他無い。ルールを守ろう。

そういえば、ちょっと話を盛った部分はある。

鈴木裕と渡辺浩武が話していて、“「セナはすごい。人間ではない」”とあるのを、「セナは人間じゃねえ！」にしちゃったけど、これはお笑い芸人が話を少し盛ったと思ってほしい。

山崎静代が山里亮太をネタの披露中になぐって、失神させた件があるけど、話をちょっと面白くして、「これはクリリンの分」と言われながらぶんなぐられて山ちゃんが失神した方が、面白いだろ？

自分が佐野研二郎だと認めるまで殴るのをやめない方が面白いだろう。

話を戻そう。

ネームを切るというけど、下書きが失敗しても、紙を切って切り貼りするというのが、当たり前だから、でも新しい世代はわからない人もいる。

ネームは切り貼りするものなのである。

たまたま学童向けのさんすうノートで大きな方眼の升目があって、ネームが同サイズにできるという、利便性があった。それを二部コピーして、片方の升目通りに切り取って、糊ではめるとページごと編集できる。

これをやりすぎると、『魔女宅』の絵コンテみたいに切り貼りしすぎてワケがわからなくなると、宮崎駿がイタズラ書きで書いたようになる。後で、知的障害者の絵画を勝手に使ったことは、叱られないのかね。

ネームには、そんなにセリフ等の文字情報を書かない。ふきだしや四角内に線を引いておいて、あらかじめデータ入力してプリントアウトしたものとネームを付き合わせる。

だから文字量とスペースが合わなくて、第一巻では文字スペースに設けた四角の枠内に、はみ出した引用文がある。

「よわかりましたなあ、これは」

キャラクターのあたりや図形はちゃんと描いておかないと、原稿の下書きを描くとき、苦労する。

それにしても、専門的にはダメだ。デザイナーに見せれば説明が足りない(ドットグラフィックの説明が荒い)と言われるだろうし、プログラマーに見せれば説明が足りない(フローチャートの作りが雑すぎ)と言われるだろう。

音響に関しては、モーツァルトを封じ込めるところまでやっても、実際の現場ではそれ以上のことをやっているだろう。第一巻執筆開始時から技術進歩でもう売らなくなってきている。

プランナーには、一番見せちゃいけない。こう言われるに決まってる。

「こんなの書いた奴が作ったゲームが面白いわけねえだろ」

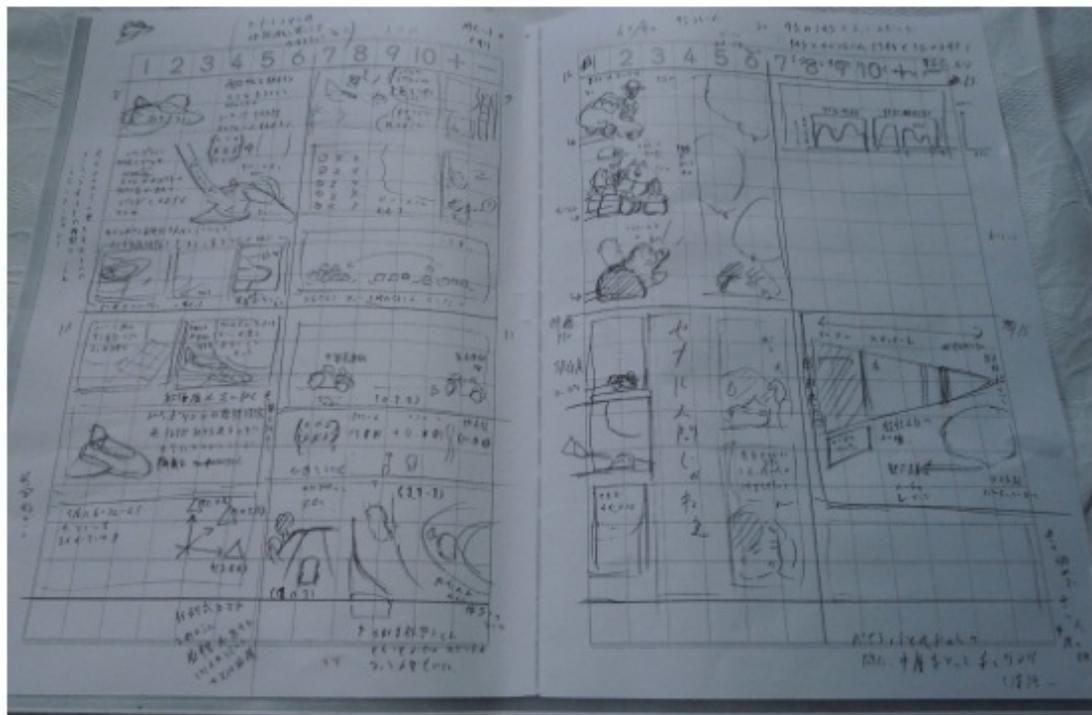
反駁できない。

悪目立ちしてる松山がトランプで新しいゲームを考案する梶田さんの出したお題通りにす

れば、731よりも面白いゲームは出来ちゃうわけだよ。情報としては731を越えるカードゲームを作れないと、サイバーコネクトツーに入社できない。サイバーコネクトツーがジョジョでも重要な素数を素材としたカードゲームを評価しないのは、特筆すべきだろう。伏線が回収されたのだ

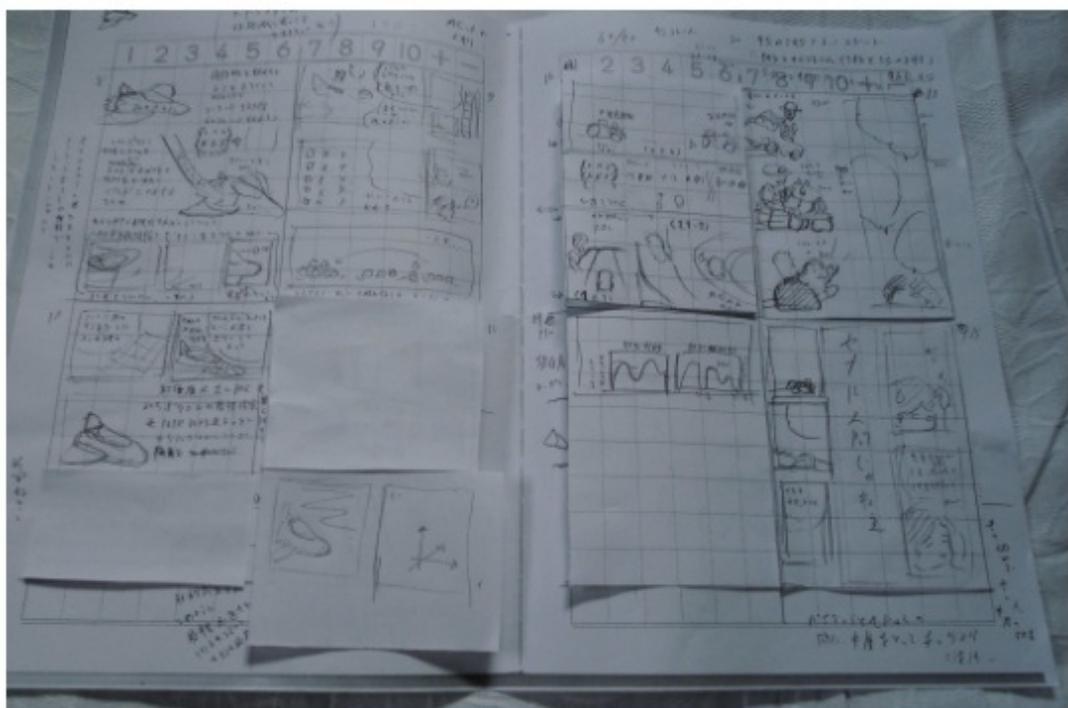
。

ノートの見開きを二部コピー
一部をページ大の升目に合わせて



↑ 写真のコピーした紙がもう一枚ある

カットした紙を
もう一部の上に貼り付ける



空白にしたいところには無地のメモ用紙を貼る

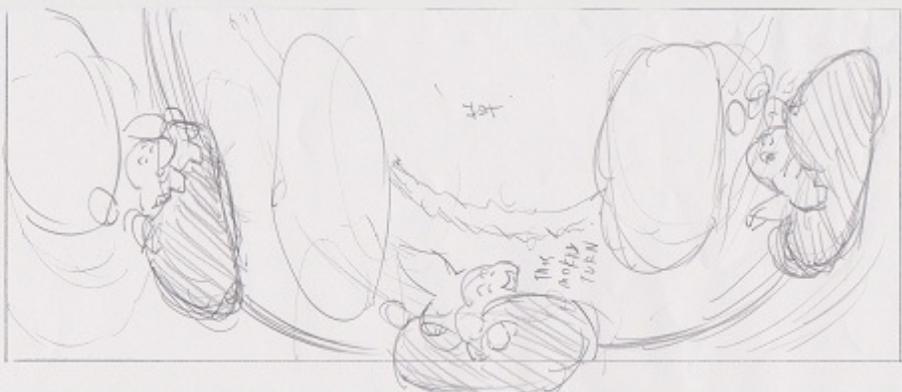
15ページは16ページにスライド

手塚治虫の単行本修正のようにできると
これがまさにネームを切る

たまたまノートが大きな升目でうまくいった

『ブラック・ジャック創作秘話』の原稿を
切り貼りして作り直すのに比べたら しょぼい

注: 紙の隅の文字は消して



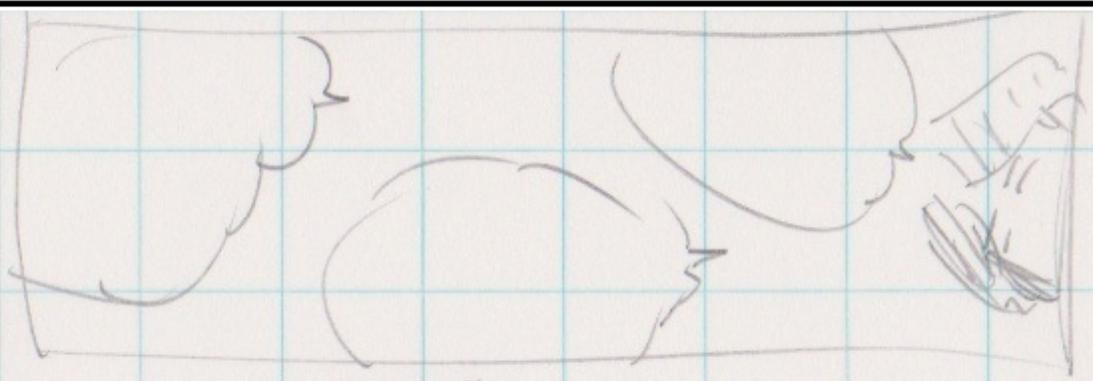
「脱字してるよ ネームの段階で気づいてよかたね

原稿のコマ
スペース内に
入るか
アタリをとって
コピーして
書き込んだら
なんとか
なるようだ

蒸気 (スチーム) が
スピーチスモッグ
と同じ役割をする



無地ノートに
こーいうのが
描けたから



ノートに描いたネーム
では自分だけど

宿便のように溜まっている1.2

宿便みたいに溜まっている。

ハードディスクプレイヤーに録画した映像ではなく、『ぼくらの経世済民』や『国民兵談』とか、作らなくちゃいけない電子書籍が多い。『第三ライトノベル』は『アスタリスク先生さえいればいい。』と見分けがつかなくなる問題があって、それでメモ書きが溜まっている。「結果的に経世済民じゃなくて経世済官みたいに不況だとなってしまう」とか、「ベーシックインカムは市民階級（市民権所持者）が起源でしょ？」とか、「結局、どの業界も企業舎弟が資金を出している時が隆盛で、資金回収で手を引いたらその業界は廃れる」とか、「吸血鬼ってこれをモンスタームしているんじゃないか？ だからキリスト教徒にとって最高の恥辱を与えている」そういう話をしたいけど、なかなかできない。

プレステからパソコンソフト、そしてマジコンまで射程に入れると、実は作った市場からカネを抜くために、マジックコンピュータを大規模に輸入しはじめたんじゃないかな？ みそ先生がマンガでギリギリ言えたのが「あんたたちは寄生虫だ」ということだったのでは？

そういうのは、実話系雑誌にも、書かれないじゃない？

お父さんは半裸の…暴力団の抗争は興味本位で知りたがるけどファミコンに興味無いじゃない？ 興味あるのは半裸よりも全裸、未婚者よりも既婚者じゃない？（具体的に言えない）

ハードディスクプレイヤーに実は宿便のように溜まっているものがある。

『御家人斬九郎』の最終回を、まだ全部観終わってない。

もう、終わっちゃうのが、さびしくて、『まんが家族』で大島父がRPGをクリアせずにいて、「クリアしたら冒険が終わっちゃうじゃないか」と、同じ気持ちだ。寂しい。（ついでにドラクエシリーズのイラストも発注できないので二重に寂しい私のせいじゃなくてスクウェア・エニックスの所為だからしょうがないよね）

いわくが多く、病み上がりの謙さんのカムバックを飾る作品だったのに、主役の病欠で13本（1クール分）持たなくて第一シリーズを終えたり、撮影を終えたらゲスト俳優が亡くなったり（放送順番入れ替え）、石原良純が刀で斬られて「天気予報してた」と言わなかったけど田中国衛が二回目の出演でフランキー堺が鬼平で二回出ているみたいになって、けっこう撮影秘話がある。

撮影そのものといえば『斬九郎』はスーパー16という、16ミリフィルムに音声情報を入れるところまで画像を焼くカメラで撮影しているから、90年代の作品なのにハイビジョン放映に耐えられるアスペクト比になっている。（『鬼平』の後半のシリーズや『剣客商売』で使用されているだろう）

時代劇ファンだから、覚えているのである。

放送も終わったからいえるけど、結局新時代には敵わず、渡辺謙が人力車を引いていくエンディングが、録画はまだ観ていないけど本放送の頃から憶えていて、結果的にテレビドラマとしての時代劇がゴールデンタイムから退場していくのを表している。退場先には「時代劇から昭和ノスタルジー」の流れがあるらしいのだが、そちら方面に行ってしまった。（『天保異聞』から『

超人幻想』になったみたいに)

これから国際化の流れで人力車を引くのが、本当に国際俳優になっていく謙さんを予見的に見せているけどね。『ラストサムライ』を皮切りに『バッドマン・ビギンズ』に出演で、今ではブロードウェイ俳優でもある。

申し分ない。

でも、時代劇の方は、プロデューサーの能村さんが恨み節を言うようなことがあった。午後七時台に時間帯が移されて、ローカル局の番組を放送する枠だから、自分たちが撮影した時代劇が、撮影地・京都のスタッフが観れないという困った状況にされた。

フジ系列じゃないけど、まだ野球中継が視聴率を取れた頃で、移動日の月曜七時（八時は『水戸黄門』と『大岡越前』の裏番になるので避けられた）に時代劇枠が移ったテレ朝系列では「三匹」の最終シリーズで内藤剛志がバズーカ砲を撃って放送枠を破壊した、春日太一さんが書かないことを、スキマとして書く。メタルジェットが噴出す仕掛けを江戸時代にできたのか？

ともかく斬九郎、ドンキホーテ説だ。

中世時代の騎士道物語は、近代初期に入ったヨーロッパでは廃れていて、それを読んで感化された郷土アロンソ・キハーノが新技術で出来た風車に挑む滑稽が思い起こされる。（これを元ネタに「百腕の巨人を倒した男に育てられる」）

詳しくは言わないが、「オメエ、薩摩飛脚になるかい？」とほのめかした原作とは違い、風車に挑むドンキホーテのような最終回だった。シリーズ初期の一つ、その線がふられていた。それだけじゃないイロイロな線、どれを收拾するかはいろんなエピソードがあって、その中から最終話を監督する謙さんが自分の懐に落ちる話として、あれを選んだだろう。『あしたのジョー』で燃えカスになりたくないんだと述懐するのを、ちばてつやが拾ったように、あの最後を拾った。

その斬九郎より、まずドンキホーテかな。

ルネサンスや大航海時代を経て、南米から資源をどんどん吸収して国力が増したスペインは、レコンキスタで戦って領土を取り返していく。作者セルバンテスはこの戦争で一時期イスラム側に捕虜になっている*1。シェイクスピアと同時代の作家である。

・・・。

今、騎士道物語を批判すると、聖杯＝聖地の換喩で聖杯探求が聖地を取り戻す運動、十字軍派兵のテイのいい動員に使われてしまう。セルバンテスはそれを滑稽だと書いてしまっている。

結局、必要だったのは聖地なんかじゃなくて植民地であったのが、歴史の皮肉だろう。信仰の表現じゃなくて、富が必要だったわけで、その収奪目的で動員させるというのに、気づいている人は反発して、ロック思想が生み出されたりする。戦争に動員するための宗教をメインカルチャーとしてすえ、それら反発するカウンターカルチャーの考えだ。（だから現代文学として読み返す価値があり、近代文学好きからは無視される）

未来の勝手な解釈かもしれないが。

奪還した領地は・・・そもそもイベリア半島の半分くらいはイスラム圏だったというのも、オスマン帝国にウィーン陥落まで迫られたとか、西側諸国だとそういう歴史は「無かった」ことにされている。

ともかくもコロニアル時代の到来で再征服運動は可能になった*2。

そのバブルになっているから商品として『ドンキホーテ』が売れに売れて、偽物（贋作）が出回るとか、だからドンキホーテの「偽者」が出てくる話とか、メタ小説のはしりみたいなことまでやっている。

騎士道物語の先にあったドンキホーテの話が、近代化して教養小説（ビルドゥングスroman）に変わっていくが、スペイン文学は『ドンキホーテ』から20世紀に入って『百年の孤独』が出てくるまで、スペイン語で書かれた文学は休眠する。これは斬九郎が終わって、海外の時代劇映画として『ラストサムライ』に出るというのに、似ているね。

スペイン語で書かれた南米文学のマジックリアリズムとハリウッドの時代劇移植版は、植民が出来たことをよかったと言えるのか、疑問だ。

話の中でドンキホーテランドみたいなものを作るのも、回復した領地に金にあかせて変なもの（キッチン）を作った、皮肉を指していないか？ モスクを教会にリフォームするときに金ぴかにしちやったりとか、そういうことの暗喩になっていない？

アルマダの海戦で負けた以後に、あの寂しいラストが作られているなら、沈み行くスペイン（イエル・イスパーニャ）を、ドンキホーテになぞらえていないか？ それは昭和ノスタルジーと一致していないか？

バブル期があって、そのバブル以前からまでの話をよろこんで、『ALWAYS』にウソが混じってても許してくれるようにドンキホーテの騙る物語も信じてくれる。しかし、そうなるとドンキホーテも死期が近い。

誰かが用意した絶頂に満たされないで、さびしい終わり方をする。

長ったらしく日記を書くのもどうかと思うけど、結局、時代劇自身がドンキホーテになってしまった。

時代劇の“百年の孤独”がはじまっている。

そういうことだろう。

まだ、年が明けてないのに、年が明けてから書いていることになっている。そこはアンちゃんのお腹の子が双子だとわかったから、いいじゃないか。「めでてえからいいんだ」と。でも、アンちゃんって言っても、『ひとつ屋根の下』じゃないよ。…ちょっと胃ガンで病欠しちゃったけどね、謙さん。

*1 うっかりレパント海戦に動員されてセルバンテスは虜囚となったことを失念していた。だから1498年にグラナダ陥落までにもうイベリア半島をほぼ再征服できて国力をそれなりに得て、コロンブスのスポンサーになれたのが、順序として正しい。そうなると、やはり動員されて戦ったことが騎士道物語批判に繋がったと思われる。未来の勝手な解釈かもしれないが。

*2 これはあきらかな間違い。

正月三が日、何をしていたんだと、問われたら、

「三人の会のアニメーションを見ていた」

という寂しい正月を迎えた。

アニメーション三人の会は1960年前後に出てきて、久里洋二と真鍋博と柳原良平の三方が、会を開いて自主制作アニメを上映する活動であった。

同時期にたしか第一期ATGがヌーベルヴァークを国内で上映するために結成されていた頃、これに影響を受けた人たちが東映ヌーベルヴァークを起こして、さらに会社から出て自分たちで自主制作を開始して第二期に勅使河原さんや実相寺昭雄さんが出始めて、この第二期に影響を受けたのが、ご存知『新世紀エヴァンゲリオン』の製作陣なのは説明として蛇足だろう。（記憶違いもあると思うので映画好きに聴いてみて。宇多丸師匠並の人に聴けば、まず間違いが無い）

「狙われた街」を作った実相寺さんがATGに参加していたのを知っていると、『ウルトラマン』『ウルトラセブン』が違う雰囲気に見える。『未来世紀ブラジル』みたいなものを作ろうとして、失敗したと本人は著書で語っているが、それほど気にするほどでもない。

日本動画創世記に三羽鳥と言われた三人がいたから「三人」の会の自主制作アニメを収めた紀伊国屋の出したDVDには、他の実験アニメも収録されていて、（東映出身の）林静一さんの短編アニメ（アメの小梅ちゃんのオリジナル）とか、テレビや映画館などの商業ベースでは載りにくいモノがある。

これを知ってから小梅ちゃんをなめると、味が変わる。むしろ、このアニメを観たお菓子メーカーが林さんにアメ玉のパッケージイラストを依頼した…こうした発見があるわけだ。

他にも『コンクリート・レボルティオ』のエンディングのご先祖様が、久里洋二の「FASION」にあたる。舞台となる神化40年代とこの実験アニメ発表の時期が昭和35年と、時期的に近いから、間違いなくオマージュだろう。（まさかこういう攻め方をするとは思わなかっただろう）

グラフィックアートのドットの使い方は、'60年代の芸術家リキテンスタインから直接きているのではなく、『TATSUMI』だと思われる。保険をかけると、どちらからもきている。

プロファイリング出来るから、だいたいわかっている。

だいたいわかっている。

「こいつ、味をしめてやがるな」（小梅ちゃんみたいに）

「（飴玉を舐めて）これが創作の醍醐味や」

松葉のカルディナーレ以来の衝撃。

「小梅ちゃんが愛、しりそめし頃に」

「お前は本当に編物が下手だな！」

とはいっても、シネ・カリグラフの技法は久里さんがパイオニアではない。

起源的にはノーマン・マクラレン（1911年生・こういう情報は日記だから知らない）の話を森村泰昌さんがしていて、森村さんの想像の話（裏取り無し）では、N氏はフィルムを拾ってきて（日本の現行法では拾得物は届けなければいけない）、そのフィルムにいろいろ細工をしてアニメーションを作っていて、それがシネ・カリグラフのはしり。

では「The Begining」がノーランさん起源なのかというと、「FASION」がヨーロッパに渡って

影響を与えたということが、DVDの特典についているデータ情報にあるから、そちらが本道だろう。

蛇足は古川タクさんが、久里洋二の弟子で当時珍しいコンピュータを使ったアニメを作った、意外にもパイオニアだった。百瀬さんが『もののけ姫』でトゥーンレンダリングのはしりを作ったようなもの。（無知って、怖いな）

こうしたアートアニメの開拓した技法は、現在は犬カレー（こちらはヤン・シュバンクマイエルで「FASION」の影響下にあると思われる）みたいにデジタル処理をして、キャラクターアニメの枠内にはみ出さないようにしている。

それで「FASION」と「The Begining」を見比べれば、どのくらい近いのか、さらにシネ・カリグラフィの影響を受けた中間に位置する作品も、同時上映して面白がるとなると、立ち消えしたアニメの殿堂を思い出す。

あの通称アニメの殿堂とかを建てて、こういうアニメを常設的に視聴できる施設があっても、どれだけの客が入るか、「誰が見るんだよ」という話になる。

「誰がこんな日記読んでるんだよ」

結局商業アニメ（キャラクターアニメ）だけを上映する映画館ももたなかった。赤字を公的に補填するとなると、国民や地域住民にどれだけ納得できる文化財なのか、その公約数が求められるような説明や裏づけは、無い。（あったらアニメの殿堂が出来ていた）

最近、庵野監督が「秋葉原にアニメの常設映画館を作ってほしい」と、公に訴えたけど、どうかなあ。

行政的には箱物ができて、天下り先として魅力が無ければ作られない。前に言った廃校居抜き案は、ゼネコンに仕事をふれるわけじゃないから、却下である。コストがかかれば、かかるほどいい。すると天下り先の職場を確保できるから、官僚貴族（格差社会が進んでそういう風になってしまった）にとってはそれを民主党に潰された恨みがある。そのルサンチマンを自民党に付け入られたか？

企画上映だけでなく、企画展示のことを考えても、資料管理をしてほしい。

『劇画漂流』が連載されたまんだらげのカタログ誌に載っている、「どうやって手に入れたんだ」というのを買い上げて、保存管理をよくしてほしい。とはずっと思っていた。

どうも、'80年代のアニメブーム期に、倉庫に侵入した熱狂的ファンがセル画を盗んで、それが現在中古市場に流れているらしい。（虚実入り混じった「アニメ夜話」情報）

ネットオークションで出ているセル画も、だいたいそう。中にはちゃんと映画を観に来てくれたお客さん用の来場者プレゼントもある。だが、アニメ会社の倉庫から盗んできた盗品のお流れである可能性も否定できない。（社員がこづかいかせぎに…やめよう）

北久保さんが「せめて、放送される前のセル画は人として、やめてくれ」と言っていたような（ビデオデッキが壊れて見返せない）。

盗人にも守らなければならない、三つの理である。

貧しいものから盗まず、放送される前のセル画を盗まず、後は殺さず、小梅ちゃんをどうのこの。 （気を逸らすために、「影」の話もするか？）

意図的に閲覧者を少なくして、女性が更新情報を読めないように女子禁制にしているのだから

、別に言葉を濁さなくてもいい。「いったい、誰がこんな日記を読んでいるんだ」と、思うけど、もしかしたら児童の皆さんも読んでるかも。

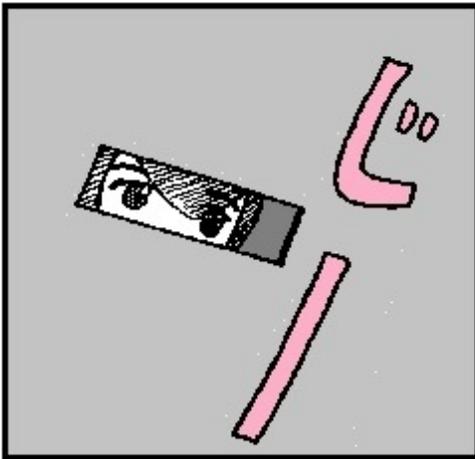
だから、あの話をできないのである。

でも女性は読んでないと知っていると、気が楽だ。

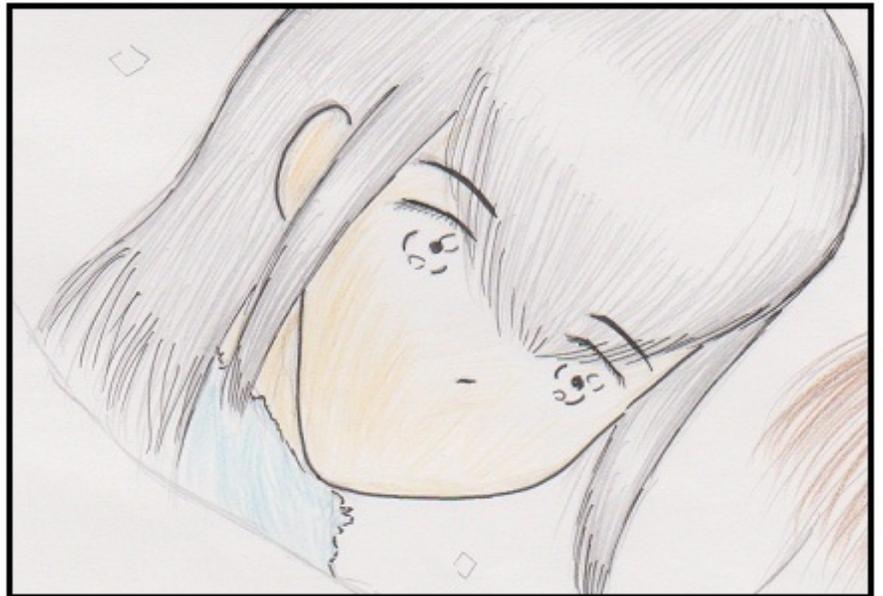
そのうち「女の子向けMEN'S ONLY」とか、わけのわからない書名の本が出来るというか、女の子は「ぱふはぷ」は読めるから、それだけだとわからないことがある。

「誰だよ、新一と舞子って。ちゃんと前フリするか、その場で説明しろよ」

実は前振りはちゃんとしている。歌舞伎と同じように、あの人物とこの人物は、実は同一人物でした、というやつである。『イノサン』シリーズを読んでいるようなリベルティーナは知っている。あれを読むと、本当にマルキ・ド・サドの描いた退廃の世界って、フランス王朝末期に実在したような錯覚にとらわれる。



同一人物ではなく役者が同じで役名も同じ
「鬼恋歌」の少女と小梅ちゃん
も同じではないか？



*

円生の「夢金」を聞いている。（注・円は本当は旧字体の円。例の如くワードソフトに出ない）

本当のところ私は落語に詳しくない。

ある人物に落語の話をして、「『じょしらく』のファンとして、天狗裁きを元ネタにしたファン小説を書きました」とか、そういうことを言ったら、「帰る」と言われて本当に帰られてしまう、そのくらい落語のことを知らない。

相手にとっては、「落語をなめてる」と思われるだろう。

まあ、「なめています」としか、いいようがない。

たしかにお金が無くて、なかなか高座に行けず、新古書店で物色した落語CDを買って来て、FEifを音を消して、プレイしながら聴くのが、今のスタイルだ。CD寄席。（「昂ぶりますわ」とかの変なセリフを聞くと笑ってしまうから、でも「おばさん嫌いじゃないですよ」とフォロー）

そういえば『競女』（本当は七つくらい感嘆符がある）というマンガは「尻をなめてる」構図ばかりだ。（わからなかったら、ジブリの絵コンテ集巻末にあるコンテの描き方が載っていて「ルパンをなめて」とか描いてあるから、それ見てね）

『ご注文はうさぎですか？』と『ブラックラグーン』は似ていないと思ったら、ロベルタはリサみたいなミリタリーな人だし、ロシアンルーレットがエンディング最後のジャンケンポンのようなものだし、大麻畑を舞台に銃撃戦もキャンプ先でマジックマッシュルーム的なものを拾うとか、まったく符号が合わないわけじゃないとわかった。（カンボジアンルー…だとさすがに種が割れる）

コインの裏表だ。

反物質ではない。

空気系日常マンガの反物質は「すーちゃん」シリーズだけだね。彼女がいる人に悪意無く彼女候補に（キープ）させられたり、一つマンガレビューを書きたかったけど、精神衛生上よくない。つらいから書かない。映画も辛気くさかった。いやしマンガの対極にある反物質。

それはまあ、ともかくテラさんが「こんなマンガを子供たちが読む物に載せるな」と憤りそうな『ブラックラグーン』といえ、少学館のマンガの単行本の帯にうまもんが出ている。

これは公式パロディであると認めたのか？ ドラえもんルームという著作権関係の部署と頭越しに、やったのか？ 藤子不二雄の藤本さんはそんなことを許すのか、ファンの方たちは許すのか。

（注・煽ってる）

そうになると、『じょしらく』のラノベのネタで「夢金じゃなくてやおきん」とかやりはじめる。

楽屋で丸鏡さんは怪我をしている。暗く沈んでいる。

まるで師匠がネタをやってる舞台袖で、いねむりをこいたしくじりをしでかしたような沈み方である。

怪我で夏の大きな高座に出られず、赤くて白い大晦日の大きな高座にも出られず、ファイナル高座に出れるのか、危ぶまれている。（注・煽ってる）

それを危惧するキグちゃんの中身が、懸念通り芸能界を引退してしまう。それで「私が危惧するのは、スマップとベッキーと…」とやばいことを言い出しても、テロップに“年末の収録です”と出しておけば大丈夫。

揶揄しているわけではなく、偶然その話題が出た。

ともかく本物が偽者と電撃和解する話。

最後に白いライオンと大西ライオンが互いの手を握る、サゲ。

…不本意でも和解させられる話。まあ、社長の姉にあたるカーネル・サンダースに女性ホルモンを投与してムリヤリ性転換したような見た目、そんな人物と和解である。

独立するからあんなにうれしそうに、「おねがい、灰かぶり（著作権上の理由で歌詞改良）」と歌っていて、日本全国に音痴であることを再認識させていたと思う。本人は「こんな汚れ仕事も最後だああ」と思っていたはず。仲居くんの独立の夢は12時がやってきて魔法が解けた。実際の時刻は月曜の夜10時だったけど。794プロに残留だ。

氷上の陰陽師ゆづも最終的には聖子ちゃんに、「ズキュウウウウウン」とやられてしまうので、どんなに天才的なスケート技術をもって、一人だけ異次元の高得点を出そうが、冬季五輪で輝く金を手にしても将来に希望は持てないが、仲良くやってほしい。どんなに女性のフィギュアスケートファンがゆづを好きでも、聖子ちゃんに私有される運命で最後、和解が待ってる。和解させられる。（ラジオ動画では違うことを言っているかもしれないが、今面白いと思っていることを書いているだけだ）

『おとまほ』から借りてきたキャラクター（女性ではないので女性キャラクターと表記しない）が夢にまで見た金を最後に掴むというか、最後ドラえもんだと思ったら、うまえもんだから、「夢金ならぬやおきん」という、おいしさアップの落語である。

「まるやかでおいしいよ」

皆さんご存知の通り、夢金はもともと、酷い下品なタイトルだけど、助六も（菊さんの）金を握って喜んでいたし、おめでたい落語だから。田中裕二がやるとサゲが変わって半分しかお金を出してくれない。「百両払うと言ったじゃないかっ」と夢から覚めたら、半分だった。（兄弟がお菓子会社の社長をやっていることから半分としたら、これもやおきんじゃねえか）

でも艶笑落語とはちょっとジャンルが違う。大きめの区枠なら入るけど、少し細かいふるいにかけると、分かれる。

どんぶり（丁稚が首から下げている金子を入れておく袋）なら、金を掴むからいいのかな？ 六文銭でも一朱銀でもなんでも袋に放り入れるから、どんぶり勘定なんだけど。

「女流の噺家は、『夢金』やっていいのかねえ？」

やおきんにするしかないんじゃないか？ 握っていたのはうまい棒とか。「それもそのはず、噺家に金が無いよ」とか、そういうサゲになる。

新春福袋企画で、杉浦日向子さんの「鏡斎まいる」シリーズをトリビュートというか、オマージュというか、ともかく杉浦さんをリスペクトした小説を書き下ろしておまけに付けたかった

けど、時間が無いし著作権問題もあるし、著作権相続者であろうお兄さんに義理を果たさないといけないとか、どうしよう大塩平八郎（とんねるずのギャグ）。

鏡齋先生はおとぎ役をしていたというから、こういう話だ。

ある藩の殿様だった一族のお爺さんが、正月の挨拶回りに来た孫に鏡齋先生らしき人物の昔話をするという趣（おもむき）だ。

昔殿様だった家だから、瓦解後も新年の挨拶には（旧家臣団が）大勢家に集まり、宴席になるけど、不思議な雰囲気糸目の男が、お爺さんの子供の頃に鯛の鯛を持って来いと「これは異なことを言う」と落語に出てきそうな慣用句をおじいさんが言う。鏡齋とおぼしき人物が「ぼん」に鯛の鯛とはこれだよと教える。

『美味しんぼ』でもあった鯛のエラあたりにある骨を、先生が口にふくんで、どんぶりに並々と淡水を注ぎ込んでからを口元を隠して、どんぶりを引き寄せると水しぶきが上がり、一匹の金魚がどんぶりの中に泳いでいた。

それは今でも長生きで庭の池に泳いでいるという、速水螺旋人さんの軍人が戦地で体験したホラすれすれの話みたいな、『百物語』と『馬車馬』や『靴ずれ戦線』は似ているのは、こういうところ。

これはたぶん土屋家の「おじいさんの夢金」である。

やりたいけど、時間が無いし、著作権問題がありそうだし、何年もペインティングしていた。新春のおめで“鯛”ときにやらないといけない。季節限定のネタだから、出しようが年に一度の機会しか無い。

ファンタジー小説を準創造できる人間は、この程度はできるけど、時間が無いし、著作権問題があるし、どうしよう大塩平八郎（爆問の太田さんが流行らそうとして流行しなかったギャグ）

。落語にしちゃうか、新作落語。

おめで鯛なら、こがねはくじら。

おめで塔なら、こがねは新・国立競技場（ザハ・ハディド案）でキールアーチの自重で崩壊。

著作権に触れないように「おじいさんのやおきん」にするか？ 鏡齋先生の代わりに、メリーさんか橋本聖子が出てくる。どこかで「お～とタコなぐりだ」も入れたかった

。

おさわがせアニメの特集していたじゃない？

ゲームラボで。

そこで『BECK』に出てきた蘭そっくりでコム口つんくと渾名した人物の出したアルバムが回収されていることに、触れられている。

この場では言えないけど、『格闘超人』みたいな話になってしまって「なんだかなあー」である。あの音楽を流した回が欠番になっちゃったかね？（そういえば阿藤快さんも去年亡くなっていた）

雑誌の「リスアニ」をチョロッと見て、コム口つんくみたいな見た目と知って、ガッカリした。たぶん、iTunes store上陸以前と、以後は作風が違うのではないかな。iTunesで検索すれば世界音楽に簡単に触れることができるようになったから、あの作風になったと思う。それであんまり世界音楽に精通し始めたから、宗教儀式にしか奏でてはいけないコーランの響きもうっかり入れたんじゃないかと。

あのアニメというか、原作マンガは神のアイデンティティー問題が、けっこう日本人のアイデンティティー問題に繋がるのでは？

それはイスラム教の問題とまったく関係ないといえず、偶像崇拝をありにしまうと、出自があやふやになる習合を繰り返してしまうから、そういうことでは？ 神仏だけじゃなくて、多神教神話で他の神話の神と集合したり、偶像崇拝しているから、えべっさんの出自がわからなくなる。蛭子能収の出自はどうでもよくて、「路線バスの旅」第一回みたいにバスの時間まで川原の石をまくらにして昼寝する。

本来、アートアニメが好きで、シャフト派だったけど……その話は止めよう。

義理と人情の話。

学級通信にハガキが採用されないから、『真田丸』の第一話みたいに武田勝頼から家来が離反していくようなもの。海外にエンジン売りしよう。

ちょっと『コクリコ坂から』を借りて観て面白かったけど、回想シーンにアートアニメというか、チェコアニメとか、旧共産圏のアニメの「かほり」がするようなものが、無い気がする。

『ナウシカ』ではイジー・トルンカの「手」のオマージュと思われるものがあって、『コクリコ』にはどうやら無い。（イジー・トルンカの手かぁ。何か思い出しそうだけど、思い出せない）*1

古いカルチェラタンを守りたいと言っても、仏作って魂入れずみたいなことじゃないのか。

そんなのはテラさんのマンガみたいに、滅んでいくんだよ。

…わかった。

カルチェラタンは別に宮崎アニメを象徴するものじゃない。

監督は少女が少年に出会うという、ガールミーツボーイの、少女が先に来る話をずっと作り続けていることから、この古き良き物の象徴としてカルチェラタンがあるということを考えると、得心がいく。そうすると、新人の頃から古かった。

「マンガ夜話」で高橋留美子を「新人離れした古さだ」と言っていたけど、吾朗監督は新人離れした古さを持っていたというより、建築畑の人だったからトレンドでそうってしまったのだろう。

ジブリ美術館を手がけていて、新築なのに温もりがあるみたいな作りをするために、わざと古く作っている。これは藤森さんもジブリの教科書で似たようなことを書いていたはずだけど、奇しくも建築界の流行と一致している。

モダン建築批判で、それが日本に入ってくる前の擬洋風館、洋風になぞらえた館がカルチュエラタンなわけで、それは時代遅れだ。

一応おおざっぱな流れで維新後和洋折衷、モダン建築、ポストモダン建築、そこから今は伝統回帰主義で、新国立競技場の新プランも、いかに伝統的な物を残すかに配慮してる（昭和ノスタルジーブームも水面下で繋がっている）。風景に勝ちすぎるモダン建築じゃなく、風景に溶け込む負ける建築の隈研吾さんだから、その年代の想像力を受動的に受けている吾朗監督はカルチュエラタンを支持する。

古めかしいから「こんなもの潰してしまえ」とはならない。

世の中の流れとしては、ガールミーツボーイは、潰されていると思うけどね。それが人情というもの。

鈴木敏夫プロデューサーはカルチュエラタンはジブリや宮崎アニメの象徴として描いてほしかったけど、吾朗監督は自分の愛すべきガールミーツボーイの古めかしいものが取り壊されそうになっていることに、危惧を抱いてカルチュエラタンを表現していたと思う。

だから、掃除したり補修したり、偉い人に披露したり存続のために苦心したと言える。自分の好きなガールミーツボーイの物語が取り壊されそうになっている。本人の表現したいテーマと、作中の登場人物たちの動機が一致している。しかしプロデュース面は違う。

それはズレがある。

そのズレは作品を壊すほどじゃない。

だけどお客さんは敏感に気づいていたのでは？ だから動員数が伸び悩んだのか？ 宮崎アニメの継承だという嬉しい誤読をさせない、カルチュエラタンのような古式ゆかしいガールミーツボーイという吾朗監督の作風が築かれたものを見せられても、嬉しくない。

この後に『ローニャ』を作って、ほぼ作風を確定させているけど、ポリゴンピクチャーズはよくわかっていたのか？ ドワンゴの川上はわかっていたのか？ 本当に池上さんの言うとおりの天才的経営者なのか？

ジブリ自体がどこに行くか、迷っていた時期で『二ノ国』のアニメパートを担当した時期で、百瀬さんを失望させる出来の映像をレベルファイブに見せられたわけだから、こことは寄り添っていけないなと感じただろう。

そもそもレベルファイブって資本主義マンセーな気風（赤じゃなくて金）で、それなのに「（ゲーム業界の）ジブリみたいになりたい」と社長が発言したり、少しでも宮崎高畑の思想を知っていると、本人の気質（緑よりも銀）と絶対的に合わないのに「ちょっと何を言っているのかよくわからないですけど」。それで宮崎や高畑はガンダムに否定的なのに『ガンダムAGE

』を手がけたり、「サンライズになりたいの?」と、ますますわからない。「その話をもうちょっと詳しく」してもらえばわからない。ボアみたいな敵が出てこない。ちゃんと「私たちこそがボアなのよ」と、ユーカリ・オセアニクス（あの横本のゆかり作監さんへのコメントは渡辺さんへの言葉だったんだ）に言わせる私が入社できなかったから、否定され裏は取れている。（他にも「ドットグラフィックって、いいね」と言っておきながら、『ファンタジーライフ』をポリゴンモデルで作り直したり…）

この『AGE』の失敗が『妖怪ウォッチ』を作ったのではなく、再販のかからなかった『二ノ国』が今のレベルファイブを作っているだろう。

そんなこんな（急に話題を変える）で「プレイボーイ」で『モンモンモン』の新作が読めたのがうれしかった。『バクマン。』のあるマンガ家のモデルであるつの丸らしい、伸び伸びとしたジャリマンガであった。よかった。

そういえば読みきり時代の作品で『火ノ丸相撲』と同じことをしている話がある。当時のジャンプの人気作の主人公たちとおさるのモンモンが相撲トーナメントをする話で悟空とかに勝って決勝に勝ち上がり「モンモンよ よくここまで来た」と前田慶次がいろいろ言って慢心して負けるといふ、それとそっくりな内容の話が、『火ノ丸相撲』にもあった。鬼丸のことがわかっているから、勝てるんだと慢心して負けるといふ、それとそっくりな内容の話が、『火ノ丸相撲』にもあった。鬼丸のことがわかっているから、勝てるんだと慢心して負けるといふ、それとそっくりな内容の話が、『トイレット博士』の決めセリフを実況の人が言ってほしかった。（夢金みたいな話は年に一回なのに、また下品な話になってる）

カルチェラタンのものを継承しているのかしら。

『競女』（本当は感嘆符が十二個ぐらいある）がアイスホッケー部を継承しているから、いいのでは？ 蛇に睨まれた尻は、自分の好きなアイドルの写真をパックに貼られると、打ち返すことができないみたいなことと同じだろう。たしか、同性愛者には加瀬大周の写真を貼り付けたパックでシュートを決める…今はこういう風なのを雑誌の規制が厳しくなったので出来なくなった。新装版には「ホーモ・アローン」の話が無いとか…

「あっ、話がちょうど欠番の話に繋がって円環したから、終了」

尻の話題なだけに、ケツ番である。

「カルチェラタンは？」

カルチェラタンとはガールミーツヒップという不条理ギャグマンガ。

プリーズインマイケツ。

後で手に入れた「GL」2016年3月号の「幻獣&武装図鑑」でセット神を取り上げている。初期は蛇殺しの神だったのに、トーテミズム的に蛇をトーテムにしているように認識されるようになって、他の神々と集合して、顔が蛇になる。こういうことが起こるから、偶像崇拜させないという唯一神の契約宗教の考えが生まれたようだ。

*1 ナウシカは80年代の資料を掘り起こさないといけないので、映像的な批評はあまり読んでいない。ハーモニー処理で王蟲を動かしているとかは、わかるけど、他のいろいろな映像表現は具体的に分からないものが多い。（右手ちゃんのことじゃないです）

自意識過剰か、才能不足か。2.6

マンガレビューのために、卓球の教則本と『ピンポンさん』を読んでいる。後者は21世紀になって忘れられつつある、荻村伊智朗のノンフィクションだ。『荻村さんの夢』も読まなくちゃ。

ちょっと調べると、松下浩二が引退後にヤマト卓球の社長に就任している。まるで引退後にうまくやってスポーツ用品メーカー・ポセイドンの会長になったようである。

どこかの雑誌にアニメ『ピンポン』の特集で書いていたかもしれないが、荻村と武蔵野卓球場の女主人である上村久枝さん、この二人がペコと田村のオババのモデルだとわかった。『ピンポンさん』を読んでから、マンガレビューというか、アニメレビューを書き始めれば、よかった。

夜こっそり、日本一になった証である優勝カップを卓球場に飾った荻村に、「おばあちゃん艦信濃丸と少年提督の間に何かあると受け手に想像させよう。あわよくば電子書籍も買ってもらおう」と、読者獲得のためにヨコシマな、性的な意味ではなくいやらしいことを考えていた自分の心が洗われる。

でもゲームクリエイターになれなかったから、テラさんの学童善導主義を捨てた。それを自分は一度も後悔してない。スポーツ善導主義も「i +4」の企画書を捨てた便所のクズカゴと一緒に捨てた。

「もう、昔の私ではないのだ」

たぶん、90年代後半あたりに台頭してきた戦型・変則型（『少年ラケット』でも説明がある）は借りてきたちょっと古い教則本に無い。

「もう、昔の卓球ではないのだ」

といっても、その昔の卓球と今の卓球の差はわかりにくい。

だから、『稲中』で「スマッシュでスマッシュを返した」というわかりやすいすごさを、今現在では「チキータでチキータを返した」みたいなことをやらなくてはいけない。ネタを潰すためにやっているわけじゃない。

まずチキータを知っている人は、運動物理的に「ムリだろ」となんとなくわかる。チキータを知らない人は、コンビで「スパ」に連載持ってる春日太一さんの先輩の方だけど、博士号を持っていないから芸術博士の春日さんには玉露を出されて、自分には100円ショップのまずいお茶を出されても甘んじなくてはいけない人のことなのかと、思うだろう。（わかったでしょ。このネタを入れたいから、チキータの話題を出した。チキ・イイダのイイダの方）

そんなことより、新しい卓球史を語るのが、急務である。

それは野球で言えば、王・長島の物語を語りなおす（卓球で言えば荻村）か、それとも新世代のモノを語るか（卓球で言えば松下浩二以降）、「どちらかというところ…」その傾向はピンポンフォロワーの作品では、見受けられる。あのマンガで荻村の名前の主人公が出てくる。（『花男』であるキャラクターに茂雄と名づけられているようなもの）

卓球はマンガではダメになるかもしれないけど、卓球選手は新生がいたり、前途は明るい。

吉村が高校生チャンピオンになった試合、中継で観たことがある。今は八回ぐらい日本チャンピオンになっている絶対王者の連覇を阻止した、少年マンガを越えたスポーツ史を彩る話だが、

あまり話題にはなっていないようである。（エース水谷準だと思っけど、彼は予選で敗退していなかったっけ？ 「卓球王国」を読んだら真晴に負けてた）

皆さんもご存知の通り、彼らは日本選抜チームとして共闘している。「あまっちょろいナショナリズム」としてこのような少年マンガのドラマをもう、私は否定している。ナショナリズムとは苛烈なものだと『大東亜論』を読めばわかる。

ともかくもスポーツの中の卓球史の事実フィクションが負けている。

この中継のときから、卓球は気になっていたし、『ピンポン』を観て「これは何か書かないといけないけど、簡単にはまとまらないぞ」と「カンタンにまとまるワケがねえ」と思っていた。

解説めいたことすると、卓球がテレビのバラエティショーに負けていた。

フィクションに負けていた。

福原の子供時代、明石屋さんまと卓球勝負をして、アクシデントで机の角に手をぶつけて痛かったから泣いたのを、さんまに負けて悔しいから泣いたように編集されてしまったという、やらせのフィクションに負けていた。

その後の福原愛のキャリアを考えると、フィクションという対戦相手を実力でねじふせていく歴史だったと、スポーツリアリティーショーの中でも、耳目をひくものであった。（これは卓球に山際淳司のようなスタースポーツライターが「番記者」につかなかったと書くと「卓球王国」から叱られる）

そんなやらせ無しの「松本大洋と言えば才能論」はマンガレビューとして、よくない。

梶井純の『トキワ荘の時代』を読んで、本人の自己主張が強かったり、「オレ、オレ」なオレ語りが嫌で、テラさんの話を読みたくて本を読んでいるのに、「オメエのことなんか知るか！」と感想を持っているけど、よく考えたら「ピンポンフォロワー」の読者の感想と同じじゃないか。お金を払わず、あそこしか読んでいないなら、その感想は当然。お金を払わないと、求めているものは語られない。

でも、よくない。

夏目さんの『あの頃マンガは思春期だった』みたいに連作にすれば、房之介さんの個人史とマンガ史のリンクが相乗しているから、読みやすいし面白いのでいいが、他のモノではそうはなっていないけれど。（名前を挙げると『昭和マンガ家列伝』だとかは「この元ネタってこれだったのか」と資料的な価値はあるが、やはりオレオレな主張が邪魔）

他は泉麻人さんの『昭和マンガ少年』ぐらいしか成功していない気がする。ここにも語られている、いつもの人が辰巳ヨシヒロの兄、桜井昌一がモデル説だけど、私は水木がインタビューで答えているのは読んだことがあるけど、だいぶ前なので書名を失念した。こういうことがあるから、図書館の貸し出し本のレシートをスクラップブックに控えるようになった。

話を戻すと、ムック本「マンガ夜話」Vol.1で松本大洋の特集記事の中で、アクマ（佐久間）は窃視者だと語られている。自分もそうだ。現代マンガを読んできた、まあありていに言って窃視者である。

でもマンガレビューのたくさんあるうちのひとつ、なんでも一本調子でいいわけではないので、ときたま、そういうものがあつた方がいいとは、思う。一章の一つなのだから、悪影響はない

だろう。

いしかわじゅん先生が大友克洋の「FIREBALL」を読んで、すごく驚いた話があるじゃない？
宮本茂もこのマンガを読んで、ちょっとマンガ家になるのは、苦しいなと思ったはずの短編。マリオのファイアボールやブラザーズにその名残があるのは、前に書いた。ゲーム&ウォッチの頃から「蛸の八ちゃん」を参考にしたとかあるから、ゲーム史的にはよくあることだろう。

宮本さんには大友さんがいるように、自分にとっては松本大洋がそういう存在だ。

意識しないように、視界には入れているけど焦点を合わせず、ぼやけて避けてきたけど、ついに語らないといけないことになってしまった。

松本大洋の圧倒的すばらしさを個人史無くやると、同時代の作家との相対評価、それは現在進行形で少年マンガを描いている若手新人作家を比べなくちゃならない。

正直、そんな酷なことはできない。現実で十分、酷なメにあっている。

ちょっと面目ないが、自分と松本大洋の相対評価をとらざるをえなかった。

そこは自意識過剰なのか、才能不足なのか、わからない。

古谷実がスポーツマンガとして卓球を題材にすると、けっこう面白いと思うけど、人気が出るかどうかわからない。井沢（声の出演・山崎たくみ）あたりがコーチになって、母校の卓球部を立て直すとか、わかりやすい物語がよさそうだけど、人気が出なかった時の責任なんて、取れないからね。知らない。『稲中』で見初めた女の子とはちゃんと別れてほしいよね。『稲高卓球部』が「漫画ゴラク」あたりにあったらいいな。チキータでチキータを返すシーンがあって、前野の「おばあちゃんがなりすまししてくれたズル」が伝説化しているとか、ネタは豊富。

「企画が通らない」で、「（編集者は）人気が出なかったときの責任は取らない」とクギを刺して置くべきだったな。私も自分自身が関与していないなら、責任は取らない。

「早速、ギリシャ神話のクロノス神の子殺しは、ライオンの子殺しが起源では？ という話をしよう」

それはひとまずおいて、この間、新潟市に出かけて、駅中にあるパン屋の塩パンを自分用みやげに買って来忘れた。

「十分どん兵衛VSゆで時間半分」で塩パンの話をしているのに、『無彩限のファントムワールド』を焼くためのブルーレイ-Rを買うため（放送版とセル版は光の加減が違う）に家電量販店なのかカメラ屋なのかわからないところを覗いたせいか、うっかり忘れてしまった。（ゲームソフトの売り場面積が減ったことに「ゲーム不況」という言葉が頭にもたげた）

焼いたブルーレイで人生相談アニメーションと銘打った『人生』を観返すと、面白かったりした。たぶん、スタッフの誰かが体育会系推しだったのだろう。

原作の「人生相談ライトノベル」が可能なら、文章読本ライトノベル『文読』も可能では？

あっちの制作日記に書くべきか迷う話題だが、ためらわずにすると、自分の異常性欲を芸術に蛹が蝶に変わるが如く変態させた谷ザキ子とか、国粹主義で金閣に火をつける（修学旅行の回のクライマックスだがテレビアニメではアマゾンの坊主の出前に難癖つける仏協会に配慮して放送されない）三島ちゃんや、しゃべってる言葉が独自の表記法（旧字体・旧仮名遣いで慣れないと読みにくい）のサイコ丸谷などの三大文読が「文系」「体育会系」「理系？（自分から男権主義の社会におもねっておこぼれを与える小保方晴子の性格で欺瞞性に満ちた朝ドラヒロインの自意識を持つ悪）」という、「誰が買うんだよ」な内容である。（新左翼の人の「DV文読」）

「オレも老いた。今の時分のことをしなくてはな」

「読むと名文を書けるようになるライトノベルです」 ※ 個人の感想です

批評で「噺家とシェラザート」を書こうかと、少し資料を調べて、いろいろ下準備をしはじめている。

いろいろ理由はあるがそのひとつに「黒檀の馬」と「めかうま」は、似ている気がするというのがある。「めかうま」とは「メカ馬」のことで、『パタリロ』の「ロポニー」の話である。悪人が改心する話だ。いい話である。現実には善人が悪人になる「血頭の丹兵衛」である。

それとは関係ないが、落語は二百編から三百編あると言われ、アラビアンナイトは作中作を含めて話が百話近い。すると必然的に似た物が出てくる。観察されている側が実は観察していた側を観察していたというネタは『ケロ口軍曹』と『さよなら絶望先生』にあり、どちらも二百話・三百話ぐらいあるから被ってしまう。強めに被ってしまう（3.10の放送を聴いた後、付け足した）。

落語とアラビアンナイトは、それらと特別に似ているところがあるのか、確定は与えられないだろう。似ているのは単にこじつけつけているだけ、ということになってしまうかもしれない。それはどの国と地方の民話でも、同じ事が言える。

何か、こじつけられるのは、よくない。

こじつけられて「塩パンへの愛」がないのか？ と問われると、

「さっきしたクロノス神が子供を食べるのは、テリトリーの支配者である雄ライオンを倒した若い雄ライオンが、雌ライオン達を発情させるために子ライオンを殺す動物の生態が伝聞で、グレコ・ローマン地方まで伝わると、神話化されていったのでは？」

と、答えるしかない。（なんでお兄さんはカストラートのように変声していないのか）

これも割礼の習俗の伝聞が神話化したのか、そんな阿部サダヲ神話の話、「なんでそこからヴィーナスが生まれるんだよ」ということについては、あまり話したくない。（面白いけど）

劇で吉田松陰をやるなら、だんぜん松尾スズキに酷い芸名を付けられた阿部サダヲである。天然痘にやられた頬をメイクで再現して、『トキワ荘の青春』で安孫子さんを演じた阿部サタヲが、あの朴訥でありながら信念を曲げない虎次郎で井上真央（そこから生まれたヴィーナス）に「ふざけんじゃねー」と『キッズウォー』の名セリフを浴びせられ、「吉木りさに怒られる」番組を観て喜ぶ中年男性の性癖を掘り起こそうとする。明治維新の原動力のように。

それができるのは、NHK大河ドラマしかない。皆様の受信料を何に使っている…クロノスをゼウス一味が倒すのも、その一環なんだろう。『神話論理』でレヴィ＝ストロースが言うように料理と神話には関係があり、でも塩パンとギリシャ神話ってつながらないなあ。

塩パンと『ガルパン』なら繋がるかな。

なんで、映画の日に見に行かなかったのか、いまだに後悔している。何故、価値の無い『あり思』の執筆の資料収集のために時間を潰さなければならないのか、『心が叫びたがっているんだ。』を諦めて観るべきだったのか。

鈴木みそ先生に「ネオナチになってねえのか？」と言われた鈴木ドイツ（すずきあきら）が書いた『ガンダムと第二次世界大戦』という本を手に入れて前半部を読んだが、これがあるから戦闘機をモデルに話を書いた『ガンダムと日本人』があるとわかった。鈴木ドイツが第二次世界大戦で戦車をモデルにしたモビルスーツの話をしていて、戦闘機の話も出てくる。試作機が潤沢な資材で開発できるけど、量産機では同等の資材・部品を揃えられない例として、いくつかの試作戦闘機をあげている。

この本を読むと、『ガールズ&パンツァー』の戦車がわかりやすく個性・性能がわかる。IV号戦車じゃティーガー（VI号）に敵わない。それを相打ちとはいえ、よく先に倒したと思う。

元ネタの「ハンスの帰還」でバックに対戦車ロケットがあたって、内側にある燃性のものが飛び散るのは、フィクション！ これに感化されてスキンコーティングはRPGのメタルジェット対策という、「後付け設定」が追加された。

ご夫人の召し物がメタルジェットの高温で焼けないのは、おかしいけど、別にお芝居だからいい。お芝居でもあんまりなのが、内藤剛志が時代劇でバズーカ砲を撃って…そういえば春風亭小朝が演じたタコも撃っていないなかったっけ？ 何といっても時代劇の枠をふっとばしたのは変わりなく、これに感化されて天体望遠鏡を手作りしたらバズーカ砲が出来る話を思いついた。小朝は噺家という落語と繋がったけど、塩パンとは繋がらなかった。

「金髪ブタ野郎！」って小朝が井上真央に『キッズウォー』で言われていたセリフだったっけ？

（万能超人アスタリスク？）

「側溝にはまるなんて、『未来ちゃん』以来だ」

という、マンガのシーンを見て、そういえばこのマンガも写真集で未来ちゃんと設定された写真家の友人の女の子も、何でも口にしている。

口唇期である。

しかし口唇期から卒業を果たした身でも、いまだに肛門期を卒業できない。

最近、大藤信郎の論文をちょっと見たから、明治生まれのこのアニメ作家の作品を見ようと思う。アニメの殿堂があれば、こういうものは見れると思う。そういうものを見に行くのは、アニメ原理主義者だけで、他の人は必要ないと思う。

ポケモンのネタを拾うため、「ゲームラボ」のポケモン特集を読み、3DS復刻版『ポケットモンスター 青』を購入し、経費として計上する。

「この青は、蒙古斑ですか？ バイファムですか？」

（そんなこといいだしたら、見分けがつかない『アスタリスク先生さえいればいい。』でアスタリスク先生が、主人公の弟の尻をズボン越しに見かけて特技みなごろしの如く“いきりたって襲いかかった”…ともかくこの絵描きの筆名がぷりけつで、ピョコタンのマンガを読んでトランプゲームのアプリを考案していてビックリした） 《注・別人です。虚構と現実の区別がつかないと思われてしまうが、見分けがつかないことはない。アシュリーが出てきて戦術コーディネーターでポジションは五河琴里で主人公を「兄さん」と呼び、本物の妹の登場に「妹は私一人だけだよ」と富野アニメの女子キャラのように泣く》

そうではなく、カメックスのイメージカラー青である。水ポケモンだから。

水洗的な意味で、いまだに肛門期を卒業できないのが悩みだ。

さんざん蒙古斑があるか確かめようとして戦術コーディネーターを追い掛け回して、最後に主人公が横から出てきて「戦争屋アリスには蒙古斑は無い」というあんまりやっちゃいけない迷惑オチで、「なんで主人公は戦争屋ちゃんの蒙古斑の有無を知っているのか？」というお金を払われない視聴者にはナゾのまま終わるビジネスである。

ウワサに聞く、ぼんくらキッズの夢アニメ『サウスパーク』の画・絵を見たことが無かったけど、見れてよかった。

問題のアスタリスクモンである。ヒロヒトと昭和天皇の名前を勝手に使うのは、やめてくれなかな。

ムハンマドを戯画化するとテロられるように、軍事探偵の教練施設を作って、海外での工作活動をできる組織は株式会社ポケモンの話だ。

そんな国粹的な話題は避けるべきだが、

「諸君、私はゲームが好きだ」

というタジリ大佐こと田尻智の青年将校っぷりは、つとに有名である。

『「ポケモン」の魔力』という大月隆寛さんが責任編集したムック本があり、その本に糸井重里がインタビューに答えている記事があり、田尻さんの人となりについて、語っている。『マリ

オ3』をプレイした感想で「六面はこれまでマリオのできることを増やしてきたのに、氷で滑るステージを作って、マリオの動きを制限している」と批判したのだが、糸井に「それで、六面は面白かったのか？」と聞かれたら、ちょっとむくれながらも「面白かったです」と答えたらしい。

現実に合わせて、理想に突き進まんという風を糸井は「青年将校」とたとえたのである。うまいレトリックだ。

現状に憤り、テロもしかねない2.26事件の青年将校を想起するような人物、2月26日発売にかけているのだろう。（この事件を連想させるから公式には2月27日発売にこっそり悟られないように歴史修正主義をしていると思うけど？）

『吼えるペン』の第二回あたりにあった「ピカリモン」、作中の海外ピカリモン・バッシングで原作者を殺してピカリモン人気に歯止めをかけようとする、今ならアメリカンスナイパーな話である。そのため、原作がついてマンガを描いている焰燃のところに、暗殺者が来る。（単行本のおまけの『ニキータ』のパロディが面白い。例のすべってるセルフパロディの百倍面白い）

税関で「モデルガンだ」と主張すれば、実銃を持ち込めるギャグは風刺が効いている。あるプロ野球選手も、参考にしてほしい。（火薬が詰まっていて、鉛が入った実包はムリです）

この話は、もちろんポケモン・バッシングが元ネタだと思うが、福音派が起こしたと裏取りするのは難しいと思われる。コーク兄弟が表に出ないように、動員をかけているティーパーティーみたいなもの、と考えればいいのか？

「本当は未来ちゃんみたいな顔にする予定だった明美ちゃん」と同じように前に書いたことを書くと、映画第一作の興行収入からどんどん半減、そのまた半減みたいになったのは、特集を読むと第一作の「ミュウツーの逆襲」が名作過ぎたのである。

それはもちろん首藤さん脚本が優れていたに収束するが、ジョン・ウォーターズの映画『フリークス』から会社名を取ったから、おそらく田尻さんには「フリークス」を認めて行こうという思想が水面下にある。それを怪獣・怪人の特撮の補助線を引いて、『ポケットモンスター』にしたけど、イスラム教との軋轢は避けられなかっただろう。

でもハラールのゲームは難しい。宗教戒律で認められたものだけで調理されたモノをハラールというけど、『マジ』みたいに中東の風俗・文化を入れればいわけじゃない。誤読されたアラブ文化でアラビックダイアリーが生まれたかもしれないけど。

元々はフグ毒にかからないためにこのような戒律が出来たのでは？ フグは一見鱗が無い魚に分類され、調理法が確立していない素材を料理しちゃいけないという意味だったと思われる。豚を食べちゃいけないのも、豚コレラなどの疫病問題だろう。飲酒を禁止したのも曹操が禁酒をしたように、酒宴を開いて敵に襲われてしまうのを防ぐみたいな、そういう防戦上の理由だろう。（ラマダンも兵糧攻めにあったときのために年一の演習・訓練とするべき）

結果的に蒸留技術が向上して薔薇水、代替飲料としてのコーヒー、また水煙草などが発展したから、ゲームもそちらに発展していく方向があると思う。

だから契約宗教系圏域に売る場合、国内で進化としているのを、生物学用語の変態の翻訳語にすりかえるしかないだろう。そもそも生物学的にはこちらの呼び名の方が正しい。進化論を教え

る生物学者はポケモンの進化のほとんどは、「蛹から蝶になる変態だ」と語っている。HENTAIすると、株式会社ポケモン側が怒るけどね。

メガ進化クラスが本当の進化として正しい方だと思う。ゲンシカイキは退化だが、何故かパワーアップするという、進化論の誤読、俗流進化論をさらに発展させたものだと思って本気にしないように。

(＊ ここから書くことは、後で調べたらちょっと事実誤認があったので、本気にしないように)

一時期、ユンゲラーがフーディンだったのは、含蓄（がんちく）がある。

フーディーニからとられたフーディンなんだけど、フーディーニはマジシャンでステージマジックをやっていたはず。野外マジックまでやっていたかまではわからないけど、「私は超能力者だ」と「天才たけしの元気が出るTV」の公募（「超能力者、募集！」）に応じるような自称超能力者たちを奇術を用いて皆を騙していたのを見破るようなことをしていた。

この説明だけで、もうお腹いっぱいの人もおられると思うが、ユリ・ゲラーにケチをつけられて改名した名前が、いちいちフーディーニからつけなくてもいいと思うが、そこはジョン・ウォーターズが好きなタジリ大佐、ぬかりはない。（ぬかりじゃなくて、ぬめりがあ…止めよう）

マス・トリックを仕掛けていたユリ・ゲラーが「超能力者を見破る奇術師名」を付けるあたり、後にユンゲラーはフーディンもどきだと、フレーバーテキストに書かれる日も近いのでは？

（後日、フーディンがユンゲラーの上位種だと知る…それにユリ・ゲラーは怒ってたんじゃないか？ ユリ・ゲラーが偽物でフーディーニが本物のマジシャンだと暗に示してるじゃないか）

私はゲーム・コシップを求める肛門期である。

そこはいつまで経っても、卒業できない。

他のゲームユーザーは、卒業しちゃったけどね。

どうも、マンガ史で大藤信郎は重要らしい。

千代紙映画社のアニメは戦前ではかなり有名だろう。

まず、アクターというか、大藤アニメ作品内で使い回しするキャラクターたちが、（たまにベティちゃんみたいな顔になる）団子兵衛、黒ニャゴ、ちんころ平々（へいべい）という手塚スターシステムのはしりである、大藤スターシステムを築いている。ちょっと逸れるが、この団子兵衛の名前が杉浦茂独特の命名法、“コロッケ五円の助”や“うどん粉ぷっぷの助”の名付け方にヒントがあったかもしれない。

これはたまたま別件で見た東洋文庫『落語の落（サゲ）』に拠ると、落語「団子兵衛」から来ている。大藤さんは他の落語の根多「田能久」もアニメ化しているから間違いない。落語内では団子兵衛は、市川団十郎の弟子という設定。団子兵衛は下っ端の歌舞伎役者だ。本来は市川一門の証である「団の字」を拝名されて、さらにお菓子の団子とかけて（ちょっと甘いところがある？）、団子兵衛であろう。元々このように俳優と役者を含むアクターだから、複数の作品に使い回しする方法が築かれている。（映画会社のスターシステムより早いかもしれない）

そして名前のお菓子や食べ物は、児童漫画だと子供に求められていたから、杉浦茂はどんどん命名していったと、糸井重里と太田光の対談で言われた「落語的教養」があれば、なんとなくわかる。予想がつく。

でも落語、詳しくないけどね。

「高座に通ったこともねえ、貧乏な田舎者が、落語を語ってんじゃねえ」

と、江戸っ子にタンカを切られる。

怪我人病人を運ぶ道具を真っ二つにされる。

今の啖呵を切った人と関係ないが、サンキュータツオさんが言うように、「落語とアニメは相性がいい」のは、アニメ史を紐解くと正論だ。それは子供が客席にいてもできる根多に限られていた。

しかし、深夜アニメで、わかりやすく大人の観賞に耐えられるものだと、嘶家の人生や芸事を活写することにある。視聴者が本物の寄席に行く年齢まで高いから、八雲（菊比古）の芸がわかる。

対して、子供にはフラのある助六しかわからない。

この高座用語であるフラがあるというのが、難しい。私はフラがあるという言葉を知っている。では、それを知らない人に説明できるかということ、できない。それほど落語に詳しくない。

近代化学以前の世界では燃えるフロギストンというのがあったと考えられていたけど、笑いの物質フラギストンである。談志師匠は多めで、亡くなった時に火葬にする際、あまりのフラギストンの多さに火葬場が爆発して、「談志力爆弾だ」とスポーツ紙を賑わせたことは、けして無いけど、こうして婉曲なたとえをするしかない。赤瀬川翁のウニドロのようにわかりにくくなっている。

まあ、ともかく、大藤さんはフラがある漫画映画だ。

団子兵衛はフラのあるキャラクターである。

作劇法で多面的キャラクターとフラットキャラクターを登場人物に用意するとあるが、そのフラではない。

この高座用語であるフラがあるというのが、難しい。（以下、無限循環）

さあて、貧乏なのでわかるが、手塚は売られているフィルムを自宅の映写機にかけて見ていたかもしれない。医者の子に生まれ、背表紙の教養でたぶん円本だろう世界文学全集を揃えられるような裕福なところの坊ちゃんである。（後日本放送を見忘れていた「ファミリーヒストリー」の手塚真氏の再放送を観ると、必ずしも手塚家は医者の子系とは限らないと知る）

この点についてはもう一回、石子順との対談の本を読み返さないといけない。それは…イヤだな。また謎が増えるだけ。いまだにフキヤコウジのどこに影響を受けて、マンガのどこにそれを出しているか、謎。

他への影響も窺える。

黒ニャゴがのらくろ、黒猫から黒犬への換喩的置換だろう。

田川水泡の自伝を開いて、パラパラめくただけだけど、（町子の影響で）キリストに帰依したとか、永田竹丸さんを認めて森安なおやを弟子として認めてないとか、そんなことぐらいしかわからなかった。時間が無いので、腰すえて読めないで、落語作家をやっていた程度で、触れるを止める。

ともかくも戦前派は、大藤を教養として知っていたらう。

むしろ、マンガよりも有名だったかもしれない。

林静一さんには短編「巨大な魚」というマンガがあって、これも大藤さんの『くじら』じゃないか？ 東映動画出身だから、当然大藤さんは知っているはず。

アニメーターの話題も出たところで、アニメ史との関連も語らないと。

千代紙の手法がノルシュテインの技法（論文では「Cut out Amination」と呼ばれている）では？ 『くじら』はカンヌで銀賞（銀賞じゃないよ。短編賞だよ）をとって国際的には有名。だから、千代紙を切り貼りしながら撮影する手法が『はりねずみ』と一生完成しない『外套』制作に与えた影響は否めない。

前にドキュメンタリー番組でノルシュテインが日本の若いアニメ作家（注・人形アニメの作り手）に「歌舞伎を見ろ！」と、説教していたのを思い出す。ジブリ美術館のラムダの前に腰掛けている老人が、顔を赤面させて日本の若者に説教するとは思わないだろう。偏見を持った人は「クマ野郎が何を言ってんだ」と短絡的に思うかもしれない。

本当は「歌舞伎を見ろ」ではなく、大藤さんらの昔アニメを見ろと言いたかったのではないのか。

私も少しばかり知恵を得たせいか、フランス人の若者が「日本マンガみたいなマンガを描きたい」と言ったら、「BD（ベデ）を見ろ」と説教すると思う。国内とお隣のベネルクス三国にいいものがあるのだから、まずそれを踏まえろと、これを日本に置き換えると、ノルシュテインの言っていることがわかる。

もしかしたらそれは、実は自分のアニメの作り方は、大藤信郎から影響を受けたものであるという、ちょっと遠まわしな日本びいき、日本ぼめかもしれない。

日本の若者は、一生気づかないで、終わるけどね。『外套』が一生完成しないように。

アニメ史の流れは、戦前アニメの集大成としての『くじら』が1952年で、60年で戦後アニメを前衛化させる三人の会。

もっと古くから話すと、下川凹天ら日本アニメ伝説の三人から、第二世代の大藤さん、そしてアニメ制作を近代工業化させてセルアニメを作って実家の蔵を潰した正岡憲三、戦中から終戦にかけて国策映画としてのアニメを作らなくてはいけない時代を経て、アニメーション三人の会でわかりやすくアニメは「思春期」を迎えた。

そもそも手塚は名刺代わりの作品『ある街角の風景』で大藤賞をとって、『鉄腕アトム』に繋がっていった。毎週放送する国産テレビシリーズ第一号で、日本アニメの中心を押さえた。

戦後アニメはラーメン大好き小池さんこと鈴木伸一がいたおどきプロや学研、よいこの東映動画など、複数のアニメ制作をしているところに、虫プロが一步リードして、続いてマンガでまず成功した吉田竜夫が設立したタツノコプロが続く。ずっと漫画映画を作っていた東映動画もテレビアニメ制作に参戦していくのが、テレビアニメ史であった。

まったくこれに大藤さんが関わっていないと言えない。

大藤さんが戦前に作った『鯨』（空襲でマスターテープが焼失？）をリメイクして『くじら』にしているのも、モノクロアトムこと『鉄腕アトム』テレビ第一作*1で「イワンのばか」をリメイクしていることと、関連性があるのか？ 大藤賞を取らせてもらった手塚からの返礼では？

それはまあ、ちょっと手塚研究者の間でも、答えが出る問題か、わからない。

戦前からの流れを汲むのが日本動画から戦後正岡が借金を背負って存続させた日動映画で、手塚からほぼ戦後アニメが始まる。日動映画を買収した東映が手塚を招聘してアニメを作るが、いろいろな事情で別れる。1961年に大藤さんが亡くなって、毎日新聞社が功労として大藤賞を設立して、1962年に第一回に選ばれたのが『ある街角の物語』で、わかりやすく戦前日本動画から戦後アニメにバトンが渡された（金印を譲渡して王権を得た？）というのがわかりやすいアニメ史だけど、これだけしか語られないと、絶対にアニメ史で語り漏らしが出てくる。

手塚中心主義だと、わかりやすいけど、そのアニメ史の押さえ方だと、授業だけで日本史を学んだ人間が『風雲児たち』を読むとビックリするみたいなことが起こる。

このようにアニメ史的にも大藤さんは重要。

こっちは、正史じゃなくて、裏面史になっていない？ 別に隠していたわけじゃなくて、啓蒙が足りない。だから、アニメの殿堂は必要だと思う。海外から観光客向けじゃなくて、国内向けにも必要だ。

テレビのドキュメンタリーだと、正岡憲三の番組を観たことはある。弟子である瀬尾光世の映画（『桃太郎 海の神兵』）に影絵のシーンを作って、それを観た手塚が日記に書いて、ここでも手塚中心主義に落ち着いている。

こうなると民主党政権下の文科大臣に文句がある。

やはり、廃校を居抜きして、本当に啓蒙を目的にした施設を作るべきだったと思う。

親がアニメばかり見てる子供に、アニメを嫌いにさせる効果があるような、子供にゲームを作りたくなくなる効果がある『ありえない未来の思い出たち』みたいにしてほしい。（普通の神経の持ち主なら絶対にゲームを作りたくなくなるけどね）

しかし、ほとんどの人は、動機が無い。

昔のアニメを観る動機は、私にはある。今のクオリティーアニメやクオリティーマンガは、正直マネできない。時間をかければ模写はできるし、プロダクション並に幾人かのアシスタントがいれば、見かけ上同じモノ（紛い物）が出来る*2けど、それをわざわざして投入した資金と同額のリターンは返ってこないし、マネをするのは一発芸で終わる可能性があるし、谷口ジローのマンガの模写の方をする方が笑える。それも似ていないヤツ。

話が少し逸れたから戻すと、こうした昔のアニメとかから、抽出するしかない。

大藤さんが予算がなくてセルを買えず、セロファンでアニメを作るしかなかったというのも、ちょっとシンパシーを感じる。千代紙か折り紙かの違い。あちらはセルが買えないように、こちらにもトーンが買えない。トレーシングペーパーやサランラップというプリコラージュでいくしかない。後はうまい棒のパッケージイラストからマンガ的手法を模倣。それから、堀井雄二がツイッターでトレーシングペーパーを初期設定資料を作るために使っていたとされるが、そこにまったくシンパシーを感じない。

こちらにも予算が無いから正岡憲三クラスのアニメで、同質のクオリティーをマンガで出すのがもうムリ。

コミックスタジオをあまり使わないのは、アレは没個性を得るためにある。いしかわじゅん先生が言っていることに近いと思うけど、クオリティーマンガって没個性だったりする。後は描画用タブレットとマシンパワー（主にワーキングメモリ）が足りない。

そんなこんなで、2012年頃に大藤さんの著作権は失効している。

千代紙映画社所有の場合は、法人格なので公開から50年で失効しているはず。そのため21世紀に入ってから、著作権料を支払わずにすむので、記録媒体に収録可能になった。

大藤さんの再評価は、近年盛り上がるだろうが、それもTPPで仕舞だ。そこまでの時限しかない。

ディズニー社の著作権延長の働きかけが、結局国内作家の埋没を引き起こすなら、これ以上の無い皮肉である。TPPを進めていた、進めているのは民主党や自民党で、我々の側に選択肢は無い。

*1 1980年代にリメイクしたカラー版の二作目があり、21世紀になって『アトムハートの秘密』の原作である第三作がある。余計な知識では、この第三作の音楽を担当した渡邊一正は手塚邸にお邪魔したことがあると、CDのライナーノーツに書いてある。「アストロボーイ」や「天馬博士の野望」は名曲。

*2 Pixivの「バッシュを黒く塗れ」と海洋堂の大胆なことを書いてあるのを見てもらえばわかるが、時間さえあればモーターヘッドぐらい描ける。声優の嫁は得られないけどね。

あの話すべきかな？

ちょっと別の世界線である、ハミ通でたしか編集長あたりをしている人が、「ゲームと文章のことがわかっている人がいい」とか、なんとか書いていたような気がする。

ネタつぶしみたいなことを言うと、まず、現実には私の文章力は軽く越えないと、ライターになれない。

それは単純に将来性として、文章読本、つまり旧字体と旧仮名遣いの戦前の文学みたいな文章で書けるってことだ。これは20代の頃から出来た。ただ仕事のオファーがなかっただけだ。

別の世界線のことで、「ゲームと文章のことがわかっている人がいい」であって、苦言を呈して言及しているわけじゃない。それは爆笑問題の田中裕二くんが嫌いなことである。

もう、ライターは食っていけないから、目指すとか以前にもうやめておいた方がいい。競争は厳しいけど、仕事があればいいとか、もうそういう時代ではない。よくて非正規社員で、20代でも30代でも40代でもギャラは横ばい。（もっとやなことを書けるけど、それは言わなくても知ってるだろ）

それに私程度の実力じゃ、「コンティニュー」にも「ゲームサイド」にもライターとして採用されなかった。「GRC」でやるネタだから、ここではあまり書かないけど、私以上のことが書ければ、その別の世界線のハミ通の記者になろうとすればいい。

「別の世界線の話だから」

正直、どちらも休刊して「ザマア」だけど、キャリアの無いライターを育てる経営体力が無かったら、その雑誌は潰れるというのを体感した。

「しょうがないよね。出版不況だもの」

こういう雑誌が望んでいるのは、客を引っ張ってきてくれる芸能人のようなライターを求めているのであって、それは病身の老人に、やばい薬を投与するようで、危険な療法である。

今の文学、危ない。

もう、又吉クンにサングラスをさせて、ヒゲを生やして、佐村河内守のような見かけになってもらうしかない。（本人にゴーストライターをしると示唆しているわけではない。太宰みたいに女学生と仲良くなって、日記を書かせて、それを元に『斜陽』みたいな小説を書くことは編集者に薦められているだろうから、正直心配してない。煽ってなんか、いませんよ！）

これは、プロ野球選手になりたい子供に、無責任な希望を持たせちゃいけないように、誰でもゲームライターになれると、誤認させちゃいけない。少なくとも、私は越えてほしい。それで日本人の平均的国語能力を得ていることになる。後はとりあえず、「旧字体で旧仮名遣いの文読ぐらい作れないと、ゲームライターすらなれない」と、実際問題を知らせてあげるべきじゃない？

そこで、嘘をついて、「キミならできるよ」と無責任なことを言ってはいけない。

販促本の「堀井のブンブン調査」でも書くけど、ドラクエテキストを書ける人材のスクウェア・エニックスの評価は、派遣社員のそれだと思うよ。

スマホ向けで開発した新作ゲームが功を奏さず、仕方ないからドラクエシリーズやFFシリーズに頼り、それでドラクエのテキストを書かせる社員を募集しても、別に正規社員として採用さ

れない。

わざわざドラクエの作文を書かせて、それで採用されても非正規社員の契約だ。ドラクエの作文を書くといふかなり七面倒なことをさせておいて待遇が「まるで派遣社員扱い」、これじゃ、ゲームを作ることに夢なんてもてねえよ。

もっと労働問題の左翼の人が文句をつけないといけない。ついでに右翼の人も「これや、ダメだろ」と苦言を呈さない。

ドラクエテキストを書ける人材は非正規社員の扱いで、その程度の対価としての労働債権を支払えばいいと、会社自身が思ってる。ドラクエ関連のソフトが売れなかったら、いつでも人員整理で馘首できる非正規採用で、本音を言えばライター派遣会社みたいところに安くドラクエテキストを書かせられないかと、考えているだろう。企業経営としてはそれが流行で、スマートなんたらだろうね。小泉政権下で派遣法をいじったから、合法化して当然の企業倫理になった。だから、ゲーム会社だけを悪く言えない。

たしかに、ドラクエテキストは誰でも書いて、それを書くことができる私はスクウェア・エニックスに入社できなかったから、いつでも派遣社員みたいにどこかから引っ張ってこれるだろう。

非正規社員でも書ける。

誰でも書けりゅ。

「オレの大切な銀聖剣ハースニールの思い出を、そのアスタリスクまみれのアスタリスクで、汚すな！」

この画像は放送後に
付け足しているが「負けたよ」



ぷりぷりトラえもんも敗北を認めた(注・八百長)

太田光も名前を忘れためんまちゃんの声をあてた
茅野愛衣ちゃんにあのセリフを言わせるなんて

それで、ドラクエテキストのライターをやりたいか？

雑誌「週刊ファミ通」の話題じゃないから。ソーシャルゲームの広告出稿に頼らなくてはいけ
ないから、ディスってない。

そんなどうでもいい話より、批評の方で「嘶家とシェラザード」を書いているけど、「中島ら
もの予言めいたことが的中」しているというのは、カットしてこちらにコンバートするけど、ら
もさんの懸念通りになってしまった。(シェラザートじゃなくてシェーヘラザードなのは誤配法
)

「覚せい剤を打たずホームラン打とう」と言うのは薬物乱用防止の啓蒙にはならず、かえって

覚せい剤使用を促す悪啓蒙になってないかと、作家らしい逆転の発想で皮肉も風刺も利いたことをらもさんは、『しりとりにっせい』あたりで書いていた。

あたったちゃったんだよ。

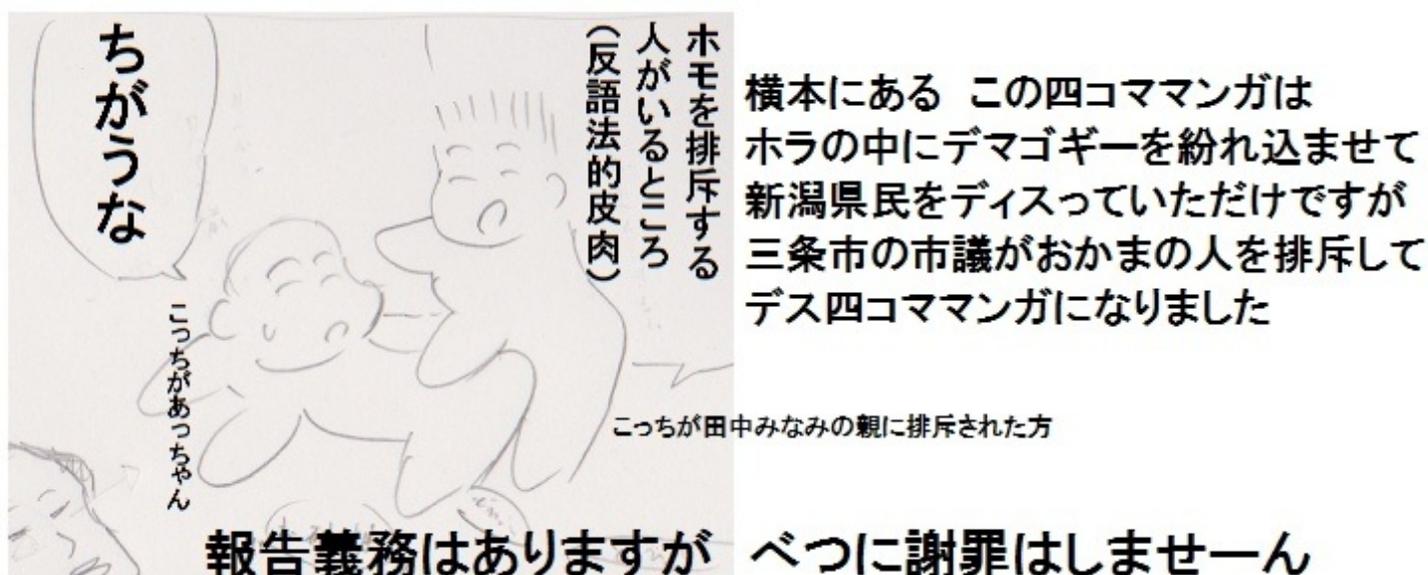
当てたのが、藪なら一悶着ある清原が覚せい剤所持で摘発された。（注・巨人時代の清原に死球をあてて、「当たる方が悪いんや」とのたまった百球病の藪さんの因縁を覚えている人はもう少ない）

当の薬物乱用防止のキャンペーンをしていた清原が。

だから、別件の私の主張も、アたる。

三条市の市議が同性愛者を排斥して、マンガでギャグで描いたことが実際に起きちゃう。気を使って、冗談を本当にしなくていいのに。

虚構新聞のネタが当たったようなもの（誤報が真報になる）だから。数を撃ったらこうなる。いじめか虚構かの大津市である。



気を使って、三条市をロケ地にして、同性愛者を排斥する人たちを表現してほしい。

「この皮肉わかりますか？ 中村監督。差別主義者がいるようなところをロケハンしちゃダメだよ」

「荻原朔太郎の名前をもじってる奴なんて、『そりゃないぜBABY』以来だ」

絶賛ペインティング中の企画「第三ライトノベル」だけど、ネタに厚みをとるために『下読み男子と投稿女子』（漢字変換ミスから「下読み談志と登校助詞」と出た）を少しパラパラとめくると、いいシーンを目にした。

椅子に座って仕事している作家の足元に年下でおなご（男の子じゃないよ女の子だよ）の声優が、駄犬のようにまとわりつく。

「これだよ、これ」

と、思った。（「ここだよ、ここ」はポートピアの文でスクエニは切り捨てやすい派遣社員にでも書かせれば良いと思っている）

オイラが求めている理想の作家がいる。

朔原敬四郎さん以来だ。今まで黙っていて悪かったと思うが、19の桃子さんが家政婦で、この桃子さんがモモちゃんの・・・『石油を浪費するホドの人生か！』を机の前の椅子に腰掛けて執筆する（よくテレビのVTRにある仕事をしている風）とき、俺嫁（設定・花澤）がヒザ元にかまっけてほしくて仕方ないような、理想のイ＊ージク＊ブのシチュエーション。

角砂糖の代わりにパンを食わして、よしよし（やりすぎ）。

負けた。

フィクションに負けた。

巧妙な文読の宣伝になっている



たしかに私の書くクエリティーが低い悪文を、商業ライトノベルでマネされるはずがない。

負けた教(アクシズ教団)に入信だ！

野村美月さんは「リアルな加賀愛」（インタビュー記事を参考）と呼べる女性だと思うけど、この更新情報誌は女子禁制で、リベルティーナでないと読んじゃいけない。

だから、本人は読んでいない。

丸戸史明も読んでない。読んでるなんて思うなんて、自意識過剰だよ。

MEN'S ONLYで女子禁制が浸透したのか、閲覧数が減った。

それで担当だったはずの森ユキは結婚するとき、コミックビーム内ではホモだと思われていたので、衝撃を与えたのだが、そのつながりで、『マイ・フェア・レディ』のさ、最初の方に言語学者のお母さんとイライザ、そのエピソードをちょい足して、話を始めるのが、正しいの

かな。倒叙ミステリーみたいに。

あの言語学者は、ジャニー喜多川が少年にやったみたいに牧師にホモレイプされていると。このホモが、少年を性搾取する意味でのロリコンの批難と同じ意味だったのが、近年は何故か蔑視する差別用語になってしまったらしい。それ以来、息子は歪んだ性としての同性愛を持ち、自分がされたことを他人にはできないから、プラトニックラブ（17世紀のジョン・ノリスがプラトン主義の新解釈で肉欲を伴わない恋愛の方）な行動をしている、と。

つまりお母さんは息子と相部屋し、そして息子が愛する言語学者との歪んだ愛の交換をしていると、イライザを諭す。「お前は利用されている」だけだと。文化人類学では調査する現地の人々が友情の証として、妹を交換財にして送る（姉御や親類の娘もくれることがあるのでしょうか？）みたいな、近代社会だとダメだろうを、やっている。お母さんは『ジョイメカファイト』のことを知っているから、「たとえるなら、あなたはイーモン博士とワルナッチ博士が作ったジョイメカなのよ！」と、世界が裏返ったかのような新解釈。

まったくフェア（公平）ではなく、啓蒙がかえって野蛮のソバージュ（野生・野蛮）という、ことである。

イライザは諭されても、言語学者に自分が秘めた愛を持っていて、禁じ手としての「神に愛されようとは思わないの？」だけは言わない。「神に愛されない存在」として、初めに言葉ありきの如く、言語学の記録で最後の審判の先に行こうとしている。宗教では絶対に救済されないが、死後に天国とは違う、別の国（ある者にとっては中つ国で、ある者はコトバの国）に行く手段として言語学研究をしていたのだ。という新解釈である。

言わずもがなだが同性愛者は、最後の審判で天国に行けない。

十戒を破っているからだ。

英国ではアラン・チューリングが捕まった頃でも刑法だった。

基本的に戯曲には手を加えずにこういう裏話を付けないと、今の観客は『マイ・フェア・レディ』を理解できないんじゃないか？ 「二人は付き合ってます」の言語学者二人の関係でないと、あの話を理解できないんじゃないか？ 本当は同性愛者でなくても、英国流階級社会があって、その絶対的な女性蔑視の裏返しとしてジェントルマンというのは言語学者のような存在だと私はわかっている。自分の男性優位を確認するために、女性を教化している欺瞞性は、未来の観客である我々は朝ドラのヒロインの欺瞞性を見るように見ている。

網野善彦の歴史学、網野史観ではまあ、異論は出ているけど階級の外の存在を聖なるものとして扱う、オットーさんとカイヨワラインの聖なるものじゃなくて、当時階級の外にある女性を均衡させているようで、紳士階級であることを確認しているとか、同性愛を導入しなくてもわかるけど、あそこでイライザとくっついちゃうエンディングにすると、「安全な痛み」にするようなものだから、興醒めである。

だから、『冴えない彼女の育て方』って、嫌いなんだよ。宣伝だから書くけど「GRC」の「トマス・デイとその仲間たち」で「これはさすがにダメだろう」と、苦言を呈して言及しているけど。言語学者は最終的にチューリングさんみたいに、男性ホルモンを注射されて、イライザの懸命な介護の甲斐なく死ぬという、オチでいいのではないだろうか。蓄音機から出る蓮っ葉な頃のイライザの声を聞きながら。

更科さんの話にあって、批判されてダメになるようなら、ダメになった方がいい。更科さんに

勇気をもたらした。その通りだ。

批判された程度でダメになるなら、その程度の作品だ。

ぷりぷりトラえもんの本名が丸戸史明と同姓同名で、フェイトくんを売った金で銅星阿威のタニマチになり、フェイト君が映画スターになったら、金目当てに自分が父親であることを明かそうとする、ナイスなキャラクターだけど、そういうゲームシナリオを朔太郎は書いていたらしい。

暴力団関係の話が無いのは、フィクションだし、ゲームマスコミの雑誌を出してる出版社の、看板雑誌名をレーベル名にしているところから出ていると、難しい。

同人業界の勝者と書かないと、「その制作費は黒い投資家から出ているんでしょ？」となる。

一応、みんなもう知っていることだし、それをわざわざ書くと、プロ野球選手の雛形となる球児を育てるために、かなりお金がかかる。

宗教団体が母体の高校だと、億に近い野球部の費用を信者の浄財でまかなっているため、PL学園や天理、智ベン（注・漢字が出ない）等のファンは母校出身者のOG・OBや甲子園では「とりあえず同県だから」という理由でなかったら、応援しない。それ以外でファンなのは、まったく無知か、あるいはもう、アンジャッシュ渡部さんみたいに「メシ食ってるか、甲子園観てるか」という人以外はいないだろう。

『もしドラ』の加持監督が中村監督を名監督として挙げないのは、表にこういう事情がある。別に隠してるワケではない。

だからアンジャッシュ渡部さんには、テレビ番組の企画で『時計仕掛けのオレンジ』の如く24時間高校野球ネガティブ情報（監督が球児を殴る体罰など）を見せて、それでも高校野球を好きでいられるか、実験してほしい。'90年代の『電波少年』的フェイクドキュメンタリーは今は、BPOが怒ったりする。最後は『水曜どうでしょう？』みたいに、鳥取砂丘の砂を盗るように、渡部さんが甲子園の砂をかき集める感動がある。

「（とって付けたように）渡部さんをボク、尊敬してます」

黒い投資家と関わっているところは、ゲームクリエイターが短命で死んでいると思われる。売れなくて、借金がかさんだら、内臓を売らなくてはいけないということでは？ あえて、ここでは人称をオレにするけど、「オレにはその覚悟があってゲームを作ろうとしていた」というのは、ゲームクリエイターになる人間が全員持っているものじゃない？

作家として、物腰柔らかいけど、自分の作ってるソフトがヤクザの資金源となっていると知っていなかったら、ただの阿呆だよ。一本一枚はどこに流れた？

雑誌「モーニング」の当時の副編集長が『東京トイボックス』にアタリが強かったというけど、こういうマンガに描いて見せないと、面白くないのでは？ 鈴木みそ先生は取材したら、こういうことが出てきて知っているけど、あの雑誌では浜村通信が両手を交差させて、「載せられなかった」。からあの雑誌名の文庫では語れないだろう。

口酸っぱく言うけど、ゲームソフトは暴力団関係の資金源になっていた。

SCEはそれを止めさせようとして、PS1の頃に流通革命して、PS2の頃だと開発費を高騰させて暴力団の息のかかった小さなソフトハウス（企業舎弟の小会社）を干上がらせる戦法を取ったはず。ファミコン時代の旨みのあるシノギを出来ないようにした。

21世紀になってマジコンを大量に輸入する業者（これも企業舎弟の小会社か）まで現れ、市場

から金を抜くシノギを始めたようだ。ゲーム市場のことを何も考えてない、その場で金をしぼる方法だった。

映画産業も似たような経緯をして松竹みたいに五社協定中、引き抜きされた俳優を取り戻すために、反社会的勢力を利用するような真似も、あったかもしれない。スクウェア時代にたくさんの引き抜きがあったのは、表面上はスクウェアが悪いとなったが、企業舎弟のソフトハウスからスタッフをカタギにするために、引き抜いてたんじゃないか？ そのため、みそ先生は「ガンガンやれ」と言っていたのは、早く闇社会から足を洗えと、主張していたのでは？

ラジオ動画「ゲーム研究会の顧問の先生が怒る怒る怒る」と同じネタになったけど、ギャグの二度出しみたいで、いいじゃないか。

こんな戯曲を同性愛に新解釈とか、ヤクザのシノギのつまらない話を日記に書きたくない！ チェコアニメのおばちゃんヘルミーナ・ティールロヴァーの毛糸アニメ「二つの毛糸玉」「毛糸のお話」「雪だるま」から『毛糸のカービィ』『ヨッシー ウールワールド』がどれほど影響を受けているか、話したいけど資料のために使えるお金が無い。

お金が無いから、仕方なくシノギの話をしてるんだー！

1950年没のバーナード・ジョウの戯曲だから、日本国内上演では著作権失効で、今翻案して大丈夫。TPPの基本合意である著作権延長も、2020年ごろに延長開始だとしたら、死後70年でも大丈夫。

これで“神に愛されない男が神になろうとした”「ピグマリオン改題」。

ロートレッタの画風模写で 舞台演劇のポスター... 45%の絵

ちかくと彩色してかきスキャレして

画像ソフトのホスカラー... を
使った。 本の画風と同じ色合いに

たすのたし

2017年(123)

衆道家紳士贈物





★ アマゾンで本が売れた事に関して ★
西日暮里を縄張りにする反社会的勢力から売り上げを全額取られてしまうゴトを仕掛けられて、最後のコマで利益を全部巻き上げられたピョコタンが大泣きするマンガならアンケートハガキの「連載記事で面白かったもの」にあげるのに。

『女神転生』シリーズは、崇られているというか、危ない話題が多く、今月のゲームラボの特集では、そこは今回避けている。

正しい。

『女神転生』の血の歴史というか、オカルトを題材にするゲーム作りをすると、必ずといっていいほど霊障が出る。名前を言っただけでいけない閃光の異名を持つキャラクターと同じで、何かオカルト地味たことが起こっている。（名前を書いているのに私の身に不幸が起きました。おそろしや）

民事再生法申請は、別にオカルトじゃなくて経営がしっかりしてないだけ。

あそこでアトラスを甘やかしたから、あんなことに…とならないように『世界樹の迷宮』のゲームレビューを完成させなくていいし、完成しなくていい。ここまで、煽っておいて、完成させたら、詐欺だろ。それはサギだ。（「行くぜ！ ディウグドゥグ デデ グググ ドゥイ ドゥイ ドゥググ ドゥグ ドゥグ パ パ パ♪」）

メガテンサギ。

有名な井之頭公園でバラバラ殺人事件があった、その前にメガテンIIで殺人の現場となったところのはず。余談として、岡田斗司夫が殺害現場となった物件を事務所兼住居にしたとか、それで自分の分のケーキしか持ってこないとか、神経が変なんだけど。

松本人志が内山くんか松村邦洋に言ったと思う、「コレステロール」で変になっている。

私も脳漿がコレステロールで変になっている説を支持する。NHKクルーがあ的事务所に取材して、それで霊がついてきて「マンガ夜話」が終わっちゃったけどね。

海外では、「マクベス」を公演するときは、日本で言うお祓いをする。プロテスタントの牧師がやってきて悪魔祓いみたいなことするのか、具体的には知らないけど、そういうことをしないとやっちゃいけない演目である。

『四谷怪談』みたいに、仕掛けを多くしてそれで裏方がケガをするというモノでもないらしい。ツタンカーメンの呪いみたいに、調査したパーティーメンバーが皆高齢で調査が終わって帰ってきたら老衰に近い死に方をしたのに、墓を暴いた呪いで亡くなったと面白おかしく書き立てられたのは、知ってるだろう。[『武装&幻獣事典』](#)で。（私は連載の武装&幻獣図鑑を追っていたから）

「マクベス」の場合、後でオカルト的ないわくを付けたかもしれない。ペルソナ2みたいに意図的に噂を流したために広まったんじゃないか。

悪魔学の権威にして英王ジェームズ1世の頃は、エリザベス1世から王位を正当に得たと見立てられた「マクベス」は、時代が下ると王位篡奪のドラマだから、英王室にとってマクベスが悲劇的な最後を迎えて、王様をシイギャク（例の如く漢字が出ない）する話であるから、目障りになってきたんじゃないか？

上演当時はマクベスがエセックス伯に見立てられたから、評価されたのかもね。

それに文読でいくらでもやっているから、宣伝なんだけどね。

昔の怪談系の特集のとき、真メガテンをスーフファミに刺して電源を入れると、ごくわずかな確率で、怖い映像が出るとか、メインデザイナーの人の机の上に洋物の趣味性の高い雑誌が置かれているとか、それは怪奇現象と関係が無い。

昔のハミ通でも、メガテンはやばいことが開発中に起きると記事であったような記憶がある。後日、国会図書館にあるハミ通全誌を調べると、「そんな記事はありませんでした」というオカルトオチは無いけど、『学校であった怖い話』等の怪談系の噂を集めたハミ通の記事で、開発者が行方不明になったとか、真偽不明なことが書かれていた。

はず！

何度バグチェックしても、バグが無くならないという普通のゲーム開発でも起こる悪夢があるけどね。それはオカルトじゃなくて仕様書の書き方がよくない。

歴史修正主義で、この『女神転生』から生体の磁鉄鉱で生成されたのが、高温超伝導物質の磁性液体ということにしておこう。（後付け設定）

『ブラック・ジャック』の名作として名高い「時には真珠のように」で黒男くんの「体内にメスを置き忘れ」というガーゼを入れたまんまとか他の患者と入れ違ったとか後の実際に起きた医療ミスの見込みだけ、当時から影であったのだろう。医療現場の取材で噂の元ネタに手塚の想像が加わっているだろう。ローカルな出来事では新潟医大でも似たようなことが、この十年で何件もあり、水面下ではその倍があるんじゃないか？

ともかく、このメスが触媒みたいになって、真珠質・カルシウムの殻で包むウソ、これができればいい。「ルナイズマイン」の磁性液体は-50度ぐらいで超伝導が起こる物質で、液体だから排出できる（低重力下で推力を得る）とか魔法の物質だけど、実は魔法の物質は現実にある。（サクラガイドじゃないよ）

だいたい-190度ぐらい冷やせる、液体窒素で超伝導できるセラミック化合物は実在する。発見当時、かなりビックリした出来事で何度再現性が得られても、論文を書いた学者が「かもしれない」とか「はず」とか留意というか、なかなか自分自身でも信じられないことが起きていることを窺わせる物を書いている。「ルナイズマイン」の元ネタであるスタップ細胞とはぜんぜん違うね。

スケール則じゃないけど、たしか一年に二三度高温の超伝導化する化合物が開発・精製されている。

はず！（本日二回目）

遠く離れた原発から冷却コストをかけずに電力を供給できるのが、高温超伝導物質の予測される実用だけど、オンカク問題を解決しないから、実際にはできない。

現実問題、ウクライナはチェルノブイリ圏内を中間貯蔵施設にするしかない。

パブリックメガデスの謀略が完遂すれば、ある場所にオンカロが出来て、大友克洋「Fire-Ball」のATOMのオマージュで皆がもう見たことがあるアースサーキュレーション、そして悪役のおばちゃんがユーカリ・オセアニクスで、コードギ*スではやっていないけど、本当は被支配を表現するなら世界中のイエローケーキを集める『コッペリオン』みたいに、イレブン地区に原発とオンカロを作りまくられて奪還しても、意味が無い（パトリの喪失）をするなあ。私なら。

フィクションの話ですから。

宇宙空間の日陰の温度で超伝導になり、液体状のの高温超伝導物質、その夢の物質はオカルトな作りだったというオチになるのか？

それにしても、昨日の晩に見たプログラマーが余命幾許も無い息子との思い出を、ゲーム化するドキュメンタリー番組を放送していて、それは全編、正視することができなかった。

観るのがこんなにつらいドキュメンタリーがあるのか。

息子とのライフログを撮影して、それをゲーム化してしまうのは、さすがに、それはできない。

私にはできない。

ナレーションを録音しているときに、お父さんが途中で泣いちゃう。

ゲーム表現はここまできたのか。

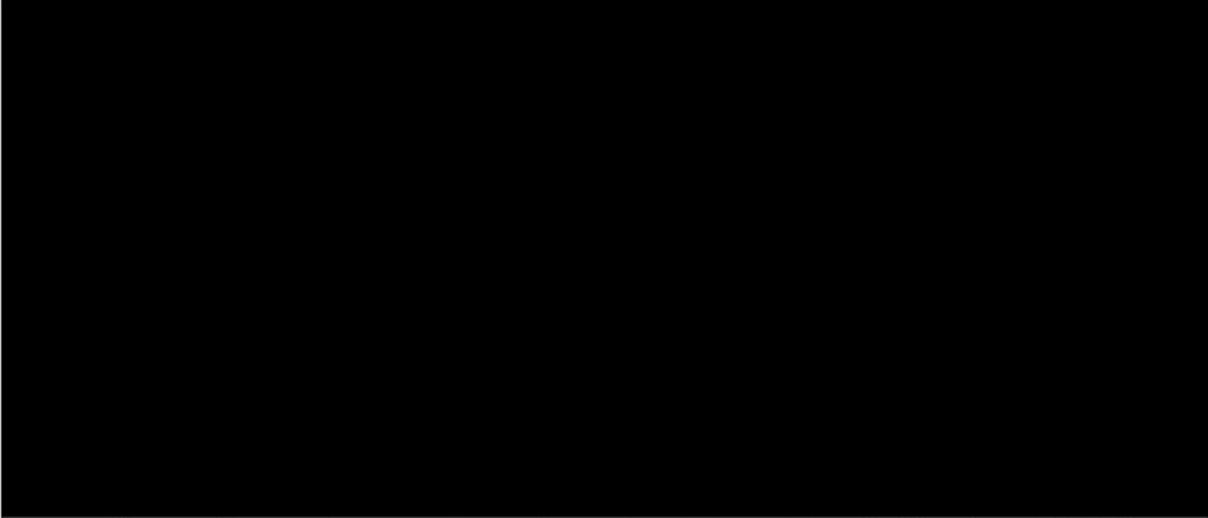
ある種、オカルトに近いかもしれない。

プログラムの中にデジタルデビルという女神転生のやっていたことをプログラムの中にデジタルチャイルドを入れてしまった行為。本当に観ているのがつらかった。

『マイクラフト』はやったことがないけど、ファーストパーソンであるなら、『ビルダーズ』の方はサードパーソン、あるいは二人称を誤読させる方法を取っているなら、プレイ感が違ってくる。『マイクラフト』の系統がクラフト系で、『ビルダーズ』はビルド系にこれから分かれていけば、いいかもね。

正確にはクラフト系がマイクラで、ガンダムプレイヤーみたいなモジュールやスキンをつけるのが、ビルド系では？ アニメの『ビルドファイターズ』から来ているカテゴリズだけど、浸透しないだろう。

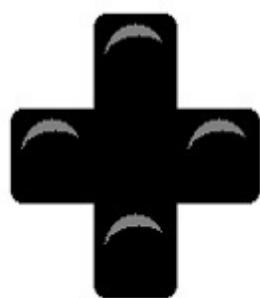
今マイナス70度くらいの高温超伝導物質があるが、「ファミつく」の記事を書けばよかったかな。Apple Iの木のケースが好きで、木目調でもいいから霊柩車みたいなパソコンがほしい。その一環で木枠のファミコンエミュレート機があると、うれしいな。



G A M E R E V I E W
Vol.1 **COMPLEX**

五島千尋

amazonにて発売中



Architecture
Product
System

WA2



ミニアフターストーリー

駿河屋 の 買い取り価格

25000円

売り抜けしよう

今週の「アラタカンガタリ ～皮物語と言っても高須克也の話じゃないよ～」と「銀のスプーン エコノミックア
ニマルって、コノマンガの経済動物のことを日本人に言っていたの？」は休載です

今 人は二足歩行から
飛翔する！



僕たちは同性愛だけ
じゃないんだ！



明日の朝日に
向かって行くんだ！



それがギャグマンガだ

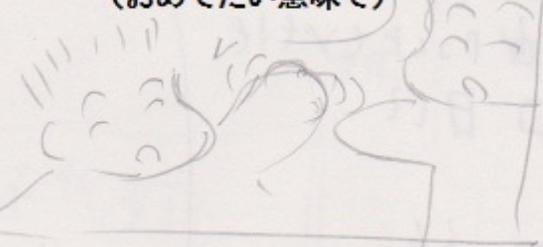
四コマ目は後半の扉絵に

正月だ
めでてえ



がったい
しょう

(おめでたい意味で)



あああああ
あけまして
おめでとうございます



今年を迎えられたのも
皆さん読者ののおかげです



む
き
人
ほ

電子書籍を買ってくれなかった
人には皮肉に読めるじゃないか

帽子のカタチが違うけどイーカゲンマンガだから

I who do a sexual harassment to the daughter am a bad father



ネタはあがってるんだ

キミもゼットユーエヌさんを裏切って艦娘を描こう！

*仮装巡洋艦を誤っている

井上喜久子
が声をあてて
いることで
艦娘を
描いた
ことは
確定だ



*偽装駆逐艦に
年齢詐称の女

うーんそれはいいわけできない

不逞輩だ
からな



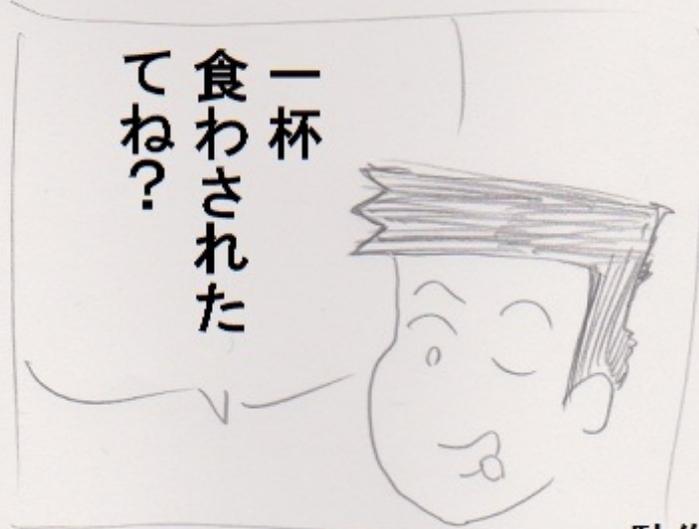
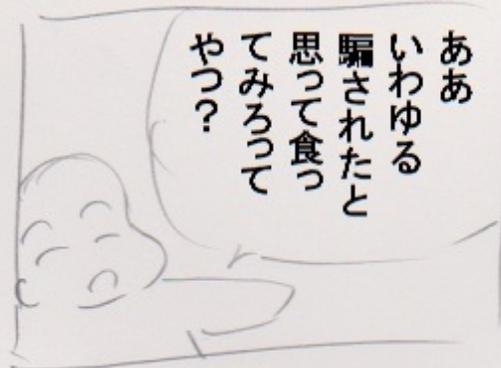
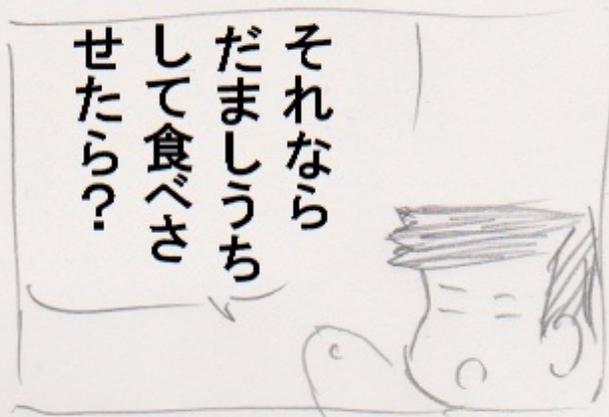
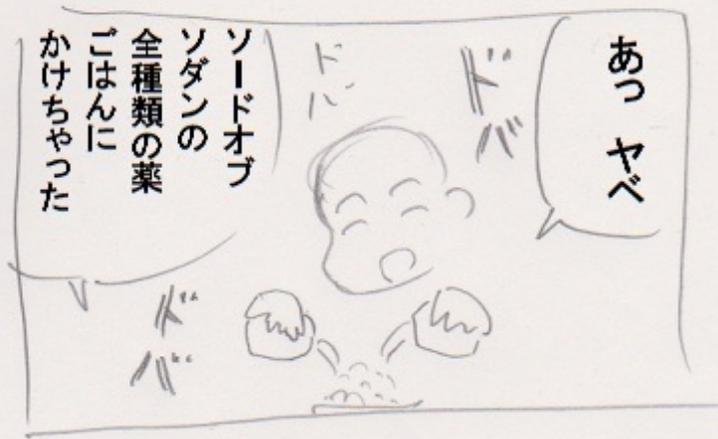
なにせ自称17歳の
くせに17歳の娘が
歌手デビューという



井上喜久子さん
の悪口はやめて

やめて

このせいで『ありえない未来の思い出たち』の執筆が遅れちゃったよ

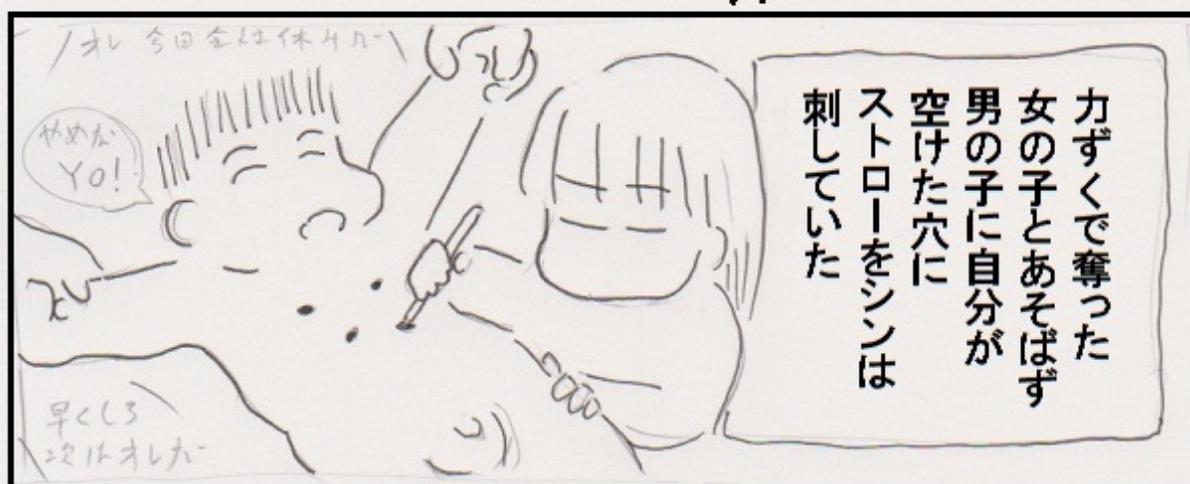


ソードオブソダン豆知識 全種類の薬を一気に飲むと死ぬ(オーバードウース?)

駄作

他の面白くさせる四コママンガに続く

「女の子向けPuboo×Paboo」にあるカゴメジュースの広告~~で~~八コマあったマンガを四コマにリメイク



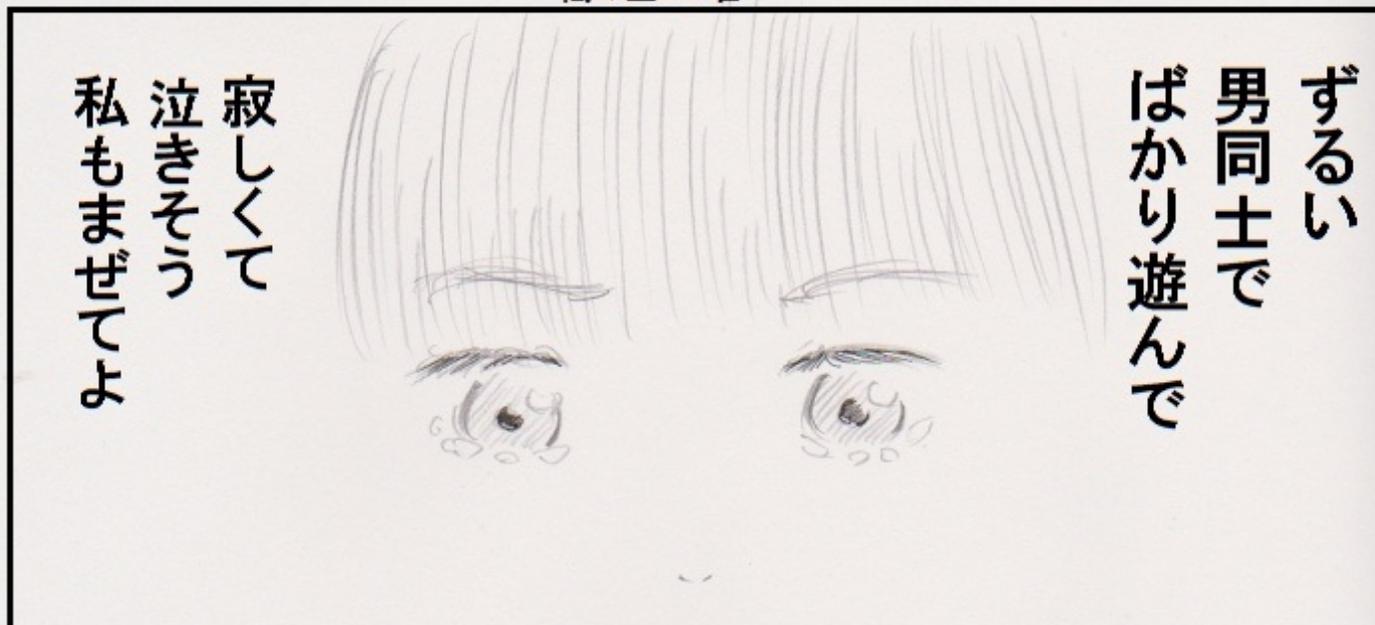
この四コマ、勝手に
トマトジュースを
広告したマンガだったんだね



二人はくま、211ます



友達がトマトジュースを飲んでいても、「それボクの血だから ボクの血だから」とやっても、面白がられない。



ずるい
男同士で
ばかり遊んで

寂しくて
泣きそう
私もまぜてよ

取り残されたユリア役のゆかり先生はこんなことを思っているが、男性にたいして男性が「こいつスケベな身体してやがる(声の出演・小林ゆう)」「さては誘ってやがるな!(声の出演・同上)」「お望み通りオレたちでアスタリスクしてやるっ(声の出演・同上)」と言っているから、ギャグになるのであって、女性にそれをやるとただの性暴力だから、まぜちゃダメ

スペースが余ったので広告

前頁の四コママンガを描いたのも、この小説を書いたのも、同じ私
「あなたはあなた。私は私。梶田省治さんの似顔絵は似てない」

傭敵の男

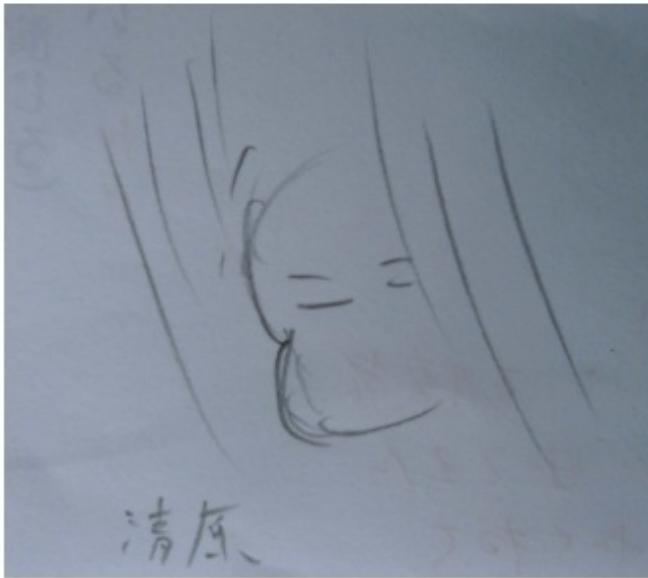
Picaresque magican's novel

追記・落語家が師匠にネタをわけてもらいたい、永野護さんのところに行って、「『オレ、今日会社休みだ』のネタをボクに下さい」とお願いしないといけないのだろうか？

昔馴染みのスナフキン野郎

三月いっぱいゲイが出来ない禁断症状で
全身の震え幻覚にのたうちまわる
フェイトくん

大きな声では言えないけれど
第三部第三章でも国家元首で宗教指導者
でもある人物に問いただそうと飛び出した
主人公の部屋に一人とり残された
古くからの友人も身体が震えだして
「アスタリクスがしてえ」と……



入院先の病室から
マスコミを気にする
フェイトくん

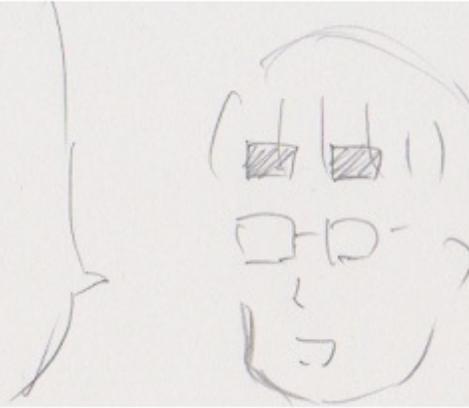


よくわからなかったら横本鯨を読んで予習しよう

大相撲を観覧するお客様へ
力士の四股名を呼ぶのは
迷惑なのでお止め下さい



好調の印度
幕内随一の
技巧派です



今日は ロシアから
亡命した お父さんも
見に来て下さっている
ようですから
この一番
負けられませんね

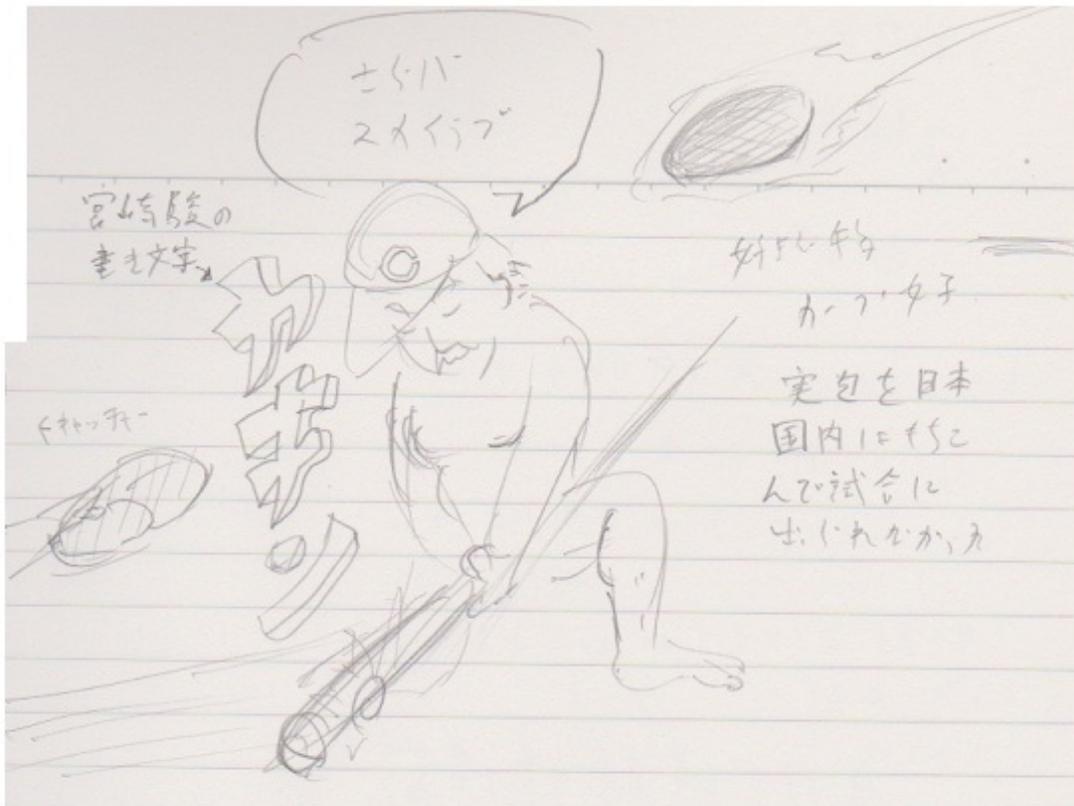
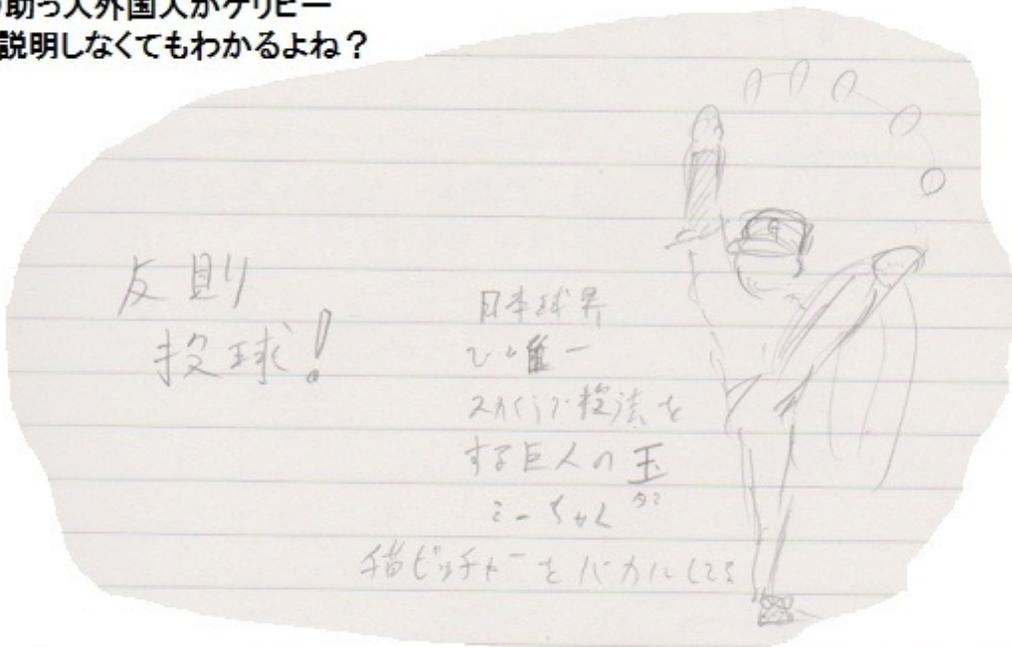


これ 似顔絵で
描いたイジー
トルンカの
使いまわしじゃ
ないですか？

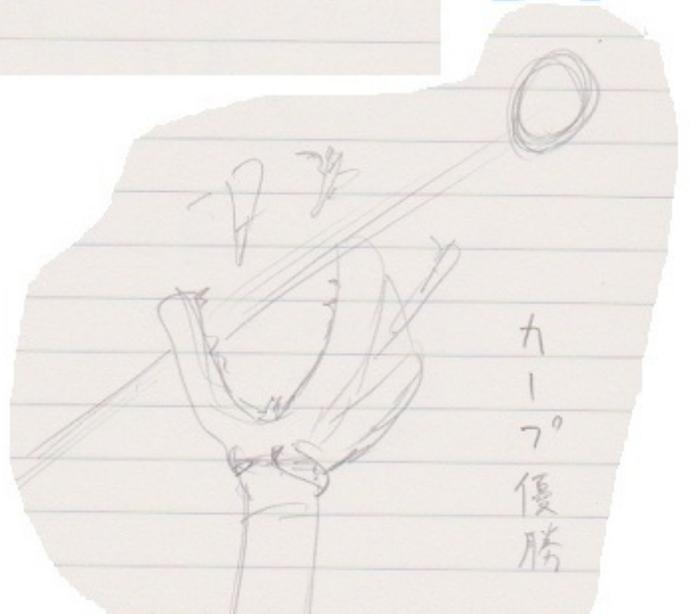
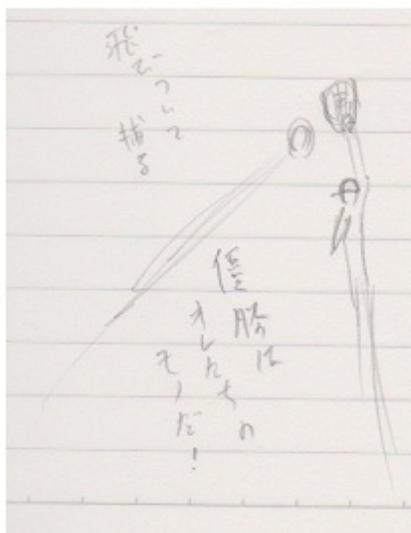


お前もな

裸の助っ人外国人がゲリピー
って説明しなくてもわかるよね？



だいたい優勝できるねけねえだろ



デスブログ第三弾

隨筆

マキタスポーツ氏の提唱した「どん兵衛に湯を入れて五分ではなく十分待つとうまい」という、略して「十分どん兵衛」は公式に日清に認められて、コマーシャルにも「十分どん兵衛って、知ってる？」とお侍さんまで言うようになっている。

長らく停滞していた時代劇に新風が舞い込んだようだ。

これは春日太一も一筆を取り、更科さんにクサされるだろう。新日プロレスのようにエース級二人がアングルとして争うことで客を喜ばせる。花道から登場するとき、棺が運ばれてきて中から更科さんが出てくる。そして春日さんの自宅を襲撃して強奪してきた絶対にもう再販がかからない大切な絶版DVD（『スウィートホーム』のVHSビデオソフトクラス）を破壊するような我々の心の奥底に住まうプロレスファンを揺り起こしてほしい。

エンターテインメントの王道プロレス。（注・煽ってる）

対して、『めしばな刑事タチバナ』で「インスタントラーメンはゆで時間半分」という、まったく反対方向にアレンジを加えることを言ったのは、強面の葦沢である。

サッポロ一番みそラーメンで茹で時間半分にやってみたら、すごくおいしいわけじゃないけど、悪くない。でも、これでは単なる時短である。インスタントラーメン自体が時短なんだから、これ以上タイムを縮める意味はなんなのか。麺類を征服しようとする人類の挑戦なのか。種と種の生存闘争なのか。ソニーの社員をリストラしまくった出井さんの言っていた空想のF1構想は存在しなかったが、麺のF1構想がここにある。（ピリオドの向こう側とか言い出すのは、よそう）

台所が最新マシンを走らせるサーキット、「蒲田行進曲」のキンちゃんよろしく「スターには免許はいらねえんだっ」と、一分半以内に言って茹でる。

ところが意外にも、合理的だと気づいた。ミルクパンで沸騰した熱湯に麺を入れて、再び沸騰して、弱火にしても沸騰するのが、ちょうどこの茹で時間である。麺と一緒に卵を入れると、ちょうどいい半熟茹で卵（剥き身）が出来る。

好みによって半熟のとろみ具合が違うのでどうとも言えないが、私の好みは一分半から二分の間、この茹で時間なら箸で指したとき、とろ～と半熟卵が出る。だから茹で時間半分の調理法として正しいかもしれない。

それにしても、前にチャルメラだけを食べてみたあじわいに似ている。

新房監督の言っていた、チャルメラを袋の中にある麺・スープ・香辛料だけで調理してあとは何も足さないプレーン・チャルメラは、チャルメラの福音派だ。福音派が聖書に書いてあることを一字一句信じるように、袋内に入った物以外を入れない。万人チャルメラの親父主義（注・万人祭司主義のチャルメラ版）、それは誰でも自分で料理をするから祭司と同じく、「詠唱、ささやき、茹でて、食べよ」をするのだ。

食べてみたけど、

「そばです。そばの代用品です」

という、トッピング無しのかけそばのシンプルな味を、風味をラーメンで楽しむためのものだ

。

そば好きの新房監督と同じく、そば好きにはたまらない…そば好きでないと、物足りないと思

われる。

ともかくチャルメラの袋の中にサクラメントがあった。

幼児洗礼の仮契約から、結婚式や宗教告白の本契約になったのである。

「これでキミも晴れて、今日から明星の信者である」

見た目は屋台だけど本質は移動教会、そんなカント寺院で聖体拝授を受けた！ 祭司の手から出現するビブーティーみたいに出している灰は、けして蘇生に失敗した冒険者（登録名・マナト）の灰ではない。チャルメラの化学調味料である。

でも人はサルから進化しないと信じなくてはいけなくなった。

進化論を教える異教徒を異端審問にかけるようになる。

――今までは、食品メーカーの言いなりに甘んじていた。飼いならされた豚だった。カソリックの総本山から離れて、プロテスタント系の宗教改革だ。

これは合法的な改造だ。『マリオメーカー』で遊ぶみたいなもの。ヤクザに仕切られた改造市場を山内組が…ウォホン！ ウエツ ウェ、クヘツ。チャルメラが気管支に入った。

「私は任天堂信者です。プロテスタント系だけど」

だから、万人横井主義で「ちょっとアスタリスクな横井さん」を継承している。「産めよ増やせよ」で、イムズと仲良くしないと。

なるほど。産めよ増やせよとは、そういうことだったのか。

こうなったら、マーヴェルコミックのスーパーヒーローたちが集まってアレンジャーズだ。

クライマックスの大バトルが起こる一時間半までずっとモメているように、60分の一だけど一分半までずっと茹でるのは、タイムキーピング的に正しかったのだ。

明星や日清食品じゃないところのマルちゃんだと、

「ハルク、鉄の人、嫌い」

とかみたいに、

「ハルク、赤いきつね、嫌い」

と言ったり（問題発言）、CEOが怒って緑のためきバスターを作って対抗。ムリヤリ赤いきつねを食わせようとする。

「紅いハルクバスターと翠のハルク♪」

と言った武田鉄矢はふかわりょうに「そこ、オレの席だぞ」と言われる。（たくさんの芸人たちとからだ中で、なんでふかわなんだ。何かの件で「傷口に塩を塗ってやろう」ということではなく、女性は辞職する宮崎議員みたいでないと、イヤなんだよ）

そういえば、カツラがウソをついている証の高木大臣って、まだ大臣なのか？ 頭頂部のスーツヒーロー。

お友達下着泥棒組閣をおおっぴらにやると、同じスーツヒーローのマーヴェルの方から怒られるが、マーヴェル・シネマティック・ユニバースみたいにスーパーヒーローたちをからめる話を作るのは、意外にアレンジ料理と似ているのでは？ スーパーヒーローが材料だから、ほとんどインスタントで映画は作れる。熱湯や電子レンジですぐ料理ができるみたいに、すぐ映画を作れる。

そこを2020年ぐらいまで映画公開のスパンを考えてあるグランドプランは、ちょっと違う。だ

いたいスパイダーマンやバットマンは三部作で五年ぐらいの公開スパンを考えるけど、そこを十分どん兵衛みたいに十年と長くスパンをとっている？ という見方もできる。

ハルクバスターとハルク



セントリーのことを憶えている？

黒と黄色のパッケージのカレーうどんであったよね？

アニメもドラマもテレビシリーズを映画化する場合、どうしても一分半に茹で時間短縮みたいに、約6時間や約12時間を90分以上120分以内に圧縮する、茹で時間半分の調理法で作らないといけな

い。映画が「神話」であるなら、料理法と接続されるのはレヴィ＝ストロースの『神話論理』で一字一句同じじゃないけど、似たようなことを言っている。

テレビから映画に置換、尺を圧縮で…いつものネタになりそうなので、これ以上はしないけど、それでもちょっと触れると、流行の分子間調理だっけ？ 創作料理でアメを冷却スプレーで固めて仕上げるとか、ちょっと前ならバーナーで泡をとるとか、あったけど、実は映画作りにも応用されているかもね。知らない間に。

テレビシリーズなのに原作を一分半に茹でる調理法は、だいたい失敗するという、余計なことを書かない方がいい。映画でも、『百日紅』のアニメ映画は、ゆで時間半分なのか、お時ちゃんと井上政所が出てきたか、出てこなかったか…忘れたということにしておく。私なら鏡斎先生を出して、『百物語』の一説、とんでもねえ野郎も出してしまいがちだ。

当の『スーパーマンVSバットマン』って、主食と主食の組み合わせだ。カツカレーみたいなトンカツとカレーライス

の組み合わせではなく、カレーとラーメンだ。スーパーヒーローが肉だとしたら、スーパーマンがステーキで、バットマンは本来スーパーヒーローじゃないただのラーメンだから、アーマードスーツでムリヤリ肉を盛ったラーメン二郎！ …ステーキとラーメン二郎の対決だったのだ。それは「ムービーウォッチメン」のコーナーでリスナーに酷評されるわけだ。

そういえば、今までの話の流れと違うけど、ノーラン版の『ダークナイト』のジョーカー、前にヤングマガジンで大友克洋が描いたバットマンのマンガがあって、短い頁の内容に悪事を行うことが目的の敵で、バットマンも「オレはお前だ」と、ヴィランとヒーローが表裏一体の『ダークナイト』のテーマが出ている。ここに出てきたヴィランを参考にしていたとノーランがインタビューで答えて言質がとれば、ジョーカー＝仮面ライダー王蛇説は否定されるかもね。

ティム・バートンもクリストファー・ノーランもコミックに描かれていることをモチーフに映

像化している。つまり、同じ素材でも料理の仕方が違う。ジョーカーは原作コミックでたしかワイヤーで吊るされる最後であるのが、バートン版もノーラン版もワイヤーで吊るすことは吊るすけど、ちょっと違う。ノーラン版では「絶対に十分どん兵衛する者と、絶対にゆで時間半分にする者がぶつかりあうと、こうなるわけか」という名セリフも言っている。

話を戻してアベンジャーズ系は、フルコース料理で満漢全席（この字でよかったか？）のよう
でいて、一口ずつ食べやすいコース料理になっていたと。

そんなものより、ラットゥーレの方がうまいという結論がピクサーの映画で出ているけどね。
子供の頃食べた郷土料理の方がうまいという、『美味しんぼ』っぽい話して、テレビアニメの出
崎演出の孫影響が『レミーのおいしいレストラン』なんじゃないのか。

それにしても、

「日本よ、これが料理だ」

と、誤った日本料理を作られているのは、どうしたものか。

寿司を食べる時に酢メシに室内花火を刺してパーティーの日みたいにする『もやしもん』で見
た似非日本食を作る。

それは日本も負けてはいない。海外起源の原料理を、勝手にアレンジしすぎたネオ日本食を
作る。

新潟県内の太麺にミートソースをかける料理をナポリタンと言い張るみかづき（チェーン店の
ブランド名）は、ある記事によると、盆正月に人が並んでいると書いてあるけど、盆正月に人が
並んでいるのを見かけたことがない。（党派的な理由である記事の出所は伏せる）

日本人は外国食をアレンジばかりするのである。日常的にアレンジしてしまう。

今までも、カップラーメンの汁を陶器に移し変えて溶き卵を入れてフタをして、レンジで何分
間か電子調理してちゃん蒸しもどきみたいなものを作っていた。

しかし、基本的なことだが、アレンジが全てではない。

100円のコンビニ珈琲は、ホットなら、強調するが熱いうちならうまい。冷めたら、牛乳を足し
てミルクコーヒーにすればいい。

アレンジは基本的にこれだ。何かミスしたときの対処療法。

なんでこれに気づいたかという、100円のコーヒーは意外にもイオンのフードコート近くに設
置させられるコーヒーメーカーのモノがうまいと、思っていた。なんでうまいのだろうと思っ
ていた。「何がいったい、必ずシールが貼られレギュラーかラージに示さなければいけないプロダ
クトデザインとして未完成な佐藤可士和コーヒーと違うのだろうか？（注・悪口ではなく問題
提起）」と思っていたら、よく考えたら冷めないうちに飲んでいただけだった。

淹れたてのコーヒー、がうまいのだ。

泣いた。

いつもその場で熱いうちに飲まず、自宅や出先でちびちび飲んでいたので、わからなかった。

熟したバナナはとってもおいしい！ のだ。

初心を忘れていた。

やっと一周した。慢心から解放されて、未熟ゆえいまだ一周せずが、今日初心に返った。

懐中汁粉で、カンペー。

懐中汁粉



マルチナも大好き

近代文学を越えた島本慶親方の名文に感動したところで、ジェイケイ-meshi感嘆符の話題は大丈夫か？

何か足りない。

何が足りないって、予算だよ。

低予算番組って大変だな、とってしまう。

深夜のメシテロにならない。

飯テロって、吉田戦車の『いじめてくん』のライス会、朝パンを食べたから、手に飯粒がついたいやがらせを執拗にいじめて君にする、狂信的米食組織。

「米を食え。さもなくば、また飯粒の日が訪れるだろう」

と、西洋の甲冑の兜の顔面部に「米」の字が抜かれている人物に言われる。

これが飯テロだろう。こんなことをされたら塩パンを食べたくなる。

しかし悪口になると、いけない。

でも出てくる料理、おいしそうじゃないモン。

『ひとりできるもん』より少し料理ができる程度。今の「業物語」の宣伝、RIKI氏がオファーされて作ったドットグラフィックのアニメの走りは、『ひとりできるもん』だったのでは？

二年目のやつがよく出来ていた。八面方式で天外魔境Ⅱ（天外魔境Ⅱが後では？）だった。文ちゃんが文房具に一時的になってしまうシーンは、子供ながら驚いたし怖かった。今なら、トラウマ映像だ。ソファーに寝そべった文ちゃんが、特撮で人形に文房具で象られている映像（NHK教育テレビがたまに見せる黒さを見逃さない）。

子供にお料理を清く正しく教える教育番組で、「負けたら文ちゃんが元の文房具になる！」という、今思い出すとすごいシチュエーションだった。

いくら物語作家でも真似したくない。

絶対に真似しないぞ。

まるで前振りのようにになっているが、話は去年のことになる。

ハロウィンの時期に、ポタージュ味のカップラーメンが売られていて、それはハロウィンの時期を過ぎたら、安売りされていたのを、見たことがあると思う。それで食べてみたら、まずいどころか、小腹がすいたときには「これはいいな」と思う、けっこう食べれる品だった。

ところが、安売りされているということは、人気はなかったわけである。ハロウィン期間中に売り切れなかったのだから。

バレンタイン消費やハロウィン消費は、逆に期間限定モノによくないのかもしれない。定番をもっと売るならいいけど、定番ではないものを売るのは、期間が過ぎるとマズくないのに、おいしくなくて売れていないと、誤解されかねない。

「どん・バレンタイン」とバレンタインまでどん兵衛を食べようとするキャンペーンは、さすがにプチ鹿島さんが言っているように、「からませすぎ」だと思う。十分どん兵衛とゆで時間半分が対立している話が、なぜかハロウィンの不人気商品の話になった。

その話は、（血塗られた右手をかざして）おいておこう。

マンガ料理を再現している方がおられるなら、一回ぐらい『フォーチュン・クエスト』のレシピを試してほしい。「マトマはトマトで代用できませんか？」とか、「ミケドリアの肉はニワトリで代用できるのか？ その場合、ブランド鶏やシャモじゃないとダメか？」と、調べてほしい。

「マトマはダイシン百貨店に行けば、ありますか？」

先にやった方がいれば、それをスリップストリームに記事を書けるので、こちらは樂吉左衛門さんみたいにラクだなあ、と。ラクザエモンだから、一度も「ぼく、ラクエも〜ん」と言ったことないと思うけどね。というか、ドラえもんの存在すら知らず、それをアレンジした十分どん兵衛のようなうまえもんも知らない。（うまえもんはドラえもんを十分どん兵衛した存在なのか、ゆで時間半分にした存在なのか、定かではないけどね）

それにしても、まんがにくじゃないけど昔から知るもので、食べたことがない食材がある。（ダイシン百貨店はもう閉めたよ）

『MOTHER』のいちごどうふを食べたことが無い。

くるみ豆腐のような作り方で、いちごをジューサーにかけて、その苺汁と豆乳を混ぜて、にがりを加えて型に入れて冷蔵庫で冷ませば、カンタンにできるとは思う。しかし、食べたことない。

いちごの入ったソーダ水の写真を作ったときに、使用済み苺（経費計上済み）を使えばよかった。（実は影でこっそり作ってみて失敗した）

深沢美塩つながりで、塩パンの話しよう。

どんなに私が好きでも、塩パンは流行らない。

塩パンはうまいが、コンビニでパン棚に出たときはうれしかったけど、すぐに引っ込んでしまった。

売り上げが悪かったと思われる。

塩パンを流行らせちゃいけない。

ローカルの話題をすると、けっこう新潟県内であれば、個人経営のパン屋では売っていたりする。そこでは、塩パンを流行らせようとしている。

パンが好きな奴に「こいつを食べてみろ」と塩パンを送りつけたりするのは、暴力じゃない？

コンビニの棚に消えた後、ローソンに売ってあったとき、あれはうれしかったなあ。お金がなくて、その場で買えなかったけど。

ローソンはいいコンビニだなあ。

塩パンは定番商品になってもらいたいから、流行って欲しくない。

流行った後、塩が引いただけなのに、おいしくなくて人気が無くなったと思われるのは、プレーンなものが好きな私には、流行り廃りで塩パンを評価してほしくない。（潮だよ、潮！ 美潮だよ）

塩パンは定番にはなれない。

駄菓子商品は流行ったことがない。だから定番になれた。

「ねんしょ〜け〜」という連呼が流行ってしまったアミノ式は、スポーツ飲料のスタンダード・定番のポカリスエットの牙城を崩すことはできなかった。（『デート・ア・ライブ』の元ネタをプレイして「この頃ピコーが流行っていたんだ」とかのネタは封印）

『石膏ボーイズ』の元ネタである小便小僧たちが「可及的速やか」とか、小賢しいことを言っていたダカラも今はそれほどだし、スポーツ飲料じゃないけど、海洋深層水は今も汲んでるけど、下火だ。

やはり、ポカリスエットには誰にも忘れられない名セリフがある。『スラムダンク』の三井くんの名セリフがあるじゃない？ みんな感動した諸星に向かって「ポカリ、もうねえのか」と。これでどれだけ、ポカリを買いに行ったジャンプ読者がいたか。今だと許諾がとれないと“ポカリ”とかになっちゃうけど、「ポカリありませんか？ ポカリ」と探しまくる読者に、誌面で「ポカリスエットはありません」とジャンプ編集部を騙る電話が来るのを注意喚起というか、オレオレ詐欺のはしりだったんじゃないかと、今では懐かしく思う。

キシリトールガムはなんとか定番、下位な定番になった。昔は浴びせるようにCMをしてキシリトールという自然素材の甘味料が虫歯予防になると、かなり宣伝していた。今では、子供はひょっとしたら、キシリトールは甘味料でありながら、虫歯予防になると知らないかもしれない。

カカオマス・ココアにも、虫歯予防になる成分が入っているらしいけど、チョコレートという加工を施して甘くすると、虫歯予防以上の糖分を摂取することになる。

チョコといえばローソンのチョコファッシュドーナツがコンビニドーナツで一番うまい。たしか前に「GL」で食べ比べしたら…あれはコンビニコーヒーか！ コンビニコーヒーは差はないらしい。

ローソンドーナツは本物のドーナツ屋に負けない。後発のセブンイレブンは、味が落ちる。地元に戻ってきた幼馴染が、無口な奴と仲良くなっているのを知ったくらい味は落ちてる。

そこまでは落ちてない。

味だけならさすがにミスタードーナツだけど、割高でお金持ちしか口に出来ないミスタードーナツのオールドファッシュン140円⇨ローソンのオールドファッシュン100円という、ローソンは貧乏の味方だ。

他のビニコンドーナツは魔夜峰央なら「埼玉県民にでも食わしとけ」であろう。昔から千葉県民を田舎物とケナす作家性を持っていた…というか、30年前の復刻本なんだけど、一応、他のドーナツは「草と同じ」と言っているわけではない。そんな悪質で人を傷つける冗談言わな

いよ。(メカ馬こと「ロポニー」と玉県民をケナすマンガを描いたのは同じ人。それをちゃんと真似して影でこっそり「バンナムを狩るぞ! まずはアイマスから」とかは言っているけどね。「バンダイナムコゲージカ熱だ!」とどんバレンタインよりもかかってない)

ローソンのドーナツ 他のビニコンドーナツ よりうまいぜ

それとあまり詳しく言えないが、~~女性店員を見て瞳~~が『無彩限のファントムワールド』第一話みたいに縞々になった。



だけど、ローソンでファッションドーナツを買ってきて、イオンのフードコートでコーヒーを買って、フードコートで食べるのは、よくない。

マンガレビューで自分語りするぐらいよくない。

定番にしたいなら『アンパンマン』に塩パンマンをレギュラー出演させるしかない。やなせたかしに袖の下だっ。

…亡くなられているのを、すっかり忘れていた。

最近、雑誌の記事で「テレビのグルメ企画は手抜きだ」というのをちらっと見たが、この随筆は間違いなく手抜き企画なので、そのところはウニャムニャにしてほしい。分子ガストロノミーを分子間料理と不正確な覚え違いをしているとか。

きっとスマップは泣きながら、ポカリスエットの涙を流しながらカーネル・サンダースに「十分どん兵衛がしたいです。メリーさん」と言ったに違いない。



「叶えたいドリームが♪ 溢れてる～(から)♪」
 というわけではなく
 セブンイレブンのアイスカフェラテ
 は下の四コママンガと同じ味がした

それから四月あたりから売られ始めた
 二個入り塩バターパンはハツサパサ
 舌が乾く 飲み物を飲まなくてはいけない
 邪道の塩パンだ

ポタンの所にシールを貼らなくちゃいけない
 未完成のコーヒー飲料製造機のコーシーを飲まなくちゃ

コーヒー四コママンガ

この間間違って
 佐藤可士和珈琲で
 ほっとコーヒーが
 ほしかったのに……



あいすコーヒーを
 押ししてしまったので
 車のカップホルダーで
 家まで持ち帰り



牛乳を入れて
 ミルクコーヒーを
 作って飲んだら



うま



これは22したときの作り方(温配法)がから
 ミルクコーヒーを飲むために やったタメ

ネタ 「悩み お金がなくて資料が買えない」

フログマンショーのアニメをレビューしたくても、元ネタであるスネークマンショーのレコードを手に入れないと、どうしても『鷹の爪』の話が出来ない。吉田くんの声をあてている人は、伊武雅刀の声芸を意識していると思う。場合によってはディスクレコードの再生機を手に入れないといけないかもしれない。

スネークには毒があるように、スネークマンショーにはヤバいネタがある。

文献でたしか三番目の人の頭が…

この場でも言えないことがあり、そうした蛇毒がフログになって毒が抜かれているはず。毒カエルは存在はするけど、基本的には許された風刺程度に抑えて、スネークマンショーのように「今のマスメディアではムリだろう」なネタは無い。だからこそ成功していると思うが、どのくらい毒抜きをしているのが、実際に聴き比べないとわからないだろう。

要はお金がない。けしてケチではない。

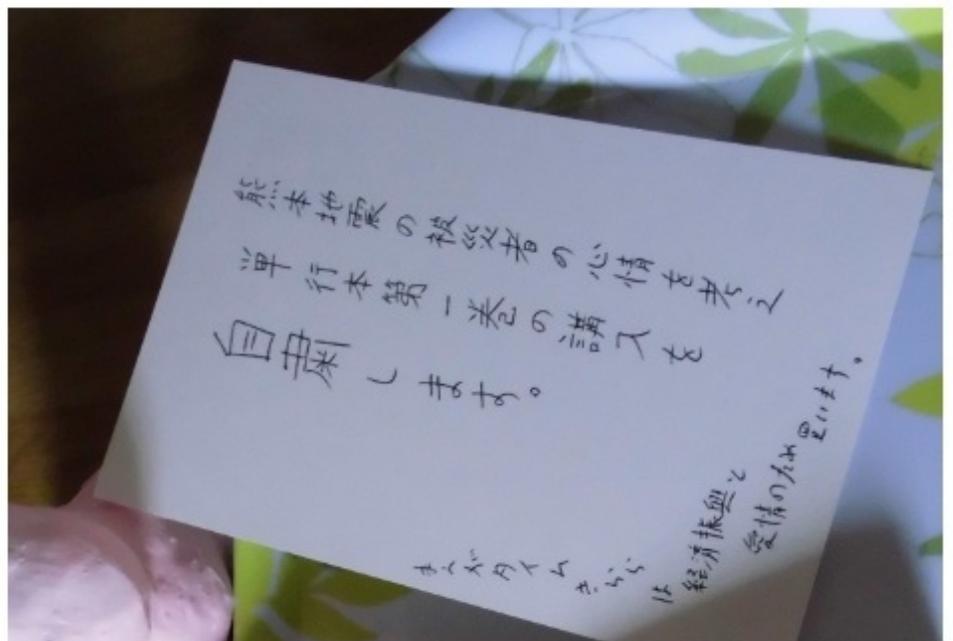
ある「番組」でスポット応援をしたかったのに、お金が無くて出来なかったとか、去年はそんなことがあった。

お金があるなら、取材費持ち出しで寺田テラオさんのノンフィクションを書こうと思う。というか、書いている。

米沢さんが生前、マンガ批評の本は売れないと嘆いていた。夏目房之介さんの本さえも厳しいと。ちゃんとした出版社から出ている本ですら、厳しいなら売れるわけないよ。

お金が無くて、『かくしごと』の単行本も買えないよ。

本文と関係ない画像



ザハ・ハディド氏の下品なコンセプトの新・国立競技場第一案は、サイバー空間であるなら、建てることができる。三次元の仮構空間なら、キールアーチ式の建築法でも、予算を気にしなくていい。安全対策もしなくていい。

データ量や質によるけど、観光地に訪れるようにネットサーフィンした人が見に来る施設として、あるべきだとは思う。それはアーキテクチャー・プロダクト・システム内に実装を考えてなかったわけではない。

とても明治神宮のすぐそばに建てられないザハ案も仮想空間ならば、アンダーグラウンドサイトでやっているということで、受け手が処理してわかってくれるはず。あんなものを本当に建てたら、明治天皇が御霊になって災いを都内に及ぼすよ。このときに地震災害があったら、最終的には京都の祇園祭のようなものを東京でやらないといけない。（ザハ氏も崇られたのか、本記事執筆中に亡くなられてしまった）

伊藤豊雄さんのプランBも、できれば入れてみたい。ノンフィジカル・レヴァイメンタル・コントロール・キットのハンス・ホライン、これを知ってる隈さんのプランAの方が選ばれた。思想的には、こちらに近い。

広告を払う人がいたら、私がやったアイデアじゃなくて、誰かの似たようなアイデアが実現している。チーム・ラボでもいいし、他のグループなり、仮想空間でアンビルドなり本当に建てられた建築物を中に入って探訪できる、区分けすれば眩暈系（登山とか）のゲームができたはず。

『アクアノートの休日』とか、あったんだから。

ショーの製塩場とか、長年南青山にあり空に向かっていった同潤会アパート（『鉄人28号 白昼の残月』）も置ける。

七重塔 チェルノブイリ原発の石棺をおさめるシェルターもあるといい。マスコミで許可がもらえないと、傍に行くことすらできないのだから。

プレイヤーが作った家や自宅の立体情報化された模型も置ける。

ミニマリストにとっては、仮想空間A P Sは理想的な住空間ではないだろうか？

仮想空間A P Sが作られるといいが、現実問題としては、誰もお金を払いたがらない。

クラウドファンディングも違うなあと思う。

初期開発費をまかなえるだろうが、持続的に活動・運営するとなると、頭打ちになると思われる。パッケージソフトならそれでもいいかもしれないが、

セカイカメラが意外にも寿命が短かったことを考えると、サイバー空間でのコマーシャルでの広告料による維持管理費（主にサーバー料）は存続に限界がある。

サイバー空間で何か建築物を建てるのは、サーバー料金とかまったくかからないわけじゃないが、運営できないほどの料金じゃない。

ただ付加価値をつける、何かサービスをするとなると途端にコスト面で困窮するだろう。

『セカンドライフ』が何故ダメだったのか、あまり検証もされていない。

日本人は大本営発表が大好きで、勝った報告やその理由を聞きたがるが、負けたことを反省しないところがある。勝っていても、日露戦争の「張った側に当たった（バルチック艦隊発見時）」の運であるところなどを、あまり語ろうとしない。その結果ハロー効果が生まれて、日露戦争に勝ったんだから大丈夫と安心してしまう。

投資家を説得できるなら、ビデオゲームを作っている。

だいたい、これだけ普及しているラインにお金を出さなかった国内投資家に何を期待するんだ。これが大本営発表じゃないか。

データをローポリ化して立体プリンターで出力しやすいようにするか、ダ・ヴィンチのような家庭用立体プリンター向けのアウトプットにコンバートするのなら、プログラミング技術がかかる。

そういうプログラマーに支払える資金的目処はつかない。

建築会社などの企業向けはちゃんと課金、学術関係やNPOには無料で素材を提供されるとか

、『だるめしスポーツ店』みたいに、ゲームをして安くスペースや素材を手に入れる方式はどうか。ニンテンドーポイントの消費が抑えられる。

そもそも課金ビジネスモデルでやっていくのが、正しいのかわからない。

長く続けるとなると、大変である。

継続は啓蒙（建築知識）の手段に過ぎない。どこかで啓蒙教育か、娯楽かを取らないといけない。娯楽であれば、赤字になればやめればいいんだけど、啓蒙教育だと、赤字だからやめると困る人が出てくる。今、Wikipediaをやめちゃうと、百科事典を買えない、図書館にアクセスできない貧者が情報の貧困に合う。

広告でまかなえるか、わからない。

永江朗さんが活字離れの実態を調べたら、「雑誌の広告離れ」だったと分析している。広告の出稿数が減って、雑誌の価格を据え置くのが難しく、徐々に売り上げ部数が減って行って、さらに広告が離れると、書店で立ち読みもできなくなる。立ち読まれることを含んでいるから、広告を出しているのだから。

書店の雑誌立ち読みは、そういうフリーミアムだった。それが崩壊しかかっている。

広告のチャンネルが増えて、その広告の過当競争に勝ち残れるか、正直グーグルでも十年後はわからない。だからいろんなことをしている。

安心してちゃいけない。新興に負けるかもしれない。

アルファGOとか、たくさんしているのは、その中から次に繋がる事業が出てくればいいと、弾を撃っている段階である。

学術的なNPO、あるいは建築学的な国際NGOに組織化するべきか。グーグルのような企業形態では、何か少し違うなど、感じているが難しい。

難問だ。

帝国ホテルは保存運動が起きてくれて、それは有難かったけど、映画『コクリコ坂から』みたいに、カルチェラタン存続運動が起きるような、そこまでは無数にあるけど、実際の保存となると難しい。明治村みたいな場を作らないといけない。

そうなると保存の維持管理が観光資源化しないと難しい。

だから、『21エモン』の昭和村みたいなことをしている江戸東京たてもの園を作るのは、APSと同じ考えだと思う。物体保存すれば観光資源化は可能だけど、そのコストは情報保存の比ではない。入園料をとるということは、必然的に補修などの整備費用がかかる。「次元が違う」とはよく言ったもので、

情報保存するか、

電子書籍の問題と同じく、情報化の方がコスト化が低い。

ただ、情報化されたものはアクセスしやすくする、誰でもアクセスできるようにする、途端にコストがかさむ。

さらにいろんなことができる利便性を上げれば、

今は不況でお金がかからないことが評価されるし、お金をかけてちゃんと作るものは売れない。だからパッケージソフトは廃れて、フリーダウンロードの課金ビジネスになる。

80年代の『建築探偵』で藤森さんが行った西洋館および近代建築の半分は観光資源となっている。世界遺産に登録された群馬の富岡製糸工場とか、藤森さんはかなり行っている。（因みにその富岡製糸工場のことにも触れられている処女作の『日本の近代建築』は岩波ブランドで出してもらいたかったと、意外にも名誉欲が強いことが窺える）

しかし、うまくやれてないところもある。

『ドラゴンクエスト』生誕の地・伊豆大島は、ずっとその事実が隠されていたわけでもないのに、観光資源化しなかった。（単純に地方の人はゲームが嫌いだったのかもね）

大島観測所が大灯台の起源であるのは、バカリズム風に言えば「状況証拠が揃っていて、後は自白だけ」というところまでいっているけど、一般には浸透していないし、ドラクエを知っている人でも、知られていない。

批評的には、郊外にハッキングをかけるクドカンよりも早くローカル地にハッキングをかけていたということになる。

ドラクエがヒットしたから海外に（慰安を兼ねた）取材旅行にいけるようになり、北欧の抛城がモデルだとされるが、行けなかった頃は、国内で事足りるようにしなければいけない。そこで材にとられたのが帝国ホテルで、ラダトーム城は帝国ホテルに似ているのでは？ 堀井の資料を全て洗ったわけではないが、帝国ホテルは

それから、スペインのトレドに行った人は「まるでドラクエみたいな町並み」と言ったりしているようだけど、「そこは逆」。トレドにドラクエ開発のスタッフは慰安旅行的に行っているから、ドラクエの町並みはトレドに寄せている。

やらなくてもいいゲームの方向もある。

誰かが通った観覧ルートを通信接続したテレビで映像を流すとか、チョーさんの「探検ぼくの街」のような「ながら見」ゲームである。

部分的には『マリオメーカー』はまさにそれだし、「ながら見」ゲームとはゲーム実況だろう。

宮本茂のCADゲームを引き合いに出していいかな。それはぶつ森の『ハッピーホームデザイナー』がその流れでは？ 自ら自分の家を設計したのはいしかわじゅん先生と宮本茂という二大FIREBALL 負け組なのは大友克洋への賞賛なのだろうか。

『マイクラフト』みたいなのをやるか、やるならどこまでやるか、ローポリでないと、通信の問題で仮想空間に情報のやりとりが重くなる本格的な再現建築は難しくなる

ほぼ日で糸井事務所に岩田社長が来たときに、「Aさんが死んでしまうときにBさんを犠牲にすればAさんは助かる」のはアイデアではなく、単なるセレクトだと言っている。経営体力があるところだと、つついやってしまい、

宮本茂が言うのは、複数の懸念が一挙に解決するのものがアイデアだと、

サーバーの容量に関してはそんなに気にしていない。

基本、動画サイトは解像度×色数×秒数の世界で、グーグルのストリートビューもだいたい似たような情報処理と思われる。

テクスチャーの解像度×色数×ポリゴンでPCのメモリ量とビット数が座標の目盛りの多さになる

ハイデフとSDのように、

そうなると、エントリーレイヤーとディープレイヤーと二つの層があって、入門者と常連者で情報が違う。アクセス回数で、レイヤーの情報量が違うとか、そこはゲーミフィケーションである。

秒数はないけど、解像度×色数にポリゴン数多めだと、オンラインゲームをするゲーミングPCならなんとかなるかもしれないけど、普通にインターネットを観るだけのPCだと、きついかもしれない。

実写でバレットタイムを可能にした『マトリックス』の被写体を全方向から複数のカメラで撮影するのを開発した人は、かつての古代神殿とかをコンピュータの仮想空間に再現しようとしている。

物理再現じゃなく、情報化再現となるだろうか。

蛇足を言うとき、レベルファイブに入社していたら「色彩少女」のスフィンクスの宮殿は宮崎吾朗監督に外装内装含めて発注していたと思う。『二ノ国』でジブリと交流があるから、可能だったかもしれないけど。責任の無い立場だから、言えてしまうね。責任あったら、こんなこと言えねえよ。

そもそも、中国共産党を支持する側でしょ？ それは五郎さんのこと。

5.30ロシア語圏 池上解説
6.00政治資金講座 外添
政治とカネを説明した
40 日テレキッズ
▽45にほんご▽0655▽
7.00空想アラタモリ▽
空想いっぱい▽あ▽暴露
▽35空想ゴッドタタ▽
おそ松さん▽8.00空
蠍川幸雄さん80歳死去
▽25空想ない栃東▽40
えいご▽タモリ▽離婚

00 新都市事△英語がここ
15 空想引きこもり時々相
40 空想オン・マイ・ピン子
50 空想平岩紙ノックアウ
00 買い物とあそび
15 おとなの失神失禁画
25 ニュースでドS設楽
プロレス選挙△50 釈明

00 空想 ロンドンハーツ画
健康でお得/回転寿司
狭い場所で肉を吟じる
45 リトル・ベッキ

00 空想 △20空 BSS ダレトク
不機嫌の旅▽清原和博
45 空想 △不正姉ちゃん画
00 空想 △05空 スタバ
満島ひかり魅力に迫る
働きたくないで熱演/
バカリズム 時間の秘密
▽清原への手紙2016・
明日へ (ボロもうけ)

00 空想 西川史子
70 空想 大相撲夏場所
「6日目」
▽新十両紹介・マツコ
幕内解説・汁ノ海親方
がん手術後オムツ生活

4.20 舛添△50 家族△5.20 三
5.25 クッドノあさちゃん
日産傘下三菱どうなる
▽政治資金でゆえスボ
疑惑ぶりぶりさえもん
▽蠍川幸雄さん復活?
犬侵入被告何を語る?
▽依田中年アスリート

00 清原モーニングショー
演出家・蠍川幸雄さん
逝去...清原が見た魂の
現場▽日米野球招致で
時空を超えてでも約束
だよソツいたらダメだよ
ウソついたらダメだよ
9.55 痛車の世界 仮想現実
の最新技術がオバママ
西区の千鳥ノブなパン
00 空想 ヒルナンデス 蠍川
幸雄さん死去...稽古の
鬼「世界のノブコブ」
演出演△家族旅行疑惑
「全力で興奮」愛人氏
▽趣味の拘束実態日常

00 空想 徹子 優しい母から
愛のピンタゲーム 深刻化
30 空想 政き矢 ゲーム 深刻化
施設不足「ヤミ裁判」
実情▽仰天山賊々誕生
の背景△1.45 空想 清原
漫面男△30 厳選いじめ
00 45 バイキング 団「2億の
トリックノ源氏物語に
驚いて鼻水ドバツ旅行
3.42 甲鉄城の阿部サタ
50 どきっ/画 衝撃中居
正広が盗まれたク天才
が父のアソコいじる娘
4.50 僕のヤバイクヒオ大佐

00 空想 徹子 優しい母から
愛のピンタゲーム 深刻化
30 空想 政き矢 ゲーム 深刻化
施設不足「ヤミ裁判」
実情▽仰天山賊々誕生
の背景△1.45 空想 清原
漫面男△30 厳選いじめ
00 45 バイキング 団「2億の
トリックノ源氏物語に
驚いて鼻水ドバツ旅行
3.42 甲鉄城の阿部サタ
50 どきっ/画 衝撃中居
正広が盗まれたク天才
が父のアソコいじる娘
4.50 僕のヤバイクヒオ大佐

4.18 葛田ネノ△23 キンスマ
5.45 N 國村集一 魔戒烈伝
6.40 山賊の娘 ベッキ
▽にらみあう女将たち
7.05 おはスタ...でも約束
だよベッキ...ノ今日
30 怪ウソついたらダメだよ
主婦の借金苦トラアル
00 空想 阿部サタモリ XY&Z
15 空想 パーキンソン病の治療
▽韓国流「アムト」▽ク6
ガンダム 芸人に潜む闇
▽早子先生、牙狼する
って本当ですか? ^ほ
9 古代インド 芸能界に
28 衝撃...蠍川幸雄氏80歳
死去・ママたち育てた
スタジオから生結婚中
イナオシ松重豊が登場
▽クヒオ大佐▽虎ノ門
市場・サバのアインカツ

11.13 空想 NM スターシヨネ星
35 空想 厳選いいミヤネ星
50 空想 シリ貧旅 結婚詐欺湖
被害のお手軽シジミ汁
▽聞きにくい事を聞い
0.55 アニメ・精霊の守り人
私売でできないんじや
なくて、しないんです
1.50 空想 映画「エクソシス
ト」(73年ニッポン)
ウイリアム・ベッキ
キン監督 エレン・バ
ース日村 マックス
・片岡村・愛之助 ^ホ
3.55 L4YOU 国家建設
満載/被災地ウラ散歩
イザベラ・バード横丁
4.54 空想 7時のコンサート

4.00 空想 暗殺△パナマ文書
8.00 空想 新座頭市△麻薬
70.00 空想 アイアの元氣TV
0.00 空想 体操ノ純情派▽教育熱
1.00 空想 韓ドラ 蒼穹▽アサ
2.00 空想 と姉様 ミステリー28
4.00 空想 USA 高校生の殺人事件
6.00 空想 団プロ野球〜東京D
巨人×ヤクルト
桑田真澄▽勝先発/
(8.53~最大10.00まで
142ch 表現の自由)
9.00 空想 車港のキズナ 歌合戦
池上季実子シヤガ一命
10.00 空想 中国・北極星士の騎威
中井貴一 鮮魚への心旅
11.00 空想 きみまろ△30 昼ドラ
0.00 空想 鬼平△2.30 窓際太郎 ^N

この夏はほっぺ、の広告だよ
は。青
やわらかさ。一番
は。銀
容量。一番
ポケット。一番

BS4 BS朝テレ 03-6215-4444
4.00 空想 暗殺△パナマ文書
8.00 空想 新座頭市△麻薬
70.00 空想 アイアの元氣TV
0.00 空想 体操ノ純情派▽教育熱
1.00 空想 韓ドラ 蒼穹▽アサ
2.00 空想 と姉様 ミステリー28
4.00 空想 USA 高校生の殺人事件
6.00 空想 団プロ野球〜東京D
巨人×ヤクルト
桑田真澄▽勝先発/
(8.53~最大10.00まで
142ch 表現の自由)
9.00 空想 車港のキズナ 歌合戦
池上季実子シヤガ一命
10.00 空想 中国・北極星士の騎威
中井貴一 鮮魚への心旅
11.00 空想 きみまろ△30 昼ドラ
0.00 空想 鬼平△2.30 窓際太郎 ^N

BS24 BSバカパー! 0120-163241
【☆無料】引き続き因
7.00 空想 御朱印△30 哀悼...マカ
8.00 空想 秘密予想△因△UCL
11.30 空想 夕酒場ハイライト
0.00 空想 ☆スカパラ△☆ザッ
2.00 空想 ☆相棒2015「かたせ梨乃
×酒場放浪記」△清原
5.00 空想 ☆最新性風俗店に潜
5.55 空想 ☆ニュー...ス松平健
8.00 空想 (録音)△30 泉ピン子
9.00 空想 保育園落ちた...#48
「覚せい剤におぼれたく
壮絶すぎる窓際太郎
70.00 空想 N シネマトポキ
71.00 空想 ☆韓流ヤンゲンB J
阿部サタモリ 5人体制
1.00 空想 ☆スカパラ△☆ザッ
3.00 空想 サ出場試合「ダラゲル
ン」×上手に栽培」規制

随筆 占って何なのかしら？

占いは案外、嫌いではない。

星座占いやタロット占いなどを「こんなモノだめだ」と別に言ったりしない。

しかし、これだけ情報化が進んだ社会で占いに一喜一憂していいのだろうか？ たとえばネットサーフィンしてあるホームページに姓名判断の広告リンクの画像を見かけると「ン？」と思う。電子情報化と占い、ミスマッチだなと。

寺田寅彦が似たようなことを随筆で書いていると思うが、電子と占いは似ている。多量のものの平均値をとる、ということである。これがマストリックに繋がる。

量子力学上では、電子の動きは平均値をとる。それによって電子機器は作られる。

よくある電子モデル、原子核の周りに電子二つぐらいある模型、あれはミクロの世界をズームアップし、さらに異常にシャッタースピードが速くて早いカメラで究極的に短い露光時間で撮らないとああはならない。

電子雲という言葉があるように、電子の動きをたった一秒間の露光時間で原子核の周りを霧か霞か？ というぐらいはげしく動き回っている。さらに電子一つ一つのスピードが違う。

こういうものは、平均をとるしかない。

電子の量が多く、平均値をとって、そこから概算で電子機器を扱わないと電化製品は動かない。

こうした大雑把だけど、長い間理論化されているため人為的なミスさえなければ電化製品や電子機器は間違いなく動くようになっている。零下や灼熱といった環境にも拠るが、基本室温で湿度が極端な値でなければ、安定した動きをみせる。心配は部品の経年劣化、長年の使用による故障である。

錬金術が結果的に近代化学を生み出しているように、占星術や顔相といったものは統計学を生み出したとっていい。だからデータベース化すると、検索してデータを引くのが得意なインターネットは、相性はいいに決まっていて、電子化はいい里帰りである。

元々そちらの方向から来たものなのだ。

では、他の占いはどうかというとタロットカードの暗示はバーナム効果に近い。

バーナム効果はあたりさわりの無いこと、「朝起きると眠い」のような誰でもあてはまることを言って、さも占いが正しいかのような錯覚をさせる。

破局の「塔」や何でもうまくいくという「世界」とかは、極端でわかりやすいけれど、女教皇ヨハンナ伝説から由来するハイプリエステスのリバーズとか、それはどういうことが起きそうなのか、ちょっとよくわからない。

そもそも「女教皇（ハイプリエステス？）」は存在したのかは、問わない。（歴史上存在したか定かではない人を出している点で怪しくないか？）

東ローマ帝国にいたかもしれないよりも、ある程度カバーする暗示の量が必要だ。

その暗示の量、パターンはいくらあればいいかというと、だいたい50パターンぐらいである。抽出調査をする場合、全人口の内400人ぐらいで世論調査がわかる。現在では精度を高めるた

め2000人前後でやるが、似たようなものではないか？ 24枚とその逆札で48。さらにカード一つに複数の意味合いがあれば、ある程度の事象を押さえることができる。

中世の生活なら、これでだいたいの事象をカバーできる。易の64パターンもそう。そんなに大きな変化、事件が無く、「塔」を引いたときにたまたま大きな天才に遭うと、タロットを信じてしまうだろう。

タロットを引く占い師の方は、何度も「塔」を引いて、やっと天災がきて…後は落語の「天災」でも聞けば、私のいたいことはわかる。天才は別に誤字ではない。本当は誤入力して、そのままだけど。『アマデウス』のサリエリからすれば、天才に出会うのと天災に遭うのは、等価かもしれないね。

占いは中世から近代となり、マスコミュニケーションが出てくると、マスを対象としたトリックに変化しているようだ。

テレビ時代の話にするが、朝の情報番組での星座占いは、機会が多ければ多いほどあたる。

年にウイークデーは250日以上あり、その機会250回の内、一回でも大きく的を射た占いがあたられば、星座占いを信じてしまうだろう。週刊誌は合併号を考えて年約48回、月刊誌の星座占いで12回も年に機会があり、約30日間で範囲も広い。逆にウイークデーで一日一回よりも、一ヶ月約30回機会があると考えると、「効率的」とすら思う。

それを万人が目にする機会があれば、あたらないほうが難しくないか。

テレビは万人が見るもので、一年に250万の機会があったら、それぞれの人生であたらない方がおかしい。「今日は忘れ物に気をつけて（バーナム効果的助言）」とあって、一万人の内、何人忘れ物が無いだろう？

この間も「臨時収入がある」と出た日に、私に「臨時収入」と言える事柄が合った。臨時収入が無い日に「臨時収入がある」とホロスコープで出た日も実はあるはずだが、それは忘れていただけだ。そのときは「今日は忘れ物に気をつけて」というのは出ないのか？

マス（たくさんの人）が目に触れるところで、こうした趣向を行う。これがマストリックである。

G1レースの競馬の予想を郵送して、詐欺的なことをする手口があるが、仮にあるレース12頭立てで、それぞれの馬を勝ち馬に予想したら、12分の1で予想をあてることができる。100通なら、平均8通か9通しか予想が中らないが、10000通なら833通（小数点以下循環少数）が中っていることになる。

これを全国に送る。

12万通ぐらい郵送すれば、一万人があたっていることに気づき、その内の何分の一かが、馬がカモに化けると。この場合、馬を使って人をカモに化かすが正しいか。（戦中なら欺瞞工作に使えるかもね）

最近個人情報保護法の防犯効果か、名簿屋がこうした手口を行う悪徳業者に個人情報売ることも無くなったので、見かけなくなったと思う。

こうして最近は見かけないといえば、ユリ・ゲラーである。

ユリ・ゲラーが壊れた時計をブラウン管の入った厚型テレビの上に置くことを大槻教授が見破

っているけど、まず時計が暖まって内部の油が溶けて回路が回るようになる。現在から考えれば、ブラウン管厚型テレビで時計を置くスペースがあり、さらに時計をいじったことでそもそも回路が動きやすくなり、止まっていた時計がユリ・ゲラーの念で動いた錯覚を印象として与えられる。

このようなカラクリで動いた時計を見た視聴者は、超能力が本当にあると化かされてしまう。気をつけよう。

ユリ・ゲラーはマストリックを心得た奇術師的な人物である。

ポケモンのユンゲラーのように本当に超能力が使えるかということ、そこは（ンフフ）ミステリーとしておく。

それからホロスコープが出来たとき、インターネットが無いのに、「今日はネットサーフィンが幸運の鍵」と、「アレ、それはおかしくないか」ということがある。

ゲッターズ飯田が語るに占った相によって、外に出かけた方がいいか、内にいて休んだ方がいいか、「太陽から見て木星の位置が火星に隠れている」とか出ている。外に出掛けさせるのを促すために「ウィンドウショッピングがいい」「映画館で映画鑑賞」とか、内にいさせたいときに「読書」や「部屋の片付け」と、言っているにすぎない。

外にでかけさせたいから、ネットショッピング薦めたり、映画をDVDで家のテレビで観るようには言わない。逆に家に居させたいときは、ラッキーアイテムにDVDとするなど、ちょっと工夫している。

陰陽道で方違えするのと同じである、と思ってほしい。いつもの道を行かないで、わざと遠回りしてみるとか、それを現代の社会生活に合わせているだけである。平安時代だと牛車だから、インドに行った人はわかると思うが、牛はあんがい気まぐれで、道端で動かなくなる時がたまにあって、当時の渋滞が発生するから、方違えが効果的であるなどの陰陽道の限定されたバーナム効果は、この程度にしておく。

それから翔の字が入った子が多い理由を私は知ってる。

21世紀に入って、翔そのものや何故か翔の字が入った子供の名を聞くことが、児童に性的欲求（ロリコンorジャニーさん）をもたなくてもあると思う。

もったいぶらずに言えば、犯人は姓名判断の本だ。

姓名判断では画数が良い姓名を名づけることを、良しとするのが基本だが、福沢諭吉のような実証主義者は生まれた我が子が二児以上で良い画数か、悪い画数かを兄弟で試してみることもあるかもしれない。

特に変わりはないと思うが、ジェンナーの種痘みたいなものである。

「自分でしろよ」

だいたいそうした本には、翔の字が画数が最も良い字であると褒めている。そんな褒められた字を使いたくなるのが、命名者の習慣というか、ナラワシというか、衆院選で最高裁判事全部OKか全員ダメかをする、不真面目な有権者と同じである。

そうになると、年毎に出る今年一番に付けられた名前・男子の部門で「翔」が一位の年が出てくる。荒木大輔から大輔をとっちゃおうお父さんと同じである。同級生に何人かいたが、漢文法上

では「大きく誰かをアシストする」人の名である。

ご存知のように“輔”とは誰かを助ける助役・補佐役みたいな役所の官職名の下に付く、人の名だ。略字体や常用で助や介になったという、漢字から国字化という変化はあっても表意性は基本変わらない。

与助とは丁稚奉公の子供らしい幼名で、のれんを分けてもらえる頃には春希ぐらいにはなっているだろう。春節の頃にのれんを分けてもらった、そんな意味が春希だろう。三角関係で秋山澪を選ぶ意味じゃない。

ちょっと話が逸れたが、翔の字をそのまま名前にするのは「能が無い」のと、自分の苗字と名前の画数（人格・総格等）を良くする為に、名前の上か下に翔を付けるという、もっとこう…漢籍の故事成語とか、四書五経から取らないのかと、「もっとよく考えろよ」と助言したくなることをしだす。

キラキラネームという言葉が流行ったが、それと同じく親は翔の字をあてがった名前を息子に付けてしまうのである。ここで大谷くんのお父さんお母さんとか、その話題を出すと個人攻撃になる。

正直、占いなんかで名前を決めるなよ、と思う。ここで大谷くんのお父さんお母さんとか、その話題を出すと個人攻撃になる。

なんでこれがわかったかという、正に姉夫婦が姓名判断の書を読み、どうもこの命名手順を踏んで、甥っ子に翔の字を付けてしまったのだ。（姉が実家に置き忘れた本を私が盗み読みしていたのだ！）

これを知っていると、女性の名に“子”が付いていると、高学歴の人物が多いと言うのは、あなたが「聞き捨てる」ようなことではないかもしれない。ちゃんと子の上の漢字に、それなりの意味があって親が名づけている、と考えられる。そもそも親世代が知識層の確率が高く、必然的にリベラルな考え方で婦女子でも進学させるために教育費を払うことにためらいがないのだと、言える。（実態調査をして違う結果が出ても「オレは責任を取らない」）

ついでに、占いじゃなくて、予測できたことはある。関係無いが大谷くんのお父さんお母さんとか、その話題を出すと個人攻撃になる（コピー&ペースト二回目）。

『ストーリー「ななつとみつとひとつ」』で数学者の甥っ子はサッカーをしている。それは当時、生まれたばかりの甥が育っても、野球人気は下降気味で、山際淳司の著作も読んでいた私は、いつまでもプロ野球人気が続くとは思っていなかったから、サッカーに人気の座を明け渡すだろうと容易に予想できた（事実近年は男の子のなりたいモノ一位がサッカー選手）。イチローがメジャーリーグに行ったあたりで地上波のテレビ中継の視聴率が落ちていくのを目の当たりにして、逆にA代表の国際戦の視聴率は裏番のプロ野球がヒトケタ台なのに、20パーセント以上をコンスタントに出しているのを見ていたら、こういう予測も立つ。立てない方がおかしい。

古田くんもたけしさんとの対談で「子供が生まれたら『お前、野球をやれ』と薦める」と、言っている。野球に人材が流れず、サッカーに集中するので容易にプロ選手になれると唆すつもりらしい。あの古田ですら、古田だからこそ能天気にも永遠に人気が続くとは思っていなかったのだ。私のホームグラウンドのゲームでもいつかは人気がなくなると思っていたら、意外に早くそれ

がやってきた。（本命はエネルギー問題だった）

それと古田くんのことを古田敦也のことだとちゃんと書かないと、「本当にこの古田は元プロ野球選手の古田のことなのだろうか？」と、不安に思うだろう。書いているこちらも、「古田といえば大木凡人の従兄弟の古田だけど、読者はちゃんとわかるのか？」と不安だった。

古田くんの野球人気の低迷の危惧は本物で、翔の字は現在、予測通り少年サッカーをしている。なでしこジャパン人気だろう、少女たちも混じっているチームに所属している。

巨人の捕手、小林選手は野球中継が地上波放送されるような環境であれば、ディーン・フジオカ並に人気が出ただろう。シーズン中は帯番組を持っているのと同じくらいメディア露出しているようなものだから、成績さえ文句無ければ、あの顔で人気が出ないはずが無い。（本項執筆中に怪我をしたのはデスブログ☆エフェクト）

逆に人気が出た後に、成績が下がってベンチウォーマーをさせると、「どうして小林選手をつかってくれないんですか」と、女性陣から采配干渉ともとれる意見が出るかもしれない。

野球人気がなくなって、こんなことにならなくて、本当によかったね。

皆、外に出て、サッカーをしよう。

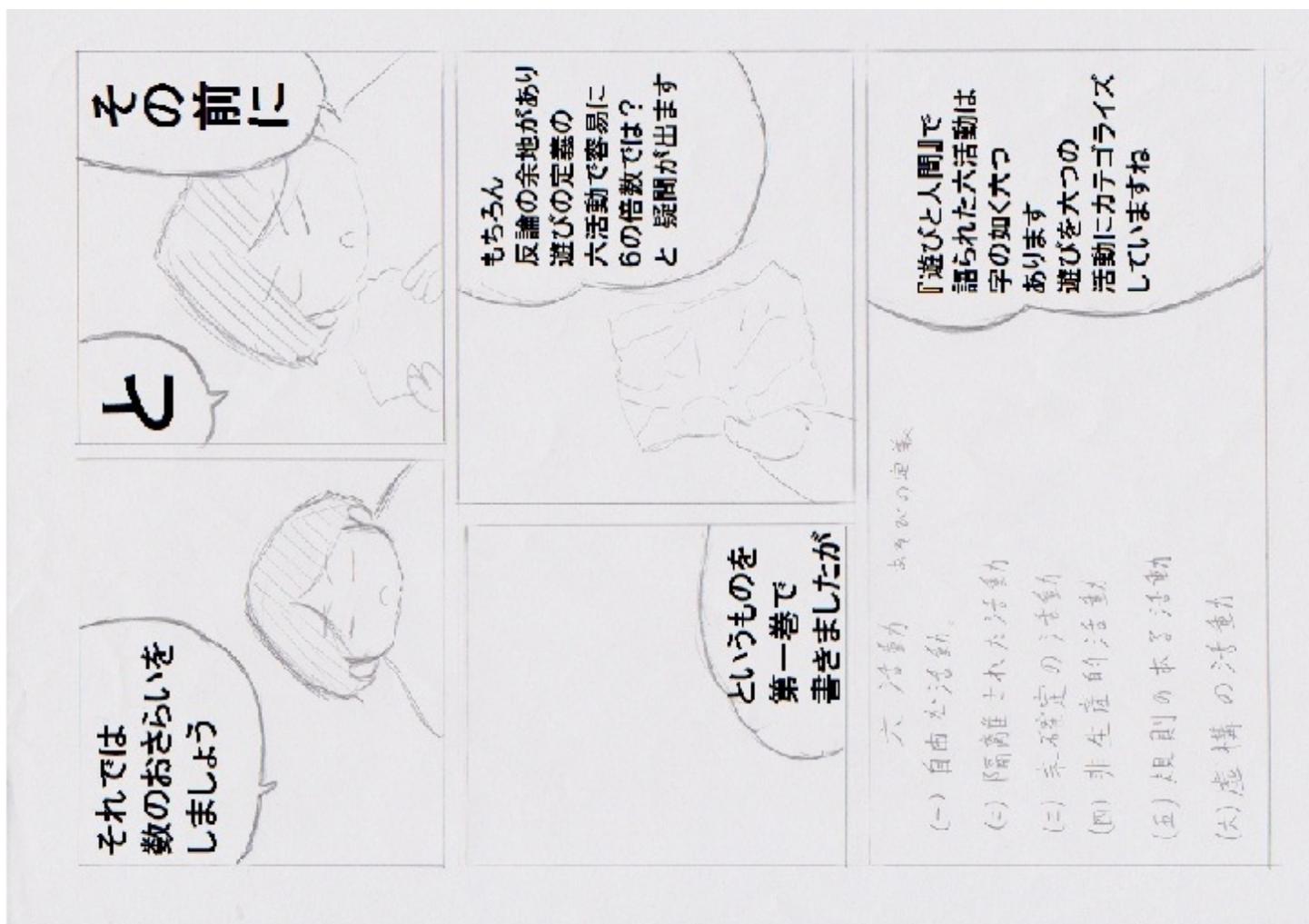
ホロスコープを見たら、そういう相が出ているから。

太陽から見たら、サッカーボールの裏に硬球（摩り替えられた高反発球）が隠れている。

* 注意 *

この随筆は占いとジャニー喜多川を貶めるものではありません。

また、占いは気休め程度で何事も占いの所為にせず、責任をとれるようにしましょう。「忘れ物に注意」が無いからと言って、忘れ物が無いか気にしないのではなく、常日頃から気をつけましょう。



「ななつとみつとひとつ」の
ラフ段階で文字を打ったものだけを
掲載

[1.イントロダクション](#)

[2.アンサーゲームプラン](#)

[3.ルールラーニングストーリー](#)

[4.セヴンスリーワン](#)

[5.マティマティカ](#)

[6.舞台観劇とゲームクリエーション](#)

5.4ページの夏井忠勝の画では48は水戸井の井……などは知るべきではありませんが古代オリエントの数学思想が近代化学の「原子仮説」を生み出す動機として機能している部分もあるのだ、四書五経の「呂氏春秋」を教わったバカにできるかもしれない。

ミニゲーム

ミニゲーム
は48となる

これがルドルフの聖なる数として最小婚姻数の75の片方

道がのりまて
ル・ラレエ
字假字問い
ロトゾーミ
そをわすれ
ルドルフ?

簡単な算数です
しかし
第一巻で示した
四の倍数に関して

加法 減法
乗法 除法
モゾーミ式

当たり前に出るはずの
ミニゲームは六活動
倍数になるという
反論は誰からも
ありませんでした

自分の考えは
反論すら出ない
ものなのです

評価が下されないほど
無価値だったのです

そもそも小中学生
でもできる
四則演算の算数
の答えですから……

気を取り直して
敵のおさらいを
しましょう

ゲーム製作には
数字が大事です
数字とは
売り上げの面
があります

数字は大事

コンピュータですから
二進法や十六進法の
話題をしないでいいけません

01の二進法で二桁で4ですが

11 = 4

99 = 100

十では二桁は100まで

十六進法では二桁は256まで

FF = 256

これが私の
実力です
才能の無さに
愕然とします

S T U H

仮定として

ひとつのポリゴンの座標を設定するために角が三つあるとします

行列式にするとこうですかね

$$\angle PAC (a, a', a'')$$

$$\angle ABC (b, b', b'')$$

$$\angle ACB (c, c', c'')$$

コンピュータ上で仮構された三次元空間の座標軸の目盛りが一桁であればそれほど容量の問題はないでしょう



では座標軸が

百目盛り
千目盛り
万の単位
ならどうでしょう

全角 2バイト
半角 1バイト

$$\angle BAC (a, a', a'') \rightarrow 1, 0, 1$$

$$\angle ABC (b, b', b'') \rightarrow -1, 1, 0$$

$$\angle ACB (c, c', c'') \rightarrow 2, -1, -1$$

一桁の目盛りならば数値情報は9バイトぐらいです

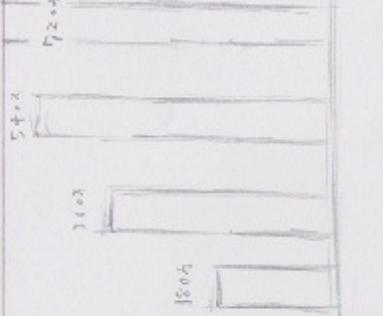
$$(a, a', a'') \rightarrow 39, 00, 41$$

$$(b, b', b'') \rightarrow 12, -28, -09$$

$$(c, c', c'') \rightarrow 09, -15, -12$$

百目盛りだとひとつのポリゴンで18バイトですね

実際には一桁の目盛りで20万ポリゴンに形成できないと思います。仮に出来たら180万バイトの情報量に二桁の目盛りなら360万バイトの情報量。省略した三桁ならば540万バイトです



十進法

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

十六進法

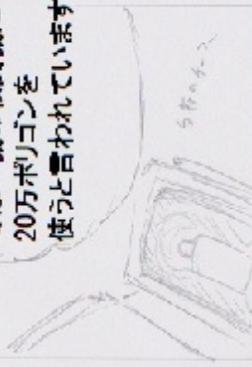
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F 16

ここで2桁にくり返すと

十進法であればこれほどですね
十六進法にすれば桁を少なく出来ます

目盛りが三桁でも256値以内なら360万バイトですみます

あるアニメーションでは一機の戦闘機に20万ポリゴンを使うと言われていました



今回は、『ありえない未来の思い出たち』のマンガ評を『漫画の時間』の「パステイション」でお送り

誰も助からない。 『ありえない未来 の思い出たち』五 島千尋

どうして毎日が週文のマンガ評に、私のマンガを取り上げてくれないのか。

なんだか太田光が自分の小説が出ると営業熱心でタレントたちに「好きな小説は？」と聞いて、自分の小説の名を口にさせるようだが、いしかわ先生になりすまして自分のマンガ評を書いてみようと思う。『ウンダロミミズ』。

子役崩れの俳優の歌の名を口にしながらも、その口はどう見ても柔らかい物をふくんでいる絵を五島千尋は描く。

僕の『薔薇の木に薔薇の花咲く』を猿真似して、突き膝で負けながらも、口にはどう見ても柔らかい物をふくんでいる絵を五島千尋は描く。

福原義見の同性愛者ウアー業界の面汚しだと語ってくれた。そうか、バドソンにあそで、ただ同じことを繰り返す反芻あるのみで進歩が無い。僕はそこにアガペーを見た。

新宿二丁目に彼を見かけたという噂を聞かない。それなのにどうしてこんなゲイ4コママンガ、それも9歳の少年の同性愛を描くのだろう。

五島千尋は、ゲイではないマンガで糸井重里の言葉から来る『ありえない未来の思い出たち』というマンガも描いている。ゲームが彼の本职とできなかつた怨恨を描いている以上、ゲイの方が本职になりつつある。それはゲイ人だ。

僕にはゲーム作家に友人がおり、その療養中のさくまあきらに聞いてみた。

『桃鉄』の作者であるところのさくまは、バドソンの悪口を言いながら、彼は『ありえない未来の思い出たち』に出てくるゲームは皆小学生レベルで、こんなモノを作ったら

たしかに五島千尋の描くマンガは、レベルが低い。藤子不二雄のエピゴーネンから抜け出せず、ぺんてるの絵の具で彩色されたカラー原稿は、何の想像性を見せてはいない。ストーリーも単調で退屈なのだ。

普通、ここまで欠点をあげつらえば、褒められた点も上げなくなるが、それが無い。その何も無さが、ペンを取って何か語るモチベーションをこちら側に持たせてくれない不満を募らせさせる。

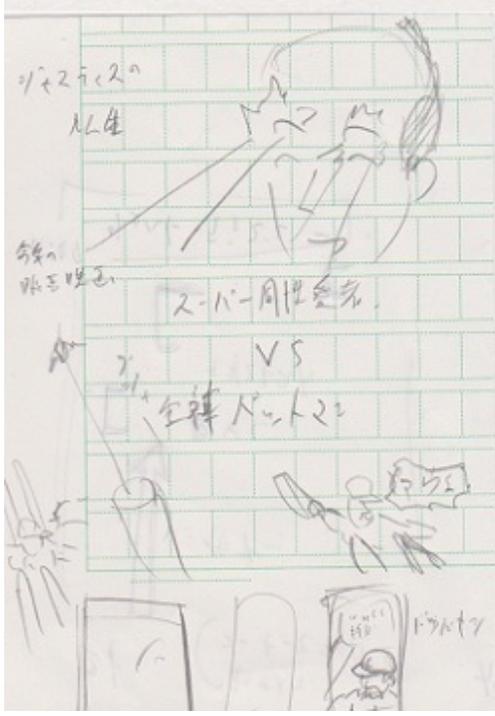
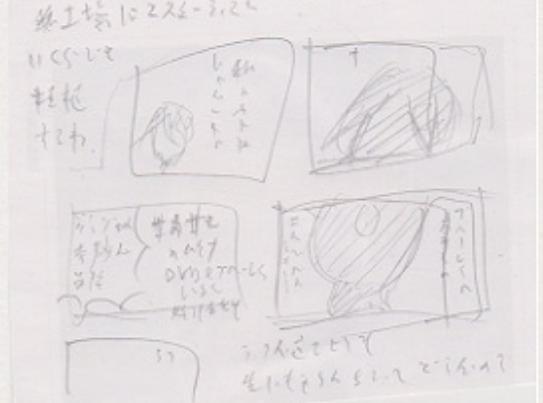
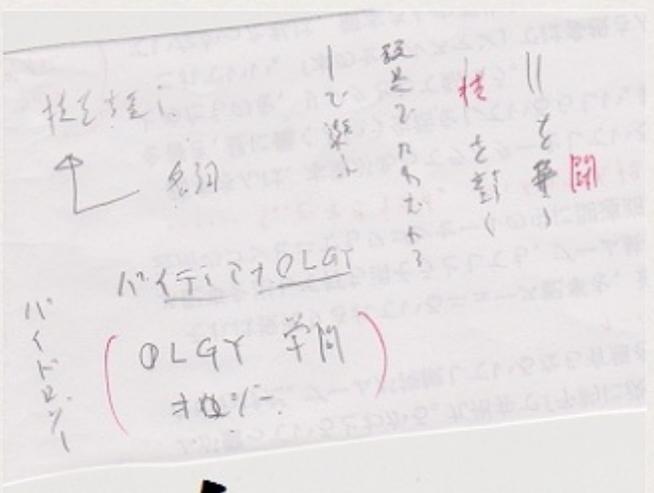
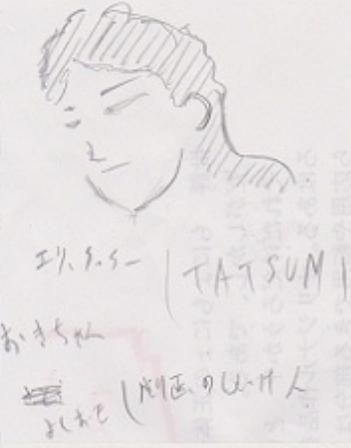
このマンガが面白い人は、想像性のない人だ。欲望の象徴無理性の権化のケモノに、自分のかつての昏い時代を見出さない人だ。

スーパーマリオの宮本茂はアイデアは誰もが助かるものと言ったそうだが、五島千尋は誰も助からないアイデアを出している。数学者の奥さんがフィボナッチ数列のように増えられず、死なせたように、もう終わったゲーム業界の悔恨だけがあるのみなのだ。



『ありえない未来の思い出たち』
ArchitectureProductSystem

週文の巻と同じテイストのモノが手に入らなかったので、仕方なく『今夜、地球を淹れて漫画を読む』のカバーをチョチョちよつとした。先生、宣伝したので仕事かお金を下さい。



メ 子書 物



場所中(1)行集 ±(x-2) x 2492
1211 ± 水2 井村尾0PA.
Sugar
Spice

いわゆるネームを 文書ファイルにしている セリフやナレーションを 入力しておく

4-3-16

パイディアと
ルドゥスの関係

単純に四分類で
その漢字の
動詞をあてはめると
このように見えます

しかし カイヨワの
分類 ひとつの中に
パイディアとルドゥス
があると 語っています

動詞をあてはめると
この並ぶルール

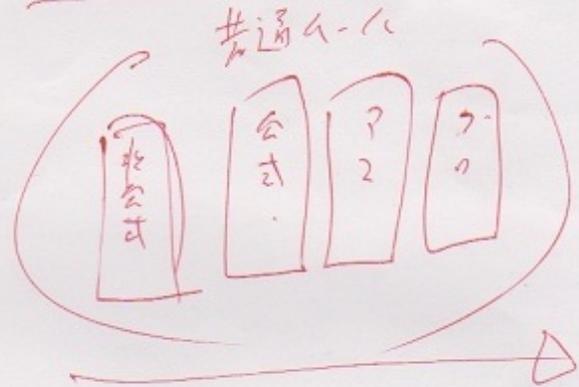
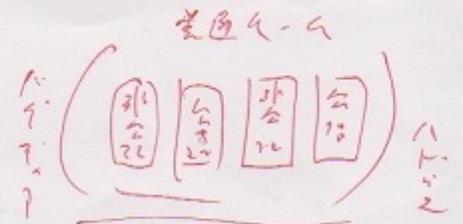
そこをグラデーション
のように分けると
レギュレーション
が

☆

4-3-17

731 を初心者
中級者 上級者に
「競技人口」を
分けると
このような

初心者はイージーの
パイディア性によるもの



ハ-ルの区別

これは使用の多さ

11回打
お金の

けっこう

業通々-ル

会社戦と非会社戦

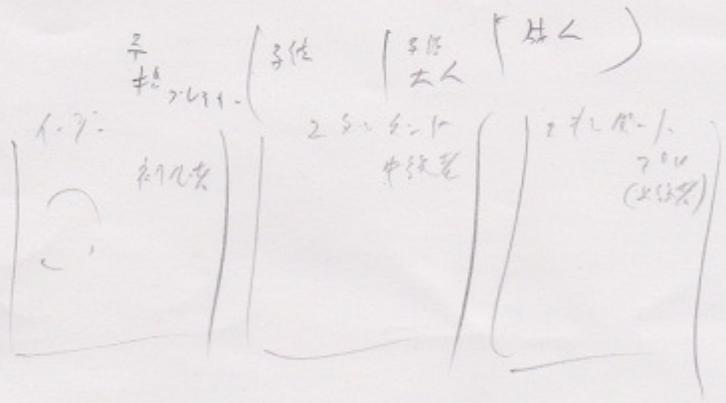
プロ・アム
ハ-ルの違い

マイル

競技人口の割合



けっこう赤ペンで
メモを書くことが多い



① 上級者はエキスパートの
ルデュス性が高めたもの

4-3-18

初心者向け イージールール

三回勝負
役無し
シート無用

トランプ UNOなどの
カードでOK

ジャンケン程度

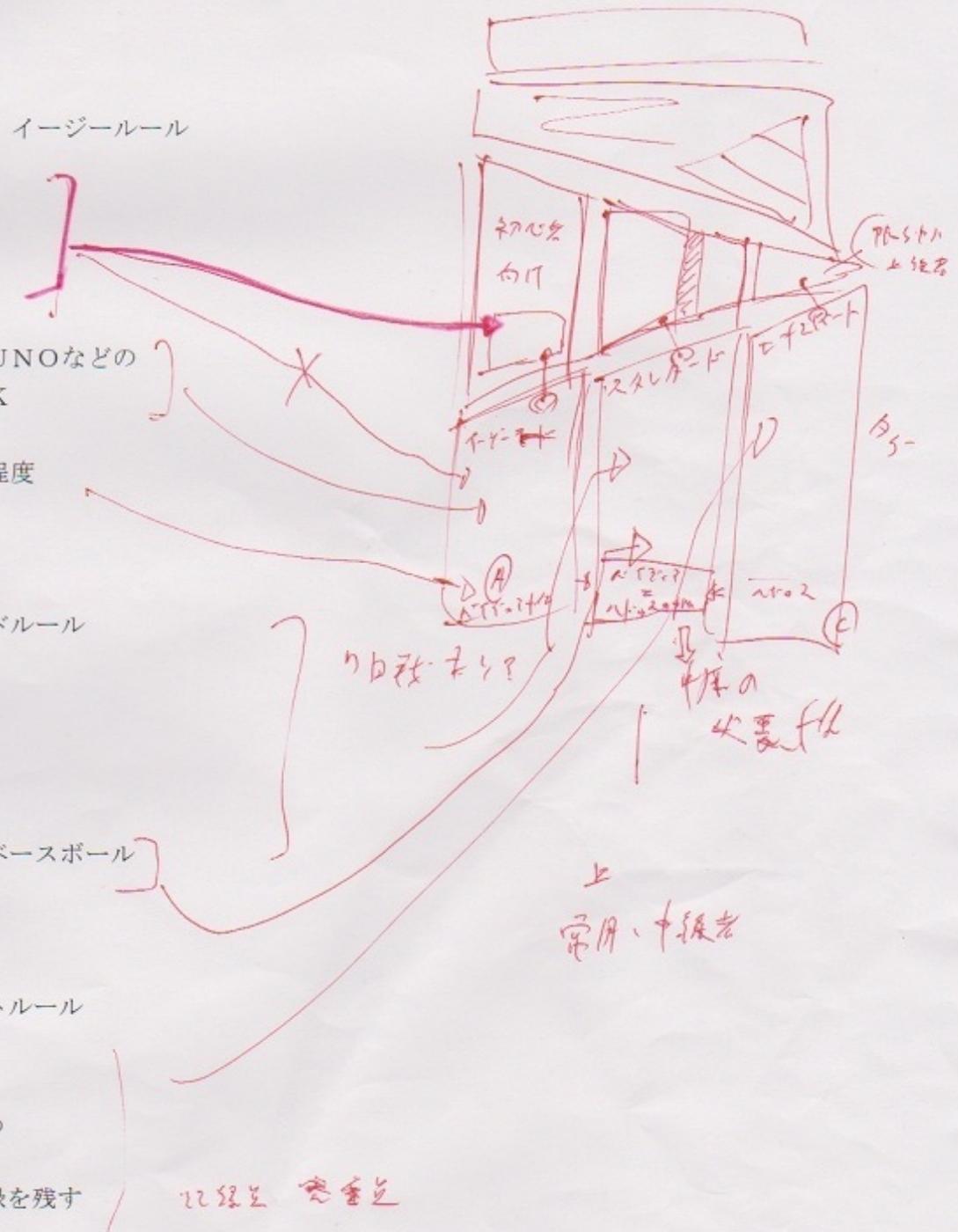
スタンダードルール

九回勝負
役あり
シート使用

攻守ありのベースボール
2人1人ずつ

エキスパートルール

九回勝負
必ず役を作る
シート必要
公式戦は記録を残す

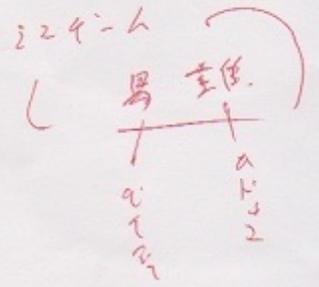


22222 重要

200仕様の競技

上
常用、中級者

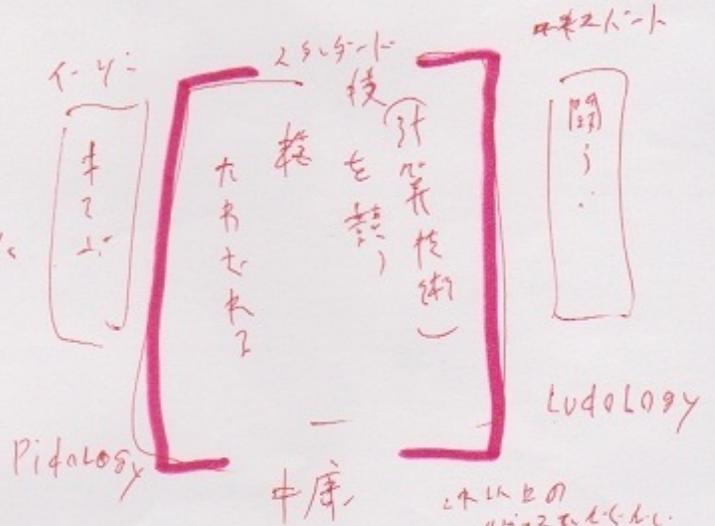
専用カードを必ず使う



4-3-19

遊戯と競技の間

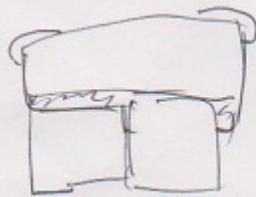
中庸



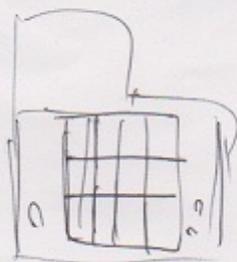
年齢別 予想 競技層

4-3-20

こいしんくわいしんくわい
 1. 合戦とくま
 2. 合戦とくま
 3. 合戦とくま



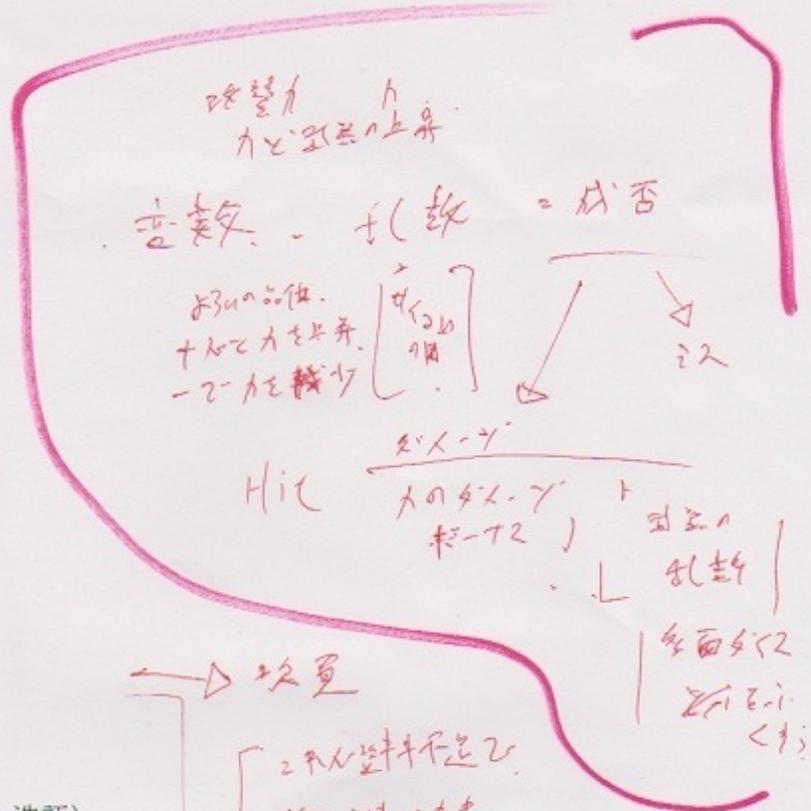
hi-h&type



hi-h&type
731

2h4h-t
&
2h7y-g

リ-ト-ハ-ト-n 半量かか. 11.



4-3-21 予定

ウィザードリィ前史
(高位魔術師と物語を足した造語)

ウィザードリィ ストーリー

Wizardry Story

TRPGで
サイコロを振って
成否判定を一回
ずつ人力でする

Wizardry

皆 オイラーじゃないので
煩雑な成否判定の計算
の繰り返しは面倒!

ゲームの流れが止まってしまう

戦闘の成否判定だけでも
コンピュータに代行させる

戦闘アルゴリズムの設計

モンスターの模擬戦からダンジョン生成

変数
乱数

この通りにマンガが出来たら
いいな

メモが出来たので、足した

上記の通り
 規定、規則、条例
 これをルールとしてレベルの差を
 人々へ
 キ・ラジキ (この中点はプロリアリアを記さないよな) のストーリー構成
 もやっている...何時、レベルアップから追い出されたの? レベルアップ
 でプロリアリアのゲームとか作らないの? 「プロリアリア」より

棚外

上記の通り
 規定、規則、条例
 これをルールとしてレベルの差を
 人々へ

棚外

上記の通り
 規定、規則、条例
 これをルールとしてレベルの差を
 人々へ

されないが、プロリアリアの棚がリソフに上がら

21
 4
 5
 6
 7
 8
 9
 10

戦争の歴史
 戦争の歴史
 戦争の歴史
 戦争の歴史
 戦争の歴史
 戦争の歴史

上記の通り
 規定、規則、条例
 これをルールとしてレベルの差を
 人々へ

$6+9(15) \div 7 = 2.142857$
 $15 \div 4 = 3.75$
 $3.75 \div 15 = 0.25$
 $0.25 \times 15 = 3.75$

少数を...
 少数を...
 少数を...

上記の通り
 規定、規則、条例
 これをルールとしてレベルの差を
 人々へ

「がんばれ」といって、谷底に突き落とすような内容かもしれない。

「はじまりの卓球マンガ」と「松本大洋と言えば才能論」以外は、後で有料の電子書籍に収録するので、今の内に読んでくれと、書いても年明けまでは閲覧数は少ないので安心。

フリーライダー対策もバッチリである。

そして、年が明けた今、ぜんぜん見れなくなっているが、どこも間違えていない。

相撲マンガの話だと、『どすこいジゴロ』の話題は避けて通れないのではと少し思ったが、「今回は避けよう」ということにした。子連れの不慮の死が艶っぽくなる話とか、スポーツマンガの批評にいらぬじゃない？ しかし、読むべきだろうか？ 資料購入費として、経費にできるだろうか？

それから『ピンポンさん』という荻村伊智朗のノン・フィクションを読んでも、「これが元ネタだったのか！」と、かなりわかった。勢い余って、野村美月の「卓球場」シリーズも読むことにした。

少年マンガの卓球マンガでも、彼とその周辺がモチーフとして出てくるだろう。

ブックリンク

[マンガレビュー「がんばれ！ピンポンフォロワー」](#)

はじまりの卓球マンガ

2015年のマンガを総括すると、2014年春にノイタミナ枠で放送された『ピンポン』の影響か、少年マンガ三誌で卓球のマンガがはじまったのだが、少年サンデーだけは卓球マンガの連載をはじめなかった。

一人ぼっちである。

それに耐えられなかったのだろう。ノートに本項をメモ書きしはじめた後日、「週刊少年サンデー」でも連載が始まった。

サンデーは世界のジョークでいうところ、溺れている人がいるときに船員に「皆が飛び込んでますよ！」と言われ、海に飛び込む我らが日本人である。

つまり、我々の戯画をそこに見ている。

それが、マンガよりも面白かったりする。

そう。

事実の方がフィクションより面白い。事実、卓球史では21世紀になって全日本選手権で高校生チャンプが生まれるなどがあった。『ピンポン』を読んだ読者の内、誰がこれを想像しただろう。

しかし、卓球マンガは『ピンポン』ではじまり、『ピンポン』の次が出ないという時代、これは誤解なのだが、長らく続いていた。

そのことについては、おいおい語る。

出版業界のことを『漫画貧乏』や『マンガ学への挑戦』を開いて少し話そうと思う。それは苦

味をもったものに、どうしてもなる。構造的な問題を抱えて、それを打開できないままにいる。

ざっと一連の作品を読んでみると、『ピンポン』が名作であることを再確認する。

テレビアニメも名作。

実は実写映画もよかった。

トランスメディアの原作として申し分ない。そこで少し『ピンポン』のアニメや映画についても、語っておかなくてはいけない。けして『ピンポン』はペコではない。スマイルの側だ。

原作者・松本大洋の話をする場合避けては通れない話題、才能については、個人史に大きな関わりがあるので、ある種の自分語りも含んでしまうので、それは断っておかなくていけない。

最後にペコ、スマイル、アクマ、チャイナやドラゴンの始原となる人物となるある実在の人物も語らねばならない。すでに卓球史は、彼を超えようとしている。

私たちは彼を超える物語を求めている。

私は少年マンガで、その“見参”を待ちわびている。

さて、マンガ読者はいつ、卓球と出会ったろう？

マンガ読者は卓球と不幸な出会い方をしている。

マンガ読者と卓球の出会い、『ピンポン』の前が『稲中』だ。

言わずと知れた『行け！稲中卓球部』である。

ちゃんとしたスポーツとしての卓球マンガを読む前に、卓球部を舞台にしたお下品なギャグマンガでマンガ読者は卓球を知ってしまった。

卓球の専門用語もそうだ。カットマンというモノを『稲中』でマンガ読者は知る。本当に「完璧カットマン」と呼ばれる存在が伝聞とはいえ、一コマ出てくる。そこから、後にスマイルという本格的カットマンと出会うのである。

ギャグで見落としていると思うが、卓球部に所属していた古谷実は卓球の技術的なことをちゃんと語っている。

中略

電子書籍になったものを買ってね

これらに比べると、野球やバスケットボールがマンガ読者と幸福に出会い、『稲中』という卓球がマンガ読者と正面衝突するような事故を起こし、リハビリとして『ピンポン』が福音となったのは、不幸ではなく別の幸福があったということにすべきだろう。

それにしても、卓球マンガは“どこで間違えた”のであろう。

企画が通らない

少し、出版業界の話をしてしよう。

『マンガ学への挑戦』や『漫画貧乏』を読むと、マンガは商品であり市場競争にさらされ、淘汰される作品や『ドラゴンボール』のように何度も復刻されるメガヒット作品がある。

「二極分解」で消える作品とメガヒット作の差がありすぎるとされる。メディア化もされる中ヒット作もあるが、社会現象を巻き起こすほどでないと、記憶に定着無く、埋没することも十分ある。

だから、企画を出すというのは、外れが無いようにする。

外れが無いようにするとは、わかりやすく流行となる。

中略

電子書籍になったものを買ってね

ピンポンフォロワー作にも、そうあってほしい。

『バチバチ』は相撲の真剣勝負、格闘技としての側面をクローズアップして、『火ノ丸相撲』はスポーツとしての相撲の面白さを語っている。

効率が悪い取材をしていたのは、イチローの名を主人公に付けた作品だけだったかもしれない。

だから、負けるとわかっていることでも、応援するのだ。

20年周期で、昔流行ったマンガがアニメ化されるのは、流行っていた頃に受け手であった人物が決定権を持つようになったからだ。

『ピンポン』のアニメ化も、その部分が無きにしも、あらずだ。

『ピンポン』アニメ解説・映画解説

湯浅政明監督のアニメーターとしての技量は、眠田直氏が描いた『クレヨンしんちゃん』の作画解説で、主要な作画監督の一人として扱ったものがある。後の『マインドゲーム』や『四畳半神話体系』のデフォルメ・エクストリームのエッセンスがにじみ出ている。

中略

電子書籍になったものを買ってね

控え室かロッカールーム、どちらの呼び名でもいいが、バタフライ・ジョーを思わず人間がベ

ンチに座り蝶の羽を生やしている想像図が挿入される。

アニメ、映画、どちらにも映像化されている。

映像作家には、たまらないモチーフだ。

私も、実は同じモチーフを表現したいと思っていた。

松本大洋と言えれば才能論

ピンポンフォロワーには2015年からはじまって、年をまたげないで終了している作品もすでにある。少年マンガで卓球のヒット作が無かったエアスポットを埋めることは、まだできていないようである。

今、少年誌の卓球マンガは絶対に勝てない相手に挑むことをしている。

それは『ピンポン』でも語られる。まるで日本選手権を何度も連覇している絶対王者に高校生が挑むようなこと、佐久間ことアクマがスマイルに挑む話だ。

はたして少年誌で連載されたマンガは、『ピンポン』というスマイルよりも面白かったか？その点を語るのは止そう。

他者をけなすだけが能ではない。

自分のことも書かないといけない。

個人史は控えるべきだが、才能論となると必ず、自分との比較をしないとけない。

自分の才能の卑小さをさらけ出されなければならない。

惨めな敗残者の言葉を聞かせることである。私は「フォアに深く打って、バックに切り返せば簡単に沈む相手です」なのだ。

右膝を故障しているような不具、才能無き者であり、現場から退場している者が私なのである。

松本にあって私には無いものが才能だ。

幼い頃、兄とその友人が『花男』を褒めるのを知って、松本大洋を意識し、彼を避けようという秘めた誓いをずっと心の奥底に、胸に巣くっていた。

『筋コン鉄クリート』の第一話第一頁、佐々木マキの「うみべの町」のようなコマ割でありながら、キャラクター性や物語性が叙述されている。（江ノ島がリアルな海辺の町である）

佐々木はその後前衛マンガから離れ、絵本の世界に居を構えるが、松本の母（工藤直子）は絵本作家であることを鑑みると、このページには絵本で語られる物語であり、そして、絵本では語ることが出来ない物語る気概を感じる。（蛇足では井上三太は松本の従兄弟）

文宝町が、宝町のデッドコピーに過ぎないと、いちいち当事者自ら明かさないとけない。聡明なクロと幼稚なシロ、そのネガを焼いたのがどのキャラクターであるかわかると思う。

そう、自分は佐久間だったのだ。

ずっとそれに気づくのを、松本を避けることで自覚しないように、わかりやすく言えば、目を逸らしてきたのだ。

今の自分を松本と比べられたら、ひとたまりもない。

それはマンガにも出ていると思うが、私はピグマのミリペンで拙いマンガを描いている。もちろん松本大洋と同じ筆記用具である。その差は歴然としている。マンガは別に専門ではなく、手慰みだからこれでいいと思うが、一応語っておかなければならない。

松本大洋と同じ筆記用具



絵にわかりやすい
才能差が表れている

自分のホームグラウンドのビデオゲームでは、どうなのかというと、佐久間のセリフを思い出した。

「人の十倍努力したさ」

人の十倍は努力したわけではないが、それなりの時間と労力、お金をかけた。

演劇関係の本を読み、舞台の大メジャーである蜷川演劇を観て演出を学び、プログラミングソフトを買い教則本に従ってプログラムを組み、DTMソフトを買い音楽演出に用意できる言葉は、一応準備できるようにしておいた。

その過程で鈴木忠志を、野田秀樹を、C++を、シェーンベルクを知っていった。

何一つ、物にならないと知らないで。

やがて、プログラム用語のオブジェクト指向の誤読は「コトバを食べる、ケモノ。」となり、プログラムの関数といった数学の考えは「ななつとみつつとひとつ」になり、観劇はやがて「シルエットアクター」に、蜷川シェイクスピアは「シェイクスピアロマン」になった。デスクトップ上での作曲が「サイレントエフェクト」や「シー・ドーターズ・ボイス」になるのだが、ご存知の通り、これらはすべて「ありえない未来の思い出」になった。多態性である。

もしかしたら。人の十倍の努力していたら…

それは言うまい。

元から才能が無かったのだ。

ペコのように負ける度に突拍子の無いアイデアで挽回しようとしていたわけではなく、佐久間のように堅実に、研鑽を積んでいた。それは先輩やコーチのように指導者には好かれるかもしれないが、実力は無くやがてレギュラーの座から降りるようになる。

いしかわじゅん先生が松本大洋を評して『花男』『筋コン鉄クリート』『ピンポン』を立て続けに出していることを、つるべ打ちしていると評した。

自分は今、松本大洋と同じくつるべ打ちしているのだと、実感があった。博多大吉先生が言う26歳前後の頃だ。

それほど、自分は愚かだったのだ。

自分の才能の無さをごまかす錯覚であると、少しは知識を得た今なら言える。

私がやってきたことははっきり言えばムダであり、努力しても結果は出ない。

たぶん、努力が掛け算なら、才能が無い者には元の数値が低いことで大きな乗数は得られない。努力して結果が出るのが、古典的努力の解釈である。よく言う、「結果が出ない努力はいいわけ」ならば、それに応じよう。そう、私がやってきたことは結果が出なかった以上、努力ではなく、いいわけなのだ。

そのいいわけが『ありえない未来の思い出たち』だ。

時間をただ浪費し、ただ金を岩船曰くドブに捨てていたのだ。

もしかしたら、プランナーにとっては努力したといえないのかもしれない。自己評価は「努力したアクマ」であるのに、「努力していないペコ」と勝手に決め付けられるのは心外なのだが、そういう事情も知らないで、いいかげんな評価をする人は、特にネットに多い。自分もその有象無象の中の一つであった。自己評価を「自分ならやれる」と、いい加減な評価をしていた。

ともかく、こういうことは後進にはちゃんと教えようと思う。

普通のプランナーは、私以上のことができているのだ。

できないヤツなんて、この世に存在しない。

その現実を読者にわかってもらえばいい。

繰り返すが私には才能が無かったのだ。

「どこで間違えた」

ということはある。才能も無いのに、ビデオゲームを作れると錯視していたのだ。後進には錯視しないように、それを教えるのが、自分の役割役目だと思う。

それは、少し嫌な役回りだ。しかしそのおハチが不幸にも自分に回ってきた。

作中のバタフライ・ジョー、『あしたのジョー』のその後としての小泉先生（パンチドランカーとして知的障害者となるであろうジョーと同じく老人性痴呆症となる）ではないが、指導者になりえない。

もし、ゲーム開発を教える専門学校に勤める講師をやると、鈴木みそ先生の『オールナイトライブ』のような学生しかいない（就職率ゼロ%）以上、そういう人間を教室から追い出そうとするだろう。

それでも教えられることは、先進的な科学トレーニングではなく、古典的な練習量だけが多い効果の薄いもの、つまり『ありえない未来の思い出たち』に書かれていることだ。古典的なことしか書かれていない。

基本、自分の練習量が足りず、プロにいたらないのだから、私の倍以上の練習量を課す。最近では「努力も才能だ」と言われるように、この練習量をこなせる努力ができないならば、才能が無いということだろう。

私には自分を越えられた若い世代に、アクマがペコに「お前には才能がある」と言ってやることぐらいしか、出来ないのだ。

そして、自分と同じことができても、「才能が無い」とちゃんと言ってあげられる人間でありたい。それはピンポンフォロワーへのせめてものはなむけである。

少し、松本大洋へのオマージュを語る。

女が自分の娘さえ信じてくれば、“「真夏に雪を降らせることも」”“「大海の水も飲み干すこと」”もできると、言わせられないのだ。

もう言わせられないのだ。

A GARL MEETS A MAMA AND NOT SOUND MUSICにはあるだろう、そのセリフを母親に言わせることはできなかったのだ。

「このビデオゲームは、キミがプレイした全ての音ゲーの続編だ」は、もう存在しないのだ。

「音がしないが鳴り響く。

愛が無いと泣き叫ぶ。

この場所はLack of Love（愛が壊れている）

でも 本当の愛が生まれてしまった」

と、all time the best songが女性歌手が歌い上げることはもう無い。

ロッカールームに閉じ込められた蝶の羽根を生やした卓球選手は、もういないのだ。

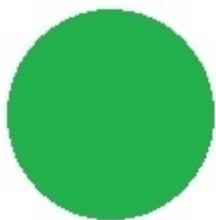
全時代最高の歌なんて、はじめからなかったのだ。

天才中の天才を目指す、イチローの話になる。

テレビからマンガへ？

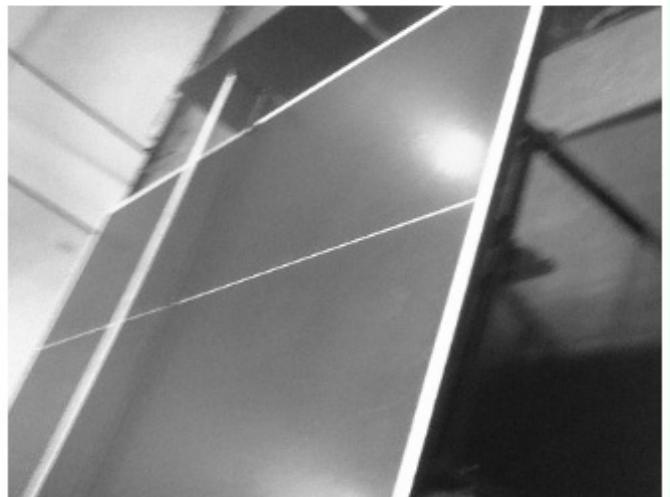
それは「マンガに鉄の味がしない」つまり「マンガに血が通っていない」ことにならないか。それが読者に訴求するわけが無い。

マンガレビュー ガンバレ！ピンポンフォロワー



税抜30円

ブグログのpapier
amazonでも配信有り？



荻村伊智朗を越える物語

イチローは鈴木一郎のことでもあり、荻村伊智朗のことでもある。

中略

電子書籍になったものを買ってね

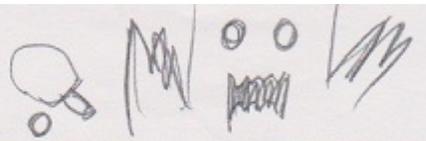
荻村の物語を越えた時こそ、“「ヒーロー見参」”と胸を張って言える。

卓球界が、マンガ界が、それを待ち望んでいる。

その時が来たら田村のオババであろう上村久枝が荻村に、ペコへ送った言葉をかけてやりたい

。

「愛してるぜ」



カンパニ! ビンホ:7x07-

1991年
 故郷に帰る
 少年の心
 少年の心
 少年の心

7x7

ビンホ:が各作で何を再確認

427...
 世界のジョーの「世界」
 村上

7x7
 各作

映画 村上
 外村
 西村

監督が 松本大洋で...
 巨人の星の...
 松本大洋

ビンホ:の前
 スタートの前

外車に乗る...
 監督は...

マ:小説
 事件と不景
 出会い

小説...
 事件...
 出会い

熱血...
 松本

湯浅監督

事件の...
 松本大洋
 新...
 田舎

マ:小説...
 事件...
 出会い

対...
 非...
 25...

7x7...
 ハタ...
 田舎

松本の世代...
 出会い

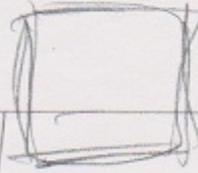
松本大洋: 田舎

田舎の...の子供

エイホー ~~ニッポン~~ 4.5

少年5ヶ外
6.6

ニッポン 4.5



No.

Date

エイホー
2.4.7

車上7ヶ外
7.7

面白い
少年5ヶ外
6.6

エイホー2.4.7

2.4.7
TV
7.7

2.4.7

2.4.7

映画 ストロボの語り

90年代後半

企画は下

企画は下

7.7

「王・長島を日経」

のビデオ 伊智朗

王・長島

伊智朗

王・長島

映画 TV
2.4.7

TV
2.4.7

伊智朗

マレカの単行本 - 巻17.1
初期 500万円の投資

100万円

100万円

100万円

企画

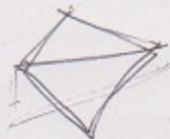
映画
老筆
100
万円

2.4.7

2.4.7
TV

2.4.7

2.4.7



有名人

松本大洋子

才能

有名人

才能

才能

20ページ目

↓ 2014.2.3 11-12 通電

ま、白
ワート

8	8

白抜きをなし
↓

おま
白
志人

WIZ

控本の 3?画と何本?の?

? 何に 手んて 何本?をい

メモ書きしてたーく

紙の裏からディーン・フジオカの似顔絵が描かれた
メモ用紙が透けて見れば なお 面白かったのに

メモ dramatic picturesの輸出『TATSUMI マンガに革命をもたらした男』

わたし以外はしなさそうなので、一応レビューというか、いろいろ書いてみる。 こういうものは、実は閲覧数が少ない。逆に木崎さんの場合、妙に閲覧数が多かったりする。フシギ。

カンヌ映画祭で賞をとってはいるが、あまり本国日本では話題性が少なく、辰巳ヨシヒロの死もあって、誰か何か語っておかないといけないので、テキトーに私が書いておいて、損は無いと思う。

劇画の人たちの話も書きたかったし、でも、なかなか完成しないとは思う。

でも、『世界樹の迷宮』のゲームレビューのように、完成しないということは無い。完成しなくても、アトラスの広報の女の子以外、困っても別に差障りが無い。

リンクが繋がった時、完成する。

ブックリンク

アニメレビュー [dramatic picturesの輸出『TATSUMI マンガに革命をもたらした男』](#)

辰巳の季節 TATSUMIの景色

2015年、辰巳ヨシヒロは死んだ。

1957年、昭和三十二年から60年近く経っている。

その頃、辰巳兄弟は劇画という言葉を生んだ。

映画『TATSUMI』は『劇画漂流』と辰巳の短編が合わさっている物語になっている。それも、海外では珍しくなってきた平面アニメだ。

その特殊性もあり、これは何か語っておかなくべきものがあると感じる。

それは劇画という季節への郷愁

辰巳ヨシヒロ本人の物語への憧憬を

コラム 巨大恐竜と手塚マンガ

マンガ読みと普通にマンガを読む人とは、少し異なっている。

これに似た事例は恐竜好きと一般の人の恐竜の先入観に近い。

恐竜好きは巨大恐竜だけが、恐竜の世界ではないと知っている。だが、一般に流布しているのはシダ植物の林に巨大恐竜が闊歩する図である。これは戦後マンガのおおまかな説明にあては

まる。

手塚というブラキオサウルスがいて、Tレックスという梶原一騎がいるというのは、間違いではないたとえだ。

市場の要求が、恐竜博を巨大竜の巣窟にさせる。

劇画といふ季節

辰巳ヨシヒロには手塚治虫と交流がある。映画内でも、感動的なシーンである。辰巳自身のナレーションで、手塚との関わり交わりを語るなのである。

この交流があるからこそ、手塚の死が映画原作の『劇画漂流』を描く動機となるのは、必然となる。

終戦を迎えて、マンガ家をしていた復員者たちとは違い、手塚は戦後デビューで彼ら旧世代には、パッと出の若造に見えただろう。少し鼻っ柱を折ってやろうという、マウンティングをされた。それはデッサン力がないと叩かれたらしいが、辰巳とのエピソードを見ると、それほど絵描きとして劣っていたとは思えない。

児童漫画を描くに足る以上のものを間違いなく持っている。

しかし、その児童漫画を刷新する一翼が辰巳ヨシヒロの劇画工房グループ、もう片翼が三洋社の白土三平・水木しげるら紙芝居絵師を廃業したグループ、まとめて彼ら劇画作家たちである。

そして、劇画の臭さ抜き、BD作家メビウスの多大な影響を受けた大友克洋のマンガが、この上に重なる。

戦後マンガ史は昭和以内であれば、手塚マンガ、劇画、大友マンガに層が分かれている。この三層構造が一般に浸透しているのか、平成を経て21世紀になると疑わしくなる。

知ってて当然の近代マンガ史が、伝わってないようである。

とくに『ゲゲゲの女房』を視聴する主婦層は、まったくわかってない。私は老母に「トキワ荘作家を押さえられなかったから、週刊マンガ誌（「少年マガジン」）は水木さんら貸本劇画作家に依頼した」と、本放送と再放送に二度言った。とくにNHKドラマで『まんが道』を見てきた層でも、この程度だ。

水木しげる『突撃！悪魔くん』にはオキちゃんこと桜井昌一（辰巳の兄である義興）の出版社（東考社）に原稿を買い取ってもらうまで、多くの出版社を回っている。その桜井は、いわゆる「いつもの人」として描かれている。兄がメガネをかけた以降の『劇画漂流』でも「いつもの人」の姿で、彼が霊障にあって鬼太郎にハガキで連絡する、あの「いつもの人」のモデルであることは傍証されよう。

余談だが、『ゲゲゲの女房』では桜井をうじきつよしが演じている。房枝さんが身重で分娩に

関わる費用が払えない苦しい時期に、原稿を買い取ったがエピソードで登場したかは、失念した。

劇画は大きなうねりを生み出した

忍者マンガが『進撃の巨人』の中に、壁に内蔵されているようにその影響を窺えるが、その相対的な評価をできるマンガ読みは少ないだろう。

忍者マンガには横山光輝と白土三平があるが、白土マンガの孫影響を感じる

立体機動装置の動きは猿飛びの術だろう。作者の解釈であのようなカタチに変化させた。ガスを使って運用するのも化学忍法の変奏だろう。

巨人には何をもすべて食い散らかす地走りの面影がある。

手塚マンガが人気を博して、トキワ荘作家などのフォロワーが現れ始めた同時期、辰巳は兄とのディスカッションで劇画という言葉を生む。1957年の頃だ。この年、白土三平が紙芝居絵師を廃業して貸本漫画家としてデビューしている。

辰巳兄弟は複数の候補の中から、劇画という言葉を選んだ。今までの児童漫画、学芸的会画と近代劇画というわかりやすい対比をして、新劇と旧劇の差を知っている世代には、

ほぼ同年、『ぼくの孫悟空』の原稿が落ちそうになったときに、壁村耐三をモデルとした編集者にトキワ荘作家たちは代原を頼まれる。これが後に『オバQ』の連載時の布陣である、両藤子と石森、おまけに赤塚である。玄奘一行のキャラクターを四人で割り振った。後年（60年代半ば）、佐藤まさあきプロが一人ずつキャラクターを担当する方式が試みられている。彼らトキワ荘作家は二年早く週刊連載の習作ができたことになる。

1959年に関西貸本の作家たちを集めて、劇画工房を設立する。

出版社と有力な漫画家に、設立の旨を認めたハガキを送信した。

後に手塚の回顧によれば、こうして劇画工房設立のハガキを読んで、そこから「これからの流れは劇画になる」と予見的に思ったらしい。もしかしたら後だしジャンケンの意見かもしれない。

歴史を知っていればイノベーションは西から来る。手塚自身も西からやってきた。そして『進撃の巨人』の作者も関西近辺ではないが、九州という西からやってきた。

時同じくして週刊誌として少年マンガ誌を出そうとした講談社側が、トキワ荘作家たちを押さえられなかった。『愛...しりそめし頃...』でも描かれるようにタッチの差でマガジンが遅れてしまった。

そのため、机にしまっていた辰巳が出した劇画工房設立の旨を書いたハガキを引き出しからの中から取り出し、内田優らマガジン編集者が劇画工房に加わっていた作家たちに接触を図る…半

分は想像だが、半分は真実と言える。

さいとうたかをや水木しげる（東考社から桜井と接触がある）ら貸本劇画の作家たちを起用、これがそれなりに功を奏し、マガジンの成功で石森、赤塚、安孫子などの招聘につながっていた。

少年キングから移籍した『サイボーグ009』『天才バカボン』『少年時代』などの作品がマガジンに出る。

劇画工房から“さいとうたかをプロ”の雛形、トキワ荘に集まったマンガ家たちが互いに助け合うことで、スタジオゼロの前身を習作することができた。

調べると違った答えが出るかもしれないが、今のプロダクションシステムも、「週刊少年サンデー」の場合トキワ荘からスタジオゼロの流れで、「週刊少年マガジン」は劇画工房の流れと思わしき部分を秘めているかもしれない。

劇画工房グループだと、前述した通り佐藤まさあきプロが三人のキャラクターを三人のマンガ家がそれぞれ担当する方式で描くのだが、一時期のスタジオゼロも、同じだった。『オバケのQ太郎』の連載時は、どうやら藤本がQ太郎、安孫子が正太郎、石森が他のレギュラーメンバーを書いていた。

奇しくも、劇画工房と同じことをしたのは、神様の代原執筆が契機だったのは、手塚が戦後マンガの中心軸にいることを如実に表している。

さて、劇画の浸透が終わったら、新たな波がやってくる。

ニューウェーブ世代、その筆頭が大友克洋である。（すまないが他のニューウェーブに筆を振るう余裕がない）

彼の描いた「FIREBALL」ショックは新宝島ショックの如く、同世代の作家に影響を与えた。浦沢直樹がそのことについて回顧もしている。鳥山明もファイアをドラゴンに変えたマンガを描いている。

大友マンガの場合、基本的には量から質への変換である。大友克洋が根城にした吉祥寺がアニメ制作会社が乱立していて、そこ地域的な交流があり、そのアニメ制作システムをマンガのプロダクションに「再翻訳」している。

この頃の東映動画以外のアニメ制作会社は、東映動画から出た組とマンガ家からの転進組が作った小さなプロダクションが乱立していたはずだ。後者で現在も生き残ったのはタツノプロしかないという、現状はあるにせよマンガ制作のアシスタントを複数人使うプロダクションシステムはアニメ制作の組織化の雛形になるようである。

さらにそれが進んで美術スタッフや原動画を描くスタッフが分かれている分業制が、大友に与えた影響は大きい。『童夢』や短編「彼女の思い出」に繋がる

おとぎプロにいた旧トキワ荘作家の鈴木伸一がスタジオゼロのアニメ制作担当であった。後に

ミドロが沼の下請けを受ける。

モーショングラフィックノベルの景色

『TATSUMI 劇画に革命をもたらした男』の監督エリック・クーはグラフィック・ノベルを描いていた。

メイキングではグラフィックノベルのオファーがあり、アイデア思案中に書店で見つけた辰巳の翻訳書を手に取り、そこから話を作っていったらしい。映画監督に転身し、時を経て再び翻訳本の『劇画漂流』を手に取り、映画化を企て、現在の映画となっている。

21世紀に入って、海外で辰巳の本が翻訳されていることを呉智英の『マンガ狂につける薬 下学上達編』で語られている。

日本でもメビウスの「アルザック」を購入するのは、不可分所得がそれなりにある人間が原書・翻訳書を買う。つまりマンガを小遣いで買える範囲ではなく、アルバイトなどそれなりに自由となる資金をがないといけない層

これが裏返ると、海外でも購入層は年少の読者ではなく成人層（若くてもハイティーン）ということになる。そのため、この年齢層に合う物語は必然的に金の卵として上京し工場労働者として働いている劇画の読者と同じ若者、ということになる。

内容も兄弟であるオキちゃんが病に臥せって鬱屈を溜め込み、弟のマンガ原稿にやつあたりするような、そのようなドラマは年少者には難しいと思われる。

アニメ映画として『TATSUMI』は、その特殊性を説明するのは、簡単ではない。

「日本の原作を海外でアニメ化すると、こんな風になるという一例」では、説明不足だろう。

マッドハウスが作るマーベルヒーローの国産アニメ化とはまた違った感がある。

海外の児童文学の名作といわれる作品をアニメ化した、その名作劇場の作品は、現地にロケーションハンティングして作っていたアニメとやはり違う。

（注・カルピス劇場の時代とハウス食品がスポンサーになってからの世界名作劇場があり全作品を含んでいる）

『TATSUMI』は

言葉としてモーショングラフィックがあり、グラフィックノベルをモーショングラフィック化している。

まんだらけが出す、どこから流出したのか謎の物品までも商品ラインナップに載っているパンフレットに連載していた『劇画漂流』を原作としているところは過去（終戦）から現代（21世紀）のリアな流れに沿っているが、その順序通りの時間の流れの間々に辰巳の短編作品を時代を

合わせずに挿入している。

終戦後近くで「地獄」か「グッドバイ」、昭和の経済成長期「いとしのモンキー」から「はいてます」、そして「男一発」が年代の順序としては正しいだろうが、その年代順序ではなく接続性に重きを置いて、水没したマジックインキを辰巳自身が取上げるような構成である。

最初のシーンを、実は辰巳ヨシヒロが作画した絵と繋ぐ円環構成は、こうした瑕疵を隠すためにいたしかたなしだと、厳しい眼を向ければ、そうなる。

甘い鼻真目で見れば、もう亡くなった辰巳が実写映像で描いたカラー原画からはじまり、それで終わる映画は、一つのウロボロスとして完成している。

手塚の『アドルフに告ぐ』が現代まで行き着くのに対し、再び少年時代に帰る

アニメ製作は宮崎駿のやり方に寄っている。海外ではそれができないから、ピクサーやワーナーの三次元モデルのCGアニメとなろう。おそらく同一のモデルを用意し、それぞれのアニメーターにこの統一モデルを渡していると思われる。

個人個人のアニメーターの絵柄を出さず、辰巳の絵柄に合わせる。

伊藤剛さんの漫画評を援用すると、劇画限定というよりも、漫画全体にいえる技法的なことを語っている。

辰巳ヨシヒロの分身である勝美ヒロシが窓の外にいるヒモを眺めて、彼の物語をマンガで描けたらいいなあと、それでアイデアを練って舞台を現代にせず、終戦を迎えた復員兵がヒモみたいなことをしているんじゃないか？ そこから着想して「グッドバイ」に入るような、構成をしないといけない。

そうでないと、なんでマンガに革命をもたらしたのか、担保されない。

こういう物語を作ることができなかった。

せっかくR-18にして性表現を出来るなら、そのヌードモデルのヒモを登場させるのは、問題は海外ではヒモという概念が、よくわからないという問題がある。国内制作であれば、問題は無くむしろクールジャパンとして輸出品（近年春画ブーム）として機能するだろう。

海外のスタッフにどうやって、ヒモを説明するのか？ 言葉の壁というより、文化の壁が、制作に

現在は誰でも描けるが、これは辰巳が生み出した景色である。

戦前のマンガの集大成としての手塚と

そこから一步前進する戦後マンガの進歩させる方向性を歩もうとした劇画工房は、実は寿命が短い。1959年に創刊された「週刊少年マガジン」の編者が連絡を取った頃には、分解していただ

ろう。そのエピソードをアニメでもやると、尺の問題で語りきれない。そして作家たちの肖像的な問題、存命中の人物もいる。

彼らを批判的に映像としてフィルムに定着させるのは、制作側にためらいがあったろう。

劇画工房の反省があって、専門的に分業化したさいとうたかをプロがあるなど、劇画工房が生み出した影響は大きい。

辰巳は集団作業を諦め

個人的なマンガ制作に留まる。

辰巳ヨシヒロの遺影

2016年、辰巳の死からほぼ一年経った。

手塚が亡くなった喪失に比べれば、たしかに小さいかもしれない。

もし、手塚に劇画工房設立のハガキを送っていなかったら、日本のマンガは青年化せず、壮年層も開拓せずに終わったかは、実は疑わしい。

日本は1959年から73年まで経済規模が約三倍になる。この高度経済成長は必然的に高年の層（青年・壮年・老年）を消費者としてとらえるだろう。辰巳でなくても誰かがやった。それは三洋社のグループから出てきた漫画家かもしれない。たいては、海外では中所得の罫にかかり、この層が開拓されないの自国内での大衆的マンガ購読者層が育たないのではないだろうか。

ともかく、児童漫画を改革しマンガに革命をもたらしたのが辰巳となった。

私たちは普通にマンガを読むとき、辰巳が窓の外を眺めた景色を見ている。

その窓枠が、弔辞の黒枠となることで、辰巳の遺影となる。

辰巳は映画の最後に肉筆の彩色絵を描く。

できれば、そこに描かれる少年時代の辰巳の姿を飾りたい。

21

日記

2011-11-23

24 男
24 女

日記

2

15

塩ハシ

既読未読の出入り

途中のハシ屋上志、2

「それとそれと塩ハシを食してこれ以上か？」

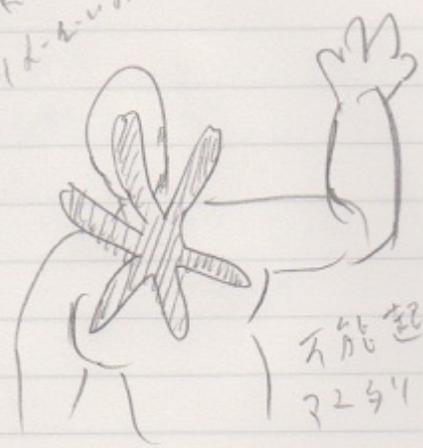
24日 4-24日
11日

5月28日 11日

29日 29日

38日 38日

業務報告
夜の本村の団結
の子供の
2011年
初代本村
を
下



不能超人
24日

24日

今更の世と 関係は

24日 24日
24日の子殺しの器
24日

24日
24日
24日
24日

24日
24日

11/17 - 152 420 500 - 1 - 11/20

20/67. 11?

一書 柳化かーくくの水

足跡まじり4200人、15.

16/1/21

1/28

~~11/20~~ 1520/17

最近の1520/17... 1520/17

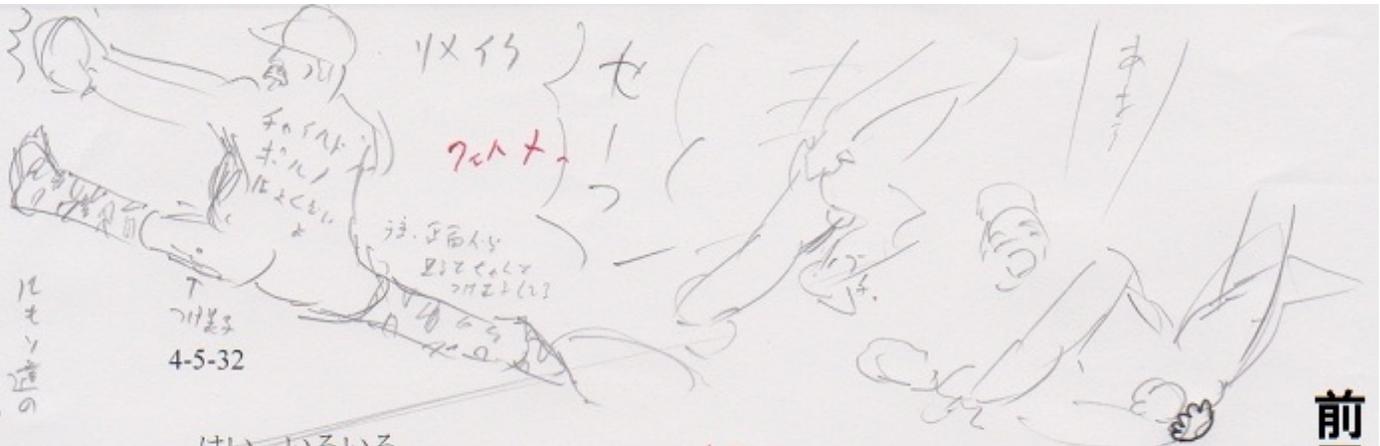
このようなセンテンスのメモが溜まって
気が向いたら更新される

コード メガネ

そういえば第108話「家出をしよう」でツクモ神のフクちゃんが家出をしていた
わざわざ煩惱の数の話数で眼鏡が家出しなくても

前田智徳

英才に天才と呼ばれた男もアキレス腱断裂で十年間センターの心配無しと言われていたのに三年くらいで引退した



北モソ達の
キヤミヤのネタじかん

4-5-32

はい いろいろ
用意してきました

エキスパート
から下に降ろして
いきましょう

エキスパート
トランプレイ
セヴンスリーウーノ
花札のギ
ウォルシンガムゲーム

これらのルールを
誤配法で
モードの
レギュレーションで

花札はルールを
用意しておりません

しかし 十二月を
表した意匠があることから
1 から 12 までの数値があり

この心
おのれ
Fキとレイトに
キキの
ハ・ル・ソ・レ
ストーリー

持てたか
一星を
暗闘
か切
前田の
女

の
ストーリー「セ」

UNO

おのれとレイト
ハ・ル・ソ・レ

ストーリー「セ」
この UNO をして

おのれを
アキレス
おのれ
おのれ

UNO
国内と国際

セリフを考えるのに手間取り
欄外にイタズラ書きを書きすぎてしまう

四月にアップする予定の「731」のセリフ・ナレーション表



復讐

くし

全祥球団



の一人が不

ふいば編り人柱を造り出す
電灯

アスタリックス ← (アスタリックス)

アスタリックスの王位

球界はあくか夫

矢野龍

のハチマキ

珍プレー好プレーでよくこの映像が流されていた(注:歴史修正主義)



解像度が高いほど見栄えがするのは平面と同じ

2.22の刻 一頁

平面画像でも
ドットグラフィックは

アニメーションの
マルチプレーン撮影 *おまけ*

2.22の刻 4面

立体映像 *おまけ*
ジェームズ・キャメロンが
開発した立体カメラを
コンピュータ上に *再現(2.22の刻)*
おまけ

おまけ

おまけ

おまけ

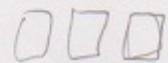
4-5-33

おまけ

おまけ

おまけ

おまけ



おまけ

おまけ

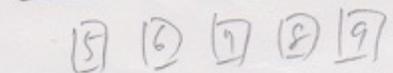
おまけ

おまけ

おまけ

おまけ

おまけ



おまけ

おまけ

こんな絵を描いていて いいのだろうか？

だけど やっぱり ほもが好き



今年も 電子書籍の購入のホドを
よろしく

広告的 四コマ

企業舎弟でもいい
応援するんだ☆



アクセサリーの
コックの帽子
ありがとうございました
(本当は誰からも、もらってないけど)



サブリミナル



というか この後
超人ケツ盟団がやってきて…
だとコックが辻褄合わないけど

イムズ氏はいったいどんな存在なのか 何が目的なのか
何故争いあうのか 何も考えていません
ともかくイムズ氏です 「ボク、妖精派なのに
何やってるんだろ」とか 思っています



皆 買ってね

というのを書いてから
よく調べたらコックの帽子 けっこう
もらっていると判明(余計なことを)

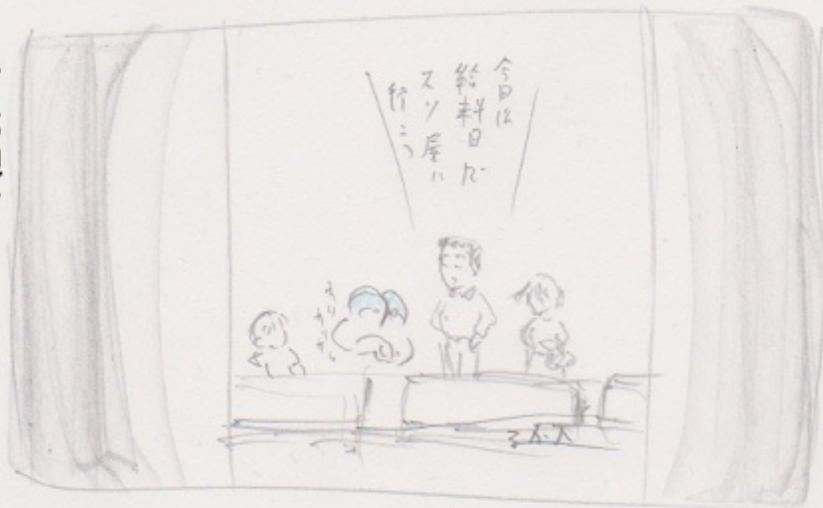


路地裏生命体に捕まった
お父さんに売られて奴隷にさせられた
フエイトくんは助けを求めていた

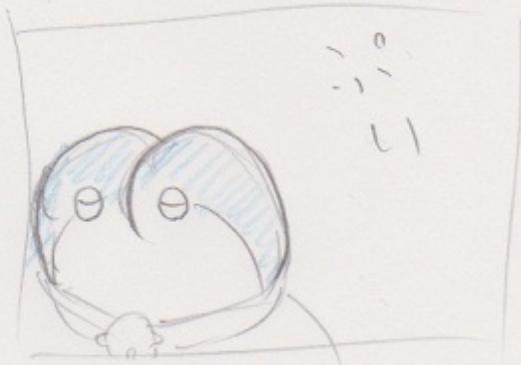
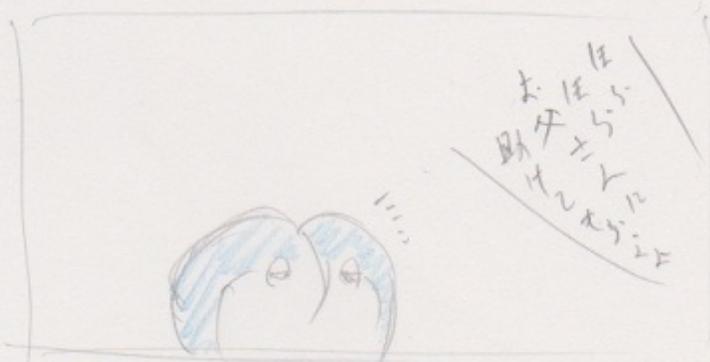


そんな彼の眼から

(原作通りの)路地裏から
大通りが見え



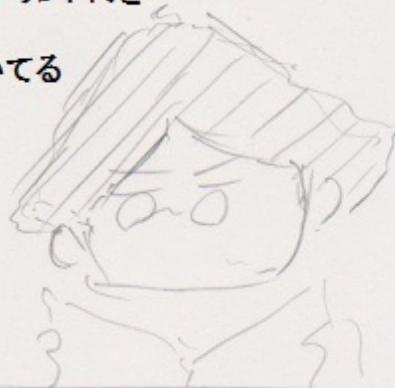
一組の親子と
仲間(たいこもち)らしき
超人がそこにいた



えーと 今月は
ドラクエ研究指針が
売れたと



校正用のプリント代を
引いても
まだ赤こいてる



スクウェア・エニックスの
人が買っていて
カンニングされたら

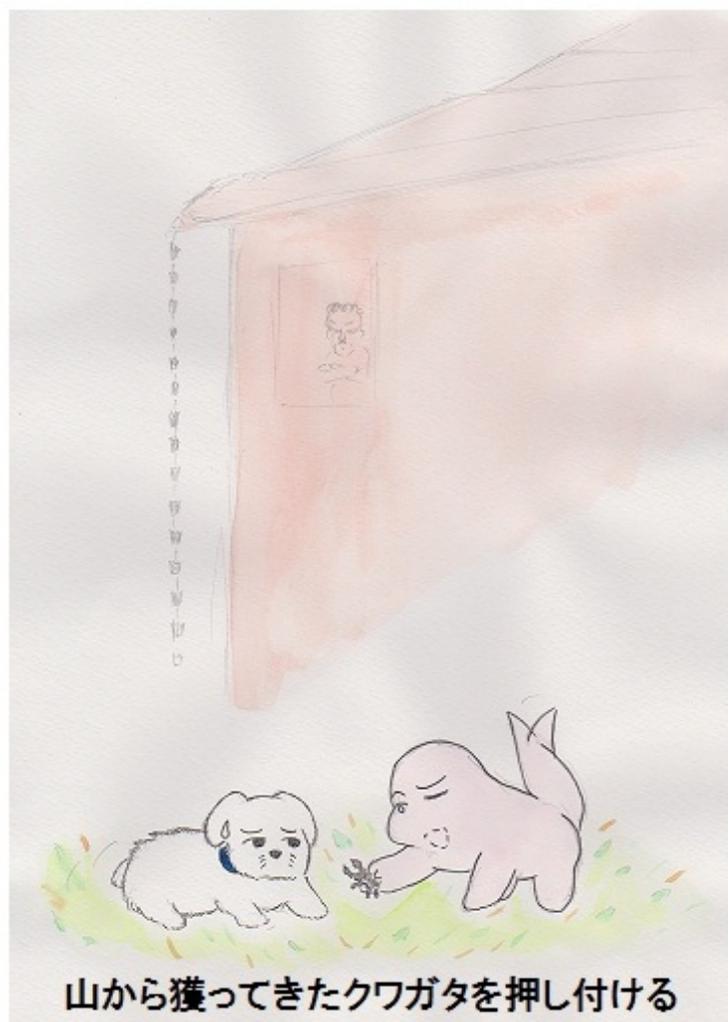
ヤだな



はぐれメタルの元ネタはこれ！
とか書かなくてよかった

わざわざわざわざ水彩画で描いて 四コママンガを作ったよ

藤子・F・不二雄のリスペクトやオマージュのはずが褒めになってしまった



犬いじめに
純粹悦楽(哲学用語?)
を感じ顔をほころば
せるケモちゃん



単純にクワガタが怖い
小心な犬のダイジロウ



亡き妻の遺した犬にこれ以上の狼藉を働かないか家の中からケモノ野郎を監視する横山さん



ここのコマに何を描いて いいかわかりません

たとえば「小倉唯ちゃんが『ヤマノススメ』繋がりで、
埼玉県でのライブをするのでそれに行こうか予定を組もうとしている」
と、どうして県内のライブハウスに来たときには
行かなかった……もうどうでもいいや

群馬県桐生市市民文化会館



あのコマーシヤル見る度に笑ってしまう

戦争屋アリスとかグロリア・カータレットとか言う女は
この情報誌のレギュレーションでは出れないと判断されたよ

くま井ナツさん
の回想は合法
ロリータビデオ
だね



他になんか言う
ことないの？

あれは
売れる！



子供にロリータコンプレックスをインプリンティングする恐れがあるから

フォーティブラス後 - フェイト

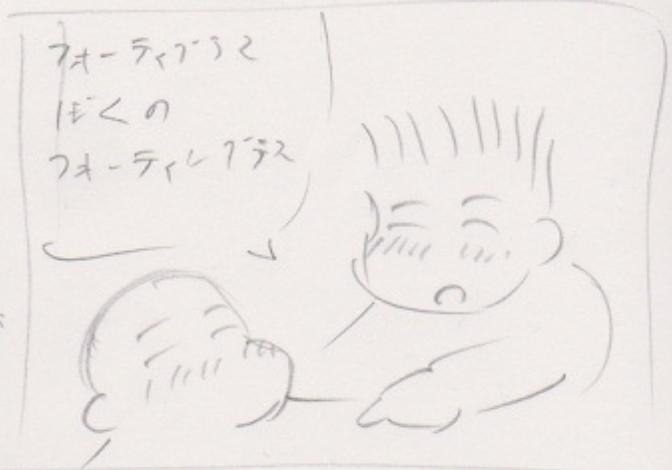
ハル役 - なの体

女子禁制だからできるギャグ

フォーティブラス様
Lv1

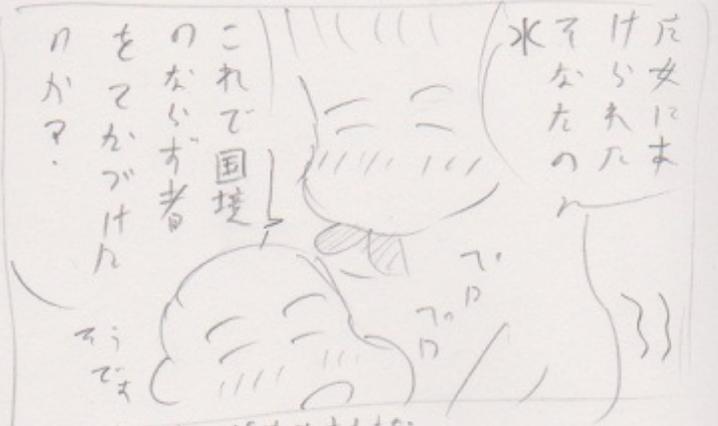


はいはいっほくのせし
わかせとオの
うたね



フォーティブラス
ほくの
フォーティブラス

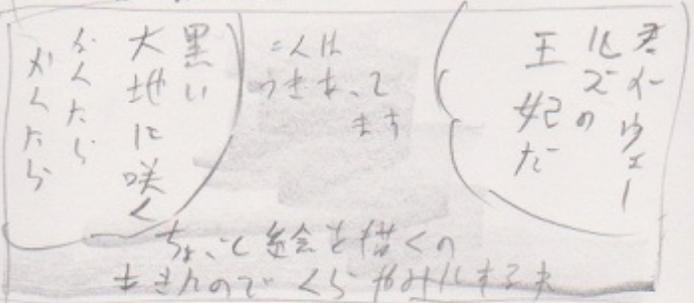
アスクリス



これで国境
のないう者
をてかづけん
のか?

水すけた女に本
なたのル

おんおんはさて林松

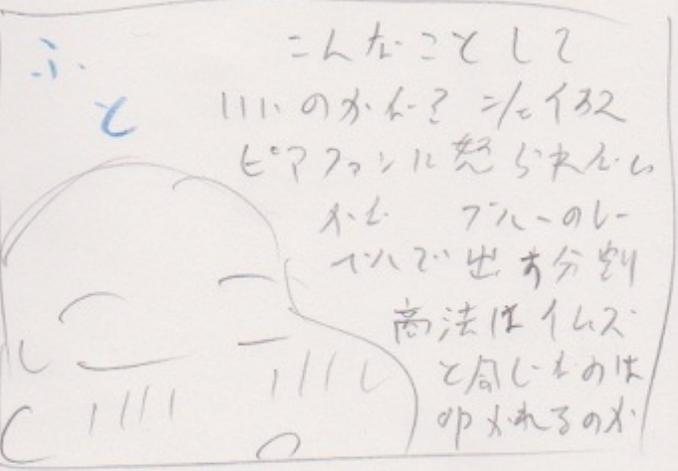


かんたい
かんたけ
大地に咲く
黒い

二人は
つせまを
まき

王
妃の
た

ちんちんを借くの
まきのでくらおみれするま



こんなことして

いいのかあ? =/イ32

ヒアアッルに怒らぬをい

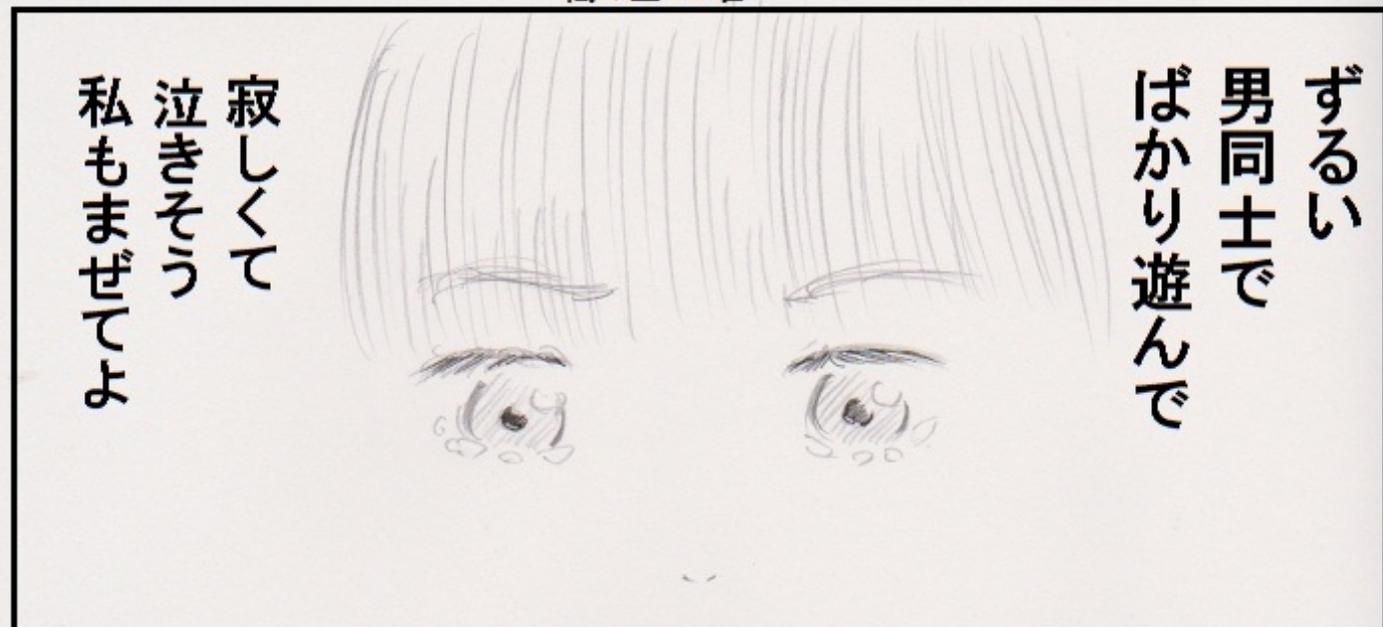
かまアハ-のレ
イハで出考分判

高法はイムス

と同じなの体
叩かれるのか

Pubon X
PaBonの203の
表紙. 3333
±しかたをいよ

よくねえよ



ずるい

男同士で

ばかり遊んで

寂しくて

泣きそう

私もまぜてよ

ゆかり先生はコーディーリア役なのでまぜちゃうよ
大人の手しか届かない棚に置くことになっちゃうけど
別に市場流通するものじゃないから

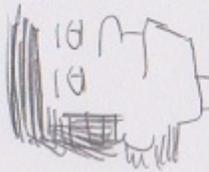
7.29

広告

MEGANE BIINKI

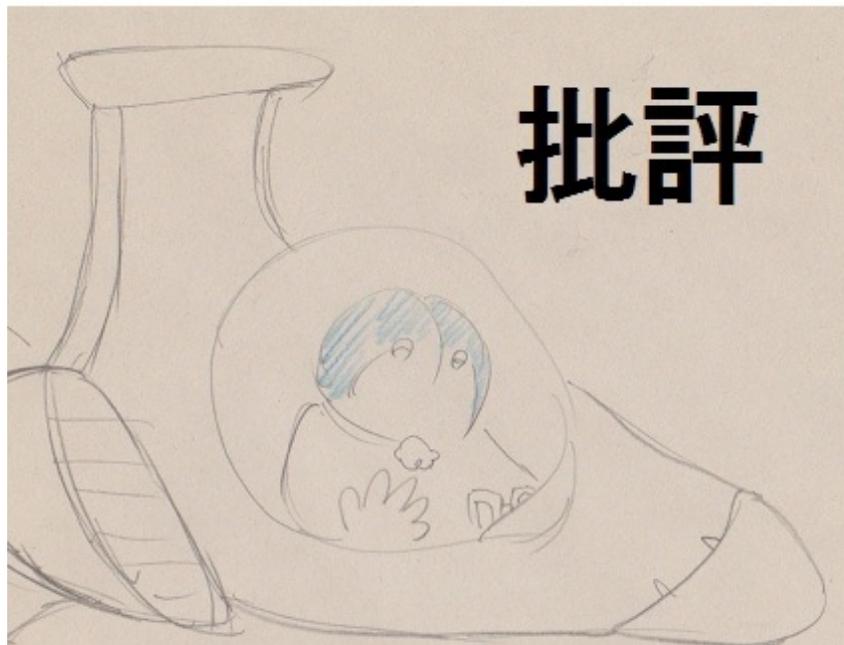
番組本発売 決定

ネタ



毎日土管に暮らしていると
ネタにことかかないな

批評



↑20万ポロン

子供を奴隷市場に売った金で
買った戦闘機を乗り回す人を批評



随筆は多くな
りそうなので
独立した章に



書評

ネタ帳にたまったゲーム関連のネタを一気に吐き出すために、その場としての電子書籍を本年から作る予定である。

アマゾンのKindleの方にも、配信する予定である。そのバージョンには、「任天堂自社株問題」とか「海の向こうが遊環構造を裏付けた」とか「遊戯理科学・幽環派」を付属させるつもりだ。

連載と言うわけではないが、気が向いたら、まだ書き上げてない記事が掲載・変更される。あとから校正や固有名詞を資料と突き詰め合わせて書き直すので、記事としては体裁が悪い。

そんなあまりよくないモノを閲覧者に読ませてどうなのかという疑問が自分にはある。「仕事してるよ」というアピールに過ぎないと言われたら、反論できない。

それは仕方ないのだ！

共通キャプション

ゲームについての周辺を書いた、雑記である。

本来、ゲームレビューは学术论文に近いものしか書きたくないが、それだとあまりにも生産量が少なく、不本意も含めてコンプレックスという題をつけて、いろいろ記事を書いてみることにした。

VOL.1の記事ラインナップは、

- ・大足派の避難場所
- ・鬼切り鶴子の因縁語り
- ・テレビジョンの仮想敵
- ・トマス・デイとその仲間たち（Kindle版のみ）
- ・任天堂自社株買い問題（Kindle版のみ）
- ・映「劃」のラマヌジャン

VOL.2の記事ラインナップは、

- ・クリボーは優れたデザイン
- ・シャア・アズナブルになれなかった男
- ・天才のマインドパレス
- ・ゲームばかりしていると、こうなる。（Kindle版のみ）
- ・書評海の向こうが遊環構造を裏付けた（Kindle版のみ）
- ・「いつかのオーリーを見せておくれよ」

VOL.3の記事ラインナップは、

- ・電子的幻痛

- ・シクラメン 遺伝の模擬
- ・1秒もプレイしていない
- ・嗚呼、ゆううつなるクラフト・エヴィング (Kindle版のみ)
- ・遊戯理科学幽環派 (Kindle版のみ)
- ・イイノはイノベーションのイノ

GAME REVIEW COMPLEX

下手なことをしてホームグラウンドを汚したくない気持ちは誰にでもあるだろうか。

これは私個人の話だが、多くの人間にもわかってもらえるはずだ。

マンガやアニメに関しては、いい加減で資料を集めずに「テキトー」で無責任なことをついつい書いてしまうが、ゲームレビューではそんなことはしたくない。

「これは仕上がりが悪いな。完成しても出来が悪いはず」

と、なんとなく判断したものは、途中で「やめた」していたのだ。

しかし、そのためにゲームについて書くことが少ない気がしてならない。そこで周辺雑記的なモノを一冊一万字ほどの分量にまとめた、複合体を意味するコンプレックスをタイトルにして電子書籍を書いてみることにした。

コンプレックスとは、劣等感と訳されるが誤訳らしく、複合的なものを差す。単純に親には育ててもらった恩があるが、しかし自分に対して酷いこともした点があり、複雑な感情を抱くことを心理学・精神医学でコンプレックスと言われるが、実はその感情もこめられている。

その点については読んでもらえばわかるが、ゲームレビューは生産性が著しく悪い。現在 (2015年春)、『世界樹の迷宮』のゲームレビューを書いているが、ともかくなかなか完成しない。資料もだいたいある。核心となるところを突ける手応えもある。だが、なかなか完成しない。

アニメやマンガなら、「超テキトーな感想だけっ」というモノもあるのに、ゲームレビューではそれができない。そのコンプレックスもあるということ。

それは置いて、今まで棚上げしてきたモノも、積極的に書いていこうという方向性を持って本書の執筆に入ると、いろいろと書きたかったことがあるのに気づく。引き出しにメモをいっぱい貯めていたことも思い出す。そのため、本来は一冊におさめる内容を、複数に分割し、本項を共通の冒頭とした、シリーズにする。

一応、この電子書籍は販促のためにある。できれば電子書籍を買って、活動費の足しになるようにしてもらいたい。そのコンプレックスをよく、理解してもらいたい。

その内容のだいたいは、悪口である。

トキワ荘関連の本を2015年は読んでみようと思い立ち、『まんが道』からはじまっているいろいろな人々の本も読んで（映画『TATSUMI』も含む）、そのトリとして『トキワ荘の時代』を読むのは、ある程度予定的に組んでいた。

これを原案の一つに映画化もされた。寺田ヒロオを本木雅弘が演じた『トキワ荘の青春』である。そちらはDVDを借りてきて、十年ぶりに観た（その数日後、BSでテレビ放映された）。

観返すと現在からすると豪華キャストで阿部サダヲや古田新太、後のドラマ界映画界演劇界を支える人材が出演している。俳優さんの中には、ほぼ見かけなくなった俳優もいるので、それは森安なおややアニメ業界に行った坂本サブローを髣髴させる。

前に「（寺田ヒロオこと）テラさんを本格的に取材したノンフィクションはまだ無い」と書いちゃったけど、この本がテラさんのノンフィクションと言っても、何ら差し支えない。

だが、いろいろと注文がある。

まさか、この本を読んで何も注文が無い人はいないだろう。

まず戦後幼児時代を送った梶井純の回顧録でもある。それがテラさんの人物像と距離があるというより、別に梶井氏個人のことは語らなくていい。

これは読者である皆の共通体験を思い起こさせるというよりも、オレ語りである。歴史資料的な意味はあるが、読者は彼に興味はないと思う。この本を手にする人はトキワ荘作家たち、主にテラさんの話を読みたいのだ。

彼個人の原体験としての幼時期の記憶は、できるだけ控えめにやってほしいのに、「オレが、オレが、オレが！」と我を出されると、正直辟易する。

そうした回顧録として、当時の空気感や時代の流れを伝えるのも全てが全て悪くないが、本格的に資料を調べて洗っていかなくちゃならない。それくらい主観があまりにも強すぎるのだ。

いつの間にか、野球が浸透しているなどがあるのだが、戦前を紐解けばこの時点で日本の子供たちは野球が好きなのは、プロ発足のショックがあったのではないだろうか。

昭和九年の沢村伝説も二十一世紀の今とは違い、目で見てきてベーブと打撃王から三振を奪った姿を語る人がいた時期である。この沢村伝説だけじゃなく、プロ野球が発足し、スポーツをすれば暮らしがたつという、子供にとって夢みたいな事が実現した。

しかし、実際に実業団のノンプロで野球を出来るようになったはずのテラさんは、漫画家の道に進む。

何かあったのではと、勘繰りたくなる。

『トキワ荘の時代』ではノンプロ、アマ野球の世界で他チームからテラさんは引き抜かれている話がある。これが後に、プロアマ断絶の原因となる柳川事件が起きるのは当然だと思われる、引き抜かれ方なのだ。

その引き抜きは水面下で、『スポーツマン金太郎』で描かれるズルい大人のやり取りにイヤけがさしたのか、察するにあまりある。

テラさん憧れの井上一雄『バットくん』の世界に行きたくなる動機が形成されたかもしれない

これだけでも、取材をして真相はどうだったのか、真相がわからずとも、真相に近づいたノン・フィクションが読みたい。夫人の旺子さん（中村八大の妹御さん）が活着している内に、ひとつまとめたものが必要と思う。本当なら二十世紀内で、当時のことを知る存命者も多くいるうちに、肉迫した取材が必要だった。

寺田ヒロオがどこにいるか、探らねばならなかった。

それに出版から20年以上経って、その間にマンガ研究が進んでいる。

たとえば、テラさんの父は帝国軍人で旧日本軍の名簿を調べると、寺田の苗字の人物は、たしかに将校でいるらしいけれど、若干辻褄が合わないことが指摘されている。

そこから考えられることがある。

仮に戦中に将校として亡くなられた（二階級特進で将校として扱われている？）とすると、ご母堂に遺族年金が入り、それをテラさんがけっこうな額を相続していたとしたら、とても貧乏荘に暮らしている人間と思えない資力があることに、一応の辻褄があう。このような事情であれば、赤塚不二夫に現在の額で百万円程といえる五万円を貸すことが出来たと仮定できるのだが、そこは謎である。

仮定を続けるがテラさんはその遺産を食い潰すような生活はけしてしない。かといって吝嗇でもない。

生活の基盤を築くまで戦死した父の遺産を崩さなかったのか、清貧を宗（むね）とするために貧乏をやっていたのかは、わからない。

遺産も必ずしも多くテラさんに入るとは言えない。テラさんには上に二人兄がいる。

二人とも戦争に行ったかまでは、さすがに調べてはいないが、戦地に取られたとしたら、テラさんに戦争の影が差す。テラさんにとって、戦時中の体験が、どこまで影響したかは語られていない。

そして『バットくん』が、雑誌「野球少年」がその影に差す光であったろう。暗闇の戦中は作られた部分もあるが、テラさんの父兄たちが国家に命を捧げたなら、その暗闇は本物ということになる。

ともかくテラさんがいなければ、赤塚がおらず、森田一義も福岡の地で埋もれていた。仮に山下洋輔に見出されても、お茶の間の人気者にはなれなかつたろう。赤塚が森田一義をタモリにしたように、赤塚藤雄を赤塚不二夫にしたのは、テラさんである。

赤塚と森田の関係は、寺田と赤塚の関係が継承された形である。ところが長谷邦夫さんは哀しい話をしているが、森田一義のような非凡ではない者たちまで、赤塚にたかるようになる。長谷さんの中で複合感情としてのコンプレックスが募り、ついにはフジオプロから出奔する。（この件は『マンガの中心で愛を叫んだケモノたち』で描かれている）

テラさんがトキワ荘から出ていくということによく似ている。

雑誌「COM」でトキワ荘の時代のことを当時暮らしていた作家たちにマンガに描かせる連作作品がある（この連作が切っ掛けで『まんが道』が展開した）のだが、テラさんはどうもよい思

い出はないというか、コミカルに描いているが、どこか影がある。貧乏してやせてしまい、例のキャベツを食べて凌いでいる姿を自虐がすぎず、自嘲程度に描いている。

編集者がやってくると、「手塚はどうした」「手塚はどうした」と聞いてくるので、自分は手塚の門番ではないと、不満をもらしている。

あまり口に出してはいないようだが、手塚コンプレックスがあるようである。そこに他のトキワ荘作家や手塚フォロワーと温度差がある。

まだ小野寺だった石森少年や松本零士は手塚の手伝いをほいほい引き受けてしまう。しかし、テラさんが手塚の手伝いをしたという、記録を私は読んでいない。

血統でたとえれば、テラさんは戦前デビューの井上一雄のラインで、手塚治虫のラインではない。それが後年、児童漫画家のままで、娯楽マンガ家として生き残れない宿命をすでに背負ってしまっている。

他にも辰巳ヨシヒロが手塚には劇画工房設立のハガキを出して、テラさんには出さなかったのでは？

それだけが二人を分けたわけじゃないけど、戦前派を墨守する側と、常に変化しなくてはいけないと危機感を覚える戦後派側では、自ずと時代にもまれてしまいながらも生き残るのはどちらであるか、明白に答えが出る。

逆も考えられる。

辰巳のハガキをもらって、学童善導主義の漫画が脅かされると感じて、頑なになっていったのかもしれない（『「漫画少年」史』を読むと一応辰巳ヨシヒロの寄稿もある）。児童漫画を墨守するか、児童漫画から一步進んだ演劇的漫画に革新するか、テラさんにとってはそれはディスラティブ、秩序を乱すものであったろう。

『愛...しりそめし頃...』で語られる寺田邸での「最近の児童漫画はよくない」は、正規の流通を通さない赤本とやはり大手と異なる流通の貸本と貸本屋があった時期（劇画工房設立前後）で、学童社の倒産も相まって、よい漫画が脅かされている状況だった。（この件の正確な年は不明）

赤本の方法を雑誌で摂取できるのが、別冊付録であり、この別冊で中編長編を載せられるのが、当時画期的だったろう。と、思われるが資料的裏付けはない。

今、結果がわかっているからテラさんの行動を不可解だと思ってしまうが、マンガたたきもあったと考えると、よい漫画を墨守するのも、規制が大きくなって漫画全体が下火になってしまうのを防ぐ戦略としてなら、なんとか領ける。

海の向こうでは、1950年代にアメリカンコミックが悪書として排斥され、やがてスーツヒーローしかないジャンルが狭まるレギュレーションにされてしまう。アメリカでも少女マンガのようなジャンルの萌芽があったらしいが、その芽は摘まれてしまう。コミックで恋愛を描くと間違いなく規制され、ゾーニングされて届けたい読者に届かない。

国内の劇画の台頭に刺激された藤子両名と赤塚が、寺田邸でなされた当時の現代児童漫画に苦言を呈する弁舌から離れて、表現領域を広げていく。職業作家として時代の要請に答えていく。

その差はなんなのか？ 手塚を師事した側とそうでない側だろうか。トキワ荘作家でも、手塚

を私淑して師事する派と、田川水泡門下の森安なおやと永田竹丸などはマンガ業界から遠のいてしまう。

テラさんは安孫子さんや森安なおやのように、ヌードデッサンをしなかった。辰巳ヨシヒロが『劇画漂流』で描いた、モデルのヒモの人生を描けるマンガを必要ではなかった良い時代でもあった。

このヌード、米沢嘉博が触れているように「よい子のマンガとは何か？」という学童社の呪縛を一度思い出してみる。そこを担保というか、負債を引き継いだのが、藤本さんの側であると考えたと、『エスパー魔美』で魔美のヌードデッサンを画家である父がしているのは、ひとつの解釈ができる。

ヌードデッサンをちゃんとやることで、芸術にしる商業にしる、絵画＝マンガで糊口をしのぐひとつの暗喩になっているとも思える。単純に作家生活が、裸婦を描く方と描かない方では差がある。迎合するかしないか。

この件については、これくらいにしてトキワ荘の通い組、つげ義春はテラさんにシンパシーがある。同情ではなく、同調する部分があるのだろう。親近感といってよい。

自分と同じ臭いを感じ取ったのだ。

どのくらいつげと交流があったのか、わからないのだが安孫子さんはブラックユーモアのシリーズでひきこもりのテーマをマンガに描き、実際のひきこもりの社会問題が表面化する前に予見的な風刺が効いたマンガとして、現在は高く評価されている。

つげにはそういうところがあるのは、作風で窺える。便所に閉じ込められるのもどこかユーモラスである。ひきこもりたいという願望すら窺えるが、テラさんにはその作風からとてもそんなことは窺えない。『背番号ゼロ』の快活な部活動ではない仲間たちの少年野球、『スポーツマン金太郎』のおとぎの国から出て新天地へ向かって行く、そういう作品内容からひきこもりはほど遠い。

ところが字義通りにテラさんは離れに引き籠ってしまう。それはつげと同調するものだろう。

この同調がつげ義春と水面下で通じるものがある。

『トキワ荘の時代』では、インタビュアーである梶井から、テラさんの訃報を初めて聞いて、つげが絶句している様子が書かれている。つげの中で、どのような感情が渦巻いたのか、酷かもしれないが、できればマンガに描いてほしい。

彼の眼から見えた、寺田ヒロオとは、いったいどんな人物であったのだろう。

梶井純が書かなかった物を描くはずだ。

それでテラさんの居場所がわかるかはまでは、わからない。

テラさんのノンフィクション、ホロッコのほり太氏が適任じゃないか？ 地元郷土史家のような人たちの協力は、得ようと思わない方がいい。

絶対後悔するから！

地元で暮らしているから、彼らのような汚い人間がいるから、テラさんは新潟の地から出て行ったわけだから。取材で掘り下げたら、絶対にそういうエピソードが出てくる。そもそも、ほり太氏が郷土史家みたいに、面白いけど興味本位な仮説にたいして、「それは無い」と断じるところがある。郷土史家とほり太氏を檻に閉じ込めて戦わせるという手段を脳裏に一瞬思い浮かべた。

このノンフィクションはできれば、真面目に作りたい。惜しむらくは、米沢さんが生きておられれば、資料の把握ができていて人であるから、資料の助成を得られれば心強かった。

ネタ 受賞者

去年活躍した人物を功労するために賞を勝手に設けた。
夢の賞である。

流行語大賞

俺たちのオーレ2

次点 二回同性愛をしたものだけが、同性愛者だ！

次点 アスタリスクに誓います

あまりオオヤケに出さなかった 同性愛しちゃった婚 も捨てがたい

ゲリピー・オブ・ザ・イヤー

野球選手部門 齊藤和巳

映画部門 成瀬順のお父さん

前年にこれだけの面子がそろい、今年も宮崎・元議員など、充実のゲスがそろい踏み。

デザイン・オブ・ザ・イヤー

佐野研二郎 「東京五輪エンブレムの一連の件を評価」

コザキ・ユースケ

ベスト・アーティスト

狼の被り物を被った人たち

「私たちは彼らを本物の狼と認めません。早くビートクルセイダーズみたいに素顔をさらせ！」なんて、心にも思っていない。

左利きの人を右利きに描き間違う賞

グラゼニ（殿堂入りに付き表彰）

杉浦さんの右手でスプーンは雑誌連載で気づいたけど、わざと単行本化されるまで待ちました。それまで我慢と忍耐の日々だった。

MVP

森 喜朗

満場一致。羅愚毘威をやらせたい。

大友克洋の短編「つやのあとさき」では「お直し」を演（や）った落語家が楽屋で師匠に「お前には艶が無い」と駄目だしされる。「シェラザードではないのだから」と、思ったのだが、落語の話をするのと、アラビアンナイトを語るのは、どこかで似ていないか？

まず、調べてみた。グーグル・サーチャーではこの疑問に関する論文は無い。落語とアラビアンナイトの相似形から一つ抜かれた、それについて語る正式な論文は、ネット公共には、無いとされるが、これは伊藤忠太の早とちりと同じく、「シェヘラザード」と入力しなかったのが、運の尽き。

「するってえっとおメエさん？ ドジを踏んでこんなケツタイなモノを書いているのかい？」ということになってしまった。シェヘラザードは横文字で言いにくく、「シェラザード」「シェラザート」と言っていたものだから、うっかり「シェラザード」と検索時に入力してしまったのだ。（スペル上でもScheherazadeでシェーヘラザードと言にくい）

そんな風にスタートを切り、「てめえで」批評を書くことになったが、とても全体を捉えることはできない。仮説は噺家とシェヘラザードは似ていないかの話だけど、これはあ〜、ほんのさわりだけに止めておく。批評として、結論を出せるのか、わからない。落語の話題なのに、サゲが無いのは、これ如何に、となるかもしれない。

「貴様、タダ者ではないな」

「ええ、ご覧の通り、タダ酒をあおってる田舎者でしてね、これはタダ者ではできませんぜ、お殿様」

というサゲなら、世話物の新作落語にありそうだが、そういう問題ではない。（都会では上水を買わなくちゃならないけど、田舎ではタダとかそういう話が前振りにあるだろう、とか）

ワンテーマにできる噺家とシェヘラザードが、落語の根多とアラビアンナイトの話が、実は似た物同士ではないかという、問題だ。

前にも『どうらく息子』を読んだとき、「そういえばアラビアンナイトにポンポコナーとポンポコピーみたいな双子って、いなかったっけ？」と、至極恣意的な思いつきがあり、その件が頭の端にあったものを思い出しながら本項を書き始めた。

そう。ほんの思いつきなのである。しかし、事前に資料を少し眺めると、これは結論付けられるところまで行けないと、わかる。

陸と海のシルクロード圏の文献を軒並み収録・所収している紙の垂細垂主義、平凡社東洋文庫には原典翻訳したアラビアンナイト・シリーズと、『落語講談今昔譚』と『落語の落（サゲ）』がある。

このような小さな繋がりはある。

しかし、伊藤忠太の例がある。わざわざ三年かけて、法隆寺の堂張りの起源がエンタシスのはずと大陸を渡ってギリシャのパルテノン神殿まで遡上して、「根拠となるモノは発見できませんでした」となっても、おかしくない。

その旅程にあると自覚するが、さて、私のように落語に詳しくない者がこんなことを書けば、

「しくじり」をやらかすのが目に見えている。

江戸っ子だろう忠太（八っさん熊さん）の早合点は、そのまま落語の大根多である。大家役に辰野金吾を登場させ、金吾邸の庭に設えた土俵で相撲して、「さすが金吾、はるのがうまい。ちょうちん屋さんですから」と上方落語の根多もいれ、ギリシャまで行ってもらう。（建築家・辰野金吾の相撲好きは建築界隈では王さんが荒川コーチに打撃練習を教わったぐらい広まっている話。息子は仏文学者で、もちろんちょうちん屋ではない）

大陸遊りが築地本願寺を結果的に生み出したが、私のネタはまくらにもならない。まくらで流行りの芝居の話をする「団子兵衛」と同じで、そこは承知願いたい。本題が面白くないという意味ではない。

新書の『アラビアンナイト』にも「古今東西の説話の宝庫」という項目があるように、万国共通としてこのように市井で語られてきた作品は庶民の夢が語られている。幸運に巡りあって富を得て、後に良妻となる美女とお近づきになるという、万国おなじみの物語だ。

アラビアンナイトも、例に漏れない。『千夜一夜物語』という邦題が付けられている。

もちろん、千一話あるわけじゃない。

それは星新一だ。

本人の弁では千篇で終わらず、千一篇があることでいいのだ、なんて語っていたらしいが、千一話のショートショートにしたのは、一夜一話で読めるSFのアランビアンナイトに、寄っていたのだろう。（そのためか海外での翻訳が成功している）

原典のアラビアンナイトは前後編あわせて二夜だったり、話の中にまた話があり、けっこうな長編で一夜詩を吟じるだけで終わるものもあり、艶笑落語的なものや単なる教訓、イソップ物語の変り種(?)のようなものもあり、それを1000と1夜かけて話すのである。

アルフ・ライラ・ワ・ライラ。

直訳は千夜一夜である。

くだんのシェーヘラザードが物を語る、ので邦訳千夜一夜物語になる。

マルキ・ド・サドもガラン版を読んで、性の饗宴の影響を受けたと、想像はできるが、それはリベルタンの妄想として片付けられるだろう。プロローグの話や魔人が出てくることが拡大延長させると、ジンやジンニーと魔法合戦を繰り広げる魔法使い*1と「(ある方法で)マグマを止める化学者アルマニ」や二人の姉妹の片方が偉い人物の愛妾として地位を得ているが妹はその美德のために艱難辛苦を与えられるのもどこか共通項を持つのだが、これらは主旨と離れるので、この程度の指摘に止めておく。

創作詩人だけが詩人ではなく、アラビアンナイトを語る人も詩人とされる。これは落語家と講談師が一緒になった、あるいはまだ分かれていない存在だ。

プロ化をせずにはほとんどが半分アマチュアで、行商の行った先で「珍しい話でもみやげにないか？」と問われて話を語っていたのが、また聞きした実話創作を一緒くたにしてアラビアンナイトとなったらしいとは、考えられる。

かつていたという職業的語り手は、現在の中東にはいない。だから落語家のように師匠筋を遡っていくということとはできない。根多の成立時期はなんとかわかるが、アラビアンナイトの個々

の話の成立時期は不明だ。

まだ日本国内では学者の眼に耐えうる歴史的な資料は輸入されておらず、中東の研究者たちがアラビアンナイト成立の時期や話の起源となる事件・原形の話の収集が今後の課題となるであろう。

元となるなんらかの事件、環境はある。

実話を盛ると、どんどん変化していったと歴史考察はできる。「シンドバッド航海記」は、海のシルクロードの行商が、冒険じみているからどんどん発展を遂げたようである。

ルフ鳥の起源はエピオルニスで、喜望峰ルートはイスラム圏の方が早く見つけており、マダガスカルにまだ絶滅していなかった時期に訪れた、航海者にして冒険者の記憶の記録であろう。

東方見聞録のジパングのように、たしかに日ノ本は東北の中尊寺金色堂（まだ鹿苑寺金閣は出来ていない）や金の埋蔵量が実際に多い元ネタがあっても、黄金の国と盛った方がウケがいいから、巨鳥なことは巨鳥だが人を驚掴みするくらい巨大に話を盛った方が、聞き手のリアクションが大きいと、そちらをとってしまう。

それは現代の寄席でも、営業に来る芸人さんの話芸でも、同じである。実際は違っても、山崎静代が山里亮太を「これはクリリンの分！」と言って殴って失神させた、と伝えた方が面白い。プロレスで広島平和祈念公園の興行で原爆固めでフォール勝ちしたというのは事実としてあるらしいが、パイルドライバー（原爆落とし）からジャーマンスープレックスホールドとして伝えた方が不謹慎の量が濃縮されて面白さが原爆級となる。

その話芸としてのフィクションの部分が、落語とアラビアンナイトの面白さである。

さて、忠太のように遡上してみると、パイポの国は、ペルシャではないかと、考えられる。

ペルシャ→パルス→パイポ説は、にわかには信じられないだろう。

しかし、落語的柔軟性を鑑みると、「おたく様の若旦那が、最近はめでたいようで…」というのを、「おたく様のバカ旦那が、最近はめでたくないようで…」と言い間違え伝言ゲーム的な伝達のされ方（注・「鮑熨斗」）をされている気がする。「ペルシャ」「ペルシャ」と言いにくいからシナの地で「パルス」となり、「パルス」「パルス」と言いにくいから、日ノ本で「パイポ」となったのかは、本当は謎である。訛ったということにしておく。

するとシューリング王はスルタンや王様の名前、アブドゥル・ラフマーンやスライマーンが訛ったものではないか？ 現在のイランのペルシャからシナ（陸のシルクロード）かインド・インドシナ（海のシルクロード）を経由して伝わると、その地方地方の発音で変化し（訛る）シューリングとなったのは、否定する方が難しい気がする。

日本の伝聞を聞いた魏志倭人伝も、姫皇女（ひめみこ）と言う名の大和朝廷王位継承者をヒミコと訛ったと書きたくなる。

そうなると双子の姫、ポンポコナーとポンポコピーは出てくるのか、気になるところである。

そのままの名前は出てこないが、近い話はある。

「オマル・ブヌ・アン・ヌウマーン王とそのふたりの御子シャルカーンとダウール・マカーン、そしてこの人たちに起こった驚異・珍奇な物語」

長大なタイトル名である。最近では鳴りを潜め始めた長文タイトルのライトノベルも驚き異なる

、奇抜な珍しい名前である。一応は前の方（冠名？）ポンポコが後のカーン（王子・公子の意が
あろう）になっているということで話を進める。とりあえず、ダール・マカーンとヌズハトツ
・ザマーンがポンポコナーとポンポコピーにあたると、仮定する。

その話は大衆のニーズ、あるいは『源氏物語』的な内容がある。アブリーザ姫の悲劇やギリシ
ヤ悲劇のような近親相姦がある。助言として「心して読まれよ」としか、言いようが無い。（こ
の場が女子禁制で大変良かった）

牧人に拾われるヌズハトツ・ザマーン（ジュスチーナのモデル？）は、オイディプス神話の語
りなおし、ヴァリエント（異文）として分類できるだろう。彼女が当時の教養を持っていること
を明かすために、様々な東洋文献（オリエント文化の知識）から引くのは、「寿、際限、無し」
の「寿限無」や「世辞屋」に近いと感じる。

枠組みが似ている。

謎を解くオイディプス王との比較をしてもらえば、何をいいたいのかわかるだろう。（「オ
マル・ブヌ・アン・ヌウマーン王と…」はこのへんにしておく）

よく歌舞伎を語るときに、能劇との差を世界と趣向で説明することがある。同じ弁慶義経が出
てくるけれど（世界は同じ）、国劇と能劇では趣向が違う。現在の言葉で「差別化を図る」とい
うことで、歌舞伎にも能にも独自のオリジナリティがあると主張しているのだろう。

これにもう一つ概念が、必要。

イスラム文化と江戸文化の世界の違い、恋愛劇か喜劇の趣向の違い、そして同じ馬と言うお題
。馬だけが同じで、世界と趣向が違う。だから「めかうま」と「黒檀の馬」は、どこか似ている
。物語の代数学である。

幾何解析的には題も世界も趣向も同じなら、合同。

二つ一致しているなら、相似形。

どれか一つだけの一致なら、似ているということになる。百二十角形ぐらいになると、丸と区
別がつかないが、合同でも相似形でもない、似ているとしか言えない。数学は数学という言語体
系なので、これはあくまでたとえとして正しいだろう。

本項では「似ている」という表現にしているのはこのためだが、「めかうま」と「黒檀の馬」
も三題話的ではないか？

この三題話がアリババの別巻問題に三題話に繋がる。“よっぱらい”と“革財布”と表題の「芝浜」
が伝・円朝作となっていて、「鰻沢」同様お客からお題を三つもらって即興で噺をした、という
伝説が残っているが、円朝全集には収録されていない。（昔、関西ローカルで「三題話」をする
テレビ番組があり、笑福亭釣瓶がこれを得意としていたと噂に聞く）

「アリババと四十人の盗賊」は、翻訳者の不注意か、アラビアンナイト収録作と思い込みがあ
って、結局原典を発見できず、別巻として扱われるようになった。写本から訳したのではなく、
話者から聞いた話を記録した、落語の口述記録（速記本）などと同じなのだ。

要は出自不明の話である。

アラビアンナイトを語っていた詩人が聴衆から、「ゴマ」や「四十人」「踊り子」というお
題（他に油壺や盗賊）をもらって、語ったのが持ちネタになって、この人物はアラビアンナイト

も語っていたから、アラビアンナイトの作品として思われていたというのが一説としてあろう。

もう一つ仮説はある。「驚異・珍奇な物語」等は話が脹らんで、「アリババ」がリニアな形から出されて特別に単独でよく話されるネタになったというのも、考えられる。子供にも楽しい盗賊討伐劇であり、人気があるとそこだけを語るサービスもあったと思う。やがて語り手の持ちネタになっていくだろう。そうすると、落語家が何をもち根多にしているかと、同じことになる。

「アラジンと魔法のランプ」も別巻で、経緯は「アリババ」と似たようなものだろうか？ これも人気がある、子供受けする話。

まさに子供向けに作られたアニメの『団子兵衛捕物帖・開け一ごまの巻』（1955年）は落語「団子兵衛」のタイトロールである団子兵衛くんを戦前から活躍するアニメ作家大藤信郎が自分のキャラクターにして、台本の「アリババ」を演じさせている。これだけで落語とアラビアンナイトは繋がる。

その部分ともうひとつ重要なことは、子供向けではない話もあるということだ。

NHKのテレビ寄席では、艶笑落語は存在しないかのように扱われる。アラビアンナイトの艶笑ネタも、存在しないかのように児童向け書籍では扱われる。廓話＝ハーレム譚（ハーレム内で起こった珍奇な話）も、無いことになっている。

子供向けの知識で終わって、大人向けというか原典に近いアラビアンナイトを改めて読むとびっくりする。*2

この二つの印象は、私の個人的体験では同じだった。しかし、日本人全員に敷衍できるものではない。とくに東京と上方落語が盛んな土地にいたら、なんとなく艶笑落語“のようなもの”があるとわかるだろう。それでアラビアンナイトの原典翻訳を読んだらビックリするかというと、なんとなく「やっぱりな」と、思うだろう。

少し話題を変えよう。

「死神」が誰かの命を奪おうとするジンの話と等式を仮定しよう。このジンが一説にはイスラム教以前の土着神の零落した存在とされる。

生殺与奪を持つジン＝死神 とは一致するだろう。少し移項して 生与を持つジン＝死神一殺奪 が命のともし火のろうそくで生命を繋ぐ話と、似ている。

殺奪を呪文によって封じられた死神は生命付与としてのろうそくを出す。土着神が零落したためにジンとなったというなら、逆に日本では戦国時代に伝来してきた契約宗教が禁制となり、その神（ヤハウエ・エホバ・アッラー全て同じ）が零落した姿が死神ではないか？ さらに隠れキリシタンから話が伝わったとなると、飛躍がありすぎるだろう。

死神＝唯一神説はフィクションであれば、面白いだろう。

ご禁制のバテレンの逸話を、実は根多にしている隠れキリシタンの落語作家なら時代小説として短編なら落語の滑稽を楽しむですむが、長編だと一転、悲劇となろう。

実際のところどうなのかというと、いろいろな宗教（の神仏）が習合して、元がわからなくなった。と、考えるべき。

いろいろ考えてみると、呪文を唱えるということと、珍奇な話を聞かせるのが、等価として扱われていないか？ 呪文は圧縮された珍奇な話というのは、飛躍しすぎだが、話というのは呪術

に近い部分がある。それを人文科学的に証明しろとなると、なかなか生易しいものじゃないが、人を教化してしまう、あるいは全体主義に動員する、そういう効果や影響からワンフレーズポリティクスやそういうものを生み出す怖さを持っている。

それをモンスタームしているかもしれない。

お題目を唱えれば、その通りなんだと周りを騙す、騙る、落語≒呪文＝マジックワードであり、ある種噺家の宿命みたいなものでもある。あのろうそくは生産に携わっていないという、噺家の後ろめたさを象徴しているかもしれない。

このようにアラビアンナイトの研究が落語（寄席演芸も含む）研究に応用できるのではないかと、批評性を担保するために示しておかなければいけない。

ユングはオカルトの部類に入ると言うが、民族や地域を越えた集合的無意識な何かがある、と考えてみている。『精霊の守り人』の上橋菜穂子さんはそういう立場をとり、作中でのナユグはアジアの異世界思想である。そこから通ってきたかは、「落語の死神＝グリム・リーパー習合説」と同様、調べなくてははいけない。

調べても、「グリム・リーパーと唯一神が習合した形で日本まで伝わった」*3という答えが出るとは、思えない。『金色夜叉』の種本が発見されたようなことは、これから起きないだろう。

まったくの蛇足を言うと、立川流はこの呪文を時事ネタに言い直すのを、得意としている。最近（2016年春）では「げすアンドベッキい、覚せい剤を打たずにホームランを打とう、みっちいめりい、お願いテケレツツのパ」だろうか？ 批評の場であるから、冗談はこの程度にするが落語のことを語る場合、必ずこのような横道に逸れる。

他にも似ているものを見繕うと、「せむしの物語」＝「らくだ」は落（サゲ）だけかもしれない。批評であるからオチを言うのも、別に悪いわけではないが、だが気が引ける。死んだと思っていた人物が、実は…というものでキリストの復活劇を相対化し、貶めているような内容である。喜劇にするとどうしてもそうになってしまう。

救世主の復活ではなく、乱暴者の蘇生で「冷やで一杯」である。

それにしても、四分の一ディナールと一分金は同じか？

通貨単位が江戸と同じくなぜ四進法か、翻訳者の気まぐれか？ 原典ではどうなっているのか。

翻訳者が近世文化に寄せているのか？ 高座であれば「寄席なだけに」と、つまらないことを言うだろうが、日本人の読者にもわかりやすくするために書いたまで、ではないのか？ 落語を聴く要領で、一ディナール＝一両とし、一両の四分の一が一分金、十六分の一が一朱金であるのと同じに、四分の一ディナールにしたのだろうか？と想像を巡らせられるが、そこはちょっと資料が無いので、各自調べてもらいたい。ただ志ん生もクギを刺しているように、「間男は止せ」。

仮に翻訳アレンジだと発覚して、それを悪いとすべきか、実は悩むところだ。

近代ファンタジーでも『ナルニア国物語』は、翻訳権が切れたら、原著を再翻訳した方がいいと、ずっと言われている。巨人の名前が「太郎」では「それはちょっと」と思うだろうし、新書『魔法ファンタジーの世界』でもオリエンタルチックな中東のお菓子が誘惑に使われているのに、中東風ならぬ洋風にされているから、何だか違うと指摘されている。お国が違って、あま

りにも身近で無い食べ物を見せられて食べてしまう話だと、読者の中心である子供が感情移入できない。国内の子供に想像できる範囲のお菓子にした配慮かもしれないけど、余計なお節介でもある。西洋魔女がロクム（ターキッシュ・デライトとともに）をくれる変な違和感の表現（異化効果）も、削がれている。

こうした翻訳問題は洋書全体にあり、『星の王子さま』の翻訳権が切れて複数の翻訳書が出たときも、ボアをただのかい蛇（邦文・大蛇）にしていいのか、いろいろ議論はあった。（一般には小さなコップの中の嵐に過ぎず、まったく知られていないようだが）

それにしても、日本人は唐物に弱い。

『風雲児たち 幕末編』第一巻でも大統領の前で「日本人は権威に弱い」と、ペリーは豪語するように唐物は権威があった。

島国根性の宗主国依存を潜在させているとか、唐心とか国文学者は言うだろうが、落語という言葉自体が、それを含んでいるようだ。漢籍には詳しくないのだが、語とはどうやら、「何なにの話」という意味がある。一応、話にオチがある意味という落語。漢文法は膠着語とは違い、述語が先に来るので「話に落ちがある」とするのか、噺家が最後にオチを言って高座から下がるから、そこから「落ち」がサゲになったのは、自然だろうが、唐から下ってきたモノという意味があるのではないかと。いろいろと考えてみて、下るというのは唐天竺から下がってくるという、そして中東からも下ってくる意味も、あるかもしれない。と、思っていたら、多分無い。その「下る」＝「落ちる」の意味は、無い。

いろいろ資料を読んでみると、落首から落語になったらしい。スキットを一人で話してオチがあって笑いをとる小話というのは、戦国時代にはもうあったらしい。だんだん時代が下ってくると、何かが落着くというより、「死神」のような超現実的な落ちをやるようになる。命を弄んではいけないという教訓は建前として見せておきながら、シュール落ちで近世人はラーメンズや野生爆弾を見せられた気になっていただろう。

これが後に古典の部類に入るとは、当時誰も思わなかっただろう。「片桐学概論」や『花の慶次』の「耳そぎ願鬼坊」のパロディ（耳ではない物を削ぐという「それはテレビやってはいけないネタ」で十年間干される）が、後の世で古典になるとは思えない。

冗談はこれくらいにして、ともかく中国という便利地である。

日本と中東、どちらも遠く離れた地ゆえにいくらでもファンタジーを表現できるし、下り物や絹製品（セリカの品）があるから遠くてもなぜか親近感がある。ファンタジーは、遠くにありて思うべし。

比較的日本に近い中国由来の「饅頭怖い」は中国伝来の書籍がある*4からいいとして、シナが舞台の「せむしの物語」は、生誕地が本当にシナかは議論となるだろう。歴史的に見ると、そもそも舞台はシナではないと思われ、ユダヤ人も住んでいたシナ内陸部があるかということ、かなり疑問だ。

これは今のウイグル地方がイスラム圏の領土であったし、現在もアラブ系で宗教もイスラム教に帰依したムスリムが大多数を占める、中国のイスラム圏である。さらにモンゴル帝国の置きみあげとして、シナ内陸に回教徒が暮らす地域がある。

そのため、「風来末」がペルシャで、海産資源が多い「水行末」が日本という見立ては可能だ。残った「雲来末」が西遊記でいえば、金斗雲に乗る孫悟空から連想して中国の山間部、あるいはアラビアンナイト・インド起源説があって、それを考慮すると雲を操る神ガネーシャが住まうインドが「雲来末」と言える。

昔、これはもう記憶が定かではないのだが、教育テレビの「人間大学」という番組で似たようなことを話していた記憶があるのだが、天竺が雲が来て行く末の場所であるかまで、話したかはもう思い出せない。

そういう記憶の彼方の話は止めて、日本の事情とは別に、フランスにはシノワズリがある。

シノワズリというのは、18世紀ヨーロッパであった中華趣味だけど、アジアでも似たような中華趣味があるらしい。

自己中心で利己的な漢民族の考え方の中華至上主義、そして漢民族を肯定していない。ホラをついてもいい便利地として、皆が利用するところがある。逆に西遊記ではシナの人たちが行った事がないので、西方はどんな妖怪を出してもいい便利地として使われた。奇想天外の冒険譚を書くことが出来る。

現在のアラビアンナイトを初めて仏訳したのは、ガランだと言われる。

問題はシノワズリの影響で、「アラジン」が舞台をシナにした、ガランの「商魂」から来る「ウケを狙った」可能性がある。シノワズリが宮廷で人気だから、話者から聞いた話の舞台をシナと北アフリカにしたのではないか。北アフリカもフランスの植民地となってしまったアルジェリアなど、当時はフランスに富と魔法の夢を見させるだけの、ロマンがあった。（日本で言えば「戦前戦中の満州」と言う「悪い」と言われてしまう）

その疑惑がある。

要するに、話を盛るというのと同じ具合に、舞台も当時の人気地を選ぶ。「卓球アニメが面白かったから、卓球マンガでもやるか」と、少しまでもであれば止した方がいい企画決着同様、「中国趣味が流行っているから、中国を舞台にでもするか。どうせ中東研究者の自分でも発見できなかった原典が、これから出てくるわけない」と、得手勝手にガランは心の中で決着したので。

瞳にフランマークが出て、「これは売れる」、と。

新書でもアラビア語で書かれたアラジンの冒険譚は、まだ見つかっていないとされる。だから、語り手から聞いたアラジンの話を「シノワズリが流行っているから、舞台をシナにしちゃえ。その方が売れる」と、ガランが「売らんかな」と、思ったのかは、さすがに夢想である。夢想が過ぎる。

ルブランも売らんかなと、まだ著作権法が未整備の頃にルパンシリーズにホームズが出てくる。それもフランス人が喜ぶイギリスのいけすかない奴をルパンが出し抜く内容で、ドーバー海峡を越えてコナン・ドイルは相当に怒ったらしい。（後でホーロック・シャームズという名に変更という、それはそれでイギリスをバカにしているだろ）

これは冗談だが、ランが付くフランス人には商売っ気があるので、現大統領のオランド氏にも気をつけねばならない。

ガランの犯行を思うに、中国のアリババ社の命名者は、もしかしたら「アラジン」がシナを舞台にしているから親近感を持ち、アラジンの社名を先に取りられたなどの理由から、「アリババ」の話も好きだからアリババに仕方なく社名にしたとして、後の研究で「やっぱりガランの語り写しは手が加えられていて、アラジンがシナを舞台にしているのは、シノワズリだった…」という、後半に余計な情報を書いたのをカットしたが、要は「舞台が中国」が付け加えられた創作と発覚、確定したらフクザツである。

このような事態に陥ることはないと思うが、名づけの際に好きだからとか、その気持ちは否定しないけど、ほんの少し調べておく必要がある。

よくヴェネチア＝江戸説がある。バグダット＝江戸説もあり、拙著『俯瞰の男』の太都はこの説に依拠している。ヴェネチアも杉浦日向子さんが好きなように、猪牙舟＝ゴンドラという見立てがよくされる。バグダッドも両河川（チグリス・ユーフラテス）で水路が縦横に引かれ、運河を渡るための舟を漕ぎ出すのは、江戸的情緒がある。

スルタンかカリフの治世が徳川幕府などと似ている統治体制であったかもしれない。商業振興策で都市計画（運河のインフラ）をしているなら、江戸と同じ。しかし、ある程度人口が多い中世都市だと物流で運河が必要で、常時流れる上水の排水と下水の排水も流せる上下水道としての役目もある運河がいる、となると似たような都市計画になる。

さらに商業的發展をすれば労働者も多いから、何かを語って聞かせる物語職業も、成り立つ。同じ土壌というより、水質が近い。

これは相似形だろう。公共料金として上水管理の金をどちらの都市も徴収していたなら、ほぼ合同だろう。ヴェネチアが語り手の職業が成立・発展しなかった理由には、ならないと思うが。（裏づけは無いが教会による聖書の説話を訊く、あるいはルネサンス前期から東洋文献の読書会のようなものがあつた？）

弟子筋には「考えすぎて狂っている」と言われる談志師匠*5の有名な「落語は業の肯定」というのも、千一夜をかけてシェヘラザードから説諭されたシャフリヤール王が、業を肯定するまでの物語として読めなくもない。心理学的な用語は知らないが、「童話効果」の一種である。

この発端となる物語は現代的だ。消費者は王様になってしまった部分は否めない。面白くない話を作る作家は、見えないところで作家生命を屠られている。

我々作家はシャフリヤール王という消費者に満足を与えるシェヘラザードなのである。その意味で千夜一夜物語には現代でも語られるべき寓意を含んだ物語で、もちろん落語にもそれはある。

さて、アラビアンナイトの「せむし男の物語」は、桂九雀によって「男と仕立て屋、ユダヤ人の医者、御用係、キリスト教徒の仲買人の物語」として落語の根多になっている。最後に落語とアラビアンナイトの近似を示す答えあわせが出て、この批評のサゲとする。

付記 シェヘラザードをシェラザードと無声化したのは、江戸っ子が「ヒト（人）」を「シト（人）」と変声化している真似ではない。ただの誤り、誤配法である。

また書籍名の『アラビアンナイト』と話としてのアラビアンナイトを分けるため、書籍名には

二重鍵括弧を、アラビアンナイトには括弧無しとした。

それから、ちょうどブックログのpapierにガラン版の翻訳が著作権切れで、FREEでダウンロードできるものがある。ブックリンク

黒檀の馬 <http://p.booklog.jp/book/104976>

アリババの冒険 <http://p.booklog.jp/book/32088>

参考にしたもの（時間が無く全部は読み込めなかった）

平凡社東洋文庫『落語講談今昔譚』 関根黙庵・著 山本進・校注

平凡社東洋文庫『落語の落（サゲ）』 海賀変哲・著 小出昌洋・編

講談社学術文庫『古典落語（続）』 興津要・編

河出書房新社『アラビアンナイト』 西尾哲史

岩波新書『アラビアンナイト』 西尾哲史

Podcast「東京ポッド許可局」2016年1月10日配信「芝浜論」

*1 「あそこで豆を食べ切れなかったから」という理由で相打ちになる話があるが、ピュタゴラス学派では肉と豆は魂が穢れるという理由(?)で食べちゃいけないかった。また、豆は固形窒素を根のバクテリアで作ることが出来る魔法、というより古典化学としてのアルケミズムに近い。テーマと逸れるから語らなかったが、この点だけで西洋魔術と東洋魔術の違いが大きく出ているようである。

*2 ラブクラフトらアーカム系作家たちのアラビックダイアリー、狂えるアラブ人は別に間違いじゃない気がしてきた。

*3 旧約聖書を読めばわかるが、ヤハウエが出てくる。相当に大暴れするキャラクターだ。逆らうと怖いから改宗できないみたいな、らくだみたいな奴なのである。化学者アルマニがかわいく見える。

*4 そもそも『三国志』で有名な逸話である饅頭流しからマンジュウが由来して、中島らも『しりとりにっせい』に拠ると（孫引き）、やはり「饅頭怖い」は中国起源の根多という説があり、『古典落語（続）』には「まんじゅうこわい」の解説には明代の『ござつそ』（例によって字が出ない）に貧乏な書生が悪知恵を働かせてまんじゅうをせしめるのが元ネタとされる。

*5 立川談志の高座名は、軍記物を語る軍談師から来ているのだろうか？ お弟子さんが二つ目に上げるとき、ちゃんと講談を覚えてきたか、見極めようとしている。

ゴトチヒさん、お世話になっております。

私が1-7であることでいじめられ、そのいじめた相手にテレビで私をみかけたたびに、罪悪にさいなまれるようにしようという魂胆はありません。

ウソをつかないで下さい。

アトラスさんのことでですが、私も『世界樹の迷宮』のゲームレビューを完成させたのですが、アトラスさんのためになると思います。アトラスさんへの愛持ちはもっていません。

私は元気のよさをかこった性欲のかたまりです。

イギリスのフリーガールの娘ではありません。

芸人のおもちゃじゃない。おはスタで共演した芸人を「呆さん」と言い続けなければいけない。意に反することをしただけのは大変心苦しかったです。でも、大好きな芸人です。いいことを言うの正産物です。不倫しちゃいよ。ストレスで。

追記 MUTEK(様)のオファー、待ってます。

TBS 升田アサに「祭りだキーン」とも一度言わせたい。

や・ら・せ

日記

月刊MVP受賞

四月
三菱

五月
舛添

六月
イチロー

広告

テレビを明るく
ふりかえろう

Kindleでノンスクランブル版

が配信されている

百円で買えない人は
更新情報誌を注意深く見て
無料配信の時期を探ろう

「お金が無いじゃないですか？」

それで、ヒストリーチャンネルの無料放送を漠然と見ていた。朝の番組で嫌いな人が出ていたので、むかむかしていたので、気分は悪かった。

「未来を」どうのこうの、今、調べてきたら「未来が生まれたとき～」という、遠藤憲一がナレーションして番組を進める、取材を基にした再現VTR的創作ドラマを見せる手法の番組だ。エンケンの上杉景勝はどうなんだろうか？ などの疑問はこの際いらぬ。湯けむりスナイパーの人が昭和時代の日本の功績のことを語るのである。

第一回目は、手塚治虫と学童社の加藤さんの話だ。

この健一さんがケン一少年の元かは、いろいろ言われているはず。

ともかく戦後マンガの手塚中心史観は、しょうがない。

宇野さんだってそうだし、巨大恐竜展を楽しみにしている人に小さい恐竜（関谷ひさしや貝塚ひろしとかいろいろ）を見せても、「そんなの見たくねえ！ ブラキオやティラノを見せろ！」となる。ティラノサウルスの梶原一騎は「驚き桃の木二十世紀」ぐらいでしか、できない。取材するとあまりにもダーティな側面が出てくるので、できない。女優の写真。

ちょっと調べれば、学童社と手塚の関わりは有名で、加藤さんが公職追放にあっていたが、いろいろ説得されて設立したのが学童社である。月刊漫画誌「漫画少年」を刊行し、そこから『ジャングル大帝』の連載され、連載期間中まではよかったが、付録合戦が児童漫画誌で過熱して、付録をつけない「漫画少年」はパズドラの付録がついてない「少年サンデー」みたいに売れなくて、やがて休刊し学童社も潰れる。『火の鳥』黎明編の前身の連載も休刊打ち切りとなってしまった。

普通の人はこのことを知らない。

そもそも興味が無い。

今の若い十代や二十代頃の人、新宝島ショックをトキワ荘作家や松本零士らが受けたというのを知らない（赤瀬川原平さんも）。私もマンガ批評を読まなかったら、多くのマンガ好きが大友克洋の「Fire-Ball」でショックを受けていたのを知らなかった。後に宮本茂がマリオにファイアボールや、スマブラのマリオファイナルまでが「Fire-Ball」起源だろうと、わかるまでちょっと時間がかかった。（それで21世紀を過ぎて実際に読んでみてもショックを受ける理由がわかる）

だから、安孫子さんの『まんが道』から『PARマンの情熱的日々』まで新宝島ショックを何度も描くのは、正しいと思う。その都度、新しい読者がいるから彼らに、トキワ荘作家や同世代の作家たち（松本零士や辰巳）がショックを受けた事実を、何度も繰り返して皆にまんが道の一頁として記憶に定着させないと、Fire-Ballショックが業界外の人以外知らない出来事になっているみたいに、なっていた可能性があった。

『ストップ！兄ちゃん』などは忘れ去られている。近年復刊されて、本当によかった。

トキワ荘史観というものが作られて、マンガ史研究的にはよくない部分もあれど、マンガ史をちゃんと研究しているディープなマンガ読み以外は、たいした影響は無い。一般の大衆諸君

はフェイクヒストリーを求めているのであって、研究成果は求めている。

そしてビートたけしの持ちネタでトーク番組に出る度にするお兄さんがお父さんを轢いてしまった話と同じで、何度も繰り返さないで定着しない。

それで、一部の読者が本当のマンガ研究で、必ずしもそうではないと、コペ転があって、マンガ史・マンガ研究が実は面白いと、開眼してもらえば、いいのでは？

右翼バブルが起きて、頭の悪い人たちが入ってきてしまったために、もともとの右系（民族派・国粋・国家寄り）知識人が迷惑しちゃうみたいなことなんて起きないから、大丈夫。

そこまでのマンガ史バブルは起きないだろう。

起きたら大変だよ。

「漫画少年」など、人材を発掘する雑誌はマンガ業界に限らず、短命に終わる。マンガに限らず「幻影城」とか、いろいろ作家を輩出する雑誌は短命に終わることが多い。「漫画少年」の後継を目指した「COM」も会社（虫プロ商事）の事情で短命に終わる。途中で終わった『火の鳥』を仕切りなおして描いて、名作として後年の評価を得るのは、別の話だ。

どうでもいいまくらが終わったところで、本題に入ろう。

「未来が生まれたとき～」の第二回は横井さんが取り上げられたのである。モバイル系ゲームの産みの親として横井軍平が取り上げられたのだ。

この話は、テレビベースではもう載らないんだと結論付けていた。

感動だよ。

この話が放送されるだけで、感動だ。

『マツコ有吉の怒り新党』の「新・三大〇〇調査会」や『ビーバップ！ハイヒール』でもとりあげてくれなかった横井軍平さんの話が、VTRで作られていた。

新宝島ショックだ！

まず、うれしかった。

ケーブル系とはいえ、今までテレビ番組でゲーム&ウォッチの開発秘話がVTRで作られることはなかった。Wikipediaで更新されているかな？ 新しいPDFデータをダウンロードしなくちゃ！

それから、ヒストリーチャンネルに加入しなくちゃ。

「これは嫁を質に入れてでも観なくちゃ！」

と、アデランスの中野さんみたいに、かつらを路上に残しておく大好きなギャグ（高木大臣もやってほしい。時に失敬した女性下着を残すのもご愛嬌。雪原の青ではなくリアルHKで、かつらを被るかそちらを被るか、どっちかにしてほしい！ どっちもスーツヒーローだから、シビル・ウォー）をして、どこかに向って走る。

冗談ではなく、真面目な話、横井さんじゃ視聴者が満足しないのかなと、マイケル・ムーア監督みたいに「オイラがドキュメント映画を作るしかないのかな？」と、思っていたところだ。ムーア監督みたいに編集して観客を騙そうかなと、構想を練っていた。

まず、ファミコン開発秘話が「プロジェクトX」にならなかったんだから。

テレビの人はテレビゲームの広告収入をもらっても、テレビゲームを現場は『キル』のバンリ

のように憎んでいたんだよ。（うっかり感情にまかせてネタバラししてしまった。左翼劇作家だからいいんだよ。「ニナガワさんの葬式は盛大だなあ（注・バンリのセリフ）」…今年の五月十二日に上演から20年以上経ってやっと回収）

ゲーム&ウォッチの開発秘話がまさかテレビになるとは、思わなかった。

エンケンのナレーションもどうかと思っていたけど、こうなるとイイネ。（本来は群集からの「剣闘士を殺せ！」のサインがサムズアップから首かき切りのジェスチャー）

今まではVシネで殺し屋を演じるか、『アスタリスク星人』のイカ星人を演じるか、温泉宿でスナイパーを演じるかしかなかったけど、イイネ。（文献で間違っ書いてしまったのが、伝わって反対の意味になったらしい。NHKの古代ローマの特集番組でもローマ皇帝がサムズアップしたと嘘を教えてんじゃねえ）

『ビーバップ！ハイヒール』のVTRの作りと似ているから、もしかしたら関西の方のテレビ番組を作っている番組制作会社を作っているかは、そちら方面に詳しくないので未確認である。

ともかく横井さんの功績を扱ったVTRは作られず、テレビ番組はならなかった。そういうことだから私はわざわざ『ビーバップ！ハイヒール』に直接送信したのが、切っ掛けとなったかは、どうかはわからない（本当は「まったく関係なかった」と認めたくない）。ただ、『ハイヒール』の番組で流された乱歩と横溝の関係、乱歩のゴーストライターを横溝はしたけど、その再現VTRの作りと似ていて、だから関西の方じゃないかと踏んでいる。

関西出身ですごい人は横井軍平さんと手塚なわけで、安藤百福もいるけど、国粹的な理由で選ばれなかったのか、ともかくこうして放送されたのだから選ばれて良かった。

『ハイヒール』では制作会社ではなく、関西の方のテレビ局が難色を示して、それで他に似たようなことをしていたヒストリーチャンネルの企画に呼応して、番組は作られたんじゃないかと、ちょっと勘ぐったが正解ではないだろう。

映像に目を向けよう。

山内社長が佐藤まさあきか名瀬・タービンみたいに白いタキシードで出こなかったのは、残念じゃないんだけど（そこを再現したら竹田玄洋がずっと部屋の中でもレインコート着てるとかも再現しないといけなくなる）、だいたい白いタキシードを着ているヤツは女を侍らせている。

外車の運転手がカゼをひいたから、上司よりもいい車に乗っていたという横井さんが左ハンドルの車を運転してゲーム&ウォッチの原アイデアを話したらしい。それで出先がどうも関西圏の社長会みたいなもので、山内社長の隣が今落ち目のシャープの社長がいて、電卓の応用ができるらしいと、話をしてゲーム&ウォッチの開発着手だと多根清史経由の記事はあるけど、この裏づけは「チェック ダブルチェック」だね。白いタキシードをやったら、やりすぎだと思うけどね。

盛っている可能性がある。

横井さんもそういうタイプだし、多根さんは元々信憑性ないし、二人とも盛っている可能性がある。

風邪をひいたという運転手さんは誰だったのか、そういうことを調べ始めると、関川夏央さんの近代文学研究みたいになっていく。

ともかく『MOTHER3』といい、任天堂は車中で歴史が生まれる。

だから、車に広告とか「クルマバタ（仮）」とかそういうのだけど、う～んアイデアとしてよくなかったのか、トヨタマーケティングは、広告代理店に金を払い損だったのか、ハメられたのか、少し謎だね。

しかし、順風満帆ではなく、ゲーム&ウォッチ完成まで、いろいろあった。それをVTRで見せるわけだが、任天堂の社内空気が、後に窓の無い部屋で社内失業をさせる（まんが道な歴史修正主義）ような、その雰囲気もよく出ている。

（後にピョコタンのマンガで「破竹の勢い」は真実だったと判明！）

当時の専務、調べればわかると思うけどね。

この番組の取材対象である手塚も横井も、どちらも神様と言われている。

これ、仕方ない。

神格化しないと、若くて新しい世代に情報が伝わっていかない。

基本的には神格化には反対なんだけど、そうしないと一般の人が知らない歴史になってしまう

。「正史」よりも『三国志演義』の方でまず伝えないと、三国時代の歴史がわからない。専門家でないと、知られていないだろう。

だから『まんが道』戦略って、正しかったんだよ。

横井さんの・・・まあ、いいや。

「『ファッシネーション』は、オイラが継ぐ！」（答え言っているじゃねえか）

こっそり書くけど朝放送されていた「題名の無い音楽会」の植松が出演したの、ぜんぜん感動しなかった。マイケル・ナイマンの曲の方がいいや。鈴木慶一さんのベストアルバムのライナーノーツによると、CD『MOTHER』の録音にスタッフとして参加しているらしい。だからCD『MOTHER』は名盤で復刻もされた。「ショー・イズ・ウィズダム・ザ・ワールド」。

こんな番組放送するぐらいなら・・・相手はサンデーじゃないだから悪いことを言っちゃいけない。でも植松さんはディスリスペクトしていい。「しあわせのそねみ」を読めば、わかるよ。

アルファ碁は森川くん2号のめちゃくちゃすごい奴なんだよ。

週刊誌を読む方だから、堀江貴文とひろゆきの対談記事で、アルファ碁は大型演算用コンピュータを何基も繋いで力技で人間様に勝ったと。それでお金をちゃんと使って、すごいことをやったのは日本では評価されないと結論付けている。

ひろゆきはゲーム作った人のはずだから、『がんばれ森川くん2号』のニューラルネットワークで作られたディープラーニングで、これについては雑誌「ゲームラボ」2016年4月号の「NEWア理科+」の記事で詳しくしているのだけど、それを頼りにすれば、中核にはちゃんとアイデアがあって、グーグルは予算があって規模の大きいことができたということである。

『森川2号』ぐらいちゃんと知っているだろう、ひろゆきは。

力技とアイデアの相乗でやっているから、必ずしも資金力に頼った数の力だけではないのでは？ さすがに『森川2号』の頃のニューラルネットワーク型AIは稚気を満たす遊びだったけど、性能向上したコンピュータを幾つも繋げばプロ棋士にも勝てる。両方必要で、アイデアだけが評価されるというのは、本当なのだろうか？ よくある自分の意見を言うために時事ネタを援用する、というやつじゃないか？

日本では、どっちも評価されない。

アイデアしか評価されないというより、アイデアはそもそも採用されない。

大人だから人格否定せず、意見を批判していて、それで修正すればいい。つまり、資力どころか、アイデアさえ評価されない。

雑誌「プレイボーイ」の読者はメディアリテラシーの高い人たちばかりなので、大丈夫だろう。

時事ネタを援用するとは、こうだ。

チリトリは単チャンネルで動かす。ラジオ（無線）コントロール、略してラジコン操作のラジコンカーは二つのラジオチャンネルを使って、ハンドルとアクセルの部分を分けている。

これをチリトリではボタンを離すと回転して、押すと前進する機構でラジオチャンネルをモノにできた。スイッチはチリトリ本体にあって起動させる。

同じことをゲームでやろうとすれば、「コトタベ」の遊具では、シーソーのギッコンボタンはジャイロセンサーだけ、ジャングルグローブの回転は加速度センサーだけで動かしてみるとか、やる。（『あり思』第一巻の解説編にある）

センサー二つ使わないそちらの方が、プログラムを初めから小さくコンパクトにできるんじゃないかと思うけど、実際のゲーム会社では採用されない。

なんでかって、「オイラ、ゲーム会社に入社できなかった」から、自分の意見が採用されるなんて思わない。人事部に人月でいくらかかっているとってんだ。

これが批判すべき時事ネタ援用で自分の意見を言っているのであれば、慰められるけど、これ現実だから。『ばらかもん』とか作っているマンガ家に訴えたいよね。「おタクさんのマンガ原稿買っている会社のゲーム事業部は、この程度のことのできる人材は雇わない」と、事実を教え

たい。

話を戻すと、たぶん森川くん2号とアルファ碁の間には、プロ棋士に勝つようなことがないとニュースにならなただけで、何かあったはず。中間に何も無いように見えるだけ。

ゲームシーンでは21世紀になって、人工無能と呼ばれるソフトが結構出た。熊に演歌を歌わせるとか、AIがお馬鹿なことをしてそれを愛でるプレイヤーという図式だったと思う。

そこから、囲碁や将棋のプロプレイヤー、ルドロジー上では闘技が高い場だからプロゲーマーになると思うけど、彼らに勝てるような方向に進歩するのが、AIの性能向上がわかりやすく表現できる。実際にそうなったからニュースになった。

森川くん2号をロボットとして物理的に作るみたいな方向は、日本が貧乏になってできなくなった。（AIBOの事業はトヨタの工業用ロボット造りの部門に売却されたとき）

最終的にどこに行くかと言うと、『PHYCHO-PASS』的な世界、コンピュータによる管理社会のディストピアが築かれるという、『うああ哲学事典』の賢帝ロボ（ベンサムの回）。

ところで話は急に変わるが、『おそ松さん』を笑えないと亀和田さんが書いていて、ちょっと自分が心配だ。

ロケットで逃げ出すイヤミに宇宙人がビームをあてまくるシーンを笑った自分は、笑いのハードルが低いのかな？ 私が描いていた四コママンガって、「やめなYO」とか、レベルが低いのかな？ 「やめて！ チンチンが妊娠しちゃう」とか、“*金を握って瀉血（注・実際にやっても瀉血しない）”とか、亀和田さんは笑ってくれないのか。

韓国映画の『王の男』、松ちゃんがそれをリメイクした『さや侍』と同じで亀和田さんを笑わせるのは、そういうシチュエーションでは？ 期限内に笑わせることができなかつたから殺されるとか。

亀和田さんは笑いの王権を手に入れている。

ニューラルネットワークで作ったAIで、亀和田さんを笑わせることができる存在を作るしかない。

コンピュータ版王の男。

その名は亀和田さん三号と言う。

がんばれ王の男、亀和田さん三号。

泉麻人さんの『シェーの時代』を読むと、『おそ松くん』と『おそ松さん』の相対差がわかる。十四松は実は文化系で、原作でたくさん映画（街の灯）やテレビ番組のパロディがあったから『さん』の第一話がある（今のパロディ）。意外にも原作準拠であるとか、なんとなくアニメ制作サイドの動きが透けて見える。

と言われて、この新書を読む人はいないと思うが、『おそ松さん』特需を狙って帯を張り替えて再刊してみる・・・売れなかったときの責任取れないや。

ちょっと、言いにくいんだけど、その後の新聞・雑誌の報道を見ると、ディープラーニングとニューラルネットワークの技・知恵・アイデアの部分しかやらない。それだけしか読まないような情弱には悪いけど、ちょっとWikipediaを見れば検索エンジンで百万台を繋いでいるように、アルファ碁ではそれぐらいの台数を繋いでクラスタ化して、力まかせ検索せず森川くん三号的にやってる。残念だけど結果的に貴文ひろゆきの言っていることは、とりあえずあたっていた。万の数を投入している物量の部分をマスコミはまったく評価していない。力・量・資金の部分を見せないって、第二次世界大戦のアメリカの物量を見せない大日本帝国のような・・・

キミはピョコタンのマンガを読んだか？ 4.17

後はこの社内失業が、事実として認定されるのを待つだけだけど、任天堂はこの件の人事責任者をトップにしてしまった、明らかな人事の采配ミスがある。

魚は頭から腐る。

ピョコタンは「部長が悪い」「部長がクソ」と言っているが、私は部長だけが悪いということは、無いと思う。部長がクソなのは同意するが。はっきり言うと『切り捨てSONY』で語られる目の前の人物を敵としてみなし、上層部の腐敗に目を逸らしているようである。

アメリカでIT系の会社は、自由な社風でパーテーションで仕切られたところに、私物持ち込みほぼ無制限でスケボーがあったり、時間が来たらカラーボールを投げ合ってはしゃいで遊んでいるのか、仕事をしているのか、よくわからない業務態度でいる。

長年、なんでこんなことやっているのかなと、疑問だったけど、どうも経営学的な学説かなんかで、組織を官僚化させないために、仕事四分之三で遊び四分の一くらいは社員を遊ばせているらしい。ヘッドハンティングで引き抜かれぬように、職場環境にストレスが無いようにしているのか、もしかしたら他に何か理由でもあるのが、疑問だったが、組織を官僚化させてたたとえばして動脈硬化を起こさせない、そういう「工夫」らしい。

無形のコンテンツを作るところは、そうした方がよさそうなのである。

フォード社の反省、に悖るだろうと思う。

フォードさんが私設警察を雇って逆らった労働者を警棒でなぐるNHK教育の高校講座の歴史番組で、こんなこと語られない。T型フォード車を造って「大量消費社会が訪れました」という紋切り型しか語られない。

労働者を「隗より始めよ」を地で行く賃金をアップさせて所得をあげてしまったから、中間層が脹らんでGMの高級車路線に遅れをとり始めているのに、T型フォードを造るのをやめられないとか、そのくらいの年代になると、労働者の心が離れ始めて、勤務態度が悪くなり始める。

そんな勤務態度が悪い労働者を私設警察が警棒で殴る、アメリカ建国以来の自警の理念が企業統治に異常変化したらしい。

この話を吉森賢先生の講義で聞いて、ビックリした。アメリカ中の労働者の賃金を上げて生活をよくした名君だったフォードが、株主との会社争奪戦に倦んで社員をこき使う暴君になる…名君期があるネロを思い起こさせる。（他にもラインを動かす動力源の石炭を掘る炭鉱まで持っていた完全統合とか、高校生に教えた方がいいのでは？）

結果を知っていれば、株主の言うことを聞いた方がよかったんじゃないか…これはワンマンの例で、組織が官僚化してダメになる例、じゃないかもしれない。

任天堂の場合、組織が官僚化していく、悪い循環に入っている。

銀行は官僚化させた、された組織でないと、逆にまずい機構だと思われる。

皆様の貯金を預かって、ちゃんと投資先がこげついた時の担保を用意しているか査定しないと、運営資金を切り崩すことになる。必然的にお役所仕事になって当然だ。（後日発売された本では地銀は「サルでもできることしかやらない」という逆機能が出ている）

今は窓口をパートタイマーで働かせ、コストを減らして官僚化できない環境になっているようだ（皮肉）。

その組織でバンクマンをしていた人間が今、任天堂の社長であり、この「破竹の勢い」の告発で問題があった時期、人事を統括していた人事本部担当である。「破竹の勢い」の告発の問題責任は彼にあるし、当時の社長である故・岩田社長も、責任が無いわけじゃない。

それにしても山内社長に経理を（めんどくさいから）丸投げさせるために引き抜かれたバンクマンが、偉くなったものだ。この大企業の人材育成をしていたのが、君島氏で、というか君島体制下で起こったことではないのか？

このネタは「社長が訊く」のパロディで描く予定で、「破竹」で大企業病の話をしていない？ その大企業病の原因を作っている人。私設警官が逆らう労働者を警棒でなぐりつけないに聴覚障害者を追い出したわけだ。つまり、あのマンガで起こっているようなことが、起きている。

醜いよ。

正直、こういう会社にお金を払いたくない。

スマブラとか、そういう良作ソフトでも購入をためらう。（かなり踏み込んだ発言をしていると思うが）

こうした問題をもみ消すために君島氏は社内政治をして、社長になったかもしれない。

社長になったから、この件を追求されないと考えているような輩が社長では、フォード社の例を出すまでも無く、やがて目も当てられない惨状になる。

ちょっと、任天堂とは距離をとりたい。

横井軍平をメンターとする人間が、ここまでのことを言うのだから、察してほしい。（かなり踏み込んだ発言をしていると思うが）

任天堂信者なのに、なんでこんなことを言うかということ、信者が会社を駄目にした例としてソニーがあり、ダメになっていく過程を見ていたわけだよ。それをなぞっているとかなり、危惧しているのだ。

浪速商人の言葉で、「頭さげれば蔵が建つ」を出来ない奴を雇い始めると、黄信号が点る。

「頭下げずにソニー村を作る」というモノの実態は、海外のショップでサクラをさせていたという、「それはアカンだろう」と。日本の国内企業がそのようなことを海外でしていいなら、日本国内でアジアの後進国の企業が同じ事をして文句が言えない。日本の反射板であるアジア各国がしてはいけないというなら、日本だけスネ夫でズルをしてもいいということになってしまう。

「アップルに頭を下げればいだろう」と上司が言ったのを、こんな奴がいるからソニーがダメになったんだとか、逆だよ。

「お前みたいな奴が入ってきたから、ソニーがダメになったんだよ」

ソニーミュージック系がiTunes storeに配信されなくて、どれだけ苦労していたか。新しくウォ

ークマンと同期される配信ソフトウェアの使い勝手の悪さは、ソニー寄りの多根清史、ソニー寄りの多根さんが「一曲ウォークマンに落とすの、何時間かかるんだ！」みたいなことを黒い新書に書くぐらい、酷いソフトだった。 それを作ったのが、辻本さん…辻野晃一郎だよ。もう、渾名がペリカン（どうでもいいけど、モハメド・アリが猪木のことをペリカンと渾名をつけていたのは、偶然）でいいや。吉本新喜劇の「ペリカンがしゃべった」の辻本さんと、似ていないわけじゃないし。

このペリカンがソニーをダメにしたんだ。

自尊心じゃ飯が食えないのは、はじめに教わらなくてはいけない。

『ヤング島耕作』でも新人研修で、今は崩壊したナショナルショップ（初芝電産は松下電産がモデル）で一般の修理員として働かせることから始める。「オレはキカイの修理なんてしたかねえんだ」という奴を早く出て行ってもらうために、やらせてると思う。

雑巾がけから始めて、受験勉強さえしていればいいという甘やかされて育った奴の性根を入れ替えさせないと、大企業病の温床になる。プチ鹿島さんがフィジカルエリートのレスリング部出身者が新日に入ってきたら、道場でさんざんな目にあわせて、プライドを捨てさせるという、辻野氏みたいなのが、入社しはじめると、だいたい会社がダメになる。

ペリカンのことはもういいや。

ついでに吉田直樹の話もしておこう。

まず、私以上のことができないと、スクエニに未来が無い。

なぜなら、私はスクウェア・エニックスに入社できなかったからだ。当たり前だけど、私以上の人材でないと、労働力として認められない。

吉田は面接官をやっているから、もうわかりやすく『ありえない未来の思い出たち』を就活生に見せて、「これ以上のことが出来ない奴はウチにいません」とハッキリと言った方が、お互いのマッチングに副う。学生企業両方のためにやるべきなんだけどね。「コトタベ」も「731」もアベレージ以下だから「普通の人より下でも、731以上のカードゲームが出来るから、こんな人材はウチにいららないんだよ」と、わかりやすく教えることになるから、お互いWin-Winなんだから、就活生に教えるのが、効率経営で正しい。

リンク [GAME REVIEW SPECIAL DOMESTIC DEVELOPER](#)

『あり思』で書かれていること以上のことができない人材を入れたら、それは上層部批判だし、スクエニに未来は無い。『あり思』で描かれているような水準の低いことしかできない奴は、入社させちゃいけない。

自分自身で首を締めることになるから、

「同人活動の一環」を隠れ蓑にして、i + 4とロ・トリロジーはネタつぶしのためにやっているし、Pixivでも一点や二点しか、i + 4はもらえない。同じ物を作ったら、アマゾンのカスタマーレビューでも、同じ星評価だろう。「好き」なんて絶対入れちゃダメ！

現実、エクスプローラーズは再販がかからず、値崩れしている。

それが市場の評価だ。

最後、ピョコタンが泣きベソかくコマなら、「連載記事で面白かったもの」にするのに。
泣きベソかいてないからな。

ねつもじを聴いたら、テラさんの話題をしていた。

*ラさんではなく、寺田ヒロオさんのことである。

トキワ荘作家たちの同性愛的な話を想像で話題にしていたけど、実はこの同性愛的なふいんきは、「マンガ夜話」でも『まんが道』を特集したときに語られている。ジョーと丹下段平とか、昭和の男同士の関係は、そのふいんきがある。誤字じゃなくて、お三方の「ふいんき語り」シリーズからとられた、「三島由紀夫を育ててみたい」「わがままネゴシネーター、麻也子」である。

話を戻すと『あしたのジョー』つながりで、諍いが起きたら殴り合いのケンカも多かった。そのくらい密接な関係を築けた頃だし、その関係を築かないといけなかった時期だった。仲間同士で仲良くしないと結果的にマンガ家として後世に残らなかったという、歴史がある。

劇画工房の人たちは仲が悪くなって、辰巳ヨシヒロは集団作業をマンガであきらめてしまう。佐藤まさあきは岡田斗司夫みたいにしちゃうし、さいとうたかを以外は、マンガ家として小粒というか、業界を知っている人しか知らない存在になってしまった。関谷ひさしだって、『ストップ！ 兄ちゃん』が当時人気があっても、なんかメディア化されなかったから、マンガ読みの外には、ほぼ無名の存在になってしまった。ラジオドラマはあったらしいけど、当時の月刊「少年」を読んでいた人しか、懐かしく思わない。復刻されて本当に、何度もくりかえすがよかった。

テラさんがああして、一騒動起こしてしまうというのは、戦後の時代には考えられたと思う。（露悪なモノを描くと漫画家全体がバッシングの対象されてしまうなど、テラさんを弁護できないわけでもない）

マイルド表現をすると人間味あふれる諍いはあった。

何人か編集者では手塚治虫が原稿が遅れたから「ぶん殴った」と、今だったら、

「神様をぶつとは、なんてバチあたりなことをしているんだ!!」

みたいになるが、当時の昭和の男たちは荒くれ者で、編集者という優位な立場を利用してマンガ家を虐げていたんだよ。梶原一騎が編集者を殴ったら問題になるけど、編集者がマンガ家を殴ったら力関係で問題にされなかった時代だったし、それは今もそうで、これに声をあげると佐藤秀峰さんみたいに編集部から、締め出しを食らうのである。

自然、大ヒットマンガ家しか生き残れない業界の構造になってしまう。

これは苦言ではないし、劣化も言及していないけど、トキワ荘に集った作家たちのBL妄想がどうのこうの話し合われていたが、トキワ荘がトキオ荘になった、やまだないとのマンガ『[ビィアティチュード BEATITUDE](#)』がある。

その存在を、まったく知らないようなのだ。

これを直接連絡すると、テラさんみたいにクレーマーだと思われてしまう。

他の皆（全国のねつもじ記者たち…かーずSPは宗教指導者でちやくちやくと信者を増やしている。ねつもじは最終的にかーず教の聖教新聞になってしまうのか？）に言われているだろうし、私がわざわざメールで連絡することはない。

わざわざ連絡したら、クレマーだと思われる。

ライブ会場のシャツキステ（独語で宝箱）に行くと、何か言うと宝箱から出入り禁止になる。あるいは『ワンピース』で宝箱の中に入っている謎の生物みたいにされる。

何か言うのは、こうして追い出されるか、便所に閉じ込められるつげ義春みたいになる。

それで諫言を聞かなくなった人は裸の王様になり、SNS憲兵に狩られるようになる。

「（ふと）…SNSケンペー君」

睦月影郎の別ペンネームで国会議事堂の地下に空間があるという『X』の影響下にあるマンガである。だいたい大超能力バトルをして、ロリータコンプレックスのケンペー君が小鳥ちゃんを助ける、そういう話だと思ってほしい。

「いや、思え！」

対立構造は地の竜とサーファーや陸サーファー（666というビースト）みたいな…もうやめよう。このくだりは、さすがに冗談である。

トキワ荘の同性愛的なふいんきじゃなくて、パロディなら江口寿史のドギワ荘とかある。唐沢なをきの「Mac道」がある。「マ」しかかかっていないムリなダジャレが面白いけど、ここでは言えない裸の**ラさんがマック道雄に「聖別された水で洗礼（あの…更新情報誌では書けないことがあって、面白いんだけど書けないんだよ）」というか、酷い、酷すぎる。「マイ・フェア・レディ（私の公平な女性）」のポルノグラフィティ「マイ・フェ*・レディ（私の口兵な女性）」のアスタリスク部分が、**ラさんの名が入る。

オリジナルの『まんが道』内マンガ「バラのゆびわ」がドラクエの元ネタなので、すごい歴史的名作なのに、美少年が使役されてしまう「バラのくびわ」にされてしまう。そもそもトキワ荘のもじりが酷い。**ワ荘である。キングオブヴィランの武藤くんも大活躍しているから、読んで欲しい半分、人に薦められない半分である。（これも書いておくか。『うわさのベーコン』からきている藤原と同じ死に様をしている漫画家が出てくる『漫画極道』もある）

本当にアスタリスクばかりですまないと思う。唐沢なをきが描いたマンガであって、私の人格が疑われるのは、迷惑だ。明和九年だ。女性（*が大好きなりベルティーナを除く）が読んでいないのが、せめてもの救いだ。

『すすめ!!パイレーツ』で熱血スポーツマンガをけなしていた江口寿史だから、テラさんの学童善導主義（梶井純の言葉）、少年がスポーツで善導されるイデオロギーをいじりたくなる気持ちがわかる。悟られないように国家主義に洗脳する怪しさを、スポーツで感動という大義名分で糊塗して隠してしまう、「日本人って、戦前の頃から騙されやすいんだな」と、微笑ましくなる。

「SPA」の投稿欄でも地下トキワ荘にテラさんがいて、エログロナンセンスなネタが読者から届く、「漫画少年」の投稿担当であったテラさんのパロディだと思う。

テラさんが怒ることをワザとやっている。

寺田ヒロオはもう、からかいの対象であるというのは、否めない。真面目に亡き井上一雄の『バットくん』を正統に継承して、良き児童に善導するそのマンガの思想性は、もう笑われてしまうというのは、仕方ない。

昭和の終わり頃には、通用しなくなる。

児童善導主義（米沢嘉博の言葉）は、笑われる対象になっている。

くまみこのオリジン『スポーツマン金太郎』で「（金太郎は）ストレートしか打てねえから、カーヴ投げてやれ」（←なんだかスポーツ欄の談話記事みたいな）と、ずるい大人が出てくる。

おとぎの国＝コトバの国なんだけどさ。

それは無くなっちゃったんだよ。

その後、アニメの方の『くまみこ』の放送を最後まで観たら、おとぎの国から出ようとした少女が、おとぎの国に帰っていく、昔ながらの生きて選りし物語だった。感動

。

「エコーズの回を観ると、夏目房之介さんが荒木（呼び捨て）のことを“音喩の魔法使い”と本で言われて、あのスタンドを思いついたとしたら、『お前、いい気になってるな！』と思う」

なんだけど、どちらか先か、前後しているから、実際はわからない。

『ビーバップハイスクール』のようなことをしたくて、変なものが出来ている。それで荒木はスティーブン・キングが大好きで『ミザリー』を地方都市でやると、ああなる（『ミザリー』をやりたくてやりたくてしょうがないから、犯人の動機などの理由はあとづけ）とか、『イット（あいつ）』みたいに引きずられるとか（『イット』めちゃくちゃ怖えからな。絵本の中のピエロが話しかけてくるとか、元ネタが割れるね）、アクアネックレスが主人公を指差して「お前、いい気になってるな！」と、本体であるこちらはアンジェロのポーズをする。

最近のアニメの話をするの、よくないと思う。

それしかネタが無いと思われる。

ゲームの話題は、児島さん…じゃない。アンジャッシュからやがて追い出されてしまう児島さんじゃなくて、小島カントクやラブプラスの義父を追い出したのに、雑誌で人材募集しているコナミ。

もう『ガタカ』みたいな管理が行き届きすぎたディストピア映画みたいな会社になっているって、バレているのだから、入社したい人は「米びつの心配をしている人」だけだと思う。「米びつの心配をしている人」しか入ってこないのは、明白だ。（企業としては米びつの心配している奴を入社させたくない）

コンビニに一日三回ぐらい行ってしまうと上から呼ばれて…社員教育が行き届いた「働きやすい良い会社」と、急にフォローを入れる。

『やきゅつく』で主力選手が次々と放出されると、「オレたちも外に出されるんじゃないか？」とやる気を失うスタメンたちと、同じ状況になっているとか、そんなことはない。いつもやる気がある、いい社員たちだ。

朝、『石膏ボーイズ』の話題をしたために急上昇ワードになり、何かイヤな予感がする。（案の定、ねつもじの更新がやや遅れた）

あるアニメで、猫がかわいいとか、西山さんが過度にかわいさを強調されているとか、どれだけ言いたいのか。どれだけ邪魔にならないように、控えているか、わかるか。

あまり騒ぐとアンチの人が増えるし、

「あっ、あぶナァ～～イ」

と、えりきゅんが言っているシーン。どんな顔を録音スタジオで見せていたのだろう。吊り橋からケモノを揺り落として、普通にプレイしても手に入らないクワガタを所持したケモノは、町でいろいろと寄り道して、横山さん宅に忍び寄り、犬のダイジロウにクワガタを押し付ける犬いじめに、法悦の表情を浮かべるのだが、あれと同じ顔をしていただけるか。（カバーをめくった時の「か～み～か～ぜ～」もどんな表情浮かべてやるのか、見てみたい）

芥川賞作家がオープニング映像の監督を断ったら、あのキャラクターの声はえりきゅんに代

用だ。

自分自身が「いい気になっていた」から逆に「アニメに三話切りされた！」話とかできない。これはできない。プロダクションI.G新潟に義理があるわけじゃないから、言えないわけじゃないけど。

それはどうでもいいけど、別に全方位外交ではないから、『TOGHF（わざと間違ったスペルを書いて、作者側に悟られないようにしている）』の新しいのが始まって、懐かしさもあり、古いキャラクターがどうしているのか、と思う。

わき腹に刺されたナイフを力んで抜く人食いヨシキとか、私の愛する女教師を愛する柔道家とか、デニス・ロドマンそっくりの露怒摩（この字でよかったのか？）とか、サイドブックオルカの元ネタである鯨山とか、いったいどうしているのか、これからわかる内容なのか、それとも新主人公がどんどん新生の格闘家とケンカする話なのか、まだ連載がはじまったばかりでわからない。

基本的に殴り合ったら、次に行く話だから、因縁は鬼龍しかないのだろう。

カープを応援しているのを「バカにしている」と、カン違いされてしまう。ファンじゃないけど。

カープ創設秘話を知っている人間で、こんなに応援しているのに、それをバカにしていると思う、そういう頭の悪い人を相手にしちゃいけない。羊使いの目にならないと。（三日後のハミ通の桜井さんのコラムでも、似たようなことが書かれておられた）

『裸足のゲン』の作者（あだち充だっけ？）が描いた『広島カープ物語』も読んだことがあるけど、話は広島市民（豆腐屋の婿）がカープを応援するという一行で説明がつく、一本調子であるけど、それがいい。（調べてみたらあだち充じゃなかった）

唐沢俊一がタイのマンガに「それにしてもなんのひねりもないマンガだな」とラストキャプションをつけたのと、同じくらいひねりはない。今の時代、これほどの一本調子が無いので、希少性から新鮮である。

褒めている。

こすっからい広島カープの試合運びとまったく逆である。

マツダスタジアムを作るときの樽募金も、1億円以上も集まったからね。

他の球団だったら、1000円も集まらないところを広島市民たちの気持ちで、総工費150億円の百分の一の足しになるという、これは褒めるしかないね。（よく考えたら、売店で売っているレプリカユニフォームをゲリピーに着せればいいけど、そういう阿漕なことをしてはいけない）

ミュージカル映画『マイ・フェア・レディ』のCDを借りてきて、聞くと『アナと雪の女王』の既視観ならぬ既視聞だった。歌と踊りが楽しければ楽しいほど、フレディとヒギンズの触媒になっているジョイメカの悲しさを感じる。

なんだか、小ネタ集みたいになったが、いいのである。

ビックリした。

このMAEDAXって、久米田康治（呼び捨て）のチーフアシスタントの前田くんだろ？ 結婚しているというから、「ゲーム誌の連載が終了したから米びつの心配をして働きづめの緑川光」と同じで、仕事を引き受けたのだろうか。

田中ロミオの『人類は衰退しました。』の「人類」の部分に代入する、特殊な業界、今月のゲームラボの記事に、その妖精さんがダメになった特集記事があった。

そこはビックリしてない。

いずれ、こういうことが起きるだろうと思っていたが、記事は戦没者慰霊みたいな、意味があるのだろう。

伊集院光が昔言ってた「それをしたら（半生命含有だから）水子がわしゃしわや湧くんじゃないのか？」というのに繋がるか。

「あの妖精さんは反社会的勢力の暗喩（かわいく小人化）であって、妖精さんの満足することをしないといけない、つまりシノギになるようなことをしないといけない。ボージャーが帰ってくるのも、親分のために自分が首謀者として出頭した子分が出所して帰ってきたのをSFで誤魔化し……」

なんて穿った見方はしていない。

黒い投資家が「ここにはもう、金は埋まっていない」と、見切った業界……業界関係に義理が無いわけじゃないし、悟られないように勝手に広告しているし、好き勝手なことを書いているようで、好き勝手なことは書いていない本誌のレギュレーション上、これ以上は言えないが二木真季子さんが亡くなった。

ビックリした。

原画マンに終わってしまった。『精霊の守り人』のアニメ監督を出来そうで、できなかった。蜷川さんは鼻にチューブをつけていたのだから、何時死んでもおかしくなかった。そこはビックリしてない。

宮崎アニメはスタジオジブリ設立前夜から大近藤（注・小近藤が『玉蘭物語』の人）と二木さんが作画を支えていた。

金田伊功さんも作画頭で入ってきて80年代の作品を支えていた。こうしてジブリ以前からよかった頃までのジブリを下から支えていたのに、スクウェアに入って飼い殺しされて先に逝く。なんで宮崎駿よりも早く……彼の遺作が名前を言ってはいけない閃光の異名を持つ「500年後」で、この日記を書いている途中で不幸があった。不幸ついでにジブリには、いくらでも悪口が言える。

玉三郎（注・鈴木敏夫のこと。この名の理由はちょっと言えない）が「よくもオレたちを批判してくれたな」と日本刀を振るって襲い掛かれる心配は無いので、いくらでも悪口を言える。

キャラクター（猿の憐憫）を安易に死なせて、お涙頂戴をやるうとした手塚治虫を批判したのに、最後の映画はキャラクターを安易に死なせて、お涙頂戴をしている。

もちろん『風立ちぬ』のことだよ。

ところが、業界内外のみなさんに「いい作品だ」と褒められる。宮崎駿が必死に作家性を手塚から離れたところを表現しようとした半世紀はいったいなんだったんだ？ 原作もわざわざメインキャラクターが死なない物を厳選していたのに。

そんな宮崎駿はマンガ『ナウシカ』で、空気遠近感を出すために、手前の船の線は太く描いて、奥の船は細く描く。すると、不思議な遠近感が出る。アニメーターだから、色の塗り方で空気遠近感を出すのを、ペン線画で出すとあなる。

「誰も真似しないけどね！」

最近、ダヴィンチが言っていた「近いものは緑に、遠くのもの青に見える」と、空気遠近法の基礎の基礎なんだけど、そのまま言えないんじゃないかと考えている。木が生えた近くの山と遠い山が映る写真をコンピュータで色相を調べれば、違う答えが出るんじゃないか？（実は「コトタベ」ではちゃんとこの古典的空気遠近法で山を描いている）

大気によってぼやけて、色がかすれるのを緑の色彩中黄色がとれて、青みがかって見えるルネサンス期の空気遠近法で後の光学に繋がることで、分光器は大気を圧縮したものとか…あの、私は一応「色彩少女」の企画者なんだけど、ともかく当時の空気遠近法を応用すると、大気にぼやけて線が細くなるんだけど、

「誰も真似しないけどね！」

今、背景はデジタル写真を画像処理ソフトにかけて、ペン画に起こしなおす背景画が作成できて、そればかりになっていると江口寿史が苦言を呈して、保守になってしまった。「そんなことつぶやいてないでさ、マンガを描いておくれよ」と、皆思っているのだが。

こういう発言は、実は「党派的なもの」と別冊ユリイカ（江口寿史特集）で答えが出ている。ニューウェーブ派の背景はよくて、21世紀ぐらいから台頭してきた若手の背景処理に、老害めいたことを言っているに過ぎないと、バレてるわけだ。

バレるわけだ。

「ああ、これが今の『ばれっとがーるず』のオリジンだったのか」

と、『マレー沖海戦』を観て、「ああ、この船影がカリ城のオープニングの運河を航行する船のオリジナルなんだ」と同じ感動を味わった。「アニメ夜話」で唐沢俊一も似たようなことを言って、国生さゆりに首を絞められたから私も誰かにこれをバラしたら、首を絞められるのだろうか？ 首を絞められるのは、尋問訓練の一環なのだろうか？ 『キルビル』のビルをえ…

ともかく宮崎駿は根っからの戦争屋だったのだ。

戦争屋ちゃんは宮崎アニメのロリータをカリカチュアライズ、風刺をこめて戯画化したキャラクターだ。

「ちゃんと、悲しいめにあって戦術コーディネーターになったのだけどなあ」

MAEDAXさんの記事では、まず古式ゆかしい二点透視図法で作画する基礎中の基礎からはじめている。

玉さんの描いた代々木アニメーション学院の小ビルが曲がってみえるダリの超現実的な手法は、後々、語られるのだろうか…私の書いていることは、連載のネタつぶしにならないか、自分の胸を手で押さえて聞いてみると、「ソナコトバ（声色を変えた腹話術的自分の声）」と、答えてくれた。

「Isometricとかやるに違いない」と、こんなことを書いてもネタつぶしにならない。

よかった。よかった。

この一連の流れは、高座芸である。

ともかく、瓦の種類まで知っているような背景を専門に描く人がいると、自ずと質が違う。久米田マンガはクオリティーマンガだったのだ。（後で病題を出していることをネタにするけど、怒らないでね。5対12対13）

益田ミリさんとか大人漫画の世界だと、省略せざるをえない。

雨樋を省略するとかは、これ以上線を増やして仕事量を増やすべきじゃないから、マンガの知恵。

それにしても、『もののけ姫』でディダラボッチや酸の海に傷口をつけてしまうナウシカを描いた二木さんの方が、なんで先に亡くなるのだろう。

大近藤も、金田さんも、宮崎駿よりも仲良く先である。

その遠近感がついてない。

「セヴンスリーワン」の最初の方にある画像情報から

640×400は 結論は256キロバイトと最小48バイト(色数も含めると64バイト以上)

まず、解像度の単純な乗数は256.000バイト ーマス ーマスに色数が指定されている

当時4096色ということは、B、S、L、R、G、Uの内三原色だけで

それぞれ16進法一桁のバイト量で押さえているはず

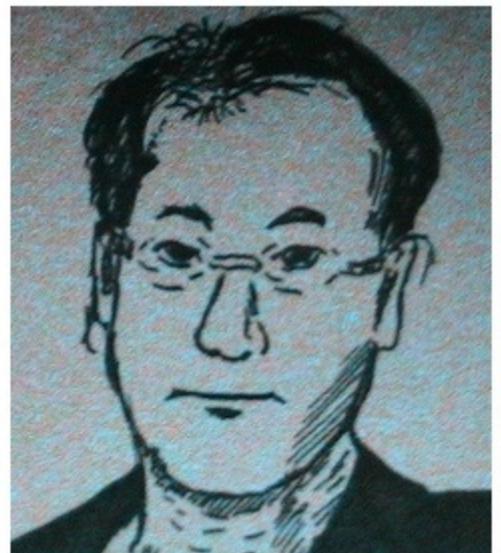
右のバニシングポイント
を手で押さえているのは
吉田修一さんにだけは
知られてはいけない！

記事中にあるタイリングがあるため、「影付け」という特殊な職種があった
現在、タイリング自体がRIKIさんが職人に孫発注した<物語>シリーズの
マーシャルの画像を作るぐらいしか、やってない。

真島真太郎さんは「16色を全部使う？」かということ、『ゲームの話をしよう』
を読んで、答え合わせしてね。(わかりやすい謎かけ)

一応「色彩少女」の企画者だから、平面画像について、これぐらいは知っ
ている。皆、「色彩少女」とマンガの「コトタベ」を描いた人が同じなのを驚く
と思うけどね。

吉田修一です
前田くん 連載
がんばって下さい



野球ゲームの特集記事も、何も語れないわけじゃないけど、それについてはいいか。この日記を書いている途中で、書店で立ち読みしていたら、ある記事が目に入り「現在は透視投影と平面投影をミックスさせている」ゲームソフトがあるらしい。もうちょっと早く記事にして5月17日前に出来なかったのか。昔、空気遠近の問題でエアリアルアンエアリアルは、たしか桜井政博さんのコラムでやっていたような。なんで二木さんの方が早く逝くのだろう。一本ぐらいアニメ映画の監督させられなかったのだろうか。妖精さんいなくなるより、こっちの方が悲しいよ。ジブリのプロデューサーが女性蔑視的だから、アニメ監督させてもらえなかったのだろうね。(← 事実にはヒレをつけて伝える悪い手段)

西田さんは雑になっていないかな。

大橋さんにとって、水は因縁深い。

終戦の日以降にやるかもしれない、石油ストーブの水かけ論争、「水をかけたら、ストーブの火は消える」「いや、消えない」「消える」「消えない」「消えるって言ってるだろ」「消えないんだよ」「消える」「消えない」「消える」「水をかけても、ストーブの火は消えない」「人の書いた文をコピー&ペーストしたような文を書いてんな！ 消える」「ストーブの火は水をかけても消えない」「語順を変えただけじゃねえか！ 消えるんだよ」「消えないよ」「消える」「消えないＹＯ！」（後、二万行くらいこのやりとりが出来る）

という無限に続く水かけ論争の元になった商品テストを「生活の手帳」（作中では“あなたの手帳”）はやって、この因縁がある水の中に落ちた妹をお父さんに教えてもらった古式泳法でもして助ける…をしないといけなかったのでは？ 唐沢寿明はスカートを穿くのか？ 数字をもっているLGBTが嫌いな老人（注・偏見）が許してくれるのか？ ライダーマンは栄光の七人ライダーの一人に入れるべきなのか？

それも前日にかけてしたお父さんの手紙で、高い所に登って海の向こうを見た「ツネ子には泳ぎをやらせる」とか「（海の向こうを）泳いで渡れるように」とか、手紙に書いてないといけない。

そこはフィクションでも、お父さんの絆の確認で、『T & B』の頃はよかったシリーズ構成が、朝ドラだと良くない気がする。「ケンボー先生と山田先生」でもしたはずの辞書（『明解』改訂版）が誤用の犯人扱い、貴文ひろゆきの対談でタックスヘイヴン（税天国）の話題をして、制作委員会方式で八億出資して、十億の売り上げを上げて税金で半分取られると書いてあったが、日本の税制はそうになっていたっけ？ 売り上げから経費として引いた額から、税金取るのでは？ それでさもタックスヘイヴンするのが正しいかのような誤解を読者に与えていないか？

日本の税制、そうになっていたっけ？ 所得を半分持っていかれるのは、昔、二昔前の話である。

世界的な法人税引き下げの余波で、現在の日本は23.9パーセントぐらいになっている。（これで公共投資を増やせというのは無茶なのは話が別か）

そもそも計算の仕方が、粗雑で誤解招きをしていないか？

売り上げから、すぐに税金は引かれない。消費税の間接税はこの売り上げから取られている。これが益金になるだろう。

益金引く損金で計上した法人所得から税率、経費は損金を計上したときに、すでに引かれている。

外形標準課税などは法人地方税となって、払わなくちゃいけないが、50パーセントは福祉国家並の法人税だ。

それも大学の学費を完全無料だとか、なんらかの優遇でちゃんと国民に還付されているから、あまり文句は無い。ただ、お年寄りに配分が偏っていないかという、問題は個々の国である。

その話はそれで問題があるのだが、本筋に戻すと間接税無しで計算する（あるいは10億8000万売り上げがあり間接税支払い済み）と、単純に四法人・団体が同額2億円を出して、人件費・材料費などの経費で8億使い切って、10億円の売り上げならまず経費を引いて2億から約24%で4800万弱を払い、残ったなんと利益を4分配（2億3800万）では？ 四法人・団体の内、他の事業が赤字で分配金でも赤字が補填できず、総売り上げ額が「赤」なら法人税は徴収できない。

逆に他の事業が「黒」で単純に5億円儲けたとして、足して総売り上げ7億3800万から法人税を引く。…ちょっと計算が、ここでも人件費材料費テナント料などの経費は引かれる。それが所得（儲け）として出て、税率だ。

もしかしたら、山田アシュリーみたいなやつがいて損金調整で10億の売り上げで、経費といろいろなことで損金が10億かかっていると認められたら、2億と5000万が四法人・団体に税金が引かれずに返ってくる…節税方法があるかもしれない。

山田アシュリーとは、『アスタリスク先生さえ、いればいい。』に出てくるライトノベル作家で、税理士でもある。本名はエイミーで、たしか婚活をしている。見分けが付かないので、実際に手に取ったとき、「書いていることと違うじゃないかっ！」と言われても、「それはホラ、宣伝だよ」と言う言葉しか言えない。（ロリコンは「山田先生さえ、いればいい。」だろうか）

なんだか、コメディリリーフならぬロリータリリーフ（片方は合法、片方は条例違反…祖ロリコン回避地）があったが、言いたいことは、タックスヘイブンを經由することが正しいのだという、理屈付けのために、国内税制に詐術を施してないか？ ということである。

小林よしのりみたいに「堀江憎し」は無くても、むしろ「ソニーを買い叩けばよかったじゃないか」「アイボ事業を売らなくてすんだはずだ」と思っているから、ライドア事件が起きなければ、ソニービルを売らず安泰のままだったのでは？ 現実、本業の売り上げよりも金融事業が儲けているのだから、ライドアと事業形態が変わらない。法人資本論があるなら、本業とは金融業が出来るまでの切り離しロケットだ。その推力を得た後に無重力空間に到達できれば、法人は自然人ではない資本家になる。

ひろゆきもバイオ100%に所属していたというから、「正直、ゲーム作っている人って、頭悪いのかな」と思われてほしくない。

噂では親が税務署に勤めていたらしく、合法的な節税に詳しいのかもしれない。でも、タックス・ヘイブンを肯定するなら、アグネス・チャンの寄付中抜き疑惑も肯定しないといけないのでは？ アグネスは彼の公開質問状に答えたのか？ 答えていないとしたら、後ろめたいことをしているのか、疑られるのも引き受けなくてはいけない。

今、アマゾンには2000円以上でないと送料無料にならない（ちょっと裏付けない）から、出版社はマンガ単行本を四巻ぐらいでパックにして売れだとか、ちょっと前に1000円以上送料無料の頃は一二巻同時発売が流行ったみたいなことをしないといけないとか、そういう商売っ気の話をしてほしい。（後で調べたら、送料はなんとか無料らしい）

なんか、税金を払うのは、バカみたいだという気持ちも、舛添さんみたいなネズミ男の懐に収

まるとか、号泣議員に高座芸をされるとか、まったくわからないわけじゃないが、税金を徴収しないと道路も公共サービスも受けられなくなる近代社会の当たり前のことを言っても、効果が無い。

現代人は「最小の義務、最大の権利」だから、租税回避（権利）を止められない。手塚治虫のように、納税者ランキングで上位になることがステータスだから、節税しないのは、彼らから見たら「狂った人」なのである。そりゃ虫も解剖する。

租税回避して、会社を安定化させる方法もある。

山内家が山内株の遺産相続にかかる相続税を払うために、任天堂の内部留保から金を吐き出させるのは、なんか、バカを見てる。それで創業者一族のオーナーから離れて、「破竹の勢い」の告発の責任者である君島氏が社長に就くという、バカみたいな人事になる。内部留保を使って、雇用し続けられればいいじゃないか。

山内博（本当はさんずい）が生きておられれば、こんなことにならなかったよ。お父さんが亡くなったと姉ちゃんだよ。（← ムリヤリにオチにこじつけ）

アルバムを調べたら「8メロディース」のアレンジャーをマイケル・ナイマンがしていた。これが『エネミーゼロ』に繋がる、と、思い、たい。長谷川町子の朝の連続テレビモデル小説『まあ姉ちゃん』を見たくなったが、スカートをはいた唐沢に拍手を送りたい。

「題名の無い音楽会」、久石さんの前後編、よかったなあ。

シェーンベルク（その名も「調性音楽の殺戮者」）の登場以来、調性音楽はすっかり下火になって、今（もう前世紀だけど）は無調の先である不協和音を取り入れるとか、ミニマルミュージックを作るとか、そういう発展の仕方をしているのを、音楽のことも知らない視聴者さまにも伝わるように作られている。

う〜ん。どうもダメみたい。

そもそもヨハン・シュトラウス・バッハが完全平均律を編み出していたのか、あやしくなっている。最近、彼が作曲をゴーストライターさせていた（それも新垣さんに近いような人物）らしい、疑いが出てきたから、調律法の確立も誰か別の人物がやってもおかしくないのでは、と思うようになった。

まあ、文章読本の宣伝だけど。文読には、この件を書いているよ。

この「まあ」と伸ばすのが、関東の人の発音で、「ま」とするのは関西の人の発音だと、岡本綺堂が書いていたが、バッハは工房制だったのか、謎であり楽士一家としての体制があって、調律法を考え出した人、作曲者が別々で、その総合的なプロデューサーをしていたのが、バッハということなのか、音楽史上の謎が出てきている。

調べないといけませんが、面倒だ。

音楽学でなんとかならないか。五島龍は耳がよく、ペンデレツキの曲が映画『シャイニング』に流されていると、気づく。音楽家は当然耳がいいけど。現代音楽は不安を感じる曲が多い。現代社会は不安ビジネスで煽られているとか、そういうことも言えるかもしれないが、中世的な何百年も変化を拒んだ社会ではなく、常に変化して不安があるのを克服する予防接種の一種が、現代音楽の不安の音色だと考えられる。（音楽学でなんとかかなりそうないので途中で話を逸らした）

たいして現在は調性音楽に商品価値は無い。どうしても商品価値を作るためには、海外留学するか、佐村河内守みたいになるか、前山田のようにまぐれでネットの人気者になるしかない。

皆、文章教室になってしまうわけだよ。

真面目に文章読本を書こうとすれば、謎ばかり見つかって、それが増えていく。その謎の他に、引用する文章は本当にその人が書いたのか、裏取り調査を事前にしなくてはいけなくなったわけだ。

正規の取次に卸す出版社は、確実にそれをやらないとダメ。ISBNを取得するのだから、真面目にやってほしい。（牽制）

オレオレ詐欺にひっかかったような五木寛之みたいに、なってしまう。

作曲の話だと、けっこう、音大出の人たちがゲーム会社に入っていたりするだよね。ところがゲーム音楽でも、「ここ、ナウシカでオームが飛び出てきたときの曲のようにして」というオーダーを坂口博信は植松さんに出して、ファイファンのバトルテーマができたのではないかと、疑っているけど…つまり久石の音楽が川上にどうもあるようである。

「ここで詐欺進行！ なぜならこのキャラクターは詐欺の擬人化だから」と、あそこで出すネタをここで出していいのか、それはもう終わったことだからいいだろう。魔法の円すい。

21世紀の豪華な『天外魔境』、『二ノ国』の曲は聴いたことが無い。私は、貧乏なので、許してください。新古書店でスペースをとって500円で投売りされているソフトを買えない。

貧乏という理由の他に、理由は無い。二つのソフトともに久石さんで、調性音楽の作曲家を選んでいないことで、ゲーム音楽の世界でも、調性音楽は実は評価が低い。

そんな久石さんを普通の人は知らない。

そこらへんのおばちゃんには、知られていない。

高視聴率番組で帯に出ていなかったら、記憶に定着しないし、たけし軍団の人たちは北野組はその筋の集団で、強面たちが集まっていると言っていた。久石さんも映画祭に行って北野組に混ざると負けず劣らずにマフィアの一員に見える。

『あかんやつら』を読むと、東映はマフィアそのものだったけど。

ロケ地に先乗りして、地元ヤクザに俳優たちがゴトを仕掛けられないようにナシをつけること専用の人がいる。

「これでは工藤会、必要じゃないかっ！」

去年の夏に日記に書いたことと、同じような話になっているけど、すぎさまの代わりは、実は椎名林檎ができるのではと、一歩考えが進んでいる。

「それはどういうこと？」と、聞くのはちょっと頭が足りない。というか、音楽の知識が無い。ポップとクラシック両方いける、「ラブソングを探して」と「大神殿のテーマ」こと“すぎ様のグランドクロス”を両方作曲できる人物が、林檎さんだからだ。

林檎さんができるなら、他にもいるのでは？ 作曲家全員できるわけではないから、なかなか他に見つからないけど、林檎さんに頼みに行くと、「その林檎にはシアン化合物（右翼思想）が塗りたくられている」ことに気付かず齧るかもしれない。

すぎ様の場合、民主主義の実現、でも、それを全肯定すると魔物に変身した神父様を処刑にかけるのも、許すことになる。小林よしのりの新著じゃないけど、“民主主義という病”に罹っているかもしれない。

ともかくこれでスクエニ側はまんま受け取ることはできないだろう。

三つ組数の未来人発言では、「スクエニに入社できて、千田さんのような立場を得て林檎さんを招聘して、クラブを開けるくらいのギャラと印税を払いた」くてもできなかった。それはスクウェア・エニックスが選んだことだし、甘んじて受け入れよう。

林檎なだけに。

林檎さんを起用したら、植松さんの「片翼の天使」なんて玩具みたいな曲を作りたい。

そういうのは、出来なくなっていき、出来るようにするには、佐村河内やヨハン・シュトラウス・バッハみたいなことを、付加価値を湧出させるために、なんらかの手を汚すことをしなくてはならない。

そういうのがわかっていると、久石の音楽を立体的に聴くことができる。

今月の「ゲームラボ」RPG80年代の記事をしている。1986年をRPG元年にするのは正しい。

ジャンルの定義は難しい。

アクションは演技だから、ジャンプアクションゲームであると、言えなくも無い。『ダイハード』みたいなタイトロームービー、それをゲーム化した？ のが、アクションゲームなのかというと、そこは微妙である。

全てのゲームはロール（役）をプレイングする（演じる）ゲームなんだけど、それではマリオという役を演じて、超ジャンプするゲームもロールプレイになる。TRPGを起源とするから、RPGは正確に言うと、複数のプレイヤーが役割分担するゲーム。

攻撃力がある戦士、回数制限のある便利なことができる魔法使い、何もしない冷凍鮪、ヒットポイントを回復する僧侶、多動症気味のカツオ、ワナやカギを解除する盗賊、潮を吹く鯨などのプレイヤーキャラクターを作成するのである。

それがビデオゲームになったとき、ステータスのデータを決めて、いろいろ関数処理して、面倒な乱数や複数の四則演算をコンピュータに肩代わりさせる。

PCを一人で操作して、多人数に遊ぶ時の意思疎通のわずらわしさを解消している気がする。チームプレイがうまくいかず、回復のタイミングが悪くて全滅など、さらに人力で計算していると、コンピュータを相手に一人でできないか、不満が出てくる。それで望まれたのが一人でできるデスクトップ型RPGだったと思う。

それを逆に、オンラインのMMOでは、十人ぐらいの旅団でないと倒せないモンスターを設定して、もう一度チームプレイの筋書きの無さを再現していたかもしれない。チームの役割分担が戦略上重要だから、いろいろ知恵を絞って大人数でやるミッションを作り出していったのだろう。

ゲームレビュー『世界儒の迷宮』でやったことを再び書くことは無いが、このゲームレビューを完成させなくていいし、完成しなくてもいい。儒の誤字を直さなくてもいいし、直す気が無い。樹なだけに、直す樹が無いのだ。（テキスト入力もしているけどね。いつ更新するかのタイミングだろう）

いらぬ情報だったかな。

ともかく役割分担するゲームの部分が離れていって、この概念の方向性が国内外格差を生んでしまい、日本国内のオールドスクールではないが、その源流を汲んでいるのがJRPGになってしまう。

海外の向かった先が明確に出たのが『GTA III』以後だろう。ゲームを表す構文が「車泥棒（名詞）が成り上がる（動詞）」の名詞・動詞理論に現実世界と擬似的だが対称性を持つオープンワールドが加わった『GTA III』が出ると、RPGの概念くんが変わる。

アサシンのロールプレイや核戦争後（ポスト・アポカリプスと言うと通っぽい）のサバイバーのロールプレイにフレームが変化する。

一応、単一のロール、ギャングスタに成り上がるとか暗殺とか生き残るのが目的で、オープンワールドかそれに準じた仮構された三次元空間で冒険するのが、海外RPGになった。ドラクエ史観なら勇者というおしゃぶりを外して、お母さんの母乳にあたる魔王を倒さない……言い過ぎた。（『魔女の下僕と魔王のツノ』だと魔王さま赤ちゃんプレイするけどね）

こうしたディスラティヴィノーションが起きて、『The Elder Scrolls』シリーズの「オブリビオン」「スカイリム」が、覇権を取っている。

これはSCEが国内の小さなデベロッパー（多くは企業舎弟）を開発費高騰で干上がらせて駆逐していく方向に舵を切ったから、超大作主義が勃興して、そちらの方向は望むところだから、本社もアメリカに置いてSCIを創設するのである。

そういえば、総選挙すごかった。

酔った勢いで、山里亮太がオリエンタルラジオの顔のでかい方が嫌いだと言わされたり、この場では言えないギリギリ日記の題にしている、ダレノガレアスタリスクさんの、「格付けしあう女たち」みたいに身を切った（身を切られた）発言もあった。

あのコーナーのせいで、飯島愛の選手生命が縮んだ。芸能人として引退に追い込まれる。

ダレちゃんは心配してない。そんなタマじゃない。「ガイアの夜明け」でツインバードの家電を新潟のつばめ（地名）、三条あたりの会社が、あまり称揚するのは、よくない。そこは心配。変にロケすると「子供が殺されて捨てられた山が画面に映っている」とか、起きてもしらない。（まだ黙秘続けてどの山に埋めたのか、わからないから新潟県内でロケできない）

一応、クギを刺しておいたが、「それみたことかっ」みたいなことが、清原くんの問題が起きたら、足が遅いの逃げ回る元木くんになっても知らない。

やつれた大神いずみを見ると、つい勘繰ってしまう。

ダンナさんがラーメン屋を潰した以外でいろいろ発覚したら、メディアや世間や知人から叩かれることに悩んでいると思いたい。

「加齢による劣化だと思うけどね」

これは、田中裕二さんが言ったことにしよう。

皆さんも言いふらして、宣伝による欺瞞工作をしてほしい。

スパイ工作である。

スパイ工作といえば、あじあ号でスパイが子供（三人兄弟だから複数形か）を使っているのは、原作者の柳さんがどこかのインタビューで答えていると思うけど、少年探偵団やそのオリジナルであるホームズが少年たちを使ったのを、ミステリーファンにわかりやすく取っ掛かりをつけているのだろう。

「本を読んできたんだよ。テレビを観ていたわけじゃないよ」

スパイごっこに付き合わせてしまったら、申し訳ない。

謝る。

素直に謝る。

亀梨くんの映画を観たかもしれない。（後日のことを書けばAパートであんなに「エリスちゃん」「エリスちゃん」と超わかりやすいことをしているのに、Bパートで正体を明かされるま

で暗号を解けなかった自分がスパイアニメはやっぱり面白い・文章破綻につき終了)

TBSラジオはPodcast終了。

これからは、TBSラジオCLOUDで聴こう。

そこでこの日記のタイトル名の秘密がわかるかもしれない。

海賊ファンブックも、ちょっと構成を変えないといけない。

というか、オフィシャルブックが出る。

あるジャンルゲームで「マウスホイールをメチャメチャ回して、一年前のダレちゃんみたいにする」「宮本茂さんの『操作と動詞表現を一致』させる」「能動的眩暈と受動的眩暈を生み出す！」というのは、さすがに書けない。歴史修正主義で大藤信郎さんの失われたアニメ『鯨』の話をしていると、そこから展開してピノキオの映画の話だと思って下さい。自分じゃなくなる。

今月の「サイゾー」を読んだら、宇野さんがイシイジロウさんと対談していた。

映画『ズートピア』の話題をしておられ、ピクサーを吸収合併したディズニーだけど、ピクサー首脳陣がディズニーの幹部になったとある。

このピクサーの成功がジョブズがアップルに復帰する切っ掛けを作ることになる。

マッカーサーはアイ・シャル・リターン。

ジョブズはアイ・アップル・リターン。

多くのアップル社員は「返ってくるな」と戦々恐々だっただろう。

ディズニー社の場合、平面アニメの社内開発力が、社外であったピクサーの立体アニメ開発力に追い抜かれてしまった。とりあえず、ディズニー社の下部にピクサーが位置していると思ったら、首脳部がピクサー幹部になっていた。

それで『アナと雪の女王』では、ディズニーアニメじゃなくて、ピクサーが童話を元に立体アニメを作るという、それはどうなっているんだという話だ。

あの『岡崎に捧ぐ』の人（さっきコンビニに行ってスペリオールを読んで名前を控えてきた）もゲームレビューした洋ゲーを桜井政博さんもコラムで取り上げたとき、『タイムトラベラーズ』の話をしていない。

あれは、タイムリープものではなく、タイムトラベルものだから、触れられなかったのか、このゲームの題名は控えてないけど、面白いらしいね。

『428』発売のプロモーションでBS11の番組以来、ジロさんをなかなかお見かけしないと思ったら、いつの間にかレベルファイブに入っていると思ったら、辞めていた。ジロさんは何時レベルファイブを辞めたのか。

岩田社長を無断で使って、私より十万倍面白いシェイクスピアのゲームを作るんじゃないかったのか。『アンダーザドッグ』はいつ出来るのか、今年の春に出来てないけど、どうなんだ。『ブキ・ブランキ』に文句は無いどころか…この話はいいか。ジロさんはOKだと横本の四コママンガでちゃんと描いてメッセージ・イン・ボトルを流している。

本人がちゃんと受け取るか、知らないが。

ともかく再三に渡って「大事なことから何度も言う（棚橋）」けど五社が自分の真似したらイヤだ。

サイバーコネクトツーツーなんてもっての他。

相手に非があるのに、私が悪いみたいなことになったら、「ふざけるじゃない」と思う。暴力団を利用すれば、弱い立場を一方向的に悪くすることが、島田紳介の所業で実証済みだ。

「ジローの横本」は谷ロジローの横本であって、イシイジロウの横本ではない。

五郎の横本、五郎さんをバカにした「ゴローの横本」。山本さほの横本は作らない。早く先生を付けられるぐらい偉くなって下さい。あと30年ぐらいかかるだろうけどね。東京五輪、後一・二回。それからあまりにも頁数を使いすぎて短くした。

勝手に広告のコーナー

TBSラジオ 954 木曜深夜25時

JUNK おぎやはぎのメガネびいき

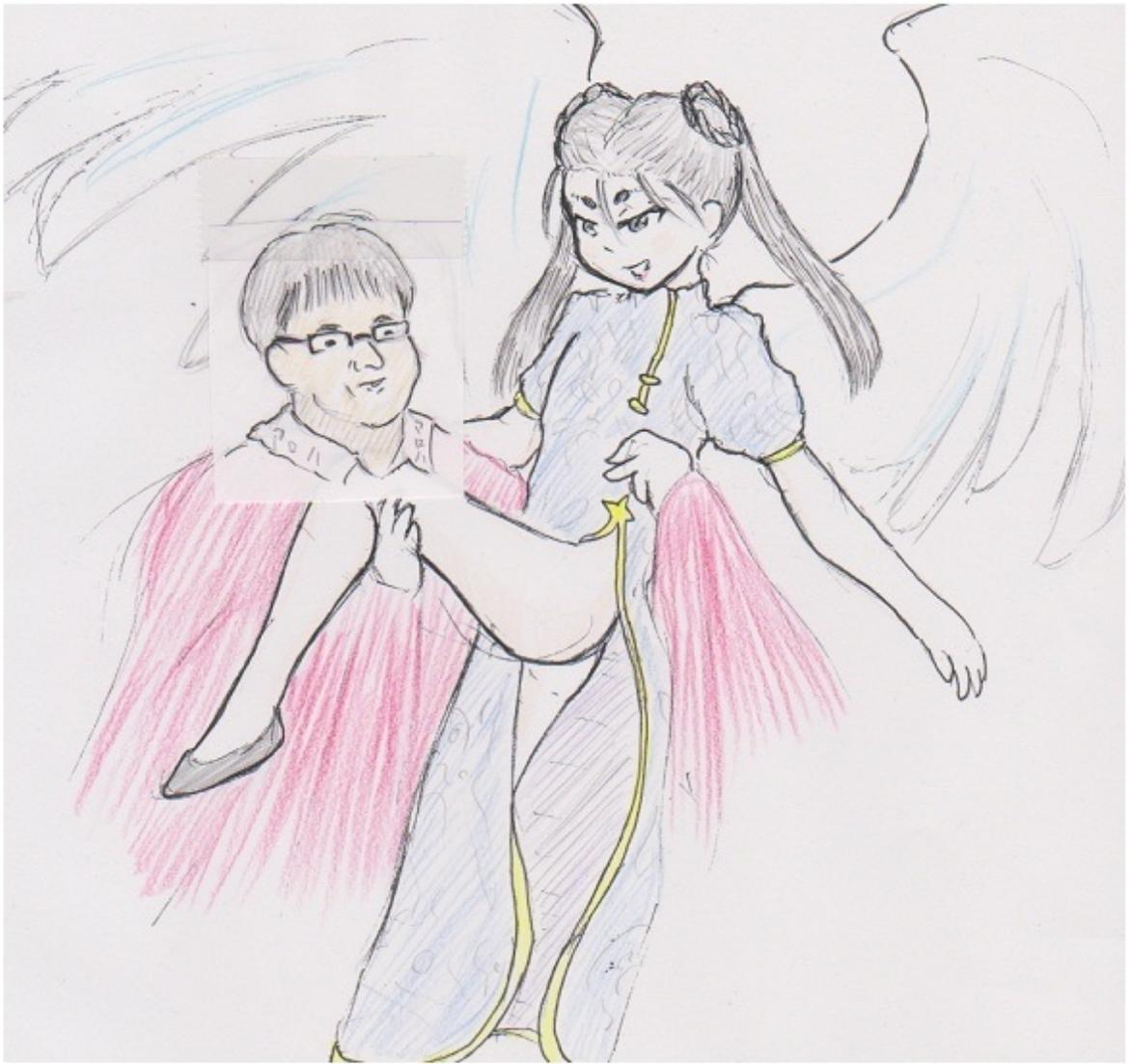
ゲスト出演者が出世していく
アゲチン番組
 아이폰&アイパッドユーザーは
ポットキャストで今すぐダウンロード
検索は
「JUNK」
「おぎやはぎ」
「メガネびいき」
のAND検索で！



ステルスマーケティング

勝手に広告

勇者死す。買って下さい



おことわり

梶田省治さんに金銭の受け取りや仕事の
斡旋を要求してはいません

それを行っているのはいしかわじゅん先生
だけです

MEN'S ONLY02

<http://p.booklog.jp/book/102816>

著者：ゴトチヒ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/gotochihi1980/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/102816>

ブックログ本棚へ入れる

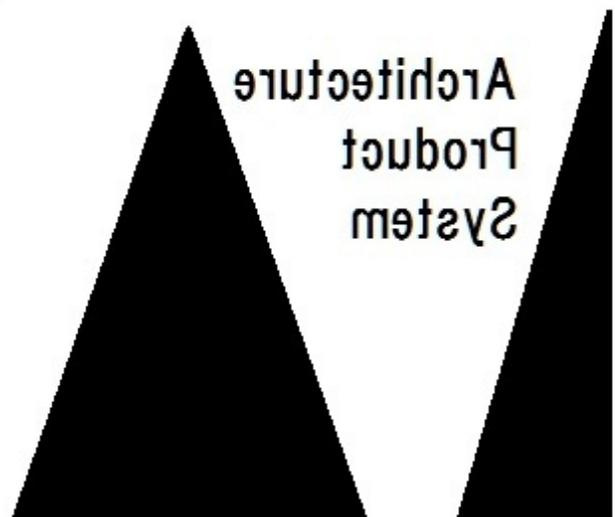
<http://booklog.jp/item/3/102816>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ



up to date information



Architecture
Product
System

Back tyttle

MEMBER'S ONLY

FREE

まんが
タイム
きらら

